

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 現代表記のゆれ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00001265">https://doi.org/10.15084/00001265</a>

# 現代表記のゆれ

国立国語研究所

## 刊行のことば

日本語の表記法は複雑だといわれます。いわゆる正書法的な考え方は、これまでの日本語では成立しにくいとされていました。一語に幾通りもの表記形式の存在を認める寛容さが特徴とされてきたわけです。しかし、国際化社会、情報化社会の到来とともに、そのような「ゆれ」の現象は、かえって、教育・伝達上の障害となるおそれのあることが各方面から指摘されています。

そのような観点から、国立国語研究所言語計量研究部第二研究室では、1977年度から「現代表記の多様性の実態と表記意識に関する調査研究」を行い、表記のゆれが生じる原因を、主として表記主体者の意識や態度の面から調査しました。この報告書は、その分析結果をまとめたものです。

意識調査の実施に当たってご協力を頂いた各位に厚くお礼を申し上げるとともに、本書が日本語の正書法確立のための基礎資料となることを願ってやみません。大方の教示、批判を得ることが出来れば幸いです。

昭和57年12月17日

国立国語研究所長 野元菊雄

# ——目次——

刊行のことば .....	i
1. 研究の概要 .....	1
1.1. 研究の目的 .....	1
1.1.1. 現代表記の多様性 .....	1
1.1.2. 標準的な表記への志向 .....	2
1.1.3. 本研究のねらい .....	5
1.2. 研究の経過 .....	6
1.2.1. 調査の手順および分担 .....	6
1.2.2. 基礎調査の概要 .....	7
1.2.3. 意識調査の概要 .....	9
1.3. 参考文献 .....	11
2. 表記のゆれと誤用の分析 .....	14
2.1. 語表記のゆれ .....	14
2.1.1. 表記のゆれのレベル .....	14
2.1.2. 表記のゆれの判定 .....	15
2.1.3. ゆれの類型と要因 .....	26
2.2. 新聞の表記におけるゆれの分析 .....	33
2.2.1. 資料の性格 .....	33
2.2.2. ゆれの類型の分類 .....	35
2.2.3. 語種別にみた表記のゆれ .....	40
2.3. 広報紙の表記における誤用の分析 .....	46
2.3.1. 調査の概要 .....	46
2.3.2. 漢字の誤用に関する分析 .....	51
2.3.3. 送り仮名の誤用に関する分析 .....	57

2.3.4. 仮名遣いの誤用に関する分析	64
3. 表記意識の分析	69
3.1. 意識調査の性格	69
3.1.1. 意識調査のねらい	69
3.1.2. 意識調査の方法	71
3.1.3. 調査票の各設問の意図	78
3.1.4. 被調査者の属性	85
3.2. 集計と分析	88
3.2.1. 各設問の集計結果	88
3.2.2. 個人内におけるゆれの分析	113
3.2.3. 表記の傾向の分析	117
3.2.4. まとめ	125
付 表	129
付一 1 新聞における語表記のゆれ一覧	130
付一 2 広報紙における表記上の誤用一覧	237
付一 3 意識調査における基本集計一覧	239
索 引	267

# 1. 研究の概要

## 1.1. 研究の目的

### 1.1.1. 現代表記の多様性

言語というものが体系的な存在であることは、体系という語に種々の定義のしかたがあるにせよ、一般にみとめられる特徴である。しかしながら、言語における体系が完全無欠のものでなく、しばしばその内部に矛盾や欠落を有しながら存在するものであることも、よく知られている。そして、言語の構成要素となる種々の単位は、一定の形式をもつことが期待されながらも、ときには、複数の形式が許容されることもある。

そのような複数の形式のうち、特定のものが標準的あるいは規範的な形式とされるばあい、他の形式は、それに対して変異あるいは変種などとよばれる。また、複数の形式のうち、どれを標準的なものとするかが決定しにくいばあいもある。このように、複数の形式が共時的に存在する現象を「ゆれ」という。また、それらの形式のなかには、しばしば誤用とみられるものもふくまれ、誤用と慣用との境界は微妙である。

ゆれは、音節、語、文などの種々の言語単位や、発話、表記などの言語行動において観察される。なかでも、語のレベルに属するものが圧倒的な量をしめる。語のレベルにおけるゆれは、一般に語形のゆれとしてとらえられる。たとえば、／ムツカシイームズカシイ／、／セカイーセカイ／などがそれで、発音やアクセントのゆれとして認識される。語形のゆれには、このほか、／見ラレルー見レル／、／足リナイー足ラナイ／など、文法的な形式に関するものも存在する。

日本語では、語のレベルに属するゆれのなかに、／年輩一年配／、／付属一附属／など、語表記の形式にゆれがみられるものがおおい。語表記のゆれには、このような、ことなる漢字の対立だけでなく、／又一また／、／眼鏡一メガネ／のような、漢字とカナの対立や、／きりぎりすーキリギリス／、／なでしこーナデシコ／など、ヒラガナとカタカナの対立によるものなど、種々の類型が存在する。

語表記のゆれは、日本語だけに存在する現象ではない。表音文字を使用する言語でも、つづり字の問題は以前から存しており、現在でも解決されたとはいいがたい。しかし、日本語のばあいと比較すると、問題になる項目は、はるかにすくなく、日本語の語表記のゆれは、量と種類の双方において、他の言語におけるそれを格段にうまわまっている。

その原因には種々のものがかんがえられる。第一にあげられるのは、現代日本語の表記が、漢字というきわめて多数の要素からなる文字体系の使用を前提としていることである。第二にあげられるのは、漢字だけでなく、ヒラガナ、カタカナなど、複数の文字体系の併用をみとめていることである。このため、たとえば／アシ／という語には、／足／と／脚／の両様の表記が可能であるし、／イヌ／という語を、／犬／、／いぬ／、／イヌ／のどの形式をもちいて表記しても、あやまりではないということがおこりうる。

語表記にゆれの生ずる原因は、このことだけでなく、さまざまな要因が関係しあっているとかんがえられる。また、その要因を解明することが本研究の課題でもあるが、日本語において、語表記のゆれという現象が顕著であり、その原因が、日本語そのものの性格および日本人の言語行動ないしは言語意識のなかにもとめられそうなことはたしかである。

### 1. 1. 2. 標準的な表記への志向

日本語の表記における、このような多様さは、一面からみれば、日本語のゆたかさに通ずるものであるが、他面では、意志や情報の正確な伝達についての障害でもありうる。ことに、学校教育の世界では、教科書の表記をふく

めて、標準的な表記形式の確立への要望はつよい。また、報道・出版等の社会生活の分野でも、表記形式が一定でないことから生ずる不便さを解消しようとするこえはすくなくない。

第二次大戦後に政府が告示した一連の国語施策は、その意味で、表記のゆれを統一するうえに重要な役割をはたした。また、国民の表記に対する意識をたかめるうえで効果があったといえる。「当用漢字表」(1946)は、使用する漢字の範囲を一定数にかぎるところみであった。「現代かなづかい」(1946)は、語をカナでかくばあいの合理的な基準をしめした。そして、「送りがなのつけ方」(1959)は、固有の日本語を漢字で表記するばあいのカナのおくりかたの指針となった。

しかしながら、これらの国語審議会の答申にもとづく施策は、原則的な方針をしめしたものであって、個々の語の表記法については、疑問となる項目がないではない。たとえば、常用漢字をつかって語を表記するとしても、どの漢字をつかうべきかの判断にまようことは、すくなくない。現代かなづかいや送りがなのつけ方は、ある語をカナでかくならば、あるいは、漢字をつかってかくならばという前提のもとになりたつものであり、漢字をつかうかカナでかくかという基準をしめしたものではない。

これに関して、国語審議会は無為であったわけではない。当用漢字表の「まえがき」にしめされた原則を徹底すべく、いくつかの試案が作成された。たとえば、つぎのようなものである。

外来語の表記について（国語審議会報告，1954）

同音の漢字による書きかえ（国語審議会報告，1956）

語形の「ゆれ」について（国語審議会部会報告，1961）

異字同訓の漢字の用法（国語審議会参考資料，1972）

また、法令用語や公用文については、内閣法制局や文部省は、数次にわたり、表記の指針や具体的な表記例を公表している。あるいは、新聞や放送等の分野では、国語施策にもとづき、独自の用字規則をつくり、用字用語集を作成して、その実現に努力してきた。さらには、一部の国語辞典や用字用語



辞典等では、編者の判断による標準的な表記形式をかかげるものも存在した。しかしながら、それらは、かぎられた分野のもので、かならずしも一般の社会生活にまで拘束力をもつものではなかった。また、それぞれのあいだで標準とする形式には、異同のみられるものがすくなくなかった。

さらに、近年にいたって改定された国語施策は、基本的な性格として、戦後の施策の制限的な色彩をゆるめようとするものであり、表記形式を統一する方向からは後退したとみななければならない。たとえば、「送り仮名の付け方」(1973)は、本則のほかに許容をみとめ、公用文等では、許容のおくりかたを標準としているばあいがある。また、「常用漢字表」(1981)は、一般の社会生活において、現代の国語をかきあらわすばあいの漢字使用の「目安」をしめすものであるとされ、各種専門分野や個々人の表記は対象外とされている。

ところで、1960年代から開発がはじめられた、電子計算機による日本語の情報処理は、最近めざましい進歩をとげ、すでに一部は実用段階にはいつている。また、そのための入出力機器も開発され、文章作成や印刷の方法に、おおきな変革がおころうとしている。あるいは、外国人に対する日本語教育の普及ということも近年の話題であり、日本語の表記に対する関心は、その面からもたかまっている。

このような分野で必要とされるのは、統一的で理論的なうらづけをもった、合理的な表記形式である。いくつかの形式のうち、どれをえらんでもあやまりではないというような寛容さは、この分野ではかえって伝達・習得上のさまたげであり、非効率的といわなければならない。できれば、ある語の表記形式がひとつにさだまるような、いわゆる正書法的な表記が要望されているのである。

しかしながら、上述したように、日本語における正書法的な表記を確立するところみは、これまでの努力にもかかわらず、十分な成果を獲得したとはいえない。むしろ、そのための努力がいささか性急であるとの理由で、それに反発する空気さえ感じられる。そのような空気と情報処理の分野などの動

向とは、相矛盾するものである。その矛盾を解消する方法を慎重に模索する段階に、いまは、いたっている。

そのためには、基礎的な調査・研究が必要である。これまでにも、本研究所では、日本語の表記の実態や国民の表記意識をとらえるために、いくつかの調査をおこなってきた。しかし、現況では、それをさらに一步すすめて、表記のゆれの実態、それを可能にする日本語の性格、そして、それに対する国民の表記態度などの分析に焦点をあわせた研究が必要であるとかんがえられる。この報告書の基礎となった調査・研究は、このような意図からおこなわれたものである。

### 1. 1. 3. 本研究のねらい

本研究の一般的な目的は、以上にのべたとおりであるが、研究の開始にさきだっては、具体的には、つぎのような目標を設定した。

(1) 表記のゆれや誤用は、どのような語にあらわれ、どのような類型があるか。

(2) 表記のゆれや誤用は、どのような要因によってひきおこされ、それは表記主体の表記意識とどのようにかわるか。

(1)は、(2)の項目の基礎となるもので、国語辞典等から問題になる語を採集して、それを分類・整理することを第一段階とした。また、実際の文章から、ゆれや誤用の例を採集し、その分析をおこなうことを目的とした。

(2)は、ゆれのおこりやすい語について、質問紙法による調査票を作成し、一般国民がそれに対してどのような反応をしめすかを分析することをねらいとした。すなわち、表記においてどのような個人差が生ずるか、また、個人の内部における意識や態度がどのようにゆれているかをとらえることを、直接の課題とした。

上記の目的を達成するための調査を、以下では、(1)については基礎調査、(2)については意識調査とよぶ。この報告書は、基礎調査の結果については概略をのべるにとどめ、意識調査の分析・記述に主眼をおいたものである。

## 1.2. 研究の経過

### 1.2.1. 調査の手順および分担

この研究は、特別研究「現代表記の多様性の実態と表記意識に関する調査研究」として、1977年度から79年度にかけておこなわれたものを中心とする。その後、1980年度からは、経常研究「現代の文字・表記の研究」の一部として、ひきつづき研究がおこなわれ、本1982年度に報告書の完成をみたものである。

77年度および78年度は、基礎調査を中心として実施した。意識調査は、78年度からはじまり、79年度までに質問紙法による集合調査を終了した。80年度と81年度は、集合調査の集計と分析にあてた。そして、82年度には、報告書原稿の執筆をおえた。

調査研究を担当したのは、言語計量研究部第二研究室で、構成は下記のとおりである。

言語計量研究部	部長	斎賀秀夫
同第二研究室	室長	野村雅昭
	研究員	佐竹秀雄
	研究補助員	兼子弘美（旧姓大滝、77年度まで）
		松浦美恵子（旧姓小原、78年度から）

斎賀は、本研究の企画立案者となるとともに、本研究の遂行に必要な指導助言をおこなった。野村は、研究の進行管理にあたるとともに、基礎調査を担当した。佐竹は、調査の全般にわたって業務を担当するとともに、この報告書の中心となる意識調査の分析をうけもった。松浦は、調査の集計、分析のためのデータ作成、報告書刊行のための庶務などで、作業をたすけた。そのほか、所外のアルバイト十余名が臨時に従事した。

報告書の執筆分担は、下記のとおりである。

## 第1章 野村

### 第2章 第1節～第2節 野村, 第3節 斎賀

## 第3章 佐竹

### 1. 2. 2. 基礎調査の概要

基礎調査の主眼は、表記にゆれのある語例の採集とゆれの類型の分類とにある。具体的な内容としては、下記の5項にわたって調査をおこなった。

#### (1) 国語辞典等からの語例の採集

国語辞典等で、表記にゆれや誤用のある語のしめしかたがどのようになっているかが一覧できる台帳を作成するため、下記の8種類の小型国語辞典および用字用語辞典を対象として、語例の採集をおこなった。小型辞典をえらんだのは、中型ないし大型辞典にくらべて、現代語の標準的な表記ということへの注意がよくはらわれているためである。

岩波国語辞典（岩淵悦太郎他編，岩波書店，第2版，1971年）

角川国語辞典（佐藤謙三他編，角川書店，新版，1969年）

講談社国語辞典（林大他編，講談社，増補版，1971年）

三省堂国語辞典（見坊豪紀他編，三省堂，第2版，1974年）

新選国語辞典（大石初太郎他編，小学館，新版，1973年）

新明解国語辞典（山田忠雄他編，三省堂，第2版，1974年）

NHK用字用語辞典（日本放送協会編，日本放送出版協会，第2版，1973年）

新聞用語集（新聞用語懇談会編，日本新聞協会，改定版，1976年）

1973年には、「当用漢字音訓表」の改定がおこなわれた。このなかには、それ以前の刊年のものもあるが、語例の採集は、調査がおこなわれた1977年に入手できる最新のものをえらんだので、音訓表の改定によるてなおしは、すべてすんでいる。

実際の作業としては、『新聞用語集』所収の「用字用語集」にある見出し語（約2,000項目）につき、各辞典の表記がどのようになっているかが一覧

できる台帳およびカードを作成した。それについては、「2.1.2.表記のゆれの判定」(15ページ)でふれる。

## (2) 法令用語・公用文の表記例の採集

法令用語および公用文における表記のあつかいをみるために、下記の5種の資料から語例を採集した。語例は、カードのかたちにして一覧できるように整理した。総数は、約4,000項目である。

法令用語改正要領(内閣法制局, 1954年)

法令における当用漢字の音訓使用及び送り仮名の付け方(内閣法制局, 1973年)

公用文作成の要領(国語審議会, 1953年)

文部省用字用語例(文部省, 1973年)

文部省公用文送り仮名用例集(文部省, 1973年)

## (3) 雑誌の表記の調査

現代雑誌九十種の用語・用字調査〔文献A〕の台帳にもとづき、表記のバラエティが登録できるファイルを電子計算機内にそなえるため、約43,000項目を入力した。また、1977年度に刊行された、月刊誌160種、週刊誌33種から、問題になる語例を若干補充した。

後者については、文章を7種の分野にわけ、計196件(約35万字)のデータを入力し、表記のゆれの基盤となる文章の差異を量的構造としてとらえるところみをおこなった。その結果は、〔文献f<sub>3</sub>〕に発表した。

## (4) 新聞の表記の調査

新聞の用字については、1976年に漢字についての報告〔文献D〕をおこなったのち、語表記については、〔文献d<sub>2</sub>, d<sub>3</sub>〕の報告をしたのみで、全体的な報告はおこなっていなかった。その後、本研究と並行しておこなった「文字・表記の体系的記述のための基礎的研究」で、新聞調査の語表記台帳の作成が完了した。本研究では、1980年度から、同台帳をもちい、表記にゆれのある語のリストを作成した。「付表-1 新聞における語表記のゆれ一覧」(130ページ)がそれである。これにもとづいておこなった表記のゆれのタ

イブの分析は、「2.2. 新聞の表記におけるゆれの分析」(33ページ)に詳述した。

このリストは、漢字調査の対象とした短単位語(異なり一約45,000語, 延べ一約1,100,000語)のうち, 人名・地名, 数詞をのぞく, 異なり約34,000語, 延べ一約780,000語を対象として作成したものである。付表-1には, 異なり一4,878語, 延べ一278,604語をかかげた。

各見出し語には, それぞれの表記形と使用度数をしめしたが, それについて注意を要すべきことがある。その第一は, 使用度数は表記形についてしめたものであり, 見出し語形の使用度数を意味していないことである。漢字調査の報告では, 各漢字ごとに, その漢字をもちいて表記した語例をかかげ, 見出し語の使用度数10以上の語には度数を付してあるが, 以上のような理由から, かならずしも両者の数値が一致しないものがある。第二は, 漢字調査の対象と語表記調査の対象となった記事の範囲に多少の差異があることである。漢字調査では, 各種表や案内広告のすべてを対象外としたが, 語表記調査では, そのなかから一般の文章形式をとっているものを範囲にふくめ, 語例をおぎなった。利用にあたっては, その点に留意されたい。

#### (5) 広報紙の誤用の調査

実務的な文章における実態をとらえるため, 全国各都道府県の市区町村の広報紙171紙(町村部88紙・都市部83紙)を対象に, 主として誤用例の採集をおこなった。対象としたのは, 76年(85紙)と77年(86紙)の2年分である。採集した語例は, 約1,000語である。この分析の結果は, 「2.3. 広報紙の表記における誤用の分析」(46ページ)に詳述した。なお, 資料の入手については, 社団法人日本広報協会の協力をえた。

### 1.2.3 意識調査の概要

意識調査は, 1978年度に着手した。調査の主眼は, 一般成人の表記意識をとらえることにあり, 調査票の作成と被調査者の確定とが重要な事項となった。それらについては, 1977年度に完了した, 文部省科学研究費一般研究

「現代の漢字使用の実態と意識に関する計量言語学的研究」の一部としておこなった調査〔文献E〕が、準備調査的な役割をはたした。

同調査は、宮城・東京・静岡・岐阜の各地で、一般成人約440名を対象におこなったもので、それからは、つぎのことがあきらかになった。

- (1) 表記のゆれは個人差がおおきだけでなく、個人の内部においても、文脈や場面による差が存在する。
- (2) 被調査者の属性のうち、職業の一致が調査項目に対する反応の一致と相関性がたかい。
- (3) 質問の形式のうち、一定量の文章を、漢字カナまじり文になおす作業は、かなり負担を感じさせる。
- (4) 表記にゆれのある語のうち、特定の形式を選択する理由は、なんの指示もあたえないばあいには、表現が困難のようである。

以上の結果から、被調査者としては、集団としてとらえやすい、教員・学生・主婦の3グループに中心をおくこととした。また、質問票の形式は、なるべく選択肢をもちいる形式により、回答理由を明確化するようにした。

1978年度には、つぎの集合調査をおこなった。集合調査の実施には、斎賀、野村、佐竹の3名があたった。

文化庁・山形大学・山形県教育委員会主催「国語問題研究協議会（東日本地区―天童市）」に参加した教員（236人）……9月26日

文化庁・香川大学・香川県教育委員会主催「国語問題研究協議会（西日本地区―高松市）」に参加した教員（204人）……10月11日

松江市立古江小学校（岡正校長）の父兄（81人）……11月19日

松江市立白潟小学校（花谷静夫校長）の父兄（64人）……11月20日

松江市立母衣小学校（秋利正雄校長）の父兄（36人）……11月27日

島根大学教育学部の学生（90人）……11月21日

つづいて1979年度には、つぎの集合調査をおこなった。

松山市立御幸中学校（河野博校長）の父兄（182人）……11月26日

愛媛大学教育学部の学生（127人）……11月28日

これらの調査の実施にあたっては、上記の各機関・各位のほか、松江市教育委員会、松山市教育委員会、島根大学教育学部北恭昭教授、愛媛大学教育学部柳田征司助教授にお世話をいただいた。記して感謝の意を表する。

この調査の集計・分析は、80—81年度におこなった。その結果は、「3. 表記意識の分析」(69ページ)に詳述した。また、集計表の一部は、「付-2 意識調査の基本集計一覧」(237ページ)にかかげた。

### 1.3. 参考文献

日本語の表記および正書法に関する文献はおおいが、ここには主として本研究所の報告書、および、それに掲載された論文、ならびに、本調査研究に直接関係した論文をかかげる。そのほかは、参考程度にとどめた。

#### <報告>

- A. 国立国語研究所報告22『現代雑誌九十種の用語用字(2)―漢字表一』(1963.3)
- B. 国立国語研究所報告29『戦後の国民各層の文字生活』(1966.3)
- C. 国立国語研究所報告40『送りかな意識の調査』(1971.3)
- D. 国立国語研究所報告56『現代新聞の漢字』(1976.2)
- E. 文部省科学研究費一般研究A報告『現代の漢字使用の実態と意識に関する計量言語学的研究』(国立国語研究所言語計量研究部, 研究代表者 斎賀秀夫, 1979.2)

#### <論文等>

- a<sub>1</sub>. 斎賀秀夫「現代人の漢字意識」(『変わる日本語 現代語は乱れてきたか』, 講談社, 1981.11)
- a<sub>2</sub>. 斎賀秀夫「日本語の正誤(1)~(8)」(『広報』271~278号, 1976.5~12)
- b. 渡辺友左「文字の使い方に関する市民の意識の一つの実態」(『計量国語学』28号, 1964.3)
- c<sub>1</sub>. 宮島達夫「和語の漢字表記」(『教育国語』23号, 1970.12)
- c<sub>2</sub>. 宮島達夫・高木翠「外来語の表記の変化とゆれ」(『計量国語学』71号,



1974. 12)

- c<sub>3</sub>. 宮島達夫・高木翠「雑誌九十種資料の漢語表記」(国研報告62『研究報告集1』, 1978. 3)
- d<sub>1</sub>. 土屋信一「送りがなの『ゆれ』を考える」(『言語生活』228号, 1970. 9)
- d<sub>2</sub>. 土屋信一「新聞における漢語のまぜ書き表記について」(国研報告54『電子計算機による国語研究VII』, 1975. 3)
- d<sub>3</sub>. 土屋信一「現代新聞の片仮名表記」(国研報告59『電子計算機による国語研究VIII』, 1977. 2)
- e<sub>1</sub>. 野村雅昭「漢字かなまじり文の文字連続」(国研報告46『電子計算機による国語研究IV』, 1972. 3)
- e<sub>2</sub>. 野村雅昭「表記のゆれ」(『佐伯梅友博士喜寿記念国語学論集』, 表現社, 1976. 12)
- e<sub>3</sub>. 野村雅昭「表記のユレの数量化」(『計量国語学』11-1号, 1977. 6)
- e<sub>4</sub>. 野村雅昭「週刊誌のカタカナ表記語」(『馬淵和夫博士退官記念国語学論集』, 大修館, 1981. 7)
- e<sub>5</sub>. 野村雅昭「和語のカナ表記」(『言語生活』359号, 1981. 11)
- f<sub>1</sub>. 佐竹秀雄「表記のゆれを測る」(国研報告59『電子計算機による国語研究VIII』, 1977. 2)
- f<sub>2</sub>. 佐竹秀雄「『表記の「ゆれ」の尺度』について一野村雅昭氏の発表を聴いて一」(『計量国語学』80号, 1977. 3)
- f<sub>3</sub>. 佐竹秀雄「表記行動のモデル化(国語学会昭和52年度春季大会要旨)」(『国語学』110号, 1977. 9)
- f<sub>4</sub>. 佐竹秀雄「表記行動のモデルと表記意識」(国研報告67『電子計算機による国語研究X』, 1980. 3)
- f<sub>5</sub>. 佐竹秀雄「各種文章の字種比率」(国研報告71『研究報告集3』, 1982. 3)

<その他>

(講座等)

- 1. 国語教育のための国語講座3『表記法の理論と教育』(朝倉書店, 1958. 7)
- 2. 続日本文法講座2『表記編』(明治書院, 1959. 8)
- 3. 講座・正しい日本語3『表記編』(明治書院, 1971. 5)
- 4. 新・日本語講座1『現代日本語の単語と文字』(汐文社, 1975. 4)
- 5. シンポジウム日本語4『日本語の文字』(学生社, 1975. 3)
- 6. 岩波講座・日本語8『文字』(岩波書店, 1977. 3)

7. 現代作文講座 6『文字と表記』(明治書院, 1977. 4)
8. 講座・日本語学 6『現代表記との史的対照』(明治書院, 1982. 5)
9. 覆刻 文化庁国語シリーズⅦ『表現・表記』(教育出版, 1974. 3)
10. 文化庁国語課編「ことば」シリーズ 3・5・7・9・11・13・15・17  
『言葉に関する問答集』1～8 (1975～1982)
11. 文化庁国語課編「ことば」シリーズ16『漢字』(1982. 3)  
(単行本)
12. 小泉保『日本語の正書法』(大修館, 1978)
13. 樺島忠夫『日本の文字―表記体系を考える―』(岩波書店, 1979)
14. 武部良明『日本語表記法の課題』(三省堂, 1981. 6)  
(雑誌・特集)
15. 言語生活46号『片かなと平がな』(1955. 7)
16. 言語生活53号『日本語の表記法』(1956. 2)
17. 言語生活80号『送りがな』(1958. 5)
18. 言語生活89号『これからの送りがな』(1959. 2)
19. 言語生活102号『ことばの正しさ』(1960. 3)
20. 言語生活228号『現代表記を考える』(1970. 9)
21. 言語生活289号『現代の誤字・「娛」字・「感」字』(1975. 10)
22. 言語 4 巻 9 号『日本語の正書法』(1975. 9)
23. 言語 6 巻 8 号『漢字と日本人』(1977. 7)  
(上記の講座・単行本・雑誌以外に収録されている論文・報告)
24. 浜田敦「ゆれ」(『国語国文』31巻6号, 1962. 6)
25. 小泉保「日本語と正書法」(『文学』49巻9号, 1981. 9)
26. 西谷博信「表記のゆれ」(1)・(2) (『文研月報』32巻1・3号, 1982. 1・3)

## 2. 表記のゆれと誤用の分析

### 2.1. 語表記のゆれ

#### 2.1.1. 表記のゆれのレベル

これまで、この報告書では、「表記のゆれ」ということと、「語表記のゆれ」ということを、ほぼおなじ意味であつかってきた。しかし、厳密に言えば、両者は区別される。後者は、前者にふくまれる概念であり、表記のゆれといわれるものには、種々のレベルのものが存在する。野村〔文献<sub>e2</sub>〕は、表記のゆれを、つぎの4種に分類している。

- (1) 文字のレベルでのゆれ
- (2) 語のレベルでのゆれ
- (3) 文のレベルでのゆれ
- (4) 文章のレベルでのゆれ

たとえば、／ニワニハタケガアル／という音列を表記した、①～③の文字列があるとする。

- ① 庭に、はたけがある。
- ② 庭に「はたけ」がある。
- ③ 庭に畑がある。

この①～③の文字列は、／ニワニハタケガアル（庭には竹がある）／という音列とのまぎれを解消している点では、おなじ機能をもつといえる。ただし、①と②を比較すると、それぞれの文の構成要素となっている語の表記形式には、まったくちがいが無い。すなわち、語のレベルでのゆれは存在しない。ここにみられる読点の使用(①)とカッコの使用(②)との対立は、文のレ

ベルのゆれに属するものである。それに対して、①と③、および、②と③では、／ハタケ／という語の表記形式がことになっている。すなわち、語のレベルでのゆれが、このばあいには存在する。

／タンケン／という語は、／探検／または／探険／と表記される。これは、語のレベルでのゆれである。これに対して、／学校／と／學校／の対立は、文字のレベルでのゆれである。前者の／検／と／険／の対立は、一般に／タンケン／という語においてのみみられるものである。／保<sup>x</sup>検／、／<sup>x</sup>険査／のような表記は誤用とされる。ところが、／学／と／學／の対立は、／ガク／あるいは／まなぶ／などの言語単位をふくむ語のすべてに存在する可能性がある。このような字体の差異による対立は、文字のレベルに属する。／家／と／家／、／公／と／公／のような字形のゆれは、純粹に「文字のゆれ」であって、「文字のレベルのゆれ」すなわち「表記のゆれ」ではない。

文章のレベルのゆれは、改行のしかたや文字列の方向（ヨコガキとタテガキ）などでみられるものである。もっとも、まったく同一の文章がこのような点で対立するというとらえかたはしにくいから、一般には表記のゆれと意識されることはすくない。

表記のゆれは、このように種々のレベルで実現する。そのうち、量的にもっともおおく、また問題となるのは、語のレベルでのゆれである。以下では、それを語表記のゆれとよぶ。また、単に表記のゆれというばあいも、注釈のないかぎりには、語表記のゆれのことをさすものとする。本研究および本報告書で対象とするのは、もっぱら、この語表記のゆれである。

### 2.1.2. 表記のゆれの判定

表記のゆれにおける語表記のゆれは、以上のように位置づけられる。しかし、実際に語表記のゆれを分析しようとするとき、そのなかには種々の性質のものが混在し、なにが語表記のゆれであるかという基準をもうけるのは、かならずしも容易ではない。われわれが調査の開始にさきだって、語表記にゆれがあると認定する基準としてもうけたのは、つぎのようなものであった。

- (i) 同一の見出し語に属する単位語がことなる文字列から構成されること

ここで、単位語、見出し語というのは、用語調査等における、つぎのような操作的な定義をいう。

単位語……実際の文脈に出現し、一定の規則により分割された単位

見出し語…意味上また形式上、同一のものとみとめられる単位語の集合  
たとえば、実際の文脈から採集された単位語〔ヤハリ（やはり）〕と〔ヤハリ（矢張）〕は、同一の見出し語／ヤハリ／に属する。したがって、この見出し語は、／やはり／と／矢張／という、ことなる文字列からなる単位語をふくむことになり、表記にゆれをもつ見出し語ということになる。

ところが、この定義が不十分なものであることは、つぎのようなばあいにあきらかとなる。たとえば、単位語として〔ヤハリ（やはり）〕と〔ヤッパリ（やっぱり）〕の2形しか出現しなかったとして、作業規則ではこれらを同一の見出し語／ヤハリ／に所属するものとする。そのばあいに、／やはり／と／やっぱり／という文字列の構成には異同が存在するから、ここにも表記のゆれが存在することになる。これは、表記のゆれの認定上、ぐあいがわるい。なぜならば、これは語形のゆれであるからである。

あるいは、活用語に関して、つぎのような問題がある。〔カク（書く）〕と〔カイト（書いた）〕のような活用形の対立は、見出し語のレベルで、／カク（書く）／→／書く／に統一される。ただし、〔シンズル（信ずる）〕と〔シンジル（信じる）〕のような対立が存在すると、うえとおなじく、見出し語のレベルで／信ずる／と／信じる／という、みかけの表記のゆれがうまれる。

そこで、第二段階として、つぎのように修正した。

- (ii) 単位語の表記形から帰納される、見出し語の表記形に、文字列の構成上の異同があること

たとえば、単位語として〔ヤハリ（矢張）〕と〔ヤッパリ（やっぱり）〕の2形が出現し、見出し語／ヤハリ／に属するものとする。そのばあい、見出

し語の表記形を確定するためには、／矢張／と／やはり（←やっぱり）／の2形のうちのいずれかを選択しなければならない。このようなばあいには、語表記にゆれがあると判定するわけである。

新聞等の調査に際して、実際には、われわれは(i)の基準によって、データを採集し、そのなかから、(iii)の基準にはずれるものをのぞくという手順をとった。しかし、個々の事例にあたると、問題になるものはすくなくなかった。以下に項目別に具体例をしめす。

#### 【表記のゆれと語形のゆれ】

／ヤハリ／の例にみられるように、語形のゆれは、カナなどの表音文字をもちいたばあいは、表記のゆれと混同されやすい（漢字をもちいるばあいは、／キョウソン（共存）／と／キョウゾン（共存）／のように、表記のレベルでは対立は解消してしまう）。そのような例として、／ムズカシイ／のばあいをとりあげることにする。

新聞の調査では、／ムズカシイ／という見出し語の表記形として、第一段階では、つぎの5形が採集された。

／難しい／、／ムズかしい／、／むずかしい／、／むづかしい／、  
／むつかしい／

見出し語形を／ムズカシイ／とすると、／むつかしい／をどのように処理するかが問題であった。結果としては／むつかしい／は／むづかしい／で代表させることとした。かりに、／むづかしい／という表記形が出現していなかったとしても、同様の処置をとったはずである。

このばあいには、あえてこのような処置をとらなくても、／むつかしい／をそのままゆれの一種と認定してもよいのではないかという、かんがえかたもある。しかし、つぎにのべる外来語の表記については、このような原則をはっきりとさせないと、表記のゆれと語形のゆれが無秩序に混在するおそれがあった。

もともと、外来語は、語形（発音）が不安定であり、表記法に、カナヅカイやオクリガナに準ずるような規則がない。教科書、新聞、放送等では、一

定の方針をたててはいるが、かならずしも一貫していない。したがって、みかけの表記のゆれは、きわめて出現しやすい。そのなかで、純粋に表記のゆれとみられるのは、つぎのような例である。

- (1)  $\begin{pmatrix} \text{アルミニウム} \\ \text{アルミニウム} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{スペシャル} \\ \text{スペシャル} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{バイオリン} \\ \text{ヴァイオリン} \end{pmatrix}$

これらの表記形のうち、下段の表記形の支持者のなかには、上段の表記形とは発音がことなることを理由とするものがあるかもしれないが、一般には表記のゆれとみてよいであろう。

ところが、つぎのような例になると、純粋な表記のゆれか語形のゆれかの判定はむずかしくなる。

- (2)  $\begin{pmatrix} \text{アイデア} \\ \text{アイディア} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{ファンデーション} \\ \text{ファウンデーション} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{ミックス} \\ \text{ミクス} \end{pmatrix}$

さらに、つぎのような例は、語形のゆれが表記に反映しているとみるほうがあっているとかがえられる。

- (3)  $\begin{pmatrix} \text{クロス} \\ \text{クロース} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{サファイヤ} \\ \text{サファイア} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{フェルト} \\ \text{フエルト} \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} \text{ベッド} \\ \text{ベット} \end{pmatrix}$

この調査では、厳密には(1)に属するもののみを表記のゆれとかがえた。ただし、(2)ないし(3)に属するものでも判定のむずかしいものは、(1)に準じてあつかい、付表-1 (130ページ) にはかかっている。

### 【多義語と同音類義語】

このようにつづきで表記のゆれを認定しようとするとき、問題になるのは、見出し語という概念の定義のしかたである。前段では、語形の問題をとりあげたが、語形とともに意味のとりあつかいかたが重要となる。なぜならば、ある見出し語のもとで表記のゆれが観察されても、それが意味の差に対応してかきわけられていたとすると、それは別語である可能性があるからである。すなわち、多義語の内部における表記のゆれか、同音類義語における表記の対立——ゆれは存在しない——かということである。

この問題は、実は難問であって、だれにでも共通する基準をたてるのはむ

ずかしい。われわれは、この調査では、その基準を用語調査にもとめたが、部分的には修正したところもある。また、一般の国語辞典等でも、その基準は、かなりゆれているとみられる。

以下では、基礎調査で対象とした辞典類（7ページを参照）で、この種の語がどのようにあつかわれているかをみる。まず、『新聞用語集』で別語としている漢語が、他の7種の辞典では、どのようになっているかをしめす。

7種とも別語のあつかいをしているものには、つぎのようなものがある。

異常 || 異状    解放 || 開放    鑑賞 || 観賞    競争 || 競走  
興行 || 興業    重傷 || 重症    清算 || 精算    専有 || 占有  
保証 || 保障    野生 || 野性

これらの語は、いずれも別語と意識されることがおおいであろう。このなかで、われわれが同語すなわち表記のゆれと認定したのは、「鑑賞 || 観賞」のひとくみだけである。

新聞用語集で別語としている漢語で、辞典によってあつかいがちがうものには、つぎのものがある。A～Gは、7種の辞典類の略号である。|| は、別見出しの表示である。①, ②, …は同一の見出し語内部の区分である。〔 〕は標準的な表記と区別してしめされているもの、および、〔××とも〕のように表記されているものである。「甲・乙」のような表示は、同一の見出し語に両形が区別なしに併用されることを意味する。

- (1) 修正 || 修整    正 || 整…B～G, ①正・②整…A
- (2) 首席 || 主席    首 || 主…A～E・G, ①首・②主…F
- (3) 作成 || 作製    成 || 製…B～E・G, ①成・②製…A・F
- (4) 特徴 || 特長    徴 || 長…B～G, 徴・長…A
- (5) 意志 || 意思    志 || 思…A・B・D～G, 志・思 || 思…C
- (6) 名月 || 明月    名 || 明…B・C・E・G, 名・明 || 明…D,  
名〔明〕 || 明…F, ①名・明・②明…A
- (7) 偽装 || 擬装    偽 || 擬…D・E, 偽・擬…A, 偽〔擬〕…F・G,  
擬〔偽〕…C, 擬…B



このなかで、辞書によりかなりのゆれがあるといえるのは、(6)と(7)ぐらいである。(1)～(5)は、一、二の辞典のみが他とはことなるあつかいをしているだけであり、特定の辞書の姿勢が反映しているともみられる。実際に、(6)や(7)のような例は、ほとんどない。すなわち、漢語の同音類義語については、国語辞典のあつかいでは、表記のゆれは生じにくいということになる。

それに対して、和語では、かなり事情がことなる。新聞用語集で別見出しとしている語で、一般の辞書でも共通して別語としているのは、つぎのようなものだけである。

誤る || 謝る    生い先 || 老い先    表 || 面    陰 || 影    形 || 型

いくらか、それにちかいものは、つぎのようなものである。

(1)送る || 贈る    送 || 贈…B～G, ①③送・②贈…A

(2)破れる || 敗れる    破 || 敗…B～G, ①破・②破・敗…A

これらは、語源的にはことなるものもふくむが、ほとんどが同源であって、も別語意識の非常につよいものばかりである。しかし、同音類義の和語は、以下のように、辞書によってあつかいがちがうのが普通である。以下で、漢字のみぎかたにつけた ▲印は当用漢字表にない訓、×印は当用漢字表にない漢字の意味である。また、( ) は標準的な表記に対して許容的な表記を意味する。

(3)油 || 脂    油 || 脂・膏×…D, 油 || 脂 [膏×] …B・C・E,  
油 || ①脂・②脂 [膏×] …F, 油 || あぶら (脂) …G,  
油・脂・膏×…A

(4)飛ぶ || 跳ぶ    飛 || 跳…B～D・G, ①飛・②跳…E,  
①③飛・②跳…A・F

(5)捜す || 探す    捜 || 探…G, 捜 || 探・捜…D, 捜・探…A～C,  
①捜・②捜・探…E, 捜 [探] …F

(6)堅い || 固い || 硬い

堅 || 固 || 硬…B・D・G, 堅・固 || 硬…C, 堅・固・硬…A,  
①堅・②固・③硬…E,

①②⑤堅〔固〕・③④堅〔固・硬〕…F

(7)図る || 計る || 測る || 量る || 謀る || 諮る

図 || 計 || 測 || 量 || 謀 || 諮…B・D,

図 || 計 || 測 || 量 || はかる (謀) || はかる (諮) …G,

図〔慮<sup>▲</sup>〕 || 計 || 測・量 || 謀 || 諮…C,

図 || ①計・②測・③量 || 謀 || 諮…E,

①②計〔測〕・③計〔諮〕・④計〔図・謀〕・⑤計〔謀〕…G,

①②図・計・測・量・③図・計・測・量〔諮〕・④⑤図・計・測・量  
〔謀〕…A

和語の同音類義語についてのこのような実態は、ゆれの判定における見出し語の認定のしかたにおおくの困難を予想させる。ただし、正確を期すならば、これらのうち、新聞用語集とGの放送用の用字用語辞典では、かならずしも別見出しであることが別語であることを意味しない。単に同訓異字のつかいわけをしめしているにすぎないケースもふくまれよう。

それにくらべると、A～Fの国語辞典は、個々の語についてはちがいがあがるが、かなり基本的な方針において差があるようにみえる。B・Dは、表記のちがいを別語と認定する重要な根拠としている。それに対して、A・Fは、表記の対立を多義語の意味のかきわけとして処理しようとする傾向が強い。C・Eは、その中間にある。

そのどれが国語辞典のありかたとして適当かということを、ここで論ずるつもりはない。しかし、表記のゆれをとらえるための基準としては、なるべくこれらを多義語としてあつかうほうが実情に即しているとかんがえられる。なぜならば、のちに新聞のゆれの分析にみるように、和語の表記において、これらはことなる漢字の対立よりも、漢字とカナの対立としてあらわれやすく、その原因が意味によるかきわけの困難さにあるとみられるからである。われわれの調査では、同根の和語は、／塩／一／潮／、／掘る／一／彫る／のような、分化が完全におこなわれたものをのぞいては、なるべく同一の見出し語に属するようにあつかっている。

### 【統一的な表記と慣用的な表記】

新聞用語集では、同音類義語や同訓異字については、つかいわけの基準をしますが、その他の語については、複数の表記形があるばあい、原則として一種の表記に限定する傾向がつよい。その根拠となるのは、法令用語や学術用語の表記法のほか、国語審議会の「同音の漢字による書きかえ」、新聞界の「統一用語」などである。また、二種以上の表記形があるばあい、慣用度のひくいものをすてるというような判断もしめしている。それらのなかには、一般社会でも、うけいれられているものもおおいが、かならずしも一致せず、ゆれの原因となっているものもある。

たとえば、法令用語にもとづく、下記の(1)(2)のような例に対する、国語辞典のあつかいは、つぎのようにになっている。

- (1) (停年) → 定年 定・停…A・B, 定・停〔法令では定〕…E,  
定〔停〕…C・G, 定〔もと停〕…D・F

- (2) (改訂) → 改定 定||訂…A～E, ①定・②訂…F, 定…G

すなわち、新聞や放送が統一的な表記を採用しても、一般社会では、両様の表記をみとめたり、別語とみとめたりしている例である。(2)についていえば、1981年の常用漢字表制定以後、新聞、放送では、両形を別語としてあつかっている。)

新聞界が統一用語として採用した表記形については、つぎのようなゆれがみられる。

- (3) (差違) → 差異 異・違…A・E, 異〔違〕…F, 異…B～D, G

- (4) (雨季) → 雨期 期・季…A～E, 季〔期〕…F, 期…G

- (5) (年輩) → 年配 配・輩…A・B・D・E, 配〔輩〕…C・F・G

- (6) (規準) → 基準 基||規…B～D・F, 基・規…A・E, 基〔規〕…G

新聞用語集で慣用度がひくいとしてとらなかった表記のなかにも、国語辞典では、見出し語の表記としているものがある。

- (7) (真紅) → 深紅 深・真…A・B・D・E, 深〔真〕…C・G,  
真〔深〕…F

(8) (探險) → 探検 検・險…A～E, 検〔險〕…F・G

(9) (適確) → 的確 的 || 適…C・D, 的・適…B, 的〔適〕…A・E～G

(10) (目差す) → 目指す 指・差…B・D, 指〔差〕…G, 差〔指〕…F,  
指…C, 差…A, さす〔指・差〕…E

そのほか、当用漢字表にない漢字をふくむ語は、いいかえたり、同音の漢字でかきかえたりするばあいがある。それについても、新聞や放送の方針と国語辞典類では、あつかいがことなるばあいがある。

(11) (諷×刺) → 風刺 風・諷×…A・D, 風〔諷×〕…B・C・E・G,  
諷×〔風は代用〕…F

(12) (波瀾×) → 波乱 乱・瀾×…D, 乱〔瀾×〕…B・C・G,  
瀾×〔乱は代用〕…F, 瀾×…A・E

このような状況は、表記のゆれのとらえかたにおける見出し語の概念が不統一であることを意味するばかりでない。漢字をもちいる表記において、正書法的な基準をもうけること、および、その実行のむずかしさをしめしている。前項でとりあげた同音類義の漢語については、比較的ゆれがみられなかった。しかし、(1)～(12)のほとんどは漢語であり、和語だけでなく漢語の表記においてもゆれが生じやすいことがあきらかである。

#### 【誤用とゆれの関係】

表記のゆれのなかには、誤用をふくまないのが普通である。「専門」を「専門<sup>×</sup>問」としたばあい、それをあやまりとするのは、現代では一般的な通念である。しかし、誤用にはその生ずる一般的な原因が指摘できるし、類型も存在する。そして、そのなかには、慣用的な表記として、本来の表記と対立関係を構成するものも、うまれてくる可能性がある。

たとえば、前項(9)の〳〵適確〳〵は、第二次大戦前の辞典類にはない表記形である。〳〵的確〳〵とはまったく別個に造語されたという可能性は否定できないが、おそらくは〳〵的確〳〵の誤記ないしはあて字から定着したものであろう。また、〳〵応対〳〵を〳〵応待〳〵とするのはあやまりだとする、一、二の辞典がある。しかし、〳〵応待〳〵は漢籍に典拠のある語であり、わがくにの文章のなか

では、ふるくから、／＼対応／＼とのあいだにゆれを構成していたものである。

新聞用語集では誤用としているが、国語辞典では別のあつかいをしているものには、つぎのようなものがある。

- (1) (卒<sup>x</sup>直) → 率直 率・卒…B・D・E, 率〔卒〕…C・F・G, 率…A  
(2) (速<sup>x</sup>決) → 即決 即||速…B・C・E・F, ①即・②速…A, 即…D・G  
(3) (隠<sup>x</sup>謀) → 陰謀 陰・隠…D, 陰〔隠〕…F, 陰…A～C・E・G  
(4) (年<sup>x</sup>令) → 年齢 齡・令…D, 齡(令)…G, 齡〔令〕…C・E,  
齡…A・B・F

これらの例は、誤用と慣用のあいだが連続的であることをものがたる。また、用語集の1981年版では、(3)と(4)が誤用から慣用的な表記に訂正されていることも、それをうらがきしている。

誤用の一種ではあるが、語源俗解などにもとづくあて字でも、新聞の統一な表記と辞典の表記とには、ずれがある。

- (5) (寝<sup>x</sup>巻) → 寝間着

寝間着・寝巻…A・B・D

寝間着〔もと寝巻〕…C・F

寝巻〔寝間着〕…E・G (※「寝巻き」↔「寝巻」は無視。)

- (6) (戸迷<sup>x</sup>う・途惑<sup>x</sup>う) → 戸惑う

戸惑・途惑…D, 戸惑…B,

とまどう・戸惑〔途惑〕…C,

とまどう〔戸惑〕…A・E・G,

とまどう〔戸惑・途惑〕…F

このように、慣用的な表記の採用に対して、辞典類はかなり慎重で、それがゆれの要因となることもかんがえられる。また、(6)のように、あて字の表記をとるよりは、むしろ、カナ表記を標準とする姿勢が、辞典にみられるのも注目される。

#### 【語のレベルのゆれと文字のレベルのゆれ】

前項(2.1.1.)でのべたように、異体字による対立は、文字のレベルでの

ゆれであり、語表記のゆれの対象とはしない。ただし、語表記のゆれのなかにも字体の対立にちかいものがふくまれており、問題となる。たとえば、「罐」と「缶」は本来別字であり、〃罐詰〃と〃缶詰〃は、語表記のゆれであったが、常用漢字表の実施にともない、「罐」と「缶」は異体関係になり、文字のレベルのゆれに変質した。類例には〃芸術〃と〃藝術〃がある。

当用漢字表にないため、同音の漢字によってかきかえがおこなわれた、つぎの類は、該当する語例がおおいだけに、現在では、もとの字をもちいた表記との対立が一種の異体関係のように意識されている可能性がある。

兇<sup>x</sup>→凶 凶悪 凶漢 凶器 凶行 凶刃 凶暴

坐<sup>x</sup>→座 座視 座礁 座州 端座 連座

聯<sup>x</sup>→連 連繫 連合 連想 連邦 連盟 連立

熔<sup>x</sup>・鎔<sup>x</sup>→溶 溶解 溶岩 溶鋳炉 溶接

これに関連して注意を要するのは、当用漢字補正案（1954）で削除する候補となった漢字で表記する習慣のつよい語である。これらのあつかいは、常用漢字表制定以前でも、新聞・放送と一般の辞典等では、くいちがいがみられた。

(1) (箇<sup>△</sup>所・個<sup>△</sup>処)→個所

箇・個<sup>△</sup>…A・D, 箇〔個<sup>△</sup>〕…B・C・E・F, 個…G

(2) (遵<sup>△</sup>守)→順守

順・遵…B～D, 順〔遵〕…G, 遵〔順〕…F, 遵…A・E

(3) (附<sup>△</sup>録)→付録

付・附…B, 付〔附〕…C・G, 付…A・D～F

(4) (濫<sup>△</sup>用)→乱用

乱・濫…B～E, 乱〔濫〕…G, 濫〔乱〕…F, 濫…A

これらの漢字は、いずれも常用漢字表に採用されたが、新聞と放送では使用しないことを決定している。したがって、今後もゆれや対立がのこることになる。また、当用漢字表になく、あらたに常用漢字表にくわった字をふくむ、つぎの(5)(6)のような語は、ゆれの原因となることが予想される。

(5) (妄×信) → 盲信

盲 || 妄×… B・E, 盲・妄×… D, ①盲・②妄×… A,  
盲〔妄×〕… G, 妄×〔盲〕… F

(6) (磨×滅) → 摩滅

摩・磨×… A・D, 摩〔磨×〕… B・C・E～F

なお、1981年10月以降、新聞と放送は、これらの語の表記について、方針をかえている。(5)については、新聞・放送とも〳〵妄信〳〵を採用した。(6)については、放送は〳〵磨滅〳〵を採用したが、新聞は依然として〳〵摩滅〳〵を標準表記としている。

### 2.1.3. ゆれの類型と要因

語表記のゆれを、見出し語における、ことなる文字列の対立としてとらえるとき、その対立のしかたに種々のものがふくまれることは、上述の例からあきらかである。ここでは、それらの種々のパターンを、それを構成する文字列の対立という点から分類し、その要因について考察をくわえる。

すでに、佐竹〔文献<sub>f1</sub>〕は、語表記のゆれのパターンとして、以下のような3分類を基礎に整理をおこなった。

(i) 同一文字体系内での対立によるゆれ

(ii) ことなる文字体系間の対立によるゆれ

(iii) 文字と記号との対立によるゆれ

以下では、佐竹の分類をもとに、一部修正をくわえつつ、記述をすすめる。

#### 【同一文字体系内での対立によるゆれ】

(i) ことなる漢字の対立

漢字の対立によって構成されるゆれが、意味の差に対応する可能性のつよいことは前項(2.1.2.)でのべたが、それにも程度のちがいがみられる。

(1) 生長—成長 壯図—壯途 終了—修了 保障—保証 修正—修整

送る—贈る 返る—帰る 陰—影 玉—球—彈 表—面 熱い—暑い

(2) 夏期—夏季 基準—規準 過少—過小 探求—探究 表示—標示

映る—写る 越す—超す 足—脚 尊い—貴い 聞く—聴く 町—街  
(3)反復—反覆 強剛—強豪 状況—情況 交替—交代 屈服—屈伏

耐える—堪える 良い—善い—好い 嘆く—歎く 寂しい—淋しい

(1)の類は、同音類義にちかい語が大部分で、意味の差に対応するものといえよう。(2)の類は、つかいわけがあるといえはるが、明確ではない。はなしことばでは、区別されないものである。(3)は、ほとんど意味の差がなく、純粋な表記のゆれとよべる。それぞれに所属する語例は、個人によってことなるが、漢字表記の対立に、このようなレベルが存在することは、たしかである。(1)→(3)の順に、無意図的な表記のゆれが発生する率はたかくなる。また、和語では、カナ表記の率もたかくなる。逆に、(3)→(1)の順に、誤用の発生するわりあい、おおきくなる。

そのほか、(4)前項(2.1.2.)でのべた、漢字制限にともなう、同音の漢字によるかきかえにもとづく対立、(5)新旧の用字法のちがいによる対立などもみられる。これらは、ふるい用字法を積極的につかうばあいをのぞいては、無意図的なゆれとして実現することがおおい。

(4)膨張—膨脹 編集—編輯× 憶測—臆×測 食欲—食慾×

(5)試合—仕合 記念—紀念 大幅—大巾× 青い—蒼×い—碧×い

#### (ii) 漢字とカナの交用におけるカナの個数の対立

オクリガナは、和語を漢字で表記するばあいのカナの用法に関する規則である。一般に、非活用語におけるカナの有無をふくめ、オクリガナの対立は、カナの個数の差異として記述することができる。逆にいえば、漢字に対応する音列数のちがいでもある。オクリガナのゆれについては、すでに報告〔文献C〕があるので、ここでは詳述しない。

オクリガナのゆれは、量的におおく、無意図的に発生しやすいが、そのなかには、語形表示の意図の差が反映しているものがある。つぎの例では、いずれも、みぎがわの表記例のほうが語形が明確にしめされる。

オコナック(行った—行なった) アラワス(表す—表わす)

アブナイ(危い—危ない) スクナクナイ(少くない—少なくとも)



ナサケ（情一情け） サシコロシタ（刺殺した一刺し殺した）

オクリガナのゆれには、このほか、漢字によってあらわされる音列数を一定にするために、標準とされる形式とのあいだに、ゆれが生ずることがある。これは意図的なものではないが、無意識のうちに、規範的な形式と別個の法則性をもとめているものと解釈される。つぎの例で、×印をつけた形式は誤用とされるが、ひんぱんに出現する形式である。

短い<sup>×</sup>短かい 補う<sup>×</sup>一補<sup>×</sup>なう 輝く<sup>×</sup>一輝<sup>×</sup>やく 喜ぶ<sup>×</sup>一喜<sup>×</sup>こぶ

オクリガナの対立は、カナの個数のゆれであるが、これを一般化すれば、文字の個数のゆれということもできる。／千駄<sup>×</sup>ヶ谷／と／千駄谷／との対立は、カナの有無の対立とも、漢字の個数のゆれともみられる。ただし、漢字における／風／—／風邪／、／羽／—／羽根／のような対立は、前項にふくめることができるし、／てふ／—／ちょう／、／かりうど／—／かりゅうど／のような対立は、次項のカナヅカイの問題にふくまれる。そのほかには、漢字の個数のちがいが語形表示にかかわるものとしては、数詞のくらいどりの有無による対立がある程度である。

一三八 一百三十八 二〇六五 一千六十五

### (iii) 表音文字列におけることなる文字の対立

この項にふくまれるのは、(1)いわゆるカナヅカイの対立、(2)外来語表記の対立、(3)ローマ字表記の対立の3種である。いずれも、同一の音（音列）に複数の種類の文字（文字列）が対応することによって生ずるものである。したがって、広義のカナヅカイあるいは文字づかいとして総括される。以下にそれぞれの例をしめす。

(1)こんにちは—こんにちわ いなずま—いなづま

わこうど—わかうど 学校へ行く—学校え行く

そのとおり—そのとうり

(2)ジ—ゼ—ズ—ゼ—ル ドライブ—ドライヴ セ—ター—セエ—タ—

(3)HUZI—FUJI TUTIURA—TSUCHIURA

ÔSAKA—OOSAKA—OHSAKA

カナヅカイの対立は、一般に語形表示の方法に関する対立としてとらえられる。音列と文字列の対応に例外をすくなくしようとするたちばと、語源の語形をなるべく保存しようとするたちばとが、あいられないときに対立がおこる。一般には、歴史的カナヅカイと現代カナヅカイとのあいだにゆれが生じやすいが、現代カナヅカイとそれに対して誤用とされるものとのあいだにも生ずることがある。例にあげた／＼へ／＼と／＼え／＼などのほか、／＼ちぢむ／＼と／＼ちぢむ／＼、／＼いう／＼と／＼ゆう／＼などの対立もそれにふくまれる。

外来語表記のゆれの原因は、ほぼ和語のばあいとおなじであるが、語形そのものがゆれているために生ずる対立を、かずおおくふくむ。ローマ字表記の対立における、日本式表記とヘボン式表記のちがいは、カナヅカイとややことなり、音韻論的なたちばと音声学的なたちばとの相異にもとづく。実際の日本語の表記としては、固有名の表記のばあいにしか、ゆれはおこりにくい。

#### 【ことなる文字体系間の対立によるゆれ】

日本語では、漢字、ヒラガナ、カタカナ、ローマ字、漢数字、アラビア数字などの複数の文字体系が併用されており、漢字以外の文字体系をもちいたときに、漢字とその文字とのあいだに、ゆれが生じやすい。くみあわせのパターンは、文字体系のかずによって決定されるが、実際にはそのくみあわせがすべて出現するわけではない。以下では、そのおもなパターンについてのべる。

#### (iv) 漢字とヒラガナの対立

漢字とカナの対立は、潜在的には語形表示の差という点で共通するが、種類の要因が存在する。ここでは、漢字とヒラガナの対立にみられる要因を分類する。

(1) ヒトトキ（一時一ひととき） アス（明日一あす）

オオゼイ（大勢一おおぜい） ウモレル（埋もれる一うもれる）

(2) (カバンを) 投げ出す（休憩後ふたたびボールを）投げだす

（式の）次第一しだい（にさむくなる） 同士（うち）一（男）どうし

(3)取る・採る・執る・捕る・撮る—とる 下・元・本・基—もと

暖かい・温かい—あたたかい 捜す・探す—さがす

(4)曖×昧×—あいまい 迂×回—う回 この頃×—このごろ

般若<sup>△</sup>—はんにゃ 潜<sup>△</sup>る—くぐる 科<sup>△</sup>白<sup>△</sup>—せりふ

(1)は、語形表示の機能がもっとも顕著なばあいである。漢字表記形が複数の語形と対応するときに、カナ表記形が一定の語形を指定することになる。

(2)は、多義語における意味のかきわけと通ずるが、文法的機能や品詞性によって、漢字とカナの対立が生ずる。副詞、接続詞、連体詞など、形式語的な性格のつよい語では、 $\parallel$ 又 $\parallel$ — $\parallel$ また $\parallel$ 、 $\parallel$ 且つ $\parallel$ — $\parallel$ かつ $\parallel$ 、 $\parallel$ 去る $\parallel$ — $\parallel$ さる $\parallel$ のような対立がうまれやすい。(3)は、同訓異字のうち、どれをもちいるか、決定できなかったり、まよったりするばあいにおこる現象である。

(4)は、当用漢字表や常用漢字表でつかわないことになっている漢字や音訓をふくむ語を、カナ表記することでおこる対立である。

そのほか、カナと漢字の対立に関して一般的な要因には、漢字でかくことばの漢字をおもいだせなかったり、しっけていてもめんどうにおもったりして、カナ表記することがある。また、それと反対に、カナ表記が普通のことばを、あえて漢字表記することによって、権威づけをおこなうようなばあいもある。

#### (v) 漢字とカタカナの対立

漢字とカタカナの対立には、ヒラガナとの対立でのべたことの大部分があてはまる。そのほかの現象としては、つぎのようなものがある。

(1)硫黄—イオウ 癌—ガン 湿疹—シッシン 雄—オス

(2)鯨—クジラ 山羊—ヤギ 桜—サクラ 春菊—シュンギク

(3)馬鹿—バカ 頑固—ガンコ 猛烈—モーレツ 駄目—ダメ

(4)瓦斯—ガス 硝子—ガラス 曹達—ソーダ 型録—カタログ

(1)は、学術用語など専門語的なニュアンスをもつものである。(2)は動植物名、(3)は俗語で、ヒラガナとカタカナの対立に関係する。(4)は、外来語のあて字とカタカナ表記との対立である。

#### (Ⅳ) ヒラガナとカタカナの対立

ヒラガナとカタカナの対立によるゆれには、漢字でかけないことばが多数ふくまれることが特徴である。漢字でかけない語には、漢字制限等によるものと、もともと漢字表記をもたないものがある。以下の(1)(2)は前者、(4)は後者、(3)はその中間にあたる。

(1)うさぎ—ウサギ えび—エビ いちご—イチゴ たまねぎ—タマネギ

(2)れんが—レンガ みそ—ミソ ふ頭—フ頭 き裂—キ裂

(3)たばこ—タバコ てんぷら—テン普拉 かぼちゃ—カボチャ

(4)でっかい—デッカイ おしっこ—オシッコ ぶらんこ—ブランコ

ごねる—ゴネル ばてる—バテル わいわい—ワイワイ さあ—サア

(1)は動植物名、(2)はカナがき語およびまぜがき語である。(3)は、語源があきらかでなくなった外来語である。(4)は俗語の類で、幼児語、擬態語、感動詞などをふくむ。これらは、ヒラガナでかいてもさしつかえないものであるが、漢字ヒラガナまじり文のなかで、よみにくさをふせいだり、特にきわだたせたりする必要から、カタカナで表記されることがおおい。すなわち、語形を強調するための目的から生じた対立である。

#### (Ⅴ) カタカナとローマ字の対立

この項にはいるものは、量的にはおおくない。(1)は単位に関するもので、(2)はその他の外来語である。

(1)キログラム—kg 60ワット—60W 500カロリー—500cal

(2)ワイシャツ—Yシャツ エックス線—X線 フォワード—FW

(1)に属するものは、ローマ字が記号的につかわれているもので、文字と記号の対立にちかい。これらは、よこがきの文章であらわれやすく、表記主体は無意図的であっても、結果的には強調の役割をはたしている。

漢字とローマ字の対立は、カタカナのばあいよりも、さらに量はすくないが、つぎのようなものがある。

平方米—平方メートル—m<sup>2</sup> 丁字路—T字路

#### (Ⅵ) 漢数字とアラビア数字の対立

この類は、もっぱら、よこがきの文章に出現する。

港区赤坂二ノ三ノ五 — 港区赤坂2ノ3ノ5

百メートル競走 — 一〇〇メートル競走 — 100メートル競走

おおくは、無意図的なゆれに属するが、強調の役割もはたしている。／四球／（しきゅう・野球用語）とのまぎれをふせぐため、／四球（よんきゅう）／を／4球／とかくことによって生ずる対立は、一種の語形表示のゆれといえよう。／零時／—／0時／の「零」を漢字とみれば、漢字とアラビア数字の対立ということになるが、漢数字にふくめてよいであろう。

#### 【文字と記号の対立によるゆれ】

文字と記号との対立は、2種類にわけられる。

#### (ix) 文字とくりかえし記号の対立

人人—人々 時時刻刻—時々刻々

かかさま—かゝさま おお—おーい

「々」は漢字の反復にもちいられるが、近年は／人びと／のような表記がおこなわれるから、そのばあいには、ヒラガナとの対立を構成することになる。長音符号は、ヒラガナとともにつかわれることは、ほとんどない。カタカナと共用される／カラア／—／カラー／のような対立は、カタカナ内部の対立とみてよい。

#### (x) 文字とその他の記号類の対立

パーセント—% 20ドル—20\$

38度10分21秒—38°10'21" 25度—25°C

この対立は、表などでおもにみられる。一般の文章にはあらわれにくい種類のものである。

以上、ゆれの類型を文字および文字体系の対立として分類し、その要因について考察した。そのなかで、ゆれの要因として指摘したことを整理してみると、つぎのようになる。

#### (1) 意味・用法の差に対応するゆれ

漢字—漢字, 漢字—カナ, ヒラガナ—カタカナ

(2) 語形表示のためのゆれ

漢字一カナ, カナーカナ (カナヅカイ, オクリガナ)

(3) 語形強調のためのゆれ

ヒラガナーカタカナ, カタカナローマ字

(4) 新旧の差によるゆれ

常用漢字一表外漢字, 新カナヅカイー旧カナヅカイ

(5) 無意図的なゆれ

ゆれの類型や要因は、以上のものだけでなく、分類のしかたによっては、さらにくわえるべきものがあるかもしれない。ここでは、語の表記要素の種類による対立と、それに対する表記主体の意図の内容から分類をおこなった。表記主体のちがいによる、個人、集団などでのゆれの類型や要因の考察については、第3章(69ページ)にゆずる。また、これらのタイプの複合タイプについては、次節(2.2.新聞の表記におけるゆれの分析)でのべる。

## 2.2. 新聞の表記におけるゆれの分析

### 2.2.1. 資料の性格

この調査で対象とした新聞のデータは、言語計量研究部がおこなった、電子計算機による新聞の語彙調査で標本として採集したものである。同語彙調査は、1966年1年間に発行された、朝日・毎日・読売の3紙1年分(朝夕刊)に出現した文章(推定約8,400万文節)を母集団としている。標本は、そこから60分の1の抽出比でとられ、約140万文節が採集された。

表記のゆれの調査で直接に対象としたのは、語彙調査と並行しておこなった漢字調査の標本約80万文節である。これは、語彙調査の標本から、各種表(番組表、株式相場表等)や案内広告(三行広告)に出現したものをのぞいた分である。ゆれの調査では、さらに、それから固有名詞(人名・地名)と数詞にもちいられたものをのぞいて、約78万短単位語(延べ語数)が対象

となった。見出し語数（異なり語数）は、約34,000である。

ここで、短単位というのは、以下のような操作的な定義にもとづくものである。それについては、以下にあげる語例、および、付表-1の語例を参照されたい。

短単位……最小単位が、ある条件をみたすかたちで結合した（または結合しない—これは0回結合とかんがえる）結合体

最小単位…現代語で意味をになっている最小の言語単位

表記にゆれのある語を抽出するてつづきについては、「2.1.2. 表記のゆれの判定」（15ページ）でのべた。「付表-1 新聞における語表記のゆれ一覧」（130ページ）には、見出し語のレベルでゆれのあるすべての語をかけた。ただし、単位形については、これが表記調査の資料であることを考慮し、例外的に1短単位語よりながいもの（例：イセエビ、於いて等）を見出し語にしたものもある。また、外来語については、語形のゆれに属するものもふくまれている。さらに、助詞・助動詞については、漢字調査とおなじく、対象からはのぞいてある。記号類も、対象からのぞいた。

調査の対象となった新聞が発刊された1966年は、第二次大戦後における日本語の表記の歴史のうえで、つぎのように位置づけられる。すなわち、それは、1946年の「当用漢字表」をはじめとする一連の国語施策が一段落し、定着した時期であった。1954年の「当用漢字補正案」および1959年の「送りがなのつけ方」に対するあつかいは、各新聞社により、多少のちがいはあったが、いずれにしても、当用漢字表を基盤とする表記法がもっとも安定していた時期であることは否定できない。

その後、1973年に「改定当用漢字音訓表」と「改定送り仮名の付け方」が施行され、一部修正がおこなわれた。そして、1981年には、「常用漢字表」が公布され、「当用漢字表」の時代に終止符がうたれた。新聞界では、それに対する独自のとりきめ（常用漢字の一部不使用、表外漢字の一部使用等）をおこない、現在にいたっている。したがって、以下で報告する新聞における表記の実態は、いまの新聞表記の実態とちがっている可能性がある。

しかしながら、以下にのべるように、ここで対象とする表記のゆれの現象については、量的にはともかく、その質的な面には、それほどの変化は生じていないとみられる。なぜならば、漢字表による字種の制限や音訓の制限によって、カナ表記されていた語が現在は漢字表記されるようになっていくというような事態がかんがえられるにせよ、量的には、ほとんど問題にならない。また、漢字で表記できる語がかならず漢字でかかれているわけではなく、その傾向は現在もかわっていないとみられる。あるいは、オクリガナのつけかたにしても、本則とされるものにそれほど異同はなく、ゆれの種類は、1966年当時とほとんどかわりがないといつてよい。

以上の点から、これからのべる結果は、第二次大戦後の日本語の表記、すくなくとも新聞の表記における、ゆれの実態を反映しているものとかんがえられる。ただし、その解釈については、当時の表記法のわくぐみということを十分に考慮する必要がある。

## 2.2.2. ゆれの類型の分類

調査対象となった見出し語（短単位語）34,477語のなかで、表記にゆれがあると判定した語は、4,916語である。したがって、約14パーセントの見出し語について、ゆれの現象が観測されることになる。表音文字をもちいる言語について、このような統計があることをしらないが、おそらくはるかにひくいわりあいではしか出現しないであろう。また、これが、表記の統一ということには、かなり意をもちいている新聞の調査結果であることをかんがえると、一般社会における、ゆれの量は、もっとおおきいものであることが予想される。漢字とカナの対立によるゆれは、可能性としては漢語をのぞくほとんどの語に存在するからのぞくとしても、ことなる漢字による対立などは、潜在的には相当の量にのぼるとみられる。

ゆれのある見出し語は、つぎの2種に大別される。

- (1) ゆれを構成する対立のパターンが1種類のもの………3,727語
- (2) ゆれを構成する対立のパターンが2種類以上のもの……1,189語



すなわち、ゆれのある語のうち、約22パーセントが複数の対立パターンからなる複合型である。以下では、それぞれについて、ゆれの類型をしめす。

【ゆれのパターンが1種類の語】

調査データから採集された、このグループに属する語は、以下の8種に分類される。数字は、見出し語数と百分比をしめす。

ア. ことなる漢字の対立	例：特徴—特長	208 ( 5.6)
イ. オクリガナの対立	例：勝ち越し—勝越し	389 (10.4)
ウ. カナヅカイの対立	例：ひとえ—ひとへ	9 ( 0.2)
エ. 外来語の表記法の対立	例：ページ—ぺえじ	145 ( 3.9)
オ. 漢字とヒラガナの対立	例：工夫—くふう	2,134 (57.3)
カ. 漢字とカタカナの対立	例：煙突—エントツ	283 ( 7.6)
キ. ヒラガナとカタカナの対立	例：うなぎ—ウナギ	521 (14.0)
ク. 文字と記号の対立	例：国国—国々	38 ( 1.0)

このうち、クは付表-1からはのぞいてある。ただし、複合タイプの要素となっているばあいは、省略していない。

量的には、オに属するものが圧倒的におおい。ついで、キがおおく、カをふくめて、ことなる文字体系間の対立によるものが全体の約80パーセントをしめる。おなじ文字体系内の対立によるア～エは、それほどおおくない。制限範囲以外の漢字をつかわない姿勢が徹底していることのあらわれとみられる。ウは、短歌や俳句などの表記にみられるもので、量としては問題にならない。

【ゆれのパターンが2種類以上の語】

複数のゆれのパターンをふくむ語は、つぎのように分類される。このなかには、上記のク、および、上記には出現しなかった、文字と数字の対立によるもの(ケ)もふくむ。

パターンが2種類のもの	15種 (706語)
〃 3種類のもの	8種 (403語)
〃 4種類のもの	7種 ( 73語)

// 5種類のもの 3種(7語)

以下に、そのすべてのパターンと例をしめす。カッコ内の数字は、語数を、例に付した小数字は、それぞれの表記形の出現度数をしめす。

<2種類のパターンの複合型>

- ア・イ(11) 立ち会う<sub>3</sub>—立会う<sub>4</sub>—立ち合う<sub>1</sub>  
箱入り<sub>4</sub>—箱入<sub>7</sub>—函入り<sub>1</sub>—函入<sub>12</sub>
- ア・オ(203) 愛敬<sub>1</sub>—愛嬌<sub>1</sub>—愛きょう<sub>1</sub>—あいきょう<sub>2</sub>  
体<sub>54</sub>—身体<sub>13</sub>—軀<sub>3</sub>—からだ<sub>71</sub>  
喜び<sub>45</sub>—歆び<sub>7</sub>—慶び<sub>1</sub>—よろこび<sub>8</sub>
- ア・カ(8) 仔犬<sub>2</sub>—子イヌ<sub>1</sub>—小イヌ<sub>1</sub>
- イ・オ(373) 乗物<sub>5</sub>—乗り物<sub>2</sub>—乗りもの<sub>1</sub>—のりもの<sub>1</sub>  
成り立つ<sub>6</sub>—成立つ<sub>4</sub>—成りたつ<sub>2</sub>—なり立つ<sub>1</sub>—なりたつ<sub>6</sub>  
終わり<sub>14</sub>—終り<sub>9</sub>—終<sub>2</sub>—おわり<sub>17</sub>
- イ・カ(3) 押釦<sub>1</sub>—押しボタン<sub>1</sub>—押ボタン<sub>3</sub>
- イ・キ(7) はち巻き<sub>1</sub>—はち巻<sub>2</sub>—ハチ巻<sub>1</sub>
- ウ・エ(1) ウイスキー<sub>16</sub>—ウキスキー<sub>2</sub>—ウ井スキー<sub>1</sub>—ウィスキー<sub>4</sub>
- ウ・オ(14) 田舎<sub>10</sub>—いなか<sub>3</sub>—ゐなか<sub>2</sub>  
基づく<sub>89</sub>—もとづく<sub>35</sub>—もとづく<sub>1</sub>
- ウ・キ(9) カ年<sub>60</sub>—ケ年<sub>5</sub>—か年<sub>10</sub>
- オ・カ(7) 穴埋め<sub>2</sub>—穴うめ<sub>2</sub>—アナ埋め<sub>1</sub>
- オ・キ(39) 空びん<sub>2</sub>—空ビン<sub>1</sub>—あきビン<sub>1</sub>  
ひな祭り<sub>2</sub>—ひなまつり<sub>2</sub>—ヒナ祭り<sub>1</sub>
- オ・ク(5) 人々<sub>112</sub>—人びと<sub>24</sub>—ひとびと<sub>3</sub>
- オ・ケ(1) 二人<sub>442</sub>—2人<sub>1</sub>—ふたり<sub>13</sub>
- カ・キ(14) 手すり<sub>1</sub>—手スリ<sub>3</sub>—テスリ<sub>1</sub>  
すき焼<sub>4</sub>—スキヤキ<sub>1</sub>
- カ・ク(1) 幽霊<sub>10</sub>—ユウレイ<sub>2</sub>—ユーレイ<sub>1</sub>

<3種類のパターンの複合型>

- ア・イ・オ (43) 締め出す<sub>6</sub>—締出す<sub>2</sub>—締めだす<sub>1</sub>—閉め出す<sub>1</sub>  
 —しめ出す<sub>3</sub>  
 禍い<sub>4</sub>—禍<sub>1</sub>—災い<sub>2</sub>—わざわい<sub>5</sub>
- ア・イ・キ (1) 引き揚げ<sub>8</sub>—引揚げ<sub>12</sub>—引揚<sub>10</sub>—引き上げ<sub>21</sub>—引上げ<sub>53</sub>  
 —引上げ<sub>1</sub>—引きあげ<sub>2</sub>
- ア・ウ・オ (3) 戦い<sub>53</sub>—戦ひ<sub>1</sub>—闘い<sub>11</sub>—斗い<sub>1</sub>—たたかい<sub>9</sub>
- ア・カ・キ (6) 願う<sub>71</sub>—希う<sub>2</sub>—ネガウ<sub>2</sub>
- イ・ウ・オ (1) 連れ<sub>19</sub>—連<sub>2</sub>—づれ<sub>9</sub>—ずれ<sub>1</sub>
- イ・オ・キ (6) 住まい<sub>6</sub>—住い<sub>16</sub>—住マイ<sub>1</sub>—すまい<sub>6</sub>
- イ・カ・キ (3) 坊っちゃん<sub>3</sub>—坊ちゃん<sub>1</sub>—ボッチャン<sub>1</sub>
- オ・カ・キ (340) 喧嘩<sub>9</sub>—けんか<sub>21</sub>—ケンカ<sub>12</sub>  
 暦<sub>11</sub>—こよみ<sub>3</sub>—コヨミ<sub>2</sub>  
 決める<sub>365</sub>—きめる<sub>37</sub>—キメる<sub>3</sub>—キメル<sub>1</sub>

#### < 4 種類のパターンの複合型 >

- ア・イ・ウ・オ (1)  
 柔らかい<sub>1</sub>—柔かい<sub>7</sub>—軟かい<sub>1</sub>—やわらかい<sub>21</sub>—やはらかい<sub>1</sub>
- ア・イ・オ・キ (1)  
 起こす<sub>80</sub>—起す<sub>48</sub>—起ス<sub>1</sub>—興す<sub>1</sub>—おこす<sub>25</sub>
- ア・オ・カ・キ (38)  
 足<sub>135</sub>—脚<sub>4</sub>—あし<sub>2</sub>—アシ<sub>1</sub>  
 至る<sub>64</sub>—至ル<sub>1</sub>—到る<sub>3</sub>—いたる<sub>53</sub>
- イ・オ・カ・キ (26)  
 空巢<sub>3</sub>—空き巢<sub>1</sub>—あき巢<sub>3</sub>—アキ巢<sub>1</sub>—アキス<sub>1</sub>  
 釣上げる<sub>1</sub>—釣りあげる<sub>1</sub>—つり上げる<sub>2</sub>—ツリ上げる<sub>1</sub>—つりあげる<sub>2</sub>
- ウ・オ・カ・キ (3)  
 難しい<sub>1</sub>—むづかしい<sub>112</sub>—むづかしい<sub>7</sub>—ムズかしい<sub>1</sub>
- オ・カ・キ・ク (1)  
 此処<sub>1</sub>—ここ<sub>410</sub>—こゝ<sub>4</sub>—ココ<sub>1</sub>

オ・カ・キ・ケ（3）

葡萄<sub>1</sub>—ぶどう<sub>7</sub>—ブドウ<sub>14</sub>—ブドー<sub>4</sub>

< 5 種類のパターンの複合型 >

ア・イ・オ・カ・キ（3）

瓶詰<sub>3</sub>—壺詰<sub>2</sub>—びん詰<sub>1</sub>—ビン詰め<sub>2</sub>—ビンづめ<sub>1</sub>

ア・ウ・オ・カ・キ（3）

鰹<sub>1</sub>—松魚<sub>1</sub>—かつお<sub>1</sub>—かつを<sub>1</sub>—カツオ<sub>6</sub>

ア・オ・カ・キ・ク（1）

唯<sub>2</sub>—只<sub>1</sub>—ただ<sub>112</sub>—たゞ<sub>6</sub>—タダ<sub>1</sub>

所属語数のおおい順にみると、イ・オ（オクリガナの対立、漢字とヒラガナの対立）、オ・カ・キ（漢字とヒラガナの対立、漢字とカタカナの対立、ヒラガナとカタカナの対立）、ア・オ（ことなる漢字の対立、漢字とヒラガナの対立）の3種のパターンへの集中度がたかい。この3種で全体の約80パーセントをしめている。オ（漢字とヒラガナの対立）は、種々のパターンと共存しやすい。また、カ（漢字とカタカナの対立）とキ（ヒラガナとカタカナの対立）は、オと共存しやすく、4種および5種の対立をふくむパターンのおおくは、この3種をふくんでいる。それについては、ア（ことなる漢字の対立）とイ（オクリガナの対立）が他のパターンと共存しやすい。

エ（外来語の表記法の対立）は、対立のパターンが1種類のもののなかでは、かなりの比率をしめるが、複合型の要素とはなりにくい。ウ（カナヅカイの対立）、ク（文字と記号の対立）、ケ（文字と数字の対立）は、もともと出現数がすくなく、複合型の要素となっても、所属語数はすくない。

以上にのべたことをまとめると、新聞における表記のゆれのパターンは、ことなる文字体系間の対立によって生ずるもののおおいといえる。それについては、ことなる漢字の対立とオクリガナの対立によるもののおおく、結局は、漢字の使用に関する問題が大部分をしめる。あるいは、漢字で表記する語がほかの文字で表記されるときにゆれが生じやすいといいかえることもできよう。

### 2.2.3. 語種別にみた表記のゆれ

これまでは、ゆれの類型をとらえるために、総括的に論じてきたが、ゆれが生ずる原因は、語種（漢語、和語等の別）により、かなりことなる。以下では、漢語と和語について状況をみることにする。

#### 【漢語の表記のゆれ】

漢語は、本来、漢字で表記することを前提条件として成立している語であるから、それがカナ表記されるのは、新聞では、いわゆる表外漢字を使用している語にかぎられるはずである。また、表外漢字は、広告や社外執筆者の文章以外ではつかわれないから、現象としてのゆれは出現しにくいともみられる。

まず、表外漢字とカナとの対立によるゆれの例をあげる。

欺瞞<sub>2</sub>—ぎまん<sub>2</sub> 絢爛<sub>3</sub>—けんらん<sub>2</sub> 壑壕<sub>1</sub>—ざんごう<sub>3</sub>

旦那<sub>2</sub>—だんな<sub>2</sub> 天狗<sub>5</sub>—テング<sub>4</sub> 翻弄<sub>2</sub>—ほんろう<sub>2</sub> 麻痺<sub>3</sub>—マヒ<sub>39</sub>

いわゆるまぜがきも、このグループに属する。

輕蔑<sub>1</sub>—軽べつ<sub>1</sub> 采配<sub>1</sub>—さい配<sub>1</sub> 親睦<sub>2</sub>—親ぼく<sub>3</sub>

緻密<sub>2</sub>—ち密<sub>1</sub> 頻発<sub>1</sub>—ひん発<sub>2</sub> 麵類<sub>1</sub>—めん類<sub>3</sub>

まぜがきにするか、すべてをカナにするかによって生ずる対立もある。

めい福<sub>6</sub>—めいふく<sub>1</sub> 網羅<sub>3</sub>—網ら<sub>2</sub>—もうら<sub>6</sub>

表外漢字をカナがきするときに、ヒラガナをえらぶか、カタカナをえらぶかによって対立がうまれる。

潰瘍<sub>1</sub>—カイヨウ<sub>16</sub>—かいよう<sub>1</sub> 乞食<sub>2</sub>—こじき<sub>1</sub>—コジキ<sub>1</sub>

こたつ<sub>9</sub>—コタツ<sub>5</sub> だ捕<sub>1</sub>—ダ捕<sub>1</sub> 風呂<sub>35</sub>—ふる<sub>8</sub>—フロ<sub>18</sub>

完璧<sub>4</sub>—完べき<sub>9</sub>—完ペキ<sub>1</sub>—かんべき<sub>1</sub>

表外漢字を同音の漢字によってかきかえたものと、もとの表記とのあいだに対立がおこることがある。また、カナがきとの対立も生ずる。

禁固<sub>8</sub>—禁錮<sub>2</sub> 風刺<sub>8</sub>—諷刺<sub>3</sub>—ふう刺<sub>1</sub> 衣装<sub>23</sub>—衣裳<sub>50</sub> 奇跡<sub>9</sub>—奇蹟<sub>6</sub>

抛出<sub>1</sub>—きょ出<sub>1</sub> 賛辞<sub>4</sub>—讃辞<sub>1</sub> 憶測<sub>3</sub>—臆測<sub>1</sub> 過酷<sub>4</sub>—苛酷<sub>3</sub>

このような表外漢字をふくむ語にみられるゆれのおおくは、広告や社外執

筆者の用字と新聞の用字との対立からうまれる。たとえば、上記の〃衣裳〃  
一〃衣裳〃の対立は、広告欄で〃衣裳〃が44回つかわれていることの反映で  
ある。したがって、それをのぞけば、新聞の文章そのものでは、それほど漢  
語の表記のゆれはおおくないというみかたもできないではない。

しかし、つぎのような表内漢字どうしの対立の例は、そのような推測が可  
ならずしもあたっていないことを予想させる。いずれも、新聞用語集では、  
一定の表記を採用しているものである。(先頭の表記形が、用語集できめた  
表記。)

率直<sub>22</sub>—卒直<sub>3</sub> 基準<sub>72</sub>—規準<sub>2</sub> 病原<sub>1</sub>—病源<sub>1</sub> 探検<sub>9</sub>—探險<sub>2</sub>

交代<sub>38</sub>—交替<sub>1</sub> 夏季<sub>13</sub>—夏期<sub>6</sub> 根源<sub>13</sub>—根元<sub>1</sub> 素性<sub>3</sub>—素姓<sub>1</sub>

これらがかならずしも広告等の用字による対立でないことは、つぎの文例  
からもあきらかである。

- ・二か月分プラス一律一万円の夏季手当てを要求して
- ・十五日支給の夏期手当てから実施されることになっており
- ・十分かつ率直な意見の交換が対等な立場で行なわれている
- ・国際情勢について卒直な意見交換を行なった

あるいは、つかいわけをおこなうことにしている同音類義の語のなかで  
も、つぎのように、その基準が徹底していないような例もみられる。

意思<sub>59</sub>—意志<sub>19</sub>

- ・京都知事選には個人として出馬の意思を持っている
- ・委員長選挙に立候補する意志を事実上明らかにした

鑑賞<sub>51</sub>—観賞<sub>4</sub>

- ・(能ノ隅田川ガ)梅若の三人によって演ぜられるのは、観賞的にも研究  
的にも参考になるう。
- ・(市川昆監督ノ映画ヲ)希望者二百人まで観賞できる。

漢字で表記できるにもかかわらず、カナで表記される語は、まず、副詞な  
ど形式的な用法の語におおくみられる。

一番<sub>139</sub>—一ばん<sub>4</sub>—いちばん<sub>77</sub> 一緒<sub>34</sub>—一<sup>ツツ</sup>緒<sub>1</sub>—しよ<sub>3</sub>—いっしよ<sub>126</sub>

一層<sub>42</sub>—一そう<sub>3</sub>—いっそう<sub>56</sub> 以来<sub>245</sub>—いらい<sub>55</sub> 是非<sub>12</sub>—ぜひ<sub>93</sub>

関する<sub>249</sub>—かんする<sub>11</sub> 今後<sub>300</sub>—こんご<sub>86</sub> 結局<sub>114</sub>—けっきよく<sub>5</sub>  
決して<sub>51</sub>—けっして<sub>8</sub> 折角<sub>4</sub>—せっかく<sub>39</sub> 対する<sub>1122</sub>—たいする<sub>36</sub>  
大変<sub>75</sub>—大へん<sub>5</sub>—たいへん<sub>70</sub> 絶対<sub>108</sub>—ゼツタイ<sub>6</sub>—ぜったい<sub>5</sub>  
普段<sub>1</sub>—不断<sub>1</sub>—ふだん<sub>31</sub> 次第<sub>101</sub>—しだい<sub>35</sub>

これらに準ずるのが、漢語起源の語であるが、はなしことばとして日常よくもちいられ、和語的な語感をもつようになったものである。

我慢<sub>6</sub>—がまん<sub>15</sub>—ガマン<sub>4</sub> 沢山<sub>8</sub>—たくさん<sub>92</sub> 愚痴<sub>1</sub>—グチ<sub>1</sub>  
簡単<sub>115</sub>—かんたん<sub>8</sub>—カンタン<sub>5</sub> 詐欺<sub>51</sub>—サギ<sub>7</sub> 都合<sub>37</sub>—つごう<sub>5</sub>  
邪魔<sub>6</sub>—じゃま<sub>9</sub>—ジャマ<sub>2</sub> 万歳<sub>18</sub>—ばんざい<sub>1</sub>—バンザイ<sub>9</sub>  
漫画<sub>35</sub>—まんが<sub>14</sub>—マンガ<sub>22</sub> 腕白<sub>1</sub>—わんぱく<sub>4</sub>

ところが、つぎのような例は、一般にはカナがきされることはすくないが、たまたまカナがきの例があるため、対立が生じたとみられるものである。上記のはなしことば的な語のなかにも、カタカナ表記の例があったが、これらはカタカナでかくことにより、強調したり、特殊な意味あいをもたせたりする効果を期待したものとみられる。

知恵<sub>29</sub>—チエ<sub>9</sub>

- ・みんなでチエをしぼって健全で豊かな社会をつくり

絶対<sub>108</sub>—ぜったい<sub>5</sub>—ゼツタイ<sub>6</sub>

- ・人から手紙をもらってもゼツタイに返事など書かないそう

魅力<sub>92</sub>—ミリョク<sub>1</sub>

- ・大きく利のつくことがこの貯蓄のミリョクです (広告)

秘密<sub>60</sub>—ヒミツ<sub>6</sub>

- ・そのヒミツは、心臓部に働くシリコントランジスタと… (広告)

以上にみられるように、漢語の表記では、ことなる漢字の対立のほか、漢字とカナの対立によるものがおおくみられた。ここでは、漢語の表記全般について論ずるだけの資料はないが、すくなくとも、新聞の表記において、漢語のカナ表記が例外的なものでなく、一般的な現象となりつつあることがうかがえる。これは、今日の一般文章の傾向とも通ずるものであり、1960年代

にすでにそのような傾向が新聞の表記にもうかがわれることは興味ぶかい。

### 【和語の表記のゆれ】

和語は、漢語とことなり、本来的に漢字表記を前提条件としない。漢語がカナ表記されるのは、それなりの理由がかんがえられるが、つぎのような漢字とヒラガナとの対立によるゆれは、ただ、それが和語であるという理由のほかに説明のしようがないものである。

預ける<sub>27</sub>—あずける<sub>5</sub> 促す<sub>8</sub>—うながす<sub>11</sub> 落とす<sub>25</sub>—落す<sub>16</sub>—おとす<sub>7</sub>  
行なう<sub>784</sub>—行う<sub>282</sub>—おこなう<sub>59</sub> 買い取る<sub>3</sub>—買いとる<sub>3</sub>  
飾る<sub>42</sub>—かざる<sub>8</sub> 差し上げる<sub>9</sub>—差上げる<sub>9</sub>—差しあげる<sub>7</sub>—さしあげる<sub>34</sub>  
狭い<sub>54</sub>—せまい<sub>18</sub> 頼む<sub>56</sub>—たのむ<sub>13</sub> 除く<sub>114</sub>—のぞく<sub>11</sub>  
持つ<sub>494</sub>—もつ<sub>926</sub>

もっとも、ここにあげた例は、ほとんどが動詞である。和語のすべてがカナ表記されやすいわけではなく、そのなかに程度の差があることは事実である。つぎのような副詞の類がカナがきされやすいのは、漢語のばあいと同様である。

恐らく<sub>4</sub>—おそらく<sub>44</sub> 今<sub>199</sub>—いま<sub>756</sub> 又<sub>8</sub>—また<sub>1312</sub> 又は<sub>22</sub>—または<sub>157</sub>  
互い<sub>59</sub>—互<sub>3</sub>—たがい<sub>12</sub> 誠に<sub>3</sub>—まことに<sub>43</sub> 昔<sub>85</sub>—むかし<sub>30</sub>  
最も<sub>160</sub>—もっとも<sub>143</sub> 若しくは<sub>3</sub>—もしくは<sub>6</sub>

つぎのような例も、語の意味や用法によって、かきわけをおこなったものとみられる。

暁<sub>5</sub>—あかつき<sub>3</sub>  
・もし東京が近代化されたあかつきには  
幸い<sub>12</sub>—幸<sub>1</sub>—さいわい<sub>9</sub>  
・さいわい人命に損傷がなかったのは

和語で、もっともカナがきがめだつのは、同訓異字による対立をふくむ語である。この類には、カタカナ表記の語もみられる。

優しい<sub>2</sub>—易しい<sub>2</sub>—やさしい<sub>40</sub> 直す<sub>17</sub>—治す<sub>14</sub>—なおす<sub>15</sub>  
刺す<sub>57</sub>—指す<sub>17</sub>—差す<sub>2</sub>—射す<sub>1</sub>—さす<sub>39</sub> 立てる<sub>64</sub>—建てる<sub>53</sub>—たてる<sub>61</sub>



止める<sub>14</sub>—泊める<sub>2</sub>—停める<sub>1</sub>—とめる<sub>35</sub> 早い<sub>375</sub>—速い<sub>15</sub>—はやい<sub>26</sub>  
 作る<sub>288</sub>—造る<sub>14</sub>—創る<sub>9</sub>—つくる<sub>347</sub> 裁つ<sub>11</sub>—絶つ<sub>5</sub>—断つ<sub>24</sub>—たつ<sub>4</sub>  
 花やか<sub>6</sub>—華やか<sub>2</sub>—はなやか<sub>10</sub> 乗る<sub>137</sub>—載る<sub>4</sub>—のる<sub>41</sub>  
 図る<sub>46</sub>—計る<sub>8</sub>—測る<sub>4</sub>—はかる<sub>189</sub> 伸ばす<sub>23</sub>—延ばす<sub>13</sub>—のばす<sub>20</sub>  
 聞く<sub>373</sub>—聴く<sub>2</sub>—きく<sub>99</sub> 変える<sub>97</sub>—代える<sub>98</sub>—替える<sub>3</sub>—かえる<sub>43</sub>  
 犯す<sub>8</sub>—侵す<sub>3</sub>—冒す<sub>2</sub>—おかす<sub>11</sub> 歌<sub>154</sub>—唄<sub>9</sub>—うた<sub>15</sub>  
 暖かい<sub>35</sub>—温かい<sub>1</sub>—あたたかい<sub>11</sub> 答える<sub>154</sub>—応える<sub>9</sub>—こたえる<sub>23</sub>  
 膚<sub>2</sub>—肌<sub>46</sub>—はだ<sub>4</sub>—ハダ<sub>14</sub> 球<sub>18</sub>—玉<sub>3</sub>—弾<sub>1</sub>—タマ<sub>27</sub>  
 堅い<sub>39</sub>—固い<sub>4</sub>—かたい<sub>19</sub>—カタい<sub>4</sub> 陰<sub>13</sub>—蔭<sub>2</sub>—かげ<sub>23</sub>—カゲ<sub>7</sub>

これらのなかには、1966年当時、表外字であったり、表外訓であったりしたものもふくまれる。したがって、カナ表記された語は、漢字がつかえないための措置であった可能性もある。しかし、以下の例にあげるように、漢字でかける語がカナ表記されている例がすくなくない。つまり、同訓異字の語は、漢字制限の有無にかかわらずカナがきされやすいといわなければならない。

- ・大陸の寒気がまだ侵入していないので各地ともあたたかい
- ・新大使は記者団の質問にこたえ
- ・われわれが強力であり、かたい決意をもつならば
- ・めんどろをみてくれるやさしい看護婦さんを
- ・はだの色や政治的見解を異にする人々

このような漢字とカナの対立が、主として用言にあらわれやすいことは、以上の例からもあきらかだが、名詞でもカナがきされやすいものがある。特に、あて字をふくむものや、表外訓のためのかきかえに類するものには、その傾向がつよい。たとえば、／コドモ／や／フルサト／の表記は、つぎのようになっている。

子供<sub>307</sub>—子ども<sub>258</sub>—こども<sub>138</sub>

ふる里<sub>1</sub>—ふるさと<sub>29</sub>

これらは、当時の新聞用語集では、漢字で表記することになっており、前述の辞典類の標準表記はかなりゆれている。

(小供)→子供

子供…A・D・F, 子ども・子供…B, こども・子供…E

こども・子ども・子供…C, こども(子ども・子供)…G

(故<sup>△</sup>里・故<sup>△</sup>郷<sup>△</sup>)→古里

故<sup>△</sup>郷<sup>△</sup>…F, 古里・故<sup>△</sup>里・故<sup>△</sup>郷<sup>△</sup>…A・C・D,

ふるさと〔故<sup>△</sup>里・故<sup>△</sup>郷<sup>△</sup>〕…B,

ふるさと〔古里・故<sup>△</sup>里・故<sup>△</sup>郷<sup>△</sup>〕…E,

ふるさと〔古里・故<sup>△</sup>郷<sup>△</sup>〕…G

新聞用語集における漢字表記の指示は、もし漢字で表記するならばという条件づきのものとみられるし、各新聞社でも多少あつかいがちがっていたかもしれない。しかし、辞典類の表記にもみられるように、これらの語をカナがきする傾向は、新聞以外の世界にも存在しているといえよう。

漢字表記に対するカナ表記の存在は、上記のようにあきらかであるが、さらにカナ表記に着目すると、そのなかにヒラガナとカタカナの対立があることがわかる。それらは、下記のような語が中心となっている。

(1) 動植物

うなぎ<sub>3</sub>—ウナギ<sub>8</sub> きゅうり<sub>2</sub>—キュウリ<sub>18</sub> 桜<sub>13</sub>—さくら<sub>14</sub>—サクラ<sub>15</sub>

たけのこ<sub>1</sub>—タケノコ<sub>1</sub> にしん<sub>2</sub>—ニシン<sub>1</sub> 猫<sub>7</sub>—ねこ<sub>1</sub>—ネコ<sub>9</sub>

(2) 器具・用品

衿<sub>1</sub>—えり<sub>8</sub>—エリ<sub>9</sub> 靴<sub>30</sub>—くつ<sub>11</sub>—クツ<sub>10</sub> 扉<sub>8</sub>—とびら<sub>7</sub>—トビラ<sub>4</sub>

鍋<sub>1</sub>—なべ<sub>8</sub>—ナベ<sub>10</sub> 眼鏡<sub>10</sub>—目ガネ<sub>1</sub>—めがね<sub>3</sub>—メガネ<sub>13</sub>

(3) 身体部位

尻<sub>2</sub>—しり<sub>1</sub>—シリ<sub>6</sub> のど<sub>6</sub>—ノド<sub>13</sub> 裸<sub>7</sub>—はだか<sub>3</sub>—ハダカ<sub>7</sub>

肘<sub>2</sub>—ひじ<sub>2</sub>—ヒジ<sub>3</sub> 額<sub>5</sub>—ひたい<sub>4</sub>—ヒタイ<sub>3</sub> もも<sub>2</sub>—モモ<sub>2</sub>

(4) 擬声語・擬態語

いらいら<sub>5</sub>—イライラ<sub>15</sub> がっかり<sub>5</sub>—ガツカリ<sub>3</sub> しぶしぶ<sub>2</sub>—シブシブ<sub>1</sub>

びっくり<sub>28</sub>—ビックリ<sub>10</sub> びったり<sub>21</sub>—ピツタリ<sub>23</sub>

ほとほと<sub>2</sub>—ホトホト<sub>2</sub> めっきり<sub>4</sub>—メッキリ<sub>1</sub>

## (5) はなしことば・俗語

悪戯<sub>2</sub>—いたずら<sub>12</sub>—イタズラ<sub>3</sub> いや<sub>38</sub>—イヤ<sub>18</sub> おやじ<sub>10</sub>—オヤジ<sub>5</sub>

決め手<sub>12</sub>—きめ手<sub>7</sub>—キメ手<sub>13</sub>—きめて<sub>2</sub> ごねる<sub>1</sub>—ゴネル<sub>1</sub>

ぶらんこ<sub>2</sub>—ブランコ<sub>5</sub> へた<sub>5</sub>—ヘタ<sub>6</sub> 夏ばて<sub>1</sub>—夏バテ<sub>2</sub>

いんちき<sub>1</sub>—インチキ<sub>7</sub> もてる<sub>1</sub>—モテル<sub>1</sub>—モテル<sub>2</sub>

本物<sub>17</sub>—本もの<sub>4</sub>—本モノ<sub>1</sub>—ほんもの<sub>5</sub>—ホンモノ<sub>2</sub>

これらの語には、漢字がつかえないために、カタカナで表記されるとみてよいものもおおい。しかし、それだけの理由ではなく、あえて漢字をつかわなくても、漢字ヒラガナまじり文のなかで、カタカナを効果的につかおうとする傾向のあらわれとかがえられる。それは、現代の青年層の表記傾向につながるものである。

以上、語種と表記のゆれの関係について概略をのべた。外来語については、前章でのべたところと大部分が重複するので、ここでは省略する。いずれにしても、新聞における表記のゆれが、漢字という多数の要素からなる文字体系の使用、および、複数の文字体系の交用という事実から発生していることはたしかである。そのような素材的な面とあいまって、表記主体がどのような表記態度をとるかということが、ゆれという現象には、おおきくかわるが、それについては、「2.3. 広報紙の用字における誤用の分析」をへて、「3. 表記意識の分析」で、くわしく論ずることにする。

## 2.3. 広報紙の表記における誤用の分析

### 2.3.1. 調査の概要

#### 【調査の目的】

若い世代の文字力の低下が社会的に問題視されて久しいが、最近では、一般の印刷物はもちろんのこと、一流といわれる新聞や雑誌にまで、漢字の誤用が目につくようになった。一方、戦後、政府のとった国語施策（漢字・送

り仮名・仮名遣いなど）による現代表記が一般の社会にどの程度まで浸透しているかという実態も、必ずしも明らかではない。そこで、一般の実務的な文章を対象にして、用字上の誤用がどのような語に現れ、また、どのような類型をもつかについて、その実情を明らかにし、できれば、誤用をひきおこす要因をさぐろうとするのが、この調査の第一の目的である。第二の目的は、意識調査の調査票を作成するための先行調査としての役割を果たすことである。すなわち、調査票において、どのような課題を設定し、どのような調査語を用意するかを決めるための基礎資料としたいと考えたわけである。

#### 【調査対象の選定】

実務的な文章の一つの例として、全国の市町村が発行する広報紙を調査の対象にした。広報紙を選定した理由は、次のとおりである。

- (1) 市町村から月一回ないし二回定期的に発行される印刷物であり、原則として全家庭に配布されるものであるため、実際に読まれる範囲が広いこと。
- (2) 市町村の広報紙は、月間発行回数・発行部数・経費・担当者の人員などの発行条件が明らかにされており、全国的な展望も可能であること。また、そのための便宜も得やすいこと。
- (3) 新聞や雑誌の場合は、内部にしっかりした校閲機構を備えているため、用字上の誤用例を数多く採集することが期待できないこと。

調査対象とする広報紙の選定にあたっては、社団法人・日本広報協会の協力を得た。同協会は、毎年「全国広報コンクール」を主催しており、その広報紙部門に全国から参加した作品全部の提供を、1976、77の両年度にわたって受けることができた。すなわち、76年度は、町村部43紙・都市部42紙、77年度は、町村部45紙・都市部41紙が全国コンクールに参加したので、合計171紙を調査対象としたわけである。

#### 【広報紙の性格】

「全国広報コンクール」の広報紙部門というのは、全国の各市町村発行の広報紙についてのコンクールであって、まず、予選として各都道府県ごとに

コンクールを実施し、町村部・都市部それぞれ一点ずつの最優秀作品が選ばれ、それが中央審査に参加する。そして、企画、編集（レイアウト・写真・印刷などを含む）、文章表現（用字用語を含む）などさまざまな観点からの審査を受け、特選1点、入選10点が選ばれ、表彰されるという制度である。このコンクールは、すでに三十年の歴史があるうえ、各都道府県の予選をくぐり抜けてきたものばかりであるから、参加作品は、編集技術や印刷などの面では、いずれも相当の水準を保持しているといつてよい。ところが、文章表現、特に用字面から見ると、誤字・誤植の全く見られないものはきわめて少ないという状況である。その詳細については、付表－2「広報紙における表記上の誤用一覧」を参照されたい。（→237ページ）

ここで、調査対象とした広報紙171紙全体の性格について、二、三簡単に触れておきたい。

〔ページ数〕171紙全体の言語量を数えることはできなかったの、それに代わる、分量の目安になるものとして、総ページ数を以下に示す。個々の広報紙は、判型もページ数もそれぞれ異なっており、その状況は次のとおりである。（下の表で「76町村」とあるのは、1976年度の町村部の参加作品であることを示す。以下、同じ。）

参加広報紙 の判型	76町村		76都市		77町村		77都市		全 体	
	広報 紙数	総ペ ージ	広報 紙数	総ペ ージ	広報 紙数	総ペ ージ	広報 紙数	総ペ ージ	広報 紙数	総ペ ージ
A 3（新聞型）	2	12	7	46	1	12	3	22	13	92
A 4（雑誌型）	4	46	5	38	4	54	11	146	24	284
B 4（新聞型）	2	10	8	39	3	18	7	38	20	105
B 5（雑誌型）	35	434	22	294	37	533	20	286	114	1547
計	43	502	42	417	45	617	41	492	171	2028

いま、仮に新聞型の広報紙を雑誌型のそれに換算（A 3→A 4、B 4→B 5）して合算してみると、171紙全体の分量は、A 4版で468ページ分と、B 5版で1757ページ分の合計ということになる。つまり、今回、調査対象とし

た作品は、B 4 版または B 5 版で二千数百ページに当たる分量になる。なお、個々の広報紙の版型とページ数は、付表—2 に、参考として掲げておいた。(237ページ)

〔発行部数〕市町村の規模の大小によって発行部数はさまざまであるが、171紙全体の合計を出すと、約四百五十万部に上る。その内訳は、下記のとおりである。

76町村 (43紙) 196,850部 (最高 12,000部・最低 1,200部)

76都市 (42紙) 2,086,240部 (最高 352,000部・最低 7,850部)

77町村 (45紙) 179,850部 (最高 11,500部・最低 800部)

77都市 (41紙) 1,963,879部 (最高 354,179部・最低 8,100部)

(171紙) 4,426,819部

〔広報紙担当者の人員〕これも、市町村の規模によって異なるが、年度別にその内訳を示すと、次のようになる。

担当人員	1人	2人	3人	4人	5人以上	最高	平均
76町村 (43紙)	25紙	13紙	2紙	0紙	3紙	9人	1.8人
76都市 (42紙)	8〃	12〃	13〃	5〃	4〃	7人	2.6人
77町村 (45紙)	30〃	12〃	3〃	0〃	0〃	3人	1.4人
77都市 (41紙)	7〃	16〃	9〃	5〃	4〃	6人	2.7人

つまり、町村部は担当者一人のところが最も多く、都市部は二人ないし三人のところが最も多いという状況である。この担当者の人員の差は、広報紙における表記上の誤用の数にも、大きく響いているように思われる。

#### 【分析の項目】

171紙の全紙面から、国語表記上、誤用もしくは問題点と思われる例をカードに採集し、分析した。採集範囲は、外来語・数詞・補助記号の類にまで及んだが、これらは全体として数が少なかったので割愛し、ここでは、漢字、送り仮名、仮名遣いの三項目の誤用に限って報告することにする。

まず、171紙全紙面に現れた、漢字・送り仮名・仮名遣いの誤用の総数を、

年度別、町村・都市別に示すと、下表のようになる。

	76町村 (43紙)	76都市 (42紙)	77町村 (45紙)	77都市 (41紙)	全 体 (語数) (%)
漢字	174	58	125	59	416 ( 41.0)
送り仮名	128	132	151	78	489 ( 48.2)
仮名遣い	37	20	39	13	109 ( 10.7)
計 (語数) ( % )	339 (33.4)	210 (20.7)	315 (31.1)	150 (14.8)	1014 (100.0)

上の表から、次のことが知られる。

- (1) 171紙全体で 1014 の誤用例が現れたが、これを前述のページ数と対比してみると、B 4 または B 5 版のもので大体 2 ページに 1 語の平均で現れるという計算になる。もっとも、実際の広報紙には、写真・イラスト・グラフなど、文字のほとんどないページも含まれているから、実際の言語量に対する比率はもっと高くなる。
- (2) 町村の部と都市の部を比較すると、町村のほうが誤用の数のはるかに多い (64.5 : 35.5)。これは、前述の担当人員の差もある程度影響していると思われ、おそらく全国的な傾向といえるだろう。今回の調査範囲の中では、特に、76年度の町村部の作品における漢字の誤用の件数の多いことが目立っている。
- (3) 全体としては、送り仮名の誤用が最も多く、漢字の誤用がそれに次ぐ。仮名遣いの誤用は、送り仮名や漢字のそれに比べると、はるかに少ない。これは、「現代かなづかい」が市町村の広報担当者の間にかなり浸透していること、および、普通の漢字仮名交じり文においては、仮名遣いの問題点は漢字に隠れてしまう面が多いことを示すものであろう。

全体的な傾向は、以上の通りであるが、漢字・送り仮名・仮名遣いのそれぞれの分析結果について、次節以下に述べる。

### 2.3.2. 漢字の誤用に関する分析

#### 【正誤の判定基準】

個々の語の漢字表記についての正誤の判定にあたっては、市販の国語辞典類を参考にしたが、それでも決定しがたい場合は、なるべくカードに採集しておく方針をとった。特に、誤用とみるべきか、それとも表記のゆれとみるべきかで判断に迷うケースは、いくつかあった。たとえば、次のような場合である。

- ・つぎのことがらに充分注意しましょう。(↔十分)
- ・個々の商店の経営上、努力不充分な点が多い。(↔不十分)
- ・住民が町政に期待し、要望しているものを適確に把握し(↔的確)

のような場合、語源的にみれば、それぞれ「十分」「不十分」「的確」が正しいのであろうが、国語辞典では、いずれも「充分」「不充分」「適確」という表記形式を併記している。つまり、表記のゆれとして扱っているのであるが、この種のものも、なるべく採集しておくことにした。また、

- ・正面入り口のホールの壁にコンクリートを用いた彫塑(レリーフ)を製作することを計画(↔制作)
- ・検討会では、まだ施設の具体的な内容までは入っていませんが、今後、住民の意識調査などと平行してすすめる計画です(↔並行)
- ・この模擬議会は、町に対する要望、意見、振興策などを議会の一般質問型式で発表いただき(↔形式)
- ・〔ミュージカルを〕若い層の皆さんに觀賞してもらうため(↔鑑賞)
- ・あいにく今年は異状気象に見舞われ(↔異常)

などの場合は、それぞれ( )内に↔印で示した表記形式との間におけるゆれとも見られるであろうが、前後の文脈から判断すると、やはり、( )内のほうがより適切な表記と判断できるので、誤用として扱うことにした。

なお、これは漢字表記に限ったことではないが、印刷上の誤植と見られるものは、誤用例採集の対象からは除外した。しかし、漢字表記の場合は、印刷上の誤植によるものか、それとも原稿執筆者の誤記によるものか判断しがたいものが、かなり現れる。明らかに誤植と思われるものは除外して、少し



でも誤記の可能性を残すものはカードに採集し、分析の対象に加えた。

### 【誤用の分析】

171紙全体で、漢字の誤用と見られるものは、416例ある。ただし、同一紙の中で同じ語の誤用例が何回現れても、それは1回としか数えていない。この416の誤用例がそれぞれどういう類型に属し、どういう分布をするかについて、下に示す。

#### 漢字の誤用の内訳……全体 416例（100%）

A 字訓による誤字	135（32.5%）
① 字形が似ているため	17（4.1%）
② 字訓が同じであるため	20（4.8%）
③ 字義が似ているため	4（1.0%）
④ 字訓が同じで、字義も似ているため	83（20.2%）
⑤ 代用字による誤用のため	11（2.6%）
B 字音による誤字	281（67.5%）
① 字形が似ているため	18（4.3%）
② 字音が同じであるため	39（9.4%）
③ 字音が同じで、字形も似ているため	71（17.1%）
④ 字音が同じで、字義も似ているため	115（27.6%）
⑤ 代用字による誤用のため	38（9.1%）

上の表で明らかなように、漢字の誤用は、字訓によるもの（135例、32.5%）よりも、字音によるもの（281例、67.5%）のほうが、はるかに多い。また、全体的に見ると、同訓または同音の漢字による誤りに集中していることが知られる。

次に、広報紙に実際に現れた誤用の代表例を、上に掲げた類型別に示す。以下、例文中のゴシック体の文字が誤字で、下のカッコ内に示したのが正しい字である。なお、同じ語の誤記例が2回以上現れたものについては、例文の末尾の〔 〕内に、その数を示した。

#### A 字訓による誤字（135例・32.5%）

##### ① 字形が似ているため（17例・4.1%）

- ・村内の話題をより細かく捨い上げることが大切だ（捨）〔2例〕

- ・子供達もスンナリ馳じめないらしい（馴）
- ・老人の座を奮われた悲しい叫びが（奪）
- ・苗木の成長に連れ、その防げとなる雑草やかずらも（妨）
- ・チームワークで困難なる業をなし逐げた十戸の農家の人々（遂）
- ・復ばいになってあごに手をあてる（腹）

これらは、字形のうえでも字訓（字義）のうえでも誤った用法であるから、Bの①とともに、最も程度の低いミスというべきである。ただし、これらのほとんどは、実際には誤記というより、誤植である可能性が強い。

#### ② 字訓が同じであるため（20例・4.8%）

- ・童謡歌手三人ばかりの一行を引きいて……にやってきた（率いて）
- ・寝むそうな目をこすり頑張った朝のトレーニング（眠そうな）〔2例〕
- ・村内の大きな事業は一応方づいたかに見えますが（片）
- ・創立当時の思かげはなくなりましたが（面影）
- ・多いに奮起してほしいものです（大いに）
- ・今後この輪が増々大きさを広げることだろう（ますます・益々）

#### ③ 字義が似ているため（4例・1.0%）

- ・その時は既に夕暗が迫っていて（闇）
- ・自分の勝手気ままを押し通し（押）

②は、同訓の漢字、あるいは訓の一部を同じくする漢字による誤用であり、③は、字義の類似した別訓の漢字による誤用である。もともと字訓というのは字義の固定したものと考えられるから、この種の誤字も、次元の低いミスといってよい。

#### ④ 字訓が同じで、字義も似ているため（83例・20.0%）

- ・先生の手を貸りながら約一時間をかけて完成（借）〔2例〕
- ・決勝に進み、山内中を3対0で下しました（降）〔2例〕
- ・特に児童会の活動が栄んで（盛）
- ・昭和二年から昭和十三年まで雑穀店に務め（勤）〔2例〕
- ・この裏方を努めているのが、社会福祉協議会です（務）
- ・其の道一筋に励んで戴く様な事を議会に計って戴きたい（諮）
- ・四十九年一月から全国にさがけて初めました（始）〔3例〕
- ・目標の十万人を越える十万八千六百六十七人という……（超）〔2例〕

- ・球史に残る大延長戦ののち再試合で、これを敗った（破）
- ・県大会に出場し、決勝で惜しくも破れましたが（敗）〔2例〕
- ・江戸末期から明治初期にかけては寺小屋が盛んであったが（子）〔2例〕

④に属する誤用の例は、かなり多い。特に、この中には、いわゆる異字同訓の使いわけに関する誤りが多く見られる。たとえば、「勤める―務める―努める」「計る―測る―量る―図る―諮る」「越える―超える」「収める―納める」「暖かい―温かい」「硬い―固い」「回り―周り」など、一般に区別の難しいものが含まれている。これらを正しく使い分けるには、漢字に対する基礎的な素養を必要とするため、誤用例が多くなるのも、ある程度はやむをえないであろう。

#### ⑤ 代用字による誤用のため（11例・2.6%）

- ・できるだけ利用の中も広げて、ふれあいの場としての機能を（幅）
- ・国民年金九月から大巾アップ（見出し）（幅）〔7例〕

このほか、「道巾」「道路巾」「畦巾」なども現れた。「巾」は日本では昔から「幅」の代用字として俗用される習慣があった。しかし、「巾」は、音「キン」であって「頭巾・布巾・雑巾」などと使われ、「幅」とは本来別の字であるから、上記のような使い方は、明らかに誤用であるといってい

### B 字音による誤字（281例・67.5%）

#### ① 字形が似ているため（18例・4.3%）

- ・災害時には緩衝地としての役目もしますから（衝）
- ・選挙の時すでにそれにつながる土壌づくりがなされていた（壤）
- ・近鉄持急で鳥羽駅へお着きになりました（特）
- ・個人格差・学校格差の被害がでているのも（弊）
- ・湖畔道を満喫していただきました（喫）
- ・対象者は末婚の若い女性に限りませんが（未）〔3例〕

この①に属する誤字は、Aの①と同様、最も程度の低いミスであり、また、誤植の可能性の強いものである。

#### ② 字音が同じであるため（39例・9.4%）

- ・この辞書の内容には以外にがっかりさせられました（意）〔5例〕

- ・精密検査・手術，その後の経過管理まで一環して行っている（貫）
- ・注意力も散満になり交通事故に結びつきやすくなります（漫）
- ・農家にとって質より量が，いつわらざる心胸と思う（境）
- ・夫は全々聞えません（然）
- ・現代を単的に表現すれば（端）
- ・素案ができれば議会に諮り，意見を聴し（徴）
- ・地藏堂を満艦色に飾り山のようなお供えをします（飾）
- ・機会あるごとに検診をうけて病気を未前に防ぎましょう（然）

③ 字音が同じで，字形も似ているため（71例・17.1%）

- ・まわりに歩行者がいたら一諸に渡ってもらいましょう（緒）〔5例〕
- ・覚せい剤渦，芸能人から中学生はたや学校の先生も（禍）
- ・窓を設けて彩光，換気を十分にしなければなりません（採）〔2例〕
- ・特に成熟期，収穫期にあった水稻は（穫）〔2例〕
- ・除々に麦作，牧草などに切り換えるように（徐）〔7例〕
- ・相談には専門の相談員が応じ，相談料は無料です（門）〔5例〕
- ・長い間……弓道正射会長として，組織の充実に尽力され（織）〔2例〕
- ・……ということは，到底およびもつきません（底）
- ・受け入れ先を激励訪門しましたが（問）〔3例〕
- ・同じ名柄で5,800円の3割引きであった（銘）

②，③ともに同音の漢字による誤用であるが，③のほうは字形が類似していることもあって，②よりも誤用例の数が多い。②に掲げた「以外」（意外）や，③の「一諸」（一緒）は，ともに5例ずつ見られ，③の「除々に」にいたっては7例を数えた。これらの誤用は，社会一般でもしばしば目にするものである。あるいは，最初から間違った形で習得している人が多いのかもしれない。そのほか，「専門」（専門）という誤記例も5例現れた。この誤記は，昔から一般に多く見かける例であるが，おそらく，「学問」という語への連想による，いわゆる俗解語源の意識が働く結果によるものであろう。

④ 字音が同じで，字義も似ているため（115例・27.6%）

- ・みなさんの日頃の悩みや質問にす早く応待し（対）
- ・行政と住民のパイプ役になっていることに關心させられた（感）
- ・ベルマークの点数，一点について一円分に還算し（換）

- ・最少限度の補正予算（小）〔15例〕
- ・刺激の強い雑誌や週間誌（刊）〔2例〕
- ・ごみ集収車四十二台を収容する大型体育館のような車庫（収集）〔2例〕
- ・事業の縮少や福祉の後退などによって（小）〔2例〕
- ・本町では〇〇さんが勲六等単光旭日賞を授賞しました（受）〔2例〕
- ・関係機関と交渉がなされています（折衝）〔2例〕
- ・今回の日ソ漁業暫定交渉の難行を契機として（航）〔3例〕
- ・津軽藩では、南部藩のように報償金を支給したりはせずに（奨）〔2例〕
- ・議会では……万場一致の同意がありました（満）〔3例〕
- ・優賞チームは一分二秒も縮めるなど昨年を上まわる記録（勝）〔2例〕
- ・町内に若者が働ける職場を誘置してほしい（致）

この類型に属する誤用は、115例（27.6%）で最も多い。誤用をひきおこす要因としては、次のことが考えられる。

- (1) 語源俗解に基づくもの……上掲の例でいえば、「応待・最少限度、縮少・交渉・優賞・誘置」などがその例に当たる。たとえば、「応待」は「応接接待」の意、「接渉」は「人と接して交渉する」意と解釈するところから誤記するものと思われる。
- (2) 同音異義語の混同……上掲の例では、「関心・週間・授賞・報償金」などがその例であろうし、また51ページにあげた「製作(制作)・平行(並行)・型式(形式)・観賞(鑑賞)・異状(異常)」なども、これに該当する。
- (3) 同音類義の漢字との混同……上掲の例では、「還算・難行・万場一致」などがその例である。

ともかく、この類型に属する漢字の誤用は、単に広報紙だけのことではなく、社会一般にも、かなり広範囲に見られるものであろう。

#### ⑤ 代用字による誤用のため（38例・9.1%）

- ・52年度末での市道の舗装率は、巾員4.5m以上では85.2%（幅）
- ・踏切の拡巾改良がまだである（幅）
- ・老令年金の受給方法（齢）
- ・結婚適令者を対象として結婚相談所を開設し（齢）

- ・また来年、当町の選手を引卒して参加致します（率）〔3例〕
- ・膨大な工事を計画し、領内農民の卒先協力のもと（率）

「巾一幅」「令一齡」「卒一率」は、本来別の字でありながら、前者を後者の略字と思い込むためか、上記のような誤用がかなり現れる。特に、「令」の場合は、「高令者（11例）・老令（化）（11例）・若令（2例）・樹令（3例）・学令期・適令期」のように、全体で29例にも上っている。これは、「年令」という語の場合に限って社会的に許容される習慣があるので、それを拡大解釈したものと思われる。なお、上掲の例のほか、「幅」については、「増巾器」,「卒」については「卒直・統卒」の例が現れている。

以上が、171紙全体に見られた、漢字の誤用の実態である。全体で416例のうち、Aの字訓による誤字の④（83例・20.0%）と、Bの字音による誤字の③（71例・17.1%）、④（115例・27.6%）とを合わせると、全体の誤用の約65パーセントを占めることになる。つまり、同訓類義や同音類形・同音類義の漢字による誤りに集中していることが知られるのである。

本来、漢字というものは、表意文字と言われているように、一字一字が決まった意味を持っているのに、その意味の違いに気づかず（あるいは無視して）同音または同訓の別の漢字を書いてしまうという現象——つまり、表意文字としての漢字を単に表音文字的に使う現象が、全国の市町村広報紙担当者の中にも、かなり顕著に認められると言ってよい。

なお、以上の結果を参考にして、次の語を意識調査の調査票に加えたので、その調査結果を参照されたい。（→239～266ページ）

（使い分け） 温かい—暖かい 十分—充分

（誤用） 越える（超） 破れる（敗） 以外（意） 一語（緒） 除々に（徐） 最少限（小） 優賞（勝） 引卒者（率） 高令者（齡）

### 2.3.3. 送り仮名の誤用に関する分析

#### 【正誤の判定基準】

送り仮名についての正誤の判定基準は、「送り仮名の付け方」（1971. 6. 18,

内閣告示)に掲げられた通則によることにした。ただし、この通則には、本則・例外のほかには許容があるが、許容の扱いについては、次のようにした。通則1の許容事項には、「次の語は、( )の中に示すように、活用語尾の前の音節から送ることができる。」として、「表す(表わす) 著す(著わす) 現れる(現われる) 行う(行なう) 断る(断わる) 賜る(賜わる)」という語例が限定列挙されているので、( )内の送り方も誤用扱いとはせず、採集の対象からは除外した。しかし、通則2・通則4・通則6の許容事項は、いずれも、「読み間違えるおそれのない場合は、次の( )の中に示すように、送り仮名を省くことができる」のように、代表例が掲げてあるだけである。したがって、読み間違えるおそれがあるかないかの判断に迷う場合が生じるので、各条に挙がっている語例以外は、一往、誤用例として採集することにし、分析の対象に加えた。

#### 【誤用の分析】

171紙全体で、送り仮名の誤用と見られるものは、489例ある。ただし、同一紙の中で同じ語の誤用例が何回現れても一回としか数えていないことは、漢字の誤用の場合と同様である。この489の誤用例を、まず、必要な送り仮名を欠いたもの(送り不足)と、必要以上に送り仮名をつけたもの(送りすぎ)とに二大別して、それぞれの通則ごとに分類すると、次のようになる。

#### 送り仮名の誤用の内訳……全体 489例 (100%)

	A送り不足	B送りすぎ
通則1 (単独の活用語)	10 ( 2.0)	156 (31.9)
// 2 (派生の活用語)	51 (10.4)	4 ( 0.8)
// 3 (本来の名詞)	5 ( 1.0)	44 ( 9.0)
// 4 (活用語からの転成名詞)	11 ( 2.2)	24 ( 4.9)
// 5 (副詞・連体詞・接続詞)	2 ( 0.4)	20 ( 4.1)
// 6 (複合用言・複合名詞)	73 (14.9)	49 (10.0)
// 7 (慣用の固定した複合名詞)	1 ( 0.2)	39 ( 8.0)
計	153 (31.3)	336 (68.7)

上の結果を見ればわかるように、送り仮名に関する誤用は、送り不足(153

例・31.3%)の例よりも、送りすぎ(336例・68.7%)の例のほうが、はるかに多い。特に、通則1(単独の語で活用のある語)に関する送りすぎの例が目立って多い。次に、広報紙に実際に現れた誤用の代表例を示す。

A 送り不足(153例・31.3%)

① 通則1に関するもの(10例・2.0%)

- ・日頃家事や仕事に追れ、運動不足になりがちなお母さんたち(追われ)
- ・口を大きくあけてゆっくり話ますが(話します)
- ・保育所では、……三歳児が行儀よく私たちを迎てくれました(迎えて)

上に見るように、動詞の連用形の場合に活用語尾を脱落させたものが、全体で7例あった。残りの3例は、いずれも「異」で、

- ・税金の種類によって異ります(異なり)

のように、通則1の例外にもかかわらず、「な」を送らなかったものである。

② 通則2に関するもの(51例・10.4%)

〔動詞 26例〕

- ・改った席よりも、何かの会合の折りを利用して(改まった)
- ・過去十一年間欠さず続けられ(欠かさず)
- ・巖木の人たちは当時に懐しむかのように説明されました(懐かしむ)
- ・このような基本方針を踏えての基本計画は、表のとおり(踏まえて)
- ・天気が良いとテニスボールの音に混って聞える(混じって)〔2例〕
- ・行政だけではとうてい満し得ない面をもっています(満たし)〔2例〕

〔形容詞 22例〕

- ・子どもたちを温く見守り育てる(温かく)〔「暖い」を含めて5例〕
- ・今のままでは危くて遊ぶことなどとてもできない(危なく)〔5例〕
- ・十分注意し、恐しい食中毒を防ぎましょう(恐ろしい)〔5例〕
- ・川へ捨ててしまったという人も少くなく(少なくなく)〔3例〕
- ・これを「たたき台」にして、望しい統合中の早期実現を(望ましい)

〔形容動詞 3例〕

- ・色鮮かな紅葉が楽しめます(鮮やかな)〔2例〕
- ・新な観点からそういう方向に進めねばと思います(新たな)



送り不足の例全体の中では、この通則2に関するものが三分の一を占めていて二番目に多い、いずれも、公式の送り仮名法（1959.7.11 内閣告示・訓令）が登場するまでは、一般に広く行われていた送り仮名であるから、広報紙の紙面に現れても不思議はない。特に、形容詞の「温（暖）い」「危い」「恐い」「少い」などの送り不足の例が目立つ。この通則2は、新旧の送り仮名法の断層を示しているとも言えよう。

③ 通則3に関するもの（5例・1.0%）

- ・本当に幸だと思ひます（幸<sup>セイ</sup>せ）
- ・郷愁というものがこの歳になるまでついてまわっている。幸なことだと思ふ（幸<sup>セイ</sup>い）
- ・そうした情がしみじみ考えさせられます（情<sup>セイ</sup>け）〔3例〕

④ 通則4に関するもの（11例・2.2%）

- ・長寿者にお祝の品を（お祝<sup>セイ</sup>い）〔2例〕
- ・今後四年間、そのお支をいただいて、〇〇町発展のため（お支<sup>セイ</sup>え）
- ・作品の一つひとつに素朴で温さを感じられ（温<sup>セイ</sup>かさ）〔2例〕
- ・いたわりと慈みのあるまなざしに見守られて（慈<sup>セイ</sup>しみ）
- ・袋かけや袋取りなど手間の煩しさなどが（煩<sup>セイ</sup>わしさ）

⑤ 通則5に関するもの（2例・0.4%）

- ・果してどれ程の利用があるだろうかという不安も（果<sup>セイ</sup>たして）
- ・味もよそ物より良いという定評なので、先はめでたい（先<sup>セイ</sup>ずは）

以上は、単独の語で活用しないものの一群であるが、誤用例も少なく、特に取り上げることもない。ただ、③に掲げた「幸」などは、文脈によっても「さいわい」なのか「しあわせ」なのか判読に苦しむ場合があるので、どうしても送り仮名のほしいところである。

⑥ 通則6に関するもの（73例・14.9%）

〔複合動詞・複合形容詞 12例〕

- ・昭和五十二年度予算に繰越たもので（繰<sup>セイ</sup>り越<sup>セイ</sup>し）
- ・毎晩のように練習を積重ねています（積<sup>セイ</sup>み重<sup>セイ</sup>ね）
- ・双方が話し合い、讀合って（話<sup>セイ</sup>し合<sup>セイ</sup>い・讀<sup>セイ</sup>り合<sup>セイ</sup>って）

- ・ことしの夏は、みなさんの力で住よくしましょう（住みよく）
- ・とにかく手をつなぎ、揺ぎなき体勢の中から（揺るぎなき）

〔複合名詞 61例〕

- ・空き地の枯草は火災の原因に（枯れ草）〔4例〕
- ・たばこの吸がら、煙突の火の粉にも（吸いがら）〔3例〕
- ・朝夕の冷込みは、日ごとにきびしさを増し（冷え込み）〔2例〕
- ・修学旅行は行先が決められ制限時間の中で（行き先）〔3例〕
- ・または線引されてない都市計画区域で（線引き）〔2例〕
- ・道路沿の見やすい所に町名表示板をとりつけます（道路沿い）〔3例〕
- ・……電報電話料金など値上が実施されました（値上げ）〔2例〕
- ・水遊びや宝さがし、スイカ割など楽しく遊び（スイカ割り）〔2例〕
- ・ごみは埋立による自主処理を建前に（埋め立て）〔2例〕
- ・〔歌詞の公募や〕レコーディング立合まで一切の仕事（立ち合い）

送り仮名不足の例全体の中では、この通則6に関するものが半分近くを占めていて最も多い。その中でも、複合動詞・複合形容詞の場合（12例）よりも、複合名詞の場合（61例）がはるかに多い。複合名詞の内訳を見ると、「枯草」「吸がら」のように前部分が動詞のものが24例、「線引」「道路沿」のように後部分が動詞のものが31例と、ほぼ拮抗し、「埋立」「立合」のような複合動詞の名詞化したものは6例と少ない。この通則6に関するものは、読み間違えるおそれのない場合には、送り仮名を省くことができるという許容事項がついていることもあって、送り仮名の付け方で最も迷うところであり、上の数字は、それを反映したものと思われる。

#### ⑦ 通則7に関するもの（1例・0.2%）

- ・募集受け付け開始は、九月末ごろになる予定です（受付）

通則7は、慣用に従って送り仮名を付けないという条項で、「受付」は、その中に語例として掲げられているものである。

#### B 送りすぎ（336例・68.7%）

##### ① 通則1に関するもの（156例・31.9%）

〔動詞 108例〕

- ・今回大臣賞に選ばれた有理子さんの作品は（選ば）〔8例〕
- ・好ましい自然環境が次第に失なわれてきています（失われ）〔7例〕
- ・ここ北総台地は紅葉して晩秋の訪ずれを告げる（訪れ）〔8例〕
- ・村の基本構想にも示めすように（示す）〔4例〕
- ・〇〇城跡を貫ぬく幹線道路の計画案を（貫く）〔3例〕
- ・こうした事業に伴なう予算も、すでに決定し（伴う）〔4例〕
- ・大学を出て働らく場所がなければ（働く）〔6例〕
- ・こっけいなしぐさをして見物人を喜こばせます（喜ば）〔12例〕

〔形容詞 42例〕

- ・二人の新らしい人生、信頼と愛情に結ばれ（新しい）〔2例〕
- ・彼等の間に新たらしい連帯感が生まれてくれば（新しい）〔2例〕
- ・県外のお客は、忙がしい日程で回ってあるく（忙しい）〔7例〕
- ・テレビによって読書、学習時間が短かくなった（短く）〔11例〕
- ・能・謡曲は大変難かしいものには違ひありませんが（難しい）〔4例〕
- ・最近では、炭を焼く人の姿を見るのは珍らしい（珍しい）〔8例〕

〔形容動詞 6例〕

- ・新らたに天然記念物に指定された四本の老杉は（新たに）〔6例〕

この通則1に関する誤用例は、送り仮名の誤用例全体の三分の一以上を占めている。いずれも、活用語尾だけを送ればよいのにそれより多く仮名を送ったものである。原稿の執筆者が用言の活用を正しく認識していない結果だとも言えるが、もう一つ、漢字に含ませる音節数とも関連がありそうである。本来の正しい送り方に比べて漢字に含ませる音節数を減らした状況を見ると、次のような分布になっている。

	(動)	(形)	(形動)	(計)	(例)
(ア) 2音節→1音節	45	3	6	(54)	選らぶ・示めす・狭まい等
(イ) 3音節→1音節	—	2	—	(2)	新たらしい
(ウ) 3音節→2音節	63	36	—	(99)	失なう・訪ずれる・忙がしい等
(エ) 4音節→3音節	—	1	—	(1)	快よい
計	108	42	6	(156)	

上の結果から、漢字に含ませる音節数が3音節のものを2音節にとどめようとする傾向のあることがわかる。戦前の送り仮名法の中には、漢字に含ま

せる音節数を二音節に統一するものがあったが、今なお、そういう送り仮名意識が一部に根強く残っていることを思わせる。特に、形容詞の場合にその傾向が顕著である。ただ、(ア)に見られる、漢字に含ませる音節数が2音節のものを1音節にとどめた例がかなり多く見られることは、どう解釈すべきであろうか。漢字の表意性に対する意識が薄れてしまって、ただ表音的にのみ使用する結果の一つの現れとも見ることができよう。

② 通則2に関するもの(4例・0.8%)

- ・手カゴ一個で八時間、オイコは十六時間費いやすという(費やす)
- ・長谷川さんの作品は軟わらかいタッチの風景画で(軟らかい)
- ・たいていの肉は柔わらかく食べられます(柔らかい)〔2例〕

③ 通則3に関するもの(44例・9.0%)

- ・何かの会合の折りを利用して(折)〔2例〕
- ・仮に、この資源ごみを市で埋立てするとすれば(仮)〔2例〕
- ・いつ、誰が、どういう目的で建立したのか(誰)〔5例〕
- ・内容はそれぞれ次ぎのとおりです(次)〔2例〕
- ・あの苦しさは一体何んだっただろう(何)〔10例〕
- ・今では家族皆んなで喜んでくれています(みんな・皆)〔16例〕

〔通則3の例外〕

- ・自からも選手として活躍しました(自ら)〔2例〕

④ 通則4に関するもの(24例・4.9%)

- ・そのために誤まりをなおしておこうというわけです(誤り)
- ・日常では味わえない喜こび楽しさがあり(喜び)〔2例〕

〔通則4の例外〕

- ・テレビから離れて一人読書するのも趣きがあっていいものです(趣)
- ・どこでも、だれでも手話で話しができるようにと(話)〔18例〕

⑤ 通則5に関するもの(20例・4.1%)

- ・飼い犬には必らず登録と注射をうけ(必ず)〔17例〕
- ・決っしてそのようなことはございません(決して)
- ・本年も早や年末を迎えることとなりました(早)

通則②～⑤に関する誤用は、さほど多くはなく、特に述べることもない。

⑥ 通則6に関するもの(49例・10.0%)

〔複合動詞・複合形容詞 40例〕

- ・新陳代謝を繰り返し、成長を遂げています（繰り返し）〔3例〕
- ・違った一面を見出すに違いありません（見いだす・見出す）〔5例〕
- ・いつでも気怪るに役場税務課へお尋ねください（気怪）〔7例〕
- ・身近かな問題でありながら、つい忘れがちなゴミ問題（身近）〔11例〕

〔複合名詞 9例〕

- ・作品の前で自慢話しに花がさいた（自慢話）〔2例〕
- ・春耕を前に道路脇きの砂利拾いに精出す光景が（道路脇）〔2例〕
- ・春先きにしまい込んだ小型石油ストーブ類は（春先）
- ・浴客に事故のないようにと見回りをしたり（見回り）

⑦ 通則7に関するもの（39例・8.0%）

- ・それぞれの立ち場で協力する体制ができてはじめて（立場）〔2例〕
- ・『マリモ』にまつわるアイヌ娘の悲恋物語りなど（物語）〔2例〕
- ・農業に関する基礎資料として重要な役割りをはたし（役割）〔9例〕
- ・不燃物は全市域とも月一回の割合いで収集しています（割合）
- ・好天に恵まれ、絶好の海水浴日和（日和）〔2例〕

以上が、送り仮名の誤用の実態である。なお、意識調査における調査票の質問項目の中に、送り仮名の誤用例として次の5語を加えたので、その調査結果を参照されたい。（239～266ページ）

驚ろく 話し(名詞) 必らず 忙がしい 短かい

## 2.3.4. 仮名遣いの誤用に関する分析

### 【正誤の判定基準と誤用の分析】

仮名遣いについての正誤判定の基準は、「現代かなづかい」（1946.11.16 内閣訓令・告示）の規則によった。また、「じ・ち・ず・づ」の使い分けに関して問題になる語例の処置については、「正書法について」（1956.7.5 国語審議会報告）に示されている判断に従うことにした。

すでに触れたごとく、仮名遣いの誤用は、漢字や送り仮名の誤用に比べると、はるかに少なく、171紙全体で109例を数えるだけであった。その109例を問題ごとに分類してみると、次のようになる。

- (1) 「じ・ち・ず・づ」の書き分けに関するもの(80例・73.4%)
- ①「じ」と書くべきところを「ち」と書いたもの(5例)
  - ②「ち」                //                「じ」                //                (2例)
  - ③「ず」                //                「づ」                //                (58例)
  - ④「づ」                //                「ず」                //                (15例)
- (2) 「は」と「わ」の書き分けに関するもの(10例・9.2%)
- ⑤「は」と書くべきところを「わ」と書いたもの(8例)
  - ⑥「わ」                //                「は」                //                (2例)
- (3) 「へ」と「え」の書き分けに関するもの(6例・5.5%)
- ⑦「へ」と書くべきところを「え」と書いたもの(5例)
  - ⑧「え」                //                「へ」                //                (1例)
- (4) 「を」と「お」の書き分けに関するもの(1例・1.0%)
- ⑨「を」と書くべきところを「お」と書いたもの(1例)
- (5) 「おう・こう・とう……」(オ列長音)と「おお・こお・とお……」の書き分け(12例・11.0%)
- ⑩「おう・こう……」と書くべきところを「おお・こお……」としたもの(5例)
  - ⑪「おお・こお……」と書くべきところを「おう・こう……」としたもの(6例)
  - ⑫「ほお」と書くべきところを「ほほ」としたもの(1例)

以上のとおり、仮名遣いに関する誤用のほとんどは、「じ・ち・ず・づ」の書き分け、特に「ず」と「づ」の書き分けの誤りに集中することが知られる。以下、①～⑫について、それぞれ誤用の実例を示す。なお、「現代かなづかい」は、厳密に言えば、外来語にまでは適用しないものであるが、ここでは、外来語の表記のうち、国語の仮名遣いに関連のありそうなものは取り上げておいた。

① じ→ち(5例)

- ・熱戦がくり広げられたドッジボール〔3例〕

- ・署長のメッセージと記念のバッヂが手渡されました。
- ・年間二万本のパンヂーなどの苗を育て

ここでは、外来語の例しか現れなかった。「ドッチボール」(2例あり)と発音するならともかく、濁音に発音する以上、「ドッジ」と書くのが、普通であろう。

## ② ぢ→じ (2例)

- ・クラブ員も10人たらずとこじんまり
- ・開館まじかな“勤労青少年ホーム”の姿

こども、二例しか見られなかったが、前者は、「正書法について」では「こぢんまり」を採用している。後者は、普通は「間近」と漢字表記にされることが多いため、誤用の目につくことが少ないのであろう。

## ③ ゅ→づ (58例)

- ・四本の老杉は、いづれも樹令一五〇年と推定され〔5例〕
- ・報告できる日が早くおとづれることを期して〔5例〕
- ・一年中働きづくめになっています〔2例〕
- ・一年にすると元金は五万円づつ返済すればよいことになる。〔24例〕
- ・梅雨期をひかえて離乳のむづかしい時期です〔4例〕

以上のほか、「あづかる・おあづけ・あづき・うづまる・うなづく・づけづけ・たづさわる・つまづく・まづ〔2例〕・めづらしい・ゆづる〔2例〕」などの例が現れたが、これらは、いずれも歴史的仮名遣いに引かれた誤りとも考えられる。しかし、一方、「いしづえ・口づさむ・床づれ・引きづられる〔2例〕」のように、歴史的仮名遣いで「ず」と書くものまで「づ」とした例も現れる。この中では、「づつ」の24例というのが際立って多いが、これは、現代かなづかいで育った世代の中にもこう書く人が多いことを表すものと言えよう。あるいは、例外とされる「同音の連呼」(「つづく・つづみ」など)との混同があるのかもしれないと考えられる。

## ④ づ→ず (15例)

- ・おこずかいをボランティア活動に寄付してくれた子供〔2例〕
- ・天災融資法に基ずく災害指定の早期適用〔6例〕

- ・朝食をすませたあと、全員でテントを<sup>か</sup>た<sup>ず</sup>け〔3例〕
- ・新庁舎落成の際に完成したこの<sup>乱</sup>れ<sup>ず</sup>み<sup>の</sup>石垣

上記のほか、「近<sup>ず</sup>く・家<sup>庭</sup>ず<sup>く</sup>り・家<sup>族</sup>ず<sup>れ</sup>」が現れたが、これらは、いずれも、例外とされる「二語の連合」に該当するものである。

⑤ は→わ（8例）

- ・「家庭内での話し合い」ある<sup>い</sup>わ「家中での食事や談笑」と答えた。
- ・やあ、<sup>こ</sup>んに<sup>ち</sup>わ。すっかり寒くな<sup>っ</sup>ち<sup>ゃ</sup>った<sup>ね</sup>。〔6例〕
- ・みなさん、<sup>こ</sup>ん<sup>ば</sup>ん<sup>わ</sup>。

さすがに助詞の「は」を「わ」と書いた例は皆無であったが、それに関連する上記の語は、わずかではあるが「わ」と書いたものが見られる。

⑥ わ→は（2例）

- ・室町時代の終り頃<sup>す</sup>な<sup>は</sup>ち十六世紀後半頃に建立された。
- ・自らをな<sup>お</sup>すことを先に考<sup>え</sup>るのは<sup>お</sup>か<sup>し</sup>い<sup>は</sup>。

前者は、執筆者自身が「スナハチ」と発音している可能性もありそうである。後者は、終助詞としての「ワ」であるから「わ」と書くべきである。

⑦ へ→え（5例）

- ・医者など<sup>え</sup>は保険証持参を〔5例〕

⑧ え→へ（1例）

- ・町内のみなら方法も考<sup>へ</sup>られるが

助詞の「は」や「を」を「わ」「お」と書き誤ったものは皆無であったが、助詞の「へ」を「え」としたのが、171紙全体で5例現れた。また、「考へる」のように、歴史的仮名遣いに引かれた誤りは、少し前までの広報紙にはよく見られたが、今回は1例のみであった。現代かなづかいは、この種のものには十分に浸透しているものと思われる。

⑨ を→お（1例）

- ・水道事業の公共性を考慮すれば<sup>や</sup>む<sup>お</sup>え<sup>な</sup>いものと……述べています

前述の「あるいわ」「こんにちわ」などと同様に、助詞の意識がないことによる誤用であろう。

⑩ どう→どお（5例）



- ・仲間どおしの楽しいグループ活動が〔3例〕
- ・そおーれ、入るかな、！（老人輪投大会の見出し）
- ・野菜・果物などの即売場には、主婦らがドオツとつめかけ

⑪ とお→とう（6例）

- ・道場に行くのがまちどうしいぐらでした。〔2例〕
- ・なかなか理想どうりにはいきません〔2例〕
- ・各自が用意してきたおにぎりをほうばっていた。〔2例〕

⑫ ほお→ほほ（1例）

- ・思わず……涙がほほをつたう悲しい本など

上のうち、⑩の「どおし」(同士)や、⑪の「まちどうしい」(待ち遠しい)、「……どうり」(……通り)などは、普通は、漢字表記に隠れてしまうことがあるために、意外に誤用が少なかった。また、「そおーれ」や「ドオツ」のような擬音語、擬態語の類は、長音とみるかどうかの問題もあって、必ずしも誤用とは言い切れないところがある。また、最後の「ほほ」は、この語をホオと発音するか、ホホと発音するかの違いであって、仮名遣い以前の問題であると言えよう。

以上、市町村発行の広報紙における漢字・送り仮名・仮名遣いの誤用の実態を見てきた。対象とした171紙は、いずれも各都道府県の予選コンクールで最優秀作に選ばれた作品であるから、以上の結果は、ただ氷山の一角を示すにすぎないとも思われる。現在、全国の市区町村で発行されている広報紙にはさらに多くの用字上の誤用が存在することも、容易に想像される。広報紙の編集担当者は、いずれも地方公務員であり、その職種上、一般の国民よりも文字や表記に触れる機会も多く、その意識も高いと思われる。にもかかわらず、用字上の誤用がこれほど多いという事実は、一体何を意味するものであろうか。国語の表記法自体が、一般国民にとっては、複雑で理解しにくい厄介な存在であるのかもしれない。あるいはまた、国民の言語や文字に対する感覚が鈍磨してしまって、用字上の正誤についてそれほど神経をとがらせない人が多くなっていることの一つの表れかとも考えられる。

### 3. 表記意識の分析

#### 3.1. 意識調査の性格

##### 3.1.1. 意識調査のねらい

語表記においてゆれという現象が認められるためには、大きく分けて二つの要因がかかわっている。第一は、一つの語に対して二通り以上の表記形式が存在すること、第二は、それらの複数の表記形式が現実使用されて出現することである。たとえば、色を表す「アオイ」という語には、「青い・蒼い・あおい・アオイ」などの表記形式が存在する。これらのうちの二通り以上の表記形式が使用されたときに、表記のゆれが認められるわけである。単に存在するだけでは表記がゆれているとは言えない。表記のゆれが認められる場合には、複数の表記形式がいかに使われているかということが問題になる。

二通り以上の表記形式が存在することは、文字体系や表記体系にかかわる問題であるが、複数の表記形式をどう使うかは表記を行う人間の問題である。したがって、表記のゆれを分析する立場としては、文字体系や表記体系といったことばの側からのもの以外に、そのことばを使用する人間の側からのアプローチが必要であると考えられる。個人によって表記がどのように違うのか、また、個人の内部においても表記を行う時々によってゆれが生じるのはどのような理由によるのか、といった問題が人間の側からの研究項目になる。こうした研究の上に立てはじめて表記のゆれの実態についての解析が可能になると考えられる。

ここでは、そうした人間（表記者）の側からの研究の一つとして、個人に

よる文字の使い方の違いと、その裏にある、個人の表記意識のかかわりとを考えてみたい。ゆれが見られやすい語に対して、個人がどのような表記形式を選択する反応を示すのか、また、それは表記に対する態度や意識とどのような関係にあるのかについて、調査を行い、分析しようとするものである。

表記のゆれが見られやすい語に対して、各個人がどのような表記を行うかを見るには、大勢の人間がそれらの語を表記した資料を手に入れなければならない。その資料も、理想を言えば、表記者の日常の表記の姿を正しく反映しているものであることが望ましいし、個人による比較をするためには、同一の条件で書かれたものであることが望ましい。

しかし、この理想を満たす資料を入手することは不可能であろう。日常の自然な表記をとらえるには、表記者が調査者による意図的な制約を何ら受けることなく書いた資料でなければならない。それに対して、大勢の表記者が同一条件で表記した資料を得るには、大勢の表記者が同一の表記条件下で表記できるように、調査者が表記者に対して制約を加えなければならない。制約の有無の点で、“日常の自然な表記”と“同一条件下の表記”とは両立できないものとなる。

そこで、どちらか一方を犠牲にしなければならない。ここでは前者についてはある程度我慢することにして、後者に重点を置くことにした。つまり、調査者の側で表記の条件を設定し、その条件下で被調査者である表記者に、できるだけ日常の表記をしてもらうという形式をとることにした。これは、短期間に多くの資料を確実に集めることができること、個人ごとの表記の比較ができること、にねらいを定めたからである。

また、表記者についても、さまざまな人——表記に関しての意識・態度や文字の使い方などについていろいろ違っている人々——が含まれ、かつそれが大勢であることが望ましい。しかし、現実問題として、そのような被調査者を得ることはむずかしい。そこで過去の表記調査の結果を利用して、表記のあり方が比較的対立する集団を被調査者に選ぶことにした。

1977年度に文部省科学研究費補助金による研究「現代の漢字使用の実態と

意識に関する計量言語学的研究」のもとで、表記の実態と意識について調査を行った。その結果について、被調査者を職種別に分類したところ、学生、広報担当者、教員、主婦、一般公務員というグループが得られた。そしてこれらの五つのグループを比較すると、広報担当者と教員が似た反応を示し、主婦と一般公務員が似た反応を示し、かつ、広報担当者・教員グループと主婦・一般公務員グループとは対立的な反応を示した。また、学生は広報担当者・教員グループにやや近いもののまた少し違った反応を示した（国立国語研究所報告67『電子計算機による国語研究X』所収の佐竹秀雄「表記行動のモデルと表記意識」参照）。

この結果をもとに、三つの集団を中心に据えることにした。第一は広報担当者・教員グループに近い集団である。第二は主婦・一般公務員グループに近い集団で、第三は学生の集団である。そして、被調査者として協力が得られやすい集団を選ぶことにし、第一の集団としては教員、それでもできれば国語科にかかわりの強い教員を、第二の集団としては主婦を選ぶことにした。つまり教員、主婦、学生の三つの集団を中心に調査することによって、できるだけバラエティに富んだ表記者をつかまえようというのである。

先にも述べたように、この調査では、ゆれの見られやすい語を対象とし、個人の文字の使い方の違いを通して、個人の表記意識や表記態度のあり方とその表記形式の選択反応との関連を分析しようとする。そして、被調査者に関しては上述のような事情にあるので、分析にあたっては個人の側面と共に集団の面からの比較分析に焦点をあてることにする。ただし、上述の三集団を比較するといっても、その被調査者をもって教員・主婦・学生の実態を代表させようという意図はない。あくまでも表記に関してさまざまな個人の姿を比較しようというのである。

### 3.1.2. 意識調査の方法

調査にあたっては、前節で述べた条件に合う集団をさがし、その集団が会合などで集まる機会をとらえ、調査票（後に示す）を配布して記入してもら

うという方法をとった。いわゆる集合調査法であるが、被調査者を一度に全員を集めることはできなかったため、前述（10ページ）のように、数度にわたって分散して行った。調査対象を大別すると次のようになる。

- A 「国語問題研究協議会」参加の教員（440人）
- B 松江市の小学校および松山市の中学校の父兄（363人）
- C 島根大学教育学部および愛媛大学教育学部の学生（217人）

Aは「国語問題研究協議会」における講演の時間の、Bは父兄会の、Cは授業の、それぞれ一部の時間を借り受けて調査を行った。調査の際には調査実施者（斎賀・野村・佐竹が分担）が当地に出かけ、回答の説明・注意を与えた。この説明・注意は事前に打ち合わせて、3人の調査実施者によって差が生じないように留意した。説明・注意に要した時間は約5分で、その後すぐに回答を開始、回答し終わった人から順に提出してもらった。回答に要した時間は個人差があり、速い人では20分、遅い人は30分程度であった。

回収した調査票には通し番号をつけ、回答を整理してコード化した。通し番号とコード化された回答は、パンチカードを通して磁気テープ内に入力した。磁気テープ内のデータについて、数度の修正を行い、基本的な集計結果を出力するとともに、分析のためにデータにいくつかの加工を施し各種の集計・分析作業を行った。データの加工・集計作業はすべて電子計算機によって行った。

次ページ以下に調査票を示す。

おねがい

国立国語研究所

この調査は、手紙の書き方を中心として、おもに文字の使い方について、みなさんが日常どのような考えをもっていらっしゃるかを、知るためのものです。決して読み書きの力をためす調査ではありません。どうか、しばらくの間ご協力ください。

最終学歴	その職業についての年数	年目	職業	性別 男・女	生まれ年		
	昭和				大正	明治	
・小学校 ・中学校(旧制高小をふくむ) ・高等学校(旧制中学・高女をふくむ) ・大学							

④ 次の各項のあてはまるものを○で囲んでください。

1. 遠方にいる人にものを頼んだりお礼を述べたりする場合、手紙やはがきを書きますか。電話をかけますか。  
a ほとんど手紙やはがきを書く  
b どちらかといえば手紙やはがきを書く  
c どちらかといえば電話をかける  
d ほとんど電話をかける
2. 手紙やはがきを書くことは、すきですか、きらいですか。  
a きらいだ b 別にきらいではないが、おっくうだ  
c すきだ d どちらともいえない
3. 手紙やはがきを書くときは、おもに、どのような筆記用具を使いますか。(おもなものを一つまたは二つ○でかこんでください。)  
3-1 びんせん (a 毛筆 b 万年筆 c サインペン d ボールペン e 鉛筆 f その他)  
3-2 はがき (a 毛筆 b 万年筆 c サインペン d ボールペン e 鉛筆 f その他)
4. びんせんやはがきはおもに縦書きにしますか。横書きにしますか。  
4-1 びんせん (a 縦書き b 横書き c 半々ぐらい)  
4-2 はがき (a 縦書き b 横書き c 半々ぐらい)
5. 往復はがきなどの返信に「御芳名」「御住所」などと印刷してあるとき、あなたは「御」や「芳」の字を消しますか。  
a 必ず消す b 消さない  
c 決めていない d わからない

6. 往復はがきなどの返信のあて名に、「〇〇行」などと印刷してあるとき、あなたははどうしていますか。

a 必ず「行」を消して「様」「殿」などの敬称をつける

b 消さないで、そのままにする

c 決めていない

d わからない

7. 手紙やはがきを書くとき、国語辞書や漢字字典ほどの程度使いますか。

a めったに使わない

b たまに使うことがある

c しばしば使うことがある

d よく使う

⑧ 次にあげたカタカナの文章は、父兄がわが子の欠席届を担任の先生にあてて書いたものです。カタカナを漢字平仮名まじりの文章にして、下の線を引いたところに書いてください。なお、改行や句読点を打つ場所は、あなたの任意のところで作ります。

ハシリガキデ シツレイ イタシマス キノウノ  
ゴゴガラ コドモノ ゲンキガ ナク ネット ハカッタ  
トコロ サンジュウハチド イジョウ アリマシタ  
オイシャサマノ ハナシデハ カゼダカラ ジュウブン  
エイヨウヲ アタエテ ヤスマセレバ スグニ  
ナオルダロウトノ コトデシタ ケサニ ナツテ  
ネツハ ジョジョニ サガッテ キマンタガ イチオウ  
キョウハ ヤスマセマス ミギ トリイソギ ゴレンラク  
モウシアゲマス

⑨ 上の文章の中で、漢字にしようか仮名にしようか迷ったことはありませんでしたか。もしあれば、上のカタカナの文章中のその部分を○で囲んでください。

また、上の文章の中で、漢字で書こうとしても、二通り以上の書き方が頭に浮かんで、どちらにしようか迷ったことはありませんでしたか。もしあれば、その部分を○で囲んでください。

(○と○が重なってもかまいません。)

◎

あとにあげた田のことは、それぞれ(一)の中のようない通りの書き方が見られます。あなたはどのような書き方をしていますか。次の1~6の中でもっとも近いと思うものを選んで、(例)にならって、その番号をそれぞれの( )の中に記入してください。

△常に一つの書き方に決めている▽

1 Aを使う。

2 Bを使う。

3 漢字で書かず、かなで書く。

△場合によって書き分ける▽

4 意味の違いによって両方を書き分けている。

5 その時の気分で両方を書き分けている。

△その他▽

6 その他。

(例) あつい { A 暑い }  
B 暑い (4)

(1) せいちょう { A 生長 }  
B 成長 ( )

(3) ふろく { A 附録 }  
B 付録 ( )

(5) じゅうぶん { A 十分 }  
B 充分 ( )

(7) ねんれい { A 年令 }  
B 年輪 ( )

(9) じゅんぱう { A 遵法 }  
B 順法 ( )

(11) おうたい { A 応対 }  
B 応待 ( )

(13) なんこう { A 難航 }  
B 難行 ( )

(15) いちおう { A 一応 }  
B 一往 ( )

(2) ねんばい { A 年配 }  
B 年輩 ( )

(4) したく { A 仕度 }  
B 支度 ( )

(6) おおせい { A 多勢 }  
B 大勢 ( )

(8) おんこう { A 温厚 }  
B 温好 ( )

(10) まち { A 街 }  
B 町 ( )

(12) きじゅん { A 基準 }  
B 規準 ( )

(14) ていねん { A 停年 }  
B 定年 ( )

(16) いしょう { A 衣裳 }  
B 衣装 ( )



明るくおんき  
A 録音機  
B 録音器  
( )

簡かじょうがき  
A 簡条書き  
B 簡条書き  
( )

あたたかい  
A 温かい  
B 暖かい  
( )

男どうし  
A 同志  
B 同士  
( )

① 次の文章は、PTAの会報に投稿する文章の一部です。投稿者は、傍線部分の漢字や送り仮名の使い方に自信がないの  
で見てほしいと言っています。あなたが投稿者から相談を受  
けたとしたら、どのように手を入れますか。あとの問いの順  
序に従って答えてください。

例 ① せん日市宮競技場で行なわれた市民バレーボール大会に、  
私は我がチームの引率者として一諸に参加しました。そこ  
で驚ろいたのは、高令者の方が以外に多いという事でした。  
六十才を越える人もいました。その人の話しでは、「今日  
は、始めの試合で破れたが、今後は除々に力をつけて三年  
後には必らず優賞するぞ。」と、大変な鼻息でした。これ  
を聴いて私は、忙がしくてほんの短かい暇しか得られない  
人でも、何か趣味を持つべきだと考えました。それが老後  
を楽しく元気に贈るための最少限の条件だと思ったからで  
す。



### 3. 1. 3. 調査票の各設問の意図

調査票を大きく分けると五つの部分から成る。生まれ年・性別・職業・学歴など、被調査者の属性について質問する部分と、④～⑩の設問の四つの部分とである。次に④～⑩の設問のそれぞれのねらいについて述べよう。

#### 【④について】

ここで実施した表記調査によってわれわれが得たいデータは、ゆれの見られやすい語に対して、一般の人々が普段どのように表記しているかについてである。ところが、調査の方法は、調査票の⑥⑦⑩に見られるように、仮名を漢字にしたり、二つの表記形式の一方を選択したり、誤りを訂正したりする部分がある。このような設問は被調査者に対して読み書きの能力を調査しているような印象を与える可能性がある。その場合、被調査者は正しい答えを要求されていると考え、それを答えようとして日常の使い方と違うものを選ぼうとしたり書いたりするおそれがある。それではわれわれの意図したデータが得られなくなる。そのためにこの調査が読み書きの能力をためす調査でないことを、調査票の冒頭部分でことわり、さらに調査票を配布したあとの回答についての説明・注意の際にも念を押すようにした。しかし、いざ回答をしようとした設問が⑥～⑩のようなものであれば、被調査者にとっては能力調査の疑いがぬぐえず、抵抗が大きいと思われる。そこで、最初の設問④は、そのような抵抗をさけ、スムーズに回答してもらおうための、いわば肩ならしの質問にした。

被調査者になるべく答えやすいようにと、手紙やはがきを書くことについての回答を求める質問にした。手紙やはがきを書くということは、日常生活の中で文字を使う場面として、不特定多数の人々に共通する可能性が最も高いものの一つであろう。そうした、被調査者にとって経験のあることならば比較的答えやすいだろうと考え、最初の設問に取り上げたのである。手紙やはがきを書くことは好きかどうか(④-2)、筆記用具は何を使うか(④-3)、縦書きと横書きではどちらが多いか(④-4)などの質問は、上述のような考えからのものである。④には、これらのほかに、手紙と電話では

どちらが多いか(㊤—1),「御芳名」「御住所」の「御」「芳」は消すか(㊤—5),返信用のあて名の「〇〇行」の「行」を「様」や「殿」に変えるか(㊤—6),手紙やはがきを書くときに辞書や字典を使うか(㊤—7)の質問がある。これらは単に肩ならしの意味だけではなく、被調査者の生活の中での文字とのかかわりの度合いや文字に対する関心、意識の度合いを見ようとしたものでもある。

#### 【㊤について】

語の中にはほとんど常に漢字でしか書かれない語もあれば、いつも仮名で書かれる語もある。しかし、語によっては漢字で書かれたり仮名で書かれたり、ゆれの大きいものもある。どのような語が漢字であるいは仮名で書かれやすいのか。また漢字と仮名とでゆれの大きい語はどんな語か。さらに、漢字で書かれる語の場合でも、二種以上の表記がなされるものもある。そのような語はどの表記形式が優勢なのか、あるいはゆれている状態なのか。このように、漢字と仮名、あるいは漢字と漢字の対立によるゆれについて、多数の個人が実際に表記したものをもとに調べてみようというのが㊤のねらいである。

そのために、全文カタカナの文章を提示し、それを漢字ひらがな交じりに書き直せという形式をとった。提示したカタカナの文章は、父兄がわが子の欠席届を担任の先生にあてて書いたものとした。このように具体的な状況を設定したのは、被調査者の回答のしやすさを考慮したためである。一般に文章を書くときは必ず状況や場面が存在するわけで、その状況や場面に応じて文章を書いている。表記調査でも状況や場面が設定されれば、それを想定してその状況や場面に合わせて書くことになる。そのような設定がないと、調査のために表記をするという意識が強くなり、不自然な回答が得られる可能性が高くなってしまう。

提示したカタカナの文章には、漢字と仮名、漢字と漢字の間でゆれが見られそうな語、あるいは書き分けが問題になりそうな語を、あらかじめいくつか含めてある。漢字と仮名の対立の方では、接頭辞の「御—お」「御—ご」、

形式名詞の「事—こと」「所—ところ」、形式用言の「……て来る…—…てくる」「……致す—……いたす」、熟字訓の「昨日—きのう」「今朝—けさ」「今日—きょう」「風邪—かぜ」、副詞の「直ぐに—すぐに」「一応—いちおう」などである。他方、漢字と漢字の対立による方では、「午後—午后」「十分—充分」「計る—測る—量る」「直る—治る」などがある。

⑧では、各語における表記形式がどれくらい使われているかを調べることにともに、もう一つ得られるデータがある。それは被調査者がどの程度の漢字含有率で文章を書くかということである。個人の漢字表記の嗜好度とも言うべきものを測定することができる。これによって、漢字を使う度合いと⑧における各語の表記形式との関係をさぐることができるし、同様に漢字を使う度合いと⑨⑩から得られる結果との関係についても考察を加えることができる。

なお、⑧に付随する質問として⑧'がある。これは、⑧のカタカナの文章を漢字ひらがな交じりにする際に、漢字にしようか仮名にしようかを迷った場合や、漢字で書こうとしてもその漢字表記が二通り以上あって迷った場合を尋ねているものである。ゆれのある語の表記に対して、それをどの程度意識するか、言い換えれば、個人の表記の意識内におけるゆれを取り出そうとするものである。

#### 【⑨について】

⑨は、ゆれの認められる語について、二通り以上の表記形式を示し、どちらを選択するか、あるいは書き分けをするかについて質問するものである。二通りの表記形式が存在するとき、それなりの存在理由をいくつか考えることができる。たとえば、二通りの表記形式が意味の違いに対応して書き分けられているとか、二通りのうちの一方は古い時代のもので他方が比較的新しくて、そのために両者が存在するとかいったものである。⑨で示した語の場合も、そうした理由になる条件を考慮して選び出した。つまり、次のような条件を踏まえて選んだ。

- (1) 意味の違いによる書き分けが主たる理由と考えられるもの。

(例：温かい—暖かい，町—街，同志—同士，生長—成長，基準—規準)

- (2) 二通りの表記形式の一方が漢字制限や漢字の音訓制限などの漢字政策とかかわりがあり，それが影響していると考えられるもの。

(例：衣裳—衣装，年齢—年令，遵法—順法，附録—付録，簡条書き—個条書き)

- (3) 二通りの一方は誤りとされるのが一般的であるが，実社会において誤りがよく使われるために，二通りが存在すると考えられるもの。

(例：応対—応待，大勢—多勢，温厚—温好，難航—難行)

- (4) 個人の書きぐせによる表記の違いがあるためと考えられるもの。

(例：年配—年輩，定年—停年，支度—仕度，一応—一往，十分—充分，録音機—録音器)

ここにあげた条件が，二通りの表記形式が存在する理由のすべてというわけではない。(1)～(3)は理由として可能性が高そうなものをあげたのであり，(4)は特に明確な理由がなく，いわば(1)～(3)以外という程度であって，便宜的なものにすぎない。また，例には◎の語をすべてあげたが，この分け方も完全なものではない。若干の注釈を加えておこう。

(1)の「温かい—暖かい」については，たとえば、『新聞用語集』では「温」は「冷の対語」とあり，「暖」は「寒の対語。主として気象・気温に」と注がついて区別をしている。他の辞書類も区別しているものが多い。同様に「町—街」についても，「町」は「行政区画」としてのマチのほか，「人家の集まっている地域」の場合で，「街」は「店などが並んでいる通り」の場合と書き分けられることが多い。「同志—同士」は，「同士」が「同じ性質をもっている，または，同じ状態にある仲間」という程度であるのに対して，「同志」は「主義主張やころざしが同じ仲間」と，結びつき方が少し違うように辞書類でも説明されているし，実際に書き分けが見られるようである。「生長—成長」についても，「生長」は「単に育っていく」場合で，「成長」は「熟していく」場合と書き分けたり，植物には「生長」，動物には「成長」と書

き分けたりすることがある。「基準—規準」については、「基準」は「比較のよりどころとなる標準」の場合に用い、「規準」は「行動やふるまいのよりどころとなる手本」の場合に用いると、辞書などに説明されている。

以上の説明は書き分けがなされる場合の説明であって、上述のような意味の差を認めないという考え方もありうる。たとえば「基準—規準」の場合、両者を同じ意味とみて「基準」だけに統一しているものもある<sup>注1</sup>。その立場に立てば、分類上は(4)に入れることになる。

(2)は、一方の表記形式に用いられる漢字が「当用漢字表」(調査実施時は常用漢字表が告示される以前であった。)にない漢字であるもの、学習漢字と関係のあるもの、および「当用漢字補正案」で影響を受けたものなどである。(2)の例に即して言えば、「衣裳」の「裳」が当用漢字表にない漢字の場合である。「年齢」の「齡」が学習漢字でない字、つまり小学校では学ばない字で、小学校の教科書では「年令」と書かれることになっている。残りの3例は当用漢字補正案に関係がある。当用漢字補正案というのは、1954(昭和29)年3月に国語審議会が報告したもので、漢字の加除それぞれ28字ずつと、音訓と字体の変更2字ずつとを掲げたものであった。これは「案」の段階にとどまったが、各新聞社がこれを採用したため、結果的には各家庭や職場にも及ぶことになった。「遵法」の「遵」,「附録」の「附」,「箇条書き」の「箇」が削る字の対象で、「個条書き」の「個」に「カ」という音訓が加えられたため、新聞では、「順法」「付録」「個条書き」と書かれたのである。

(3)は、一方の表記形式が現時点では誤りとされるもので、例で言えば、「応対」「大勢」「温厚」「難航」が正しく、「応待」「多勢」「温好」「難行」が誤りとされる。しかし、中には微妙なものがある。「難航—難行」で、「障害が多くて物事の進行がはかどらない」意味の場合、多くの国語辞典や表記

---

注1 「基準—規準」について、各種の国語辞典や表記辞典では両者を別見出しに立てているものが多く、同一見出しのものでも用法を区別している。しかし、『新聞用語集』および放送用語を扱うNHK編『新用字用語辞典』では、「基準」のみを使うことに統一している。

辞典では「難航」の表記を示しているが、二、三の辞書では「難行」も認めている<sup>注2</sup>。「難行」を認め、「難航」を「困難な航海」の意味だけに限定するならば、「難航＝難行」は(1)のグループに入ることになる。

(4)は、国語辞典で同一見出しのもとに両表記形式が併記されることが多いものである。ただし、表記辞典などでは一方しか示されないことの方が多い。たとえば、『新聞用語集』では、「年配・定年・支度・一応・十分・録音機」を使うとしており、NHKの『新用字用語辞典』では、「年配・定年・支度・一応・十分・録音器」が示されている。一方だけが示されているが、他方の表記を誤りとしているわけではない。

これらの内、「一応＝一往」「十分＝充分」は、本来の形は「一往」と「十分」であった。それが「一応」の方が一般的となり、「充分」と書く人も多くなってきている。さらに、両方の語とも副詞として使われるので、仮名書きされる可能性もかなりある。そうした意味を含めると、この2語は(4)のグループの中では他と違う面ももつと言える。

以上、(1)～(4)の例として掲げた語について注釈を加えてきたが、要するにここに示したのは一つの見方であり、各語についての分類はその判断をする人によって異なりうるものだということである。その異なりうるものに対して、被調査者の書き分けの意見をきくことによって、ここに示した見方とのずれを見ようとするのが、㉔のねらいである。なお、㉔の「一応＝一往」と「十分＝充分」については、㉔に「イチオウ」「ジュウブン」が含まれており、そこでどう表記したかの結果と関連を見ることが出来る。

#### 【㉔について】

㉔は、ゆれの見られる語や表記上の誤りを含んでいる文章を提示し、それを被調査者の意見によって訂正をしてもらうというものである。状況としてPTAの会報に投稿する文章をチェックするという場面を設定した。そして

---

注2 「難行」の表記を認めている辞典としては、『岩波国語辞典』『三省堂国語辞典』『新明解国語辞典』『学研国語大辞典』『日本国語大辞典』などがある。表記辞典では『新聞用語集』をはじめ、ほとんど「難航」しかあげていない。



その文章の中で表記を問題にする語をあらかじめ指定しておき、それぞれの語について訂正すべきかどうかを判断させるという形式をとった。判断にあたっては3段階に分けて回答するように指示した。第1の段階はその表記が適切であるか否かの判定をしてもらう。この判定でその語の表記に全く問題がなければ第1段階で打ちきるが、その表記以外の表記形式が考えられる場合には第2段階でそれを回答してもらい、続いて第3段階として、もとの表記が適切でない理由を回答してもらうという手順を踏んだ。

訂正すべきかどうかについて質問した語は、

- (1) 漢字と仮名の間のゆれが見られるもの。

(例：我が一わが、事一こと、今日一きょう、大変な一たいへんな)

- (2) 送り仮名のゆれが見られるもの。

(例：行なわれる一行われる、驚ろく一驚く、話し一話、必らず一必ず、忙がしい一忙しい、短かい一短い)

- (3) 漢字と漢字の間のゆれが見られるもの。

(例：高令者一高齢者、六十才一六十歳、越える一超える、聴く一聞く、始めて一初めて、破れる一敗れる、贈る一送る)

- (4) ゆれというより、一方の表記が誤字とされるもの。

(例：引卒者一引率者、一諸に一一一緒に、以外に一意外に、除々に一徐々に、優賞一優勝、最少限一最小限)

の23語と「競技場」の合わせて24語である。「競技場」は表記上、特にゆれが認められない語である。ゆれが認められないにもかかわらず質問の対象としたのは、表記が明らかに正しい語も含まれていることを示し、被調査者が、質問された語はすべて訂正すべきものとして提示されていると誤解するのを防ぐためである。

上記の語の分類は大まかな分類である。◎と同様、少し注釈を加えておくことにする。

- (1)は漢字と仮名のどちらも見られるもので、特にどちらか一方にすべきだ

というものではない。ただし、新聞や放送あるいは公用文などではそれぞれで、一方の表記だけを使うように決めているものもある。たとえば新聞では「キョウ」は「今日」、〔タイヘン〕は「大變」にしている。

(2)の送り仮名については、「送り仮名の付け方」(1973年6月告示)によれば、例にあげたうち、「行なわれる」が許容で「行われる」が本則であって、それ以外の「驚ろく・話し・必らず・忙がしい・短かい」はいずれも送りすぎということになる。したがってこれらは誤りとする考え方もあり、その立場に立てばゆれではなくなってしまう。しかし、送りすぎを誤りとする立場でも、語によっては誤りとしないうという考えもある。たとえば「話し」は「話す」(公用文で動詞〔ハナス〕は「話す」と送る)との関係から誤りとしないうというような場合である。

(3)の例にあげたうち、「高令者」「六十才」は「齢」「歳」の代用の問題であり、それ以外は同訓異字の書き分けの問題である。前者はともかく、同訓異字の場合は、語によってゆれと見るか正誤と見るか微妙なものがある。また判定者によっても、ゆれか正誤かが違ってこよう。書き分けについてやましく言う人であれば、すべてゆれではなく正誤の問題に帰すことになる。

(4)の場合は、漢字と漢字の対立である点で(3)とつながるものである。しかし、こちらの方は、「以外に一意外に」はそれぞれで表される別語であることがはっきりしているし、これを除いたほかの語は一方の表記だけが語の意味にあった漢字を使っており、正誤が比較的はっきりしている。

以上に述べたゆれや正誤をもつ語に対して、一般の人々がどのように反応するか、その反応のしかたを通してゆれと正誤の認識の差に迫ろうとするのが⑩のねらいである。

#### 3.1.4. 被調査者の属性

調査は前節で述べたように、教員・学生・主婦を中心に行い、被調査者の総数は1020人であった。しかし、回収した調査票を調べてみると、記入もれや無回答部分の多いものがあり、結局、調査対象として有効なものは994人

分にとどまった。無効としたものは、職業・年齢・性別の欄が記入もれであったもの、および、調査票における四つの設問（①・②・③・④の四つで一つずつが十ないし二十数項目からなる）のうちの一つ以上において、無回答部分はその設問を構成する項目の半分以上にわたるものである。無効のうちのほとんどは後者である。無回答となった決定的な理由は不明であるが、出題の意味がわかりにくくて答えにくかったという可能性もあり、この点は反省すべきことと考えている。

有効調査票の994人分について、その回答から被調査者の属性についてまとめると表1のようになる。ここでの属性というのは性、年齢、学歴、職業の四つである。

年齢はほぼ調査時点での年齢、厳密には1979年末時点での年齢である。被調査者の年齢は19歳から64歳まで分布するが、ここでは8段階に分けて示した。

学歴は、「小・中学校」「高等学校」「大学」「その他」の四つであるが、「小・中学校」には旧制高等小学校が含まれているし、「高等学校」には旧制中学および旧制高等女学校が含まれている。

職業については、調査のねらいで述べたような事情から「教員」「学生」「主婦」「その他」に分けたが、表1では、さらにそれぞれにおける性・年齢・学歴の分布をも示した。教員・学生・主婦・その他の人数の比率は一番上の欄の（ ）内の数値で、41.0：21.8：23.9：13.2である。「その他」には、公務員（教員を除く）34人、会社員24人、商業14人、農業9人などが含まれている。

表1を見ると、「全体」ではどの属性もいずれかの項目に集中しているものはない。男女の比率は同程度であるし、年齢にしても一部多少の差はあれすべての項目に数値が埋まり、どれかに集中しているということはない。学歴や職業にしても同様である。ところが、職業別の分布を見ると、かなりのかたよりがあることがわかる。当然のことながら、学生は年齢なら25歳以下、学歴なら高等学校卒業に集中する。主婦の場合も小学校や中学校の父兄

表 1

		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
		994	100.0	408		217		238		131	
		(100.0)		(41.0)		(21.8)		(23.9)		(13.2)	
性	男 性	407	40.9	293	71.8	72	33.2			42	32.1
	女 性	581	58.5	110	27.0	144	66.4	238	100.0	89	67.9
	不 明	6	0.6	5	1.2	1	0.5				
年 齢	～ 25	226	22.7	8	2.0	217	100.0			1	0.8
	25 ～ 30	31	3.1	25	6.1			1	0.4	5	3.8
	31 ～ 35	90	9.1	35	8.6			40	16.8	15	11.5
	36 ～ 40	188	18.9	49	12.0			106	44.5	33	11.5
	41 ～ 45	222	22.3	103	25.2			74	31.1	45	34.4
	46 ～ 50	154	15.5	114	27.9			17	7.1	23	17.6
	51 ～ 55	57	5.7	50	12.3					7	5.3
	56 ～	26	2.6	24	5.9					2	1.5
学 歴	小・中学校	52	5.2					34	14.3	18	13.7
	高等学校	486	48.9	24	5.9	217	100.0	175	73.5	70	53.4
	大 学	443	44.6	376	92.2			28	11.8	39	29.8
	不 明	13	1.3	8	2.0			1	0.4	4	3.1

会の出席者であるため、年齢層が比較的限られたものとなっている。

したがって、このような属性をもつ被調査者によるデータに対して、性別・年齢別・学歴別に集計・分析してもあまり意味がない。たとえば、性別の集計をしても、その結果の「男性」には「教員」の影響が強く表れるし、年齢別の場合なら、「25歳以下」に「学生」が強く反映されることになる。そこで、以下、属性に関しては職業別の分析だけを行い、性・年齢・学歴別の分析については触れない。

## 3.2. 集計と分析

### 3.2.1. 各設問の集計結果

調査票は、大きく分けると、④～⑩の四つの設問から成っている。そこでまず、この四つの設問ごとに分けて、集計結果について述べることにする。ここでの分析の対象としては、被調査者全体についての集計結果と職業別の集計結果とを用いる（集計結果の具体的な数値については「付一 3 意識調査における基本集計一覧（239～266ページ）」を参照のこと）。

#### 【④について】

④の質問のいくつかは、被調査者が調査に慣れるためのものであったが、同時に他のいくつかは、被調査者が生活の中での文字とのかかわりや、文字に対する関心・意識の度合いを見るためのものであった。ここでは、後者に関するものだけを取り上げる。

調査票の④—1「遠方にいる人にもものを頼んだりお礼を述べたりする場合、手紙やはがきを書きますか。電話をかけますか」に対する回答について、手紙派と電話派に大別して示したのが表2である。

表2 ④—1の回答について

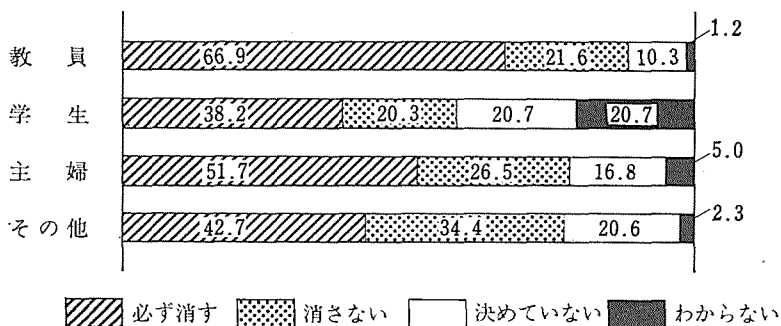
		手 紙 派		電 話 派	
		人	%	人	%
教 員		261	(64.0)	146	(35.8)
学 生		159	(73.7)	58	(26.7)
主 婦		78	(32.8)	156	(65.5)
そ の 他		51	(38.9)	80	(61.1)
全 体		549	(55.2)	440	(44.3)

手紙派というのは、回答の選択肢「ほとんど手紙やはがきを書く」を選んだものと「どちらかといえば手紙やはがきを書く」を選んだものとを合わせたもので、電話派は、「ほとんど電話をかける」と「どちらかといえば電話

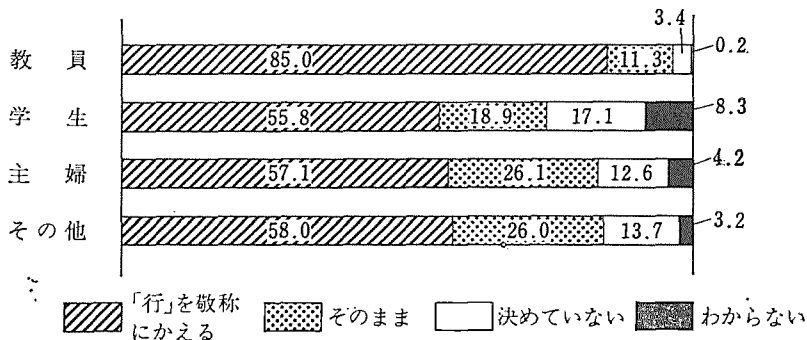
をかける」とを合わせたものである。結果は全体を見ると手紙派がまさっており、職業別に見ると、教員・学生では6～7割が手紙派で、主婦・その他は6割が電話派になっている。このことは日常生活の中で書類や文字に接する機会の多い教員・学生と、そうした機会の少ない主婦との姿が反映されているようで興味深い。

次に、㊤—5「往復はがきなどの返信に「御芳名」「御住所」などと印刷してあるとき、あなたは「御」や「芳」の字を消しますか」、㊤—6「往復はがきなどの返信のあて名に、「〇〇行」などと印刷してあるとき、あなたはどのようにしていますか」という質問の回答については、図Ⅰ、Ⅱのような結果が得られた。

図Ⅰ ㊤—5についての回答（数値は%）



図Ⅱ ㊤—6についての回答（数値は%）



「御」「芳」を消したり、「行」を敬称にかえることは、表記上に敬意を示すことであり、被調査者の表記に対する意識や関心の度合いを表す指標の一つと言えよう。図によれば、教員が敬意表示に積極的である。学生は最も消極的で「わからない」という回答が他より多い。社会生活の中での表記習慣について学生が未熟であることを示すものと言えるだろう。つまり、日常生活での表記習慣への習熟度の違いが、図Ⅰ、図Ⅱの結果をもたらしたと思われる。

④—7「手紙やはがきを書くとき、国語辞書や漢字字典はどの程度使いますか」という質問の結果について職業別で比べてみる（付表241ページ参照）。学生は「めったに使わない」と答えた割合が多く、「よく使う」と答えた割合が少ない。学生は、教員や主婦に比べて辞書・字典を使うことが少ないことになる。このことは次のような得点化からも明らかになる。「めったに使わない」を1点、「たまに使うことがある」を2点、「しばしば使うことがある」を3点、「よく使う」を4点として、各個人の回答にその得点を与え、職業別に平均点を出すと、

教員—2.70    学生—2.39    主婦—2.63    その他—2.65

となり、やはり学生の得点が低く、辞書・字典の使用が少ないことになる。学生にとって辞書・字典は身近にあるはずで、その使用が少ないというのは、一見首をかしげたくするような結果である。しかし、この結果は、手紙やはがきを書く場合に限定したときの辞書・字典の使用であり、いつも辞書・字典を使うのが少ないという意味ではない。このことを逆に言えば、学生にとって、辞書や字典を使わなければならない手紙やはがきを書くことが少ないといえるのであろう。

④—1の結果によれば、学生は手紙派であった。このことを考えあわせると、学生は、おそらく表記について気を使わなくてすむような友人への手紙を書くことが多く、目上の人への手紙、あるいは公的な手紙などは書く機会が少ないのではないかと推測される。

以上の④の結果を踏まえて考えると、「一般的に表記を行う機会の多さと

いう点では（教員・学生）対（主婦）という対立があり、公的あるいは形式的な文書を書く機会の多さでは（教員・主婦）対（学生）という対立がある。そして後者の関係から表記習慣への習熟度という点でも、学生はその未熟性が認められる」ということができそうである。こうした生活の中での表記とのかかわり合いの強さという点から教員・学生・主婦の関係を見てみると、三者はそれぞれに異なった性質を有するものといえよう。

# 【⑩について】

⑩では被調査者にカタカナの文章を漢字ひらがな交じりに書き改めてもらったわけだが、集計するにあたっては、まず助詞・助動詞を除くすべての語についてその表記形式を整理し集計した<sup>注3</sup>。その結果、一部の語は一つの表記形式に集計した。たとえば「 Netz」という語は99%の人が「熱」という表記形式を使った。このように一つの表記形式に集中したものについては分析の対象からははずすことにした。はずしたのは一つの表記形式に95%以上の人が集中した場合で、それを掲げると次のようになる。

失礼 (98.3%)	元気 (99.5%)	熱 (99.0%)
以上 (99.0%)	医者 (98.3%)	栄養 (96.5%)
休ませる <sup>注4</sup> (98.8%)	右 (98.2%)	連絡 (95.6%)

したがって、分析の対象としたのは結局28語であった。

**ゆれの大きさ** 28語について、ゆれの大きさ  $S$  を、

$$S = 1 - \sum P_i^2 \quad (P_i \text{ はその語の表記形式 } i \text{ の出現率})$$

によって測定する。ただし、この値はゆれをどの範囲に限るかによって異なってくる。そこで、ここでは3通りの方法で行うことにする。第1は文字体

---

注3 設問の文章は文節単位に分ち書きしてあり、その自立語部分を調査対象としたわけである。ただし、「オイシャサマ」は「オ」「イシャ」「サマ」の三つの部分に分けて集計した。また「サンジユウハチド」は数字の表記法の問題とからむ部分で、この調査では数字の表記についての十分な質問を用意していなかったもので、これは分析対象からははずした。

注4 この「休ませる」は、設問の文章中の「キョウハ ヤスマセマス」の方であって、「エイヨウヲ アタエテ ヤスマセレバ」の方ではない。



系間の対立だけに着目する方法で、一つの文字体系内での差異は認めないものである。つまり、異なった漢字で書かれているものも漢字表記ということと一つの表記形式としてまとめるし、かなづかいの違いも無視して一つの仮名表記としてまとめる。第2の方法は、そうした文字体系内の差異もゆれと認める方法で、ただし送り仮名のゆれは認めないというものである。そして第3は送り仮名のゆれをも認めるという方法である。したがって、たとえば、〔サガル〕という語で「さがる・サガル・下がる・下る・降がる」の5種類の表記形式が出現した場合、第1の方法では「さがる」「サガル」と、残り「下がる・下る・降がる」を“漢字表記”としてひとまとめにして、合計三つの表記形式とみなす。第2の方法では「さがる」「サガル」「下がる（下る）」「降がる」の4種類、第3の方法ではすべて違う表記形式とみなした5種類となる。なお、この調査では同一の漢字と認められる字の字体・字形上の差異は集計の段階から無視している。

上記の三つの方法による表記のゆれの大きさ $S$ を、 $S_1$ 、 $S_2$ 、 $S_3$ とすると、 $S_1 \leq S_2 \leq S_3$ の関係が成立する。これは、ゆれの範囲の認め方が第1の方法が最も粗く、第3の方法が細かいからである。㊸の28語について $S_1$ 、 $S_2$ 、 $S_3$ の値を示したのが表3である。表3の語は $S_2$ の小さい順に並べてあり、 $S_1$ 、 $S_3$ がそれぞれ $S_2$ と等しい（小数点以下第2位までの値で）場合には——で示してある。たとえば、〔ハナシ〕の $S_1$ の値は.04、〔ヤスマセル〕の $S_3$ の値は.09で、〔スグニ〕の $S_1$ と $S_3$ はともに.14であることを示している。

$S_1$ と $S_2$ に差が認められるということは、同一文字体系内でのゆれが存在することを意味し、 $S_2$ と $S_3$ とに差が認められる語は、送り仮名のゆれが存在することを意味する。たとえば、〔ゴゴ〕〔カゼ〕〔ハカル〕〔ジュウブン〕〔ナオル〕〔ジョジョニ〕は $S_1$ と $S_2$ とに差が認められる。これは、「午後・午后」「風邪・風」「計る・測る」「十分・充分」「治る・直る・癒る」などの漢字と漢字の対立によるゆれが存在するからである。ただし、〔ジョジョニ〕の場合は「徐々に」のほかに「除々に・序々に」などの誤った表記が多かったことに起因している。他方、 $S_2$ と $S_3$ に差が認められる例としては、「ハナシ」

表3 ゆれの大きさ

	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	S <sub>3</sub>		S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	S <sub>3</sub>
ハ ナ シ	—	.04	.37	ア タ エ ル	.27	.29	—
ヤ ス マ セ ル	.06	.09	—	コ ド モ	—	.36	—
ゴ	.00	.10	—	ハ シ リ ガ キ	—	.37	.47
ス グ ニ	—	.14	—	ク ル	—	.38	—
オ	—	.17	—	キ ノ ウ	.37	.38	—
モウシアゲル	—	.17	.23	ゴ	—	.43	—
ア ル	—	.18	—	コ ト	—	.44	—
キ ョ ウ	—	.19	—	カ ゼ	.40	.47	—
サ ガ ル	.19	.20	—	トリイソギ	.46	.48	.66
イ チ オ ウ	—	.21	—	ハ カ ル	.34	.50	—
ナ イ	—	.21	—	イ タ ス	.49	.51	—
ケ サ	—	.23	—	ジュウブン	.11	.56	—
サ マ	—	.23	—	ナ オ ル	.48	.65	—
ト コ ロ	—	.23	—	ジョジョニ	.34	.69	—

〔モシウアゲル〕〔ハシリガキ〕〔トリイソギ〕があるが、これらはいずれも送り仮名のゆれが存在する。

ゆれの大きいものとして、今、かりに0.3以上のものに着目することになると、〔コドモ〕以下の13語がそれに該当する。これらの語では〔ジュウブン〕以外はすべてS<sub>1</sub>の段階から0.3を超えている。つまり、〔ジュウブン〕以外はひらがな・カタカナ・漢字の文字体系間でのゆれ（実際はほとんどひらがな表記と漢字表記とのゆれ）がすでに大きいということであり、〔ジュウブン〕は「十分・充分」の間のゆれが大きいということである。〔ジュウブン〕以外でも、S<sub>1</sub>とS<sub>2</sub>の差が大きい〔ハカル〕〔ナオル〕〔ジョジョニ〕などは、漢字と仮名の間のゆれのほかに、先に述べた漢字と漢字の間のゆれも大きいわけであるし、S<sub>2</sub>とS<sub>3</sub>の差が大きい〔トリイソギ〕は漢字と仮名の間のゆれのほかに送り仮名のゆれも大きいのである。

**職業別のゆれ** 次にゆれの大きさについて職業別にみてみよう。ゆれの大きさをS<sub>2</sub>で測定して職業別にまとめたものが表4である。これを見ると、一つの語についての職業別の値は必ずしも似かよっていない。つまり、語によっては、職業によるゆれの大きさに差があることがわかる。目につくものをあ

表4 ゆれの大きさ(職業別)

	教員	学生	主婦		教員	学生	主婦
ハ ナ シ	.04	.06	.02	ア タ エ ル	.10	.12	.49
ヤ ス マ セ ル	.08	.07	.13	コ ド モ	.49	.33	.07
ゴ	.03	.01	.02	ハ シ リ ガ キ	.25	.38	.53
ス グ ニ	.15	.06	.16	ク ル	.26	.16	.50
オ	.08	.25	.19	キ ノ ウ	.40	.43	.30
モウシアゲル	.25	.10	.05	ゴ	.50	.22	.33
ア ル	.04	.10	.38	コ ト	.29	.28	.47
キ ヨ ウ	.30	.13	.02	カ ゼ	.41	.48	.48
サ ガ ル	.23	.10	.21	トリイソギ	.43	.58	.37
イ チ オ ウ	.15	.09	.34	ハ カ ル	.54	.45	.49
ナ イ	.18	.16	.30	イ タ ス	.50	.53	.40
ケ サ	.28	.15	.21	ジュウブン	.52	.48	.56
サ マ	.29	.24	.15	ナ オ ル	.65	.63	.60
ト コ ロ	.12	.00	.45	ジョジョニ	.56	.59	.69

げてみると,

教員の値が他より比較的大きいもの:モウシアゲル

// // 小さいもの:オ

学生の値が他より比較的大きいもの:トリイツギ

// // 小さいもの:スグニ・サガル

主婦の値が他より比較的大きいもの:アル・イチオウ・ナイ・トコロ・

アタエル・クル・コト・ジョジョニ

// // 小さいもの:イタス

三者の差が比較的大きいもの:キョウ・ケサ・コドモ・ハシリガキ・ゴ

教員の値が大きい〔モウシアゲル〕は「申し上げる(85%)・申しあげる(15%)」のゆれがあるためで、値が小さい〔オ〕の方も「お」の仮名表記に集中して(96%),「御」の漢字表記が少なかったことによる。ただし、どちらも学生・主婦と比べてそれほど大きな差ではない<sup>注5</sup>。

学生の値が大きい〔トリイソギ〕は「取り急ぎ(48%)」のほか「とり急ぎ(38%)」の表記が多かったためである。値が小さい〔スグニ〕は「すぐに(97%)」,〔サガル〕は「下る(95%)」に集中した結果であるが、教員,

主婦とそれほど大きな差があるとは言えない。

主婦の値が大きいもののうち、[アル・ナイ・トコロ・クル・コト]は、教員や学生がほとんどひらがなで表記している（漢字表記が最も多いものでも教員・学生とも「事」の17%）のに対し、主婦の場合、漢字表記がかなりある（有る—25%、無い—16%、所—29%、処—2%、来る—48%、事—62%）ためにゆれの値が大きくなっている。[イチオウ・アタエル・ジョジョニ]は、逆に教員や学生にひらがな表記が少ない（教員の「じょじょに」が15%である以外は5～8%）のに対し、主婦ではそれが多く見られて（いちおう—17%、あたえる—36%、じょじょに—36%）、ゆれの値が大きくなっている。他方、ゆれの値が小さい[イタス]は主婦の場合比較的漢字表記に集中している（73%）のに対し、教員と学生ではひらがな表記も多い（教員—54%、学生—43%）という事情による。

三者の差が大きいもののうち、[キョウ・ケサ・ゴ]はいずれも教員の値が最も大きいが、これは他に比べてひらがな表記が多く（きょう—19%、けさ—16%、ご—51%）、それと漢字表記との間でゆれが見られたことによる。

「コドモ」は教員に「子ども」という交ぜ書きが38%もあり、これと「子供（59%）」とでゆれが大きくなっている。学生でも「子供（79%）」と「子ども（20%）」のゆれがある。それに対し主婦は「子供」が96%を占め「子ども」は3%にすぎない。[ハシリガキ]は「はしり書き」という交ぜ書きが、主婦—28%、学生—23%、教員—13%あり、この値がゆれの差となって表れているようである。

以上の中で、[トコロ・コト・アル・クル・ナイ]といった実質的な概念の弱い形式名詞や形式用言において、教員・学生のゆれが小さく、主婦のゆ

---

注5 ゆれの値Sはゆれの大小関係は示すが、値そのものが絶対量を示しているわけではない。たとえば、0.2が0.1の2倍のゆれであるとか、0.2と0.1の差と0.3と0.2の差が同じであるという意味はなく、ゆれの大きさが $0.3 > 0.2 > 0.1$ という意味をもつ。したがって、ここで「それほど大きな差ではない」というのは、付表の245, 249ページに示した資料をもとにしている。

れが大きいことが注目される。これらでは教員・学生の多くがひらがな書きであるのに対し、主婦は漢字表記をする人が少なからずあったためにゆれていたのである。このあたりに主婦の表記の特徴が見出せるようにも思われる。これらの語を別にして、三者を比べると、学生が最もゆれが少なそうであるが、これは恐らく学生という集団が三者の中で最も均質性に富んでいるためと推測される。

# 【㊦'について】

㊦'では㊦のカタカナの文字を漢字ひらがな交じりにする際に、表記形式の選択で迷いが生じたか否かを質問している。㊦と同じ28語について、ひらがなで書くか漢字で書くかを迷った人の割合を算出した。その割合の多い順に並べたのが表5である。また、二通り以上の漢字表記の間で迷いを生じた人の割合についても同様に示したのが表6である。ただし、こちらは迷った人の比率1.0%以上の11語だけを示した。なお、表5、表6どちらも全体の比率だけでなく、職業別の比率をも示している。

表5（ひらがなと漢字との迷い）と表3（ゆれの大きさ）とを比べると、表5の上位（全体で10%以上）の語は、ほとんど $S_2$ の値が高い語である。つ

表5 ひらがなと漢字との迷い（数値は%）

	全体	教員	学生	主婦		全体	教員	学生	主婦
キ ノ ウ	21.3	27.5	30.9	7.6	ゴ	8.9	14.2	6.9	4.2
カ ゼ	19.7	25.7	25.3	10.1	コ ト	6.9	6.1	14.7	2.9
ジョ ジョニ	18.5	18.9	9.2	21.8	サ ガ ル	6.4	9.3	3.7	2.5
ケ サ	18.0	10.3	35.5	16.0	ナ イ	6.2	6.9	8.3	4.6
ハシリガキ	17.0	22.1	24.4	5.5	オ	6.2	4.4	16.6	1.7
ナ オ ル	16.8	20.1	16.1	12.6	サ マ	6.0	8.3	8.8	0.8
トリイソギ	16.3	11.5	37.3	7.6	ク ル	5.4	4.9	7.4	5.9
ハ カ ル	14.4	17.9	15.7	7.6	ア タ エ ル	5.3	2.2	5.1	8.4
イ タ ス	12.1	14.0	21.2	3.8	モウシアゲル	4.5	7.4	3.7	1.3
ス グ ニ	10.2	9.8	12.9	8.8	ト コ ロ	4.3	4.7	2.8	6.3
コ ド モ	9.9	14.0	17.1	1.3	ア ル	3.5	2.9	7.4	2.5
イ チ オ ウ	9.8	11.0	7.8	9.2	ヤスマセル	2.6	2.7	3.7	2.9
キ ョ ウ	9.5	16.4	10.1	0.8	ハ ナ シ	1.9	1.2	6.0	—
ジュウブン	9.1	13.0	3.2	7.6	ゴ ゴ	0.4	0.2	0.5	0.4

表 6 漢字同士での迷い (数値は%)

	全体	教員	学生	主婦		全体	教員	学生	主婦
ジュウブン	26.5	27.5	46.5	13.4	ハシリガキ	1.5	0.7	4.1	0.4
ハ カ ル	16.1	20.3	30.9	1.7	キ ノ ウ	1.5	2.0	0.5	2.1
ナ オ ル	10.3	12.7	16.1	3.8	カ ゼ	1.4	2.5	1.4	0.4
ジョジョニ	4.8	2.9	9.7	3.4	トリイソギ	1.2	1.5	2.8	—
ヤスマセル	3.5	3.7	5.1	3.4	イ チ オ ウ	1.0	0.5	2.8	0.8
サ ガ ル	2.8	4.4	1.8	1.7					

まり、個人によるゆれが大きい語と、個人の意識内で迷いが生じやすい語とは対応しているのである。例外は「ケサ」と「スグニ」である。この2語は個人によるゆれは結果としては少なかったが、個人の意識内で迷いが生じやすい語であり、もっとゆれが大きくなる可能性をもった語と言えよう。

表6 (漢字同士での迷い) と表3 とを比べると、迷いが全体で10%以上の語は3語しかないが、いずれもゆれが大きい語である。

表5、表6について職業別に見ると、いずれも主婦の場合の比率が全般的に低いようである。28語すべてについての平均値を示すと、

	教 員	学 生	主 婦
ひらがなと漢字との迷い	11.0	12.9	5.9 (%)
二通り以上の漢字での迷い	3.1	4.5	1.3 (%)

のようになり、学生が最も高く、教員がそれに続き、主婦はずっと少ない。主婦で迷いが多いのは「ジョジョニ」が最高で21.8%であり、10%を超えるものは5語 (表6の「ジュウブン」を含む) にすぎない。

それに対して、学生は、表5では、「トリイソギ、ケサ、キノウ、カゼ、ハシリガキ、イタス」が20%を超え、表6でも「ジュウブン」は46.5%、「ハカル」は30.9%と高率になっている。10%を超える語を数えると、二つの表を合わせて16語にのぼる。教員もかなり高いものが多く、20%以上なら6語、10%以上なら17語になる。

⑩において測定したゆれ、つまり個人によるゆれは学生が最も小さかったのであるが、⑩'で測った個人の意識内における迷いは学生が最も大きいのである。つまり、学生は表記形式の選択に迷うことが多い。言い換えれば慎

重なわけであるが、実際に表記した結果は同じ表記形式を選んでいたということになる。これはやはり先に述べた学生という集団の均質性が影響しているものと思われる。

# 【◎について】

◎は二通りの漢字表記を示して、それらを書き分けるか、あるいは一方の漢字表記または仮名表記だけを使うかを質問したものである。提示した20語について書き分けをすると答えた人の割合が多い順に並べたものが表7である。[マチ・アタタカイ・セイチョウ・キジュン・ドウシ]という、意味の違いによる書き分けが認められそうな語が上位に入っている。特に「町・街」「温かい・暖かい」の同訓異字が、他を引き離して1・2位を占めているのが注目される。しかしそれらに混じって「ナンコウ（難航・難行）」「オウタイ（応対・応待）」のように一方が誤字とされるものが存在する。書き

表7 表記形式の書き分け（数値は%）





	書き分け の割合	意味に よる	気分で
1 マ チ（町・街）	79.7	61.4	18.3
2 アタタカイ（温・暖）	75.2	69.6	5.5
3 セイチョウ（成長・生長）	59.7	58.8	0.9
4 ナンコウ（難航・難行）	54.4	52.7	1.7
5 ジュウブン（十分・充分）	45.0	21.8	23.1
6 キジュン（基準・規準）	39.8	37.4	2.4
7 オウタイ（応対・応待）	37.3	33.7	3.6
8 ドウシ（同士・同志）	33.1	27.1	6.0
9 イショウ（衣装・衣裳）	25.2	15.3	9.9
10 シタク（支度・仕度）	24.2	15.7	8.6
11 ネンレイ（年令・年齢）	23.4	2.0	21.4
12 ジュンポウ（順法・遵法）	22.2	19.1	3.1
13 ネンパイ（年配・年輩）	22.1	16.7	5.4
14 テイネン（定年・停年）	21.2	16.8	4.4
15 オオゼイ（大勢・多勢）	20.4	11.7	8.8
16 オンコウ（温厚・温好）	16.8	14.0	2.8
17 ロクオンキ（録音機・器）	10.4	6.8	3.5
18 イチオウ（一応・一往）	10.2	9.7	0.5
19 フロク（付録・附録）	9.5	6.0	3.4
20 カジョウガキ（箇・個条書き）	4.1	1.6	2.5

分けには、「意味の違いによって両方を書き分けている」と「その時の気分  
で両方を書き分けている」の二つの場合があるが、表からもわかるように、  
多くの語において気分による書き分けの比率が低い。例外的なものは〔ジュ  
ウブン〕と〔ネンレイ〕で気分による場合が20%以上あり、かつ意味による  
場合よりも多い。

この表で下位にある語は、書き分けがされにくい語であるが、だからと言  
って常に一つの表記形式が用いられるということではないはずである。個人  
における表記形式が一定であっても、人によってそれがさまざまであれば、  
表記はゆれていることになる。そこで、◎で提示した2種類の漢字表記と仮  
名表記の合計3種類の表記形式が選ばれた割合 ( $P_i$ ) をもとに、ゆれ  $S$  ( $S =$   
 $1 - \sum P_i^2$ ) を測定した。 $S > 0.4$ のものをあげると、

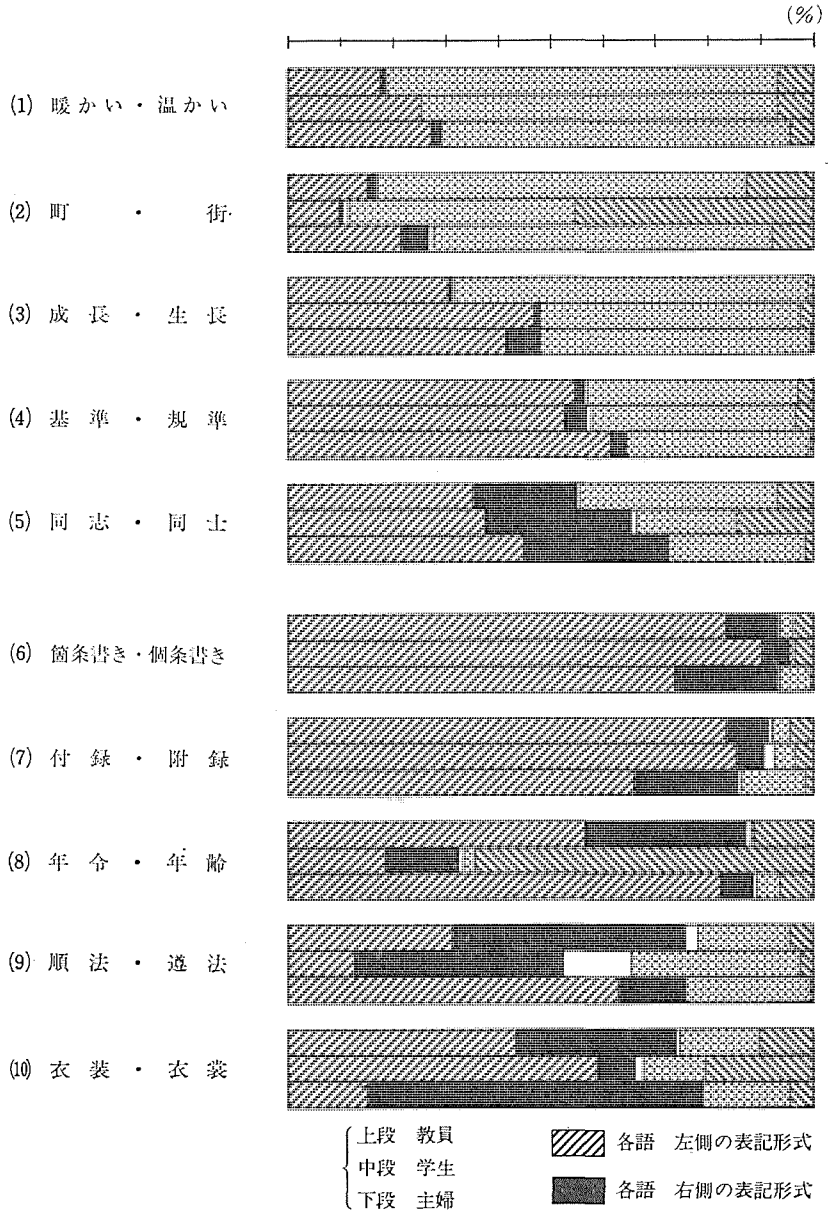
シタク (0.58)	ジュウブン (0.53)	ジュンポウ (0.52)
オオゼイ (0.51)	イショウ (0.50)	ドウシ (0.50)
オウタイ (0.50)	ナンコウ (0.47)	ネンパイ (0.45)

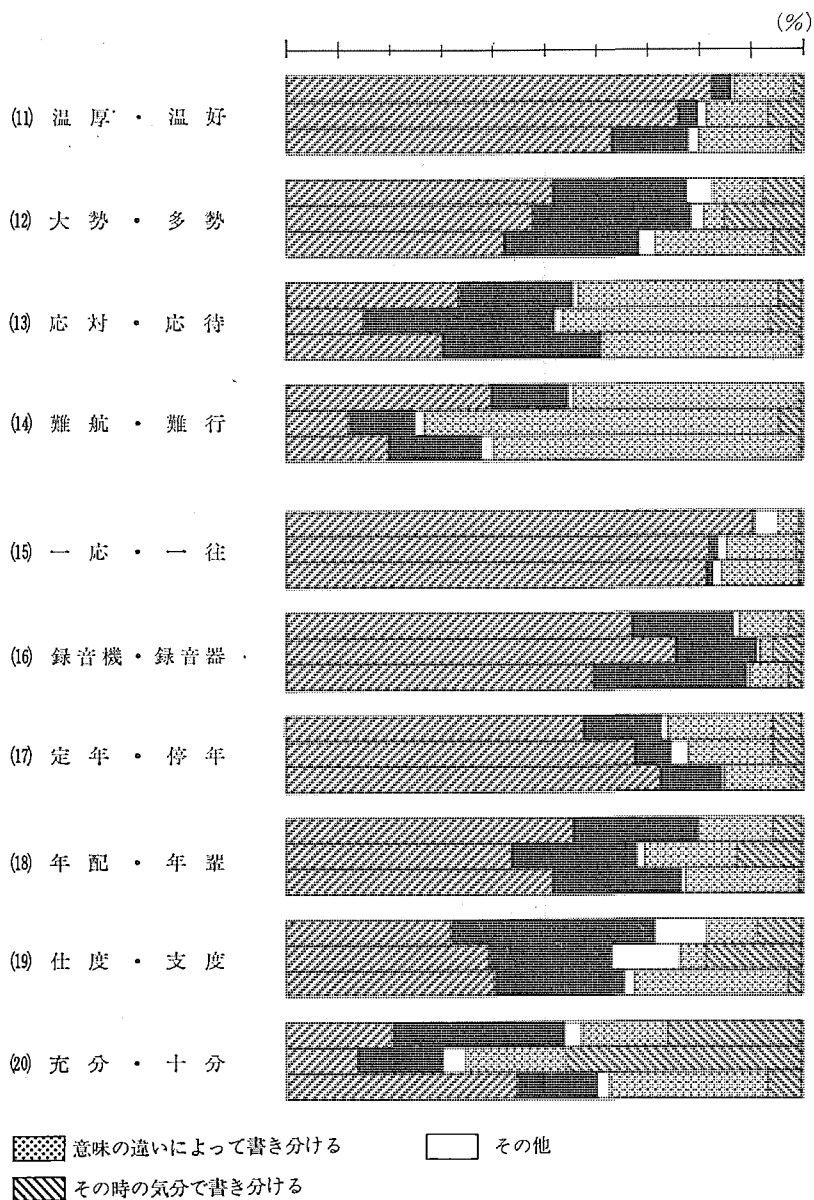
の9語であった。これを表7と比べてみよう。上の9語は、表7の5位〔ジ  
ウブン〕から15位〔オオゼイ〕の間に含まれており（違うものは6位〔キジ  
ュン〕と11位〔ネンレイ〕）、上位と下位にはないのである。つまり、表7の  
下位にある語は書き分けがされにくいだけでなく、ゆれも少ない語、言いか  
えれば、表記が比較的安定している語だったのである。そして上位の語は、  
ゆれよりも書き分けが問題になる語であると言えよう。なお〔ジュウブン〕  
は、書き分けでもゆれでも上位にあり、その点で表記上、問題の多い語と言  
えるだろう。

次に職業別に比較をしてみよう図Ⅲは、◎で提示した20語について、教員  
・学生・主婦に分け、それぞれの回答を比率で示している。各語において三  
つずつの帯グラフがあるが、上段が教員、中段が学生、下段が主婦である。  
回答の分類としては、各語の見出しの左側に示した表記形式（）、同じく  
右側の表記形式（）、意味の違いによる書き分け（）、その時の気分によ  
る書き分け（）と、それ以外の「漢字で書かず、かなで書く」「その他」



図Ⅲ





「無答」を一つにまとめた「その他」(□)の5種類である。たとえば、(1)「暖かい・温かい」では、「暖かい」は■、「温かい」は■として、「かなで書く」は□に含まれて表示されている。ちなみに、仮名で書くという答えは全般に少なく、最も多いのは「したく(全体で7.5%)」で、そのあと「おおぜい(3.3%)」「いちおう(2.4%)」「どうし(2.0%)」「じゅんぼう(1.9%)」「じゅうぶん(1.9%)」と続き、あとの語の仮名表記はすべて1%以下である。

また、図では提示した語を四つのグループに分けている。「3.1.3. 調査票の各設問の意図」での分類(80~81ページ)に合わせたもので、第1は意味の違いによる書き分けが多そうな語のグループ(1)~(5)、第2は二通りの表記形式の一方が漢字政策とかかわりがある語のグループ(6)~(10)、第3は二通りの表記形式の一方が誤字とされる語のグループ(11)~(14)、第4はその他、個人による表記のゆれがあると考えられる語のグループ(15)~(20)である。

第1のグループについて、職業別の比較の前に全体としてみると、■の部分が多いことに気づく。先にも述べたように、このグループの語は表7で上位にあった語、つまり書き分けが多かった語である。しかも、書き分けでも意味による書き分けが多かった。それが■の部分の多さとなって表れているのである。ところで、そうした中で「町・街」は他とやや趣きを異にしている点がある。それは学生の分布である。■が教員・主婦に比べて少なくその分■が多い。つまり、意味の違いによる書き分けよりもその時の気分による書き分けの方が多いのである。

第2のグループでは、[カジョウガキ・フロク]は三者とも「簡条書き・付録」という回答が多く大きな差はないが、「ネンレイ・ジュンポウ・イシヨウ」は違いが大きい。まず[ネンレイ]では学生の「気分による書き分け」が圧倒的に多い。教員・主婦では8割近くの人が一つの表記形式に決めており、対照的である。慣習的・便宜的な表記法としての「年令」と、正字的な表記法としての「年齢」との間でゆれているのが学生であり、教員・主

婦ではそうした両表記の差異にこだわらないということであろうか。〔ジュンポウ〕では、教員・学生が比較的「遵法」が多く、主婦は「順法」が多い。新聞などでは「遵法」は「順法」と書き換えられているが、教科書では「遵法」が生きている。この点、「順法」は「年令」と比較すると、社会的に一般化されていない表記ということができる。教育の現場にいる教員・学生と、そうでない主婦とに差が見られるのは、こうした事情によるものと推測されよう。〔イショウ〕についても、主婦が「衣裳」派が多く、教員・学生は「衣装」派が多い。「裳」は表外漢字ではあるが、現実の社会生活の中から消えてしまったわけではない。特に呉服関係ではよく見かける文字である。このことを考えあわせると、主婦に「衣裳」が多いのは当然とも言えるだろう。

第3のグループでは職業別の差はそれほどものはない。ただ、いずれの語においても、正しい表記は教員が多く、気分による書き分けは学生が多いという事実がある。なお、全体として、正しい表記の回答が減るにつれて、誤字が増えるというより、書き分けが増えてくる傾向が見られる。これだけから結論を導くのは危険であるが、あえていえば、表記についての自信がないほど、あるいは提示された二通りの表記形式の正しさがまぎらわしいほど書き分けを選ぶ方が無難だという心理が強く働いたのではないかと想像される。

第4のグループでも職業別の差はあまりないが、第3のグループ同様、気分による書き分けが常に学生に多い。しかも、〔ジュウブン〕〔シタク〕といったゆれの大きな語（99ページ参照）において、気分による書き分けの比率が大きくなっている。ゆれが大きい語というのは表記形式の選択に迷いが生じやすい語であるから、この現象も先の推測と同様、迷い、すなわち表記についての自信のなさが、気分による書き分けを回答させたものと考えられる<sup>注6</sup>。

---

注6 ⑧の回答において、学生は最も迷いの度合いが高く、特に〔ジュウブン〕では46.5%が二通り以上の漢字表記について迷ったと答えている（246ページ参照）。

### 【㊦について】

㊦の集計の眼目は、どの表記がどのようになぜ訂正されたかということである。この㊦の設問は、他の㊤、㊥、㊦の設問に比べて、被調査者にとっては答えにくいものであったらしい。他に比べて無答が多く、特に㊦—(2)のどのように訂正するか、㊦—(3)のなぜそのように訂正するのかという問いでは、各語とも5%前後の人が無答であった。このことは、質問の内容や方法に問題があったことを示すと考えられる。調査者側としては被調査者の日常の表記に即して訂正を加えてもらえばよいと考えていたが、被調査者にしてみれば、文章の表記を訂正することは、かなり専門的な行為と思われたらしく、少なからぬ困惑を覚えたようであった。この点については調査者として反省するとともに、以下の分析においても不必要に細部にわたらず、大きな枠でとらえることにする。

訂正の対象とした語は24語であったが、「競技場」「必らず」「優賞」の3語については集計から除いた。「競技場」は、以前にも述べたように、被調査者に正しい表記の語も含まれていることを示すための語で、初めから調査対象外のものであった。「必らず」は、調査票の印刷時に「心らず」と誤ってしまい、手書きで修正して調査を実施した。しかし、一部の被調査者が「心」が「必」の誤りと答えていたので、集計からははずすことにした。「優賞」は、調査実施にあたって使用したある中学校の一教室に「優勝」の額が掲げられており、被調査者の一部がそれによって訂正したことが判明したため、集計からははずした。

したがって集計の対象としたものは21語である。「3.1.3. 調査票の各設問の意図」での分類(84ページ)に従って21語の表記を再確認すると、次のようになる。

- (1) 漢字と仮名の間のゆれが問題となる表記：我が・事・今日・大変な
- (2) 送り仮名のゆれが問題となる表記：行なわれる・驚ろく・話し・忙  
がしい・短かい
- (3) 漢字と漢字の間のゆれが問題となる表記：高令者・六十才・越える

聴く・始めて・破れる・贈る

- (4) ゆれというより誤表記であるもの：引卒者・一諸に・以外に・除々に・最少限

**訂正の割合** これらの語表記について、まずどの表記がどれくらい訂正されたかを調べてみる。㊦—(1)の質問の回答についてグラフで示したのが図Ⅳである。グラフは、

- a 「誤りだから訂正すべきだ」と答えた人の割合。
- b aの割合に「語りとは言えないが、訂正した方がよい」と答えた人の割合を加えたもの。
- c bの割合に「ほかに適切な書き方もあるが、このままでもよい」と答えた人の割合を加えたもの。

の三つを折れ線で結んだものである。aはその表記を明らかに誤りであると判断した人の割合であり、b、cは誤りとはしないが何らかの問題があると判断した人を加えた割合である。a→b→cの変化は、もとの表記に対する許容度の差を示す。aが原表記に最もきびしいレベルで、aよりもaとbの差、aとbの差よりもbとcの差と、だんだん許容が大きくなっていく。aについてみると、「贈る」が圧倒的に高く、あとは「驚ろく」「以外に」が50%台である。これらは誤りと認められやすい語表記ということになる。次にaからb、bからcの変化について大まかに見ると、

a→b、b→cの変化が両方とも大きいもの：聴く・事・高令者

a→bの変化が大きいもの：引卒者・話し・一諸に・行なわれる・我が  
・大変な

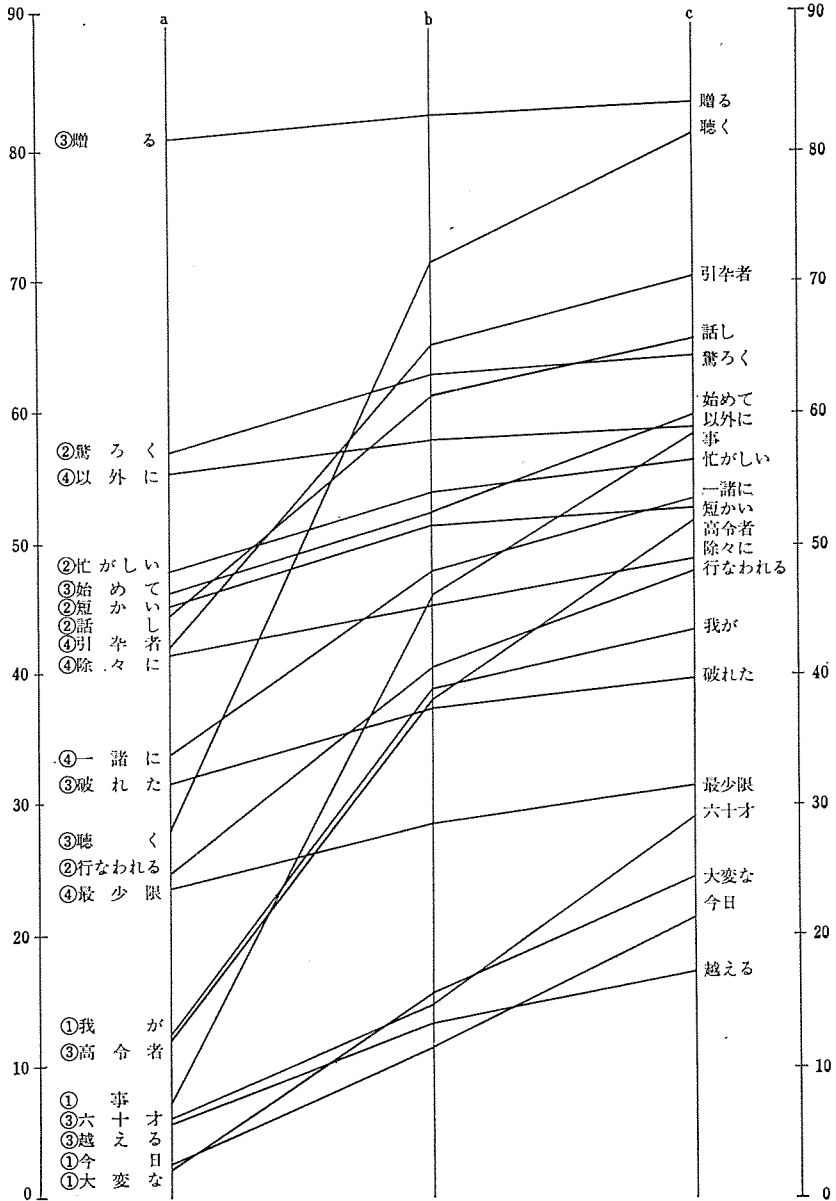
b→cの変化が大きいもの：始めて・六十才・今日

のように言えよう。これらの語表記は、その許容度が人によって差があるということである。

図Ⅳを先の(1)～(4)の分類に重ね合わせてみると、次のことが言える。

- ・ (1)のグループ（我が・事・今日・大変な）は、aの値は低いですが、いずれも上の変化の大きい語に含まれている。“誤りではないが、仮名表記

図IV



もある”と考えた人が多かったためであろう。

- ・ (2)のグループは送り仮名が問題になるものであるが、これらの訂正の割合は決して多いわけではないが、他の語と比較すると多い方である。  
「驚ろく・忙がしい・短かい・話し」は45～60%の人が誤りと指摘しており、「行なわれる」は25%程度である。「行なわれる」は1963（昭和48）年までは新聞・教科書に用いられた表記であり、現在も公用文では許容されている表記である。この訂正の割合が他の語より低いのは、こうした事実の反映だと考えられる。
- ・ (3)のグループは種々のケースがある。「贈る」のように a の値から高いもの、「聴く」のように a の値はそれほどでもないが、 $a \rightarrow b \rightarrow c$  の変化が大きいもの、「越える」のように a, b, c といずれも低いものとさまざまである。
- ・ (4)のグループは誤った漢字表記であるが、それにしては訂正の割合が低い。「以外に」を除けばすべて50%以下である。

なお、(2)のグループと(4)のグループを比べると、全体的な傾向として、同じ(2)のグループの語の方が訂正の度合いがやや高いくらいである。誤った漢字表記に対する正誤意識よりも送り仮名に関する正誤意識の方が高いくらいなのである。このことは、表記意識の中で、送り仮名に関する意識が占める大きさを示すようで興味深い。

次に職業別であるが、各語について「1 正しいから、このままでよい」と答えた人の割合を見ていくと、「越える」以外のすべての語において、主婦の値が教員・学生の値を上まわっている（256～266ページ参照）。主婦が訂正した割合が低いのである。職業別の訂正の割合については後の「3.2. 3. 表記の傾向の分析」でまとめて述べる。

**訂正の方法と理由** どのように訂正したか、どのような理由で訂正したかについてはまとめて述べることにする。もとの表記に対する訂正表記の主なもの（10人以上）と、それぞれの理由の主なもの（10人以上）を示したのが表8である。表は先の分類(1)～(4)にあわせて分けてある。これを見ると、(1)～



表 8 表記の主な訂正方法と訂正理由

原表記		他の表記 形式を答 えた人	主な訂正 (人数)	A	B	C	D	E	F	G
(1) の グ ル ー プ	事	582人	こ と (559)	225	78	66	11	12	130	
	我 が	507	わ が (288) 我 (143)	82 12	25 24	67 10	40	19	85	39
	大 変 な	243	たい へん な (214)	82	32	31				43
	今 日	211	き よ う (179)	38	16	28	37			39
(2) の グ ル ー プ	話 し	654	話 (626)	46	37	20			478	
	驚 ろ く	639	驚 く (623) お ど ろ く ( 11)						594	
	忙 が しい	561	忙 し い (529) いそがしい ( 15)						493	
	短 か い	529	短 い (510)		10				472	
	行なわれる	478	行 わ れ る (451) おこなわれる ( 10)	32	17				351	27
(3) の グ ル ー プ	贈 る	834	送 る (764) お く る ( 45)	642 25	28	18			12	10
	聴 く	809	聞 く (778) き く ( 14)	308	255	82	22	38		26
	始 め て	595	初 め て (532) は じ め て ( 32)	422	42	25				19
	高 令 者	510	高 齢 者 (465)	172	125	50		44		51
	破 れ る	395	敗 れ る (335) やぶ れ る ( 19) 破 る ( 10)	285	23	13			10	
	六 十 才	285	六 十 歳 (248)	104	36	21		30		46

	越 え る	172	超 え る (66) こ え る (62) 越 る (17)	41 11 19 13 14 10
(4) の グ ル ー プ	引 卒 者	699	引 率 者 (427) 引 卒 者 (224)	236 24 13 123 14 45 27 18 114 11
	以 外 に	589	意 外 に (536) い が い に (20) 異 外 に (10)	482 15 14
	一 緒 に	532	一 緒 に (312) い っ し ょ に (182) 一 し ょ に (13)	265 17 65 15 31 23 33
	除 々 に	487	徐 々 に (383) じ ょ じ ょ に (44) 序 々 に (26)	344 10 12 14
	最 少 限	310	最 小 限 (291)	231 17 16 15

(4)のグループによって、訂正の方法と理由のパタンに傾向の差が感じられる。以下、この分類に従って述べる。

- ・ (1)のグループの訂正の多くは仮名表記である。訂正理由はいずれもB（一般的でないから）が多く、C（自分の書き方と違うから）とD（読みにくいから）が少しあり、それにEが続いている。BやDがあるということは、正誤よりも、標準表記や表記効果を意識した訂正だと言える。
- ・ (2)のグループは送り仮名が問題であり、結果も、送り仮名を訂正して理由がF（送り仮名の規則に反しているから）のものがほとんどである。ただし、「行なわれる・話し・短かい」にF以外の理由を示した人がある点に注目される。これらの語の送り仮名の付け方が、残りの「驚ろく・忙がしい」の付け方ほど明確ではないということであろう。

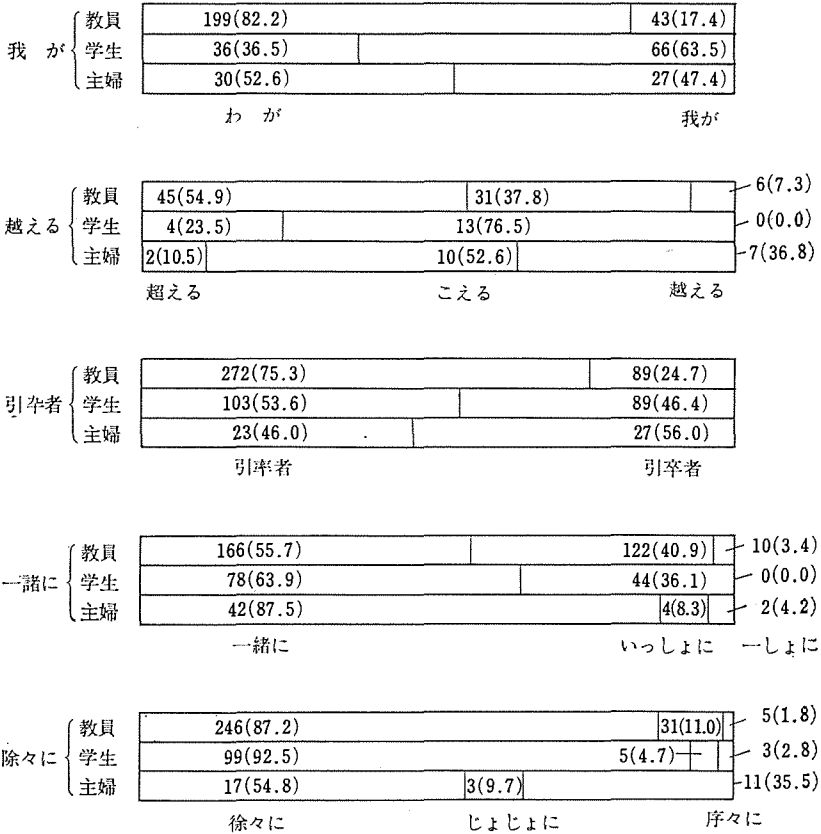
- ・ (3)のグループは漢字を訂正したものが多いが、「おくる・はじめて・こえる」など仮名表記にした人も少しいる。理由も漢字の訂正ではA（別の漢字を使っているから）が最も多い。その他ではB、Cが比較的多い。Aが多いことは正誤に関する意識が働いたことを意味している。
- ・ (4)のグループは漢字が誤っているので、正しい漢字にしてAを選ぶという反応が多いだろうと予想していた。だいたいはその予想通りであったが、「引卒者」では「引卒者」の反応がかなりあったこと、また訂正理由にE（当用漢字にないから）が多かったこと、「以外に・一諸に・除々に」の訂正に仮名表記が出現したことなどの点は、予想になかったことであった。〔インソツシャ〕の場合、「率」→「卒」→「卒」と、似た字形の誤りプラス字体のゆれという2段階の変形を加えて提示したわけである。字体にとらわれた人々が、「引卒者」と書いたり理由にEを選んだりしたものと推測される。また「意外に・一緒に・徐々に」のかわりに仮名表記が選ばれたのは、副詞を仮名書きにしようとする考え方の現れと見ることができる。

次に職業別について述べる。これは訂正の方法と理由と分けて述べよう。

まず、訂正の方法であるが、職業の違いに応じて訂正の方法が異なるというものは少ない。全体の集計を示した、先の表8を見てもわかるように、全体としても、訂正の方法がいろいろ出現したという語は多くない。表8の主な訂正の欄で二通り以上の表記形式が掲げられているものは、約半数の12語である。しかも、それらの多くは一つの表記形式に集中しており、他はごく少数である。そうした事実を踏まえた上で、これらの二通り以上の表記形式が見られた語について、教員・学生・主婦の三者を比較する。

表8に表示された表記形式についてのみ、各職業でどのような割合で出現したかを測った（したがって、表にない10人以下の反応や無答については無視した）。その結果、図Vに掲げた5語以外の「行なわれる・驚ろく・忙がしい・贈る・聴く・始めて・以外に」の7語においては、三つの職業のいずれも「行われる・驚く・忙しい・送る・聞く・初めて・意外に」という訂正

図V



表記がそれぞれ90%を超えるという集中ぶりを見せ、職業間による差が見られなかった。また、図Vに掲げたものでも、「越える」での学生と主婦、および「除々に」の主婦は人数がかなり少ないので、比率の比較は慎重に行うべきものと思われる。そのように考えると、訂正の方法についての職業別の差はあまり見られなかったと言うべきであろう。

他方、訂正の理由についてであるが、職業によって訂正の理由の選び方に差があるかどうかを調べてみる。ここでは一語一語について分析せず、先の分類の(1)～(4)のグループごとにまとめて考える。そのまとめて表にしたもの

が表9であり、この表は、グループごとおよび全体について、選択させた理由の比率を、職業別に示したものである。

(1)のグループではいずれもB（一般的でないから）が多い。G（その他）やN.A.（無答）を除くと、学生と主婦ではC（自分の書き方と違うから）やD（読みにくいから）が多いが、教員の場合はDの次にE（当用漢字にないから）が多い。ちなみに(1)のグループの原表記はいずれも当用漢字の範囲内の表記である。

(2)のグループでは、数値の多少の差はあれ、いずれも圧倒的にF（送り仮名の規則に反しているから）が多く、ほとんど差はないと考えてよい。

(3)のグループでは、いずれもA（別の漢字を使っているから）が最も多くB（一般的でないから）が次に多い。その後、学生と主婦はC（自分の書き

表9 訂正の理由（数値は％）

		A	B	C	D	E	F	G	N.A.
(1)のグループ	教員	1.8	32.5	7.3	11.0	8.5	6.6	18.9	13.5
	学生	1.1	26.2	22.1	19.9	2.5	9.3	16.7	2.2
	主婦	3.0	21.8	16.2	18.0	3.0	11.5	12.4	14.1
(2)のグループ	教員	0.5	4.5	2.6	1.9	0.8	82.7	2.5	4.5
	学生	0.1	3.3	3.8	1.4	0.2	88.5	2.2	0.4
	主婦		2.2	4.2	2.0		74.0	0.5	17.1
(3)のグループ	教員	60.8	14.9	3.2	1.0	4.7	0.9	5.4	9.0
	学生	53.3	21.1	11.1	1.9	1.7	0.4	8.0	2.5
	主婦	44.1	12.6	10.9	2.8	3.8	5.6	1.7	18.4
(4)のグループ	教員	66.1	7.6	2.2	1.7	9.3	0.7	5.0	7.2
	学生	64.4	7.6	6.1	2.5	15.3	0.6	2.5	1.0
	主婦	44.8	7.4	10.8	5.4	7.4	0.3	2.7	23.9
全体	教員	36.5	13.0	3.4	3.0	5.5	23.8	6.7	8.0
	学生	34.6	13.4	9.2	4.2	4.8	26.2	6.1	1.5
	主婦	26.4	10.3	9.9	4.9	3.4	23.5	3.2	18.4

方と違うから)が多く、ともに約11%あるが、教員は3.2%しかない。

(4)のグループでも、いずれもA(別の漢字を使っているから)が多い。そして注目されるのは、E(当用漢字にないから)における学生、およびC(自分の書き方と違うから)における主婦の値が、他より比較的多いことである。Eの学生が多かったのは、「引卒者」に対する反応でEが多かったためであり、Cの主婦の方は特にどの語でということではなく、全般的にCが多かったためである。

以上、(1)~(4)のグループに分けて述べてきたが、いずれのグループにおいても、結局、三つの職業における差はわずかなものにすぎない。(1)~(4)のいずれのグループにおいても、最も多く選択された訂正の理由は、職業を問わず同一であったし、上に職業による違いとして述べたことは小さな違いであって、根本的に異なるというようなものではなかった。このことは、表9の全体の欄を見れば一層はっきりする。教員のC(自分の書き方と違うから)が少なめであること、主婦にN.A.(無答)が多く、A(別の漢字を使っているから)が少なめであるという程度の小さな違いはあるものの、全体としては大きな差はない。つまり、職業別による訂正の理由の選択は、訂正の方法と同様、ほとんど差が見られなかったと考えてよいのである。

### 3.2.2. 個人内におけるゆれの分析

調査票において同一の語を異なった設問中に含めておいた。たとえば、「キョウ」という語は㊸と㊹の両方の設問中に出現する。これは、同一の語をひとりの被調査者が常に同一の表記で書くか、あるいは表記にゆれが見られるのかを見るためのものである。二種の設問に出現する語は次の通りである。

㊸と㊹に出現するもの：ジュウブン・イチオウ

㊸と㊹に出現するもの：キョウ・コト・ハナシ・ジョジョニ

このほか、「令・齢」の文字については、㊹に「コウレイシャ」、㊸に「ネンレイ」として出現しているが、同一の語ではないのでここでは省く。上にあ

げた6語について、二つの設問でそれぞれどう回答しているかの組合せを示したものが表10である。

表10—(1)〔ジュブン〕によると、㊸で「十分」と書いた人のうち229人は㊹でも「十分」を選択しているが、11人は「充分」を選択しており、2人は「じゅうぶん」と仮名で書くと答えている。「充分」を選択した11人と「じゅうぶん」の2人は、㊸と㊹の間で回答が矛盾していることになる。これは無意識のうちに表記がゆれていると考えてよいだろう。それに対して、「意味による書き分け」「気分による書き分け」を選択した場合は、㊸と㊹の間でのずれはないが、実際には二つの表記形式を書き分けているので、それをゆれと見ることも可能である。つまり前者が無意識的なゆれとすれば、後者は意識的なゆれとすることができる。ここでは、無意識的なゆれと認められる組合せについて、表中の人数を( )で囲んで示しておく。表10—(2)〔イチオウ〕も同様の扱いである。

表10—(3)～(6)は㊸と㊹の間の組合せである。表10—(3)〔キョウ〕を例にして説明しよう。㊸の回答の「きょう」「今日」は、それぞれ㊸で書かれた表記形式である。㊹の回答の方は原表記に対する反応を示している。「今日が正しい」というのは、原表記「今日」に対して㊹—(1)で「1 正しいから、このままでよい」を選択した場合である。次の「きょうもある」というのは、㊹—(1)で「2 ほかに適切な書き方もあるが、このままでよい」を選択して㊹—(2)で「きょう」を示した人である。最後の「きょうの方がよい」というのは、㊹—(1)で「3 誤りとは言えないが、訂正した方がよい」を選択して㊹—(2)で「きょう」を示した人と、㊹—(1)で「4 誤りだから、訂正すべきだ」を選択して㊹—(2)で「きょう」を示した人を合わせたものである。表10—(4)～(6)も同様で、「〇〇」が正しい」というのは原表記「〇〇」を正しいとした場合、「××」もある」は㊹—(1)で「2」を選んで㊹—(2)で「××」という表記形式を示した場合、「××の方がよい」は㊹—(1)で「3」か「4」を選んで㊹—(2)で「××」という表記を示した場合を意味する。

表10-1) [ジュウブン]

①の回答 ②の回答	十	分	充	分	じゅうぶん	意味による 書き分け	気分による 書き分け	その他
十分	229	( 11)		( 2)		106	135	5
充分	( 6)	237				94	90	7
じゅうぶん	( 3)	( 14)		15		12	2	
その他	( 2)	( 8)		( 1)		5	2	

表10-2) [イチオウ]

①の回答 ②の回答	一	応	一	往	いちおう	意味による 書き分け	気分による 書き分け	その他
一応	762	( 6)		( 7)		81	4	1
いちおう	( 72)	( 3)		17		12	1	1
その他	( 8)	( 1)				2		

表10-3) [キョウ]

①の回答 ②の回答	「今日」が 正しい	「きょう」 もある	「きょう」の 方がよい
きょう	( 23)	8	71
今日	737	60	( 39)

表10-4) [コト]

①の回答 ②の回答	「事」が 正しい	「こと」 もある	「こと」の 方がよい	その他の 方がよい
こと	(160)	87	397	( 1)
事	229	22	( 52)	( 1)

表10-5) [ハナシ]

①の回答 ②の回答	「話し」が 正しい	「話」も ある	「話」の方 がよい	「はなし」 もある	「はなし」の 方がよい
はなし	( 5)	( 2)	( 11)		
話し	(147)	30	550	( 1)	( 3)
その他	166	2	( 27)	1	
			( 1)		

表10-6) [ジョジョニ]

①の回答 ②の回答	「除々に」「徐々に」 が正しい	「徐々に」 もある	「徐々に」 の方がよい	「序々に」 もある	「序々に」 の方がよい	「じょじょに」 もある	「じょじょに」 の方がよい	その他 もある	その他の 方がよい
じょじょに	(129)		( 20)	( 1)	( 2)	3	22		( 2)
徐々に	( 45)	1	344			( 3)	( 3)		
除々に	260		( 6)			7	( 4)		
序々に	( 23)		( 7)	3	20		( 1)	1	( 2)
その他	( 12)		( 1)						4



表10—(3)〔キョウ〕の場合、㊸で「きょう」と書いておいて、㊹で「今日」が正しいというのは、ゆれていると考えられる。㊹の設定が他人の表記の訂正であるので、他人の表記（例：今日）を尊重して、それが自分の表記（例：きょう）と違っていても訂正を控えることは十分ありうる。しかし、その場合、㊹—(1)で「2」を選んで㊹—(2)で「きょう」を示せばよい。したがって、㊸で「きょう」と書いた人が、Dで“「今日」が正しい”を選ぶのはゆれと考え、“「きょう」もある”はゆれと考えない。“「きょう」の方がよい”というのはもちろんゆれとしない。他方、㊸で「今日」と書いた人が、㊹で“「今日」が正しい”を選ぶのはもちろんゆれではないが、“「きょう」もある”というのもゆれとは扱わない。実際はゆれとしてよい場合があるかもしれないが、表記者が「今日—きょう」の両表記を意識しているが書くときは必ず「今日」を使うという場合もありうる。この場合はゆれとは言い難い。ここではゆれの場合を比較的きびしく限定して“「きょう」もある”はゆれとせず、“「きょう」の方がよい”というのだけをゆれとする。表10—(1)(2)同様、ゆれと認めた場合には表中の人数を（ ）で囲んである。

表10—(4)～(6)についても(3)〔キョウ〕と同様に示してある。また、表10全体を通じて、それぞれの二つの設問の少なくとも一方が無答であるデータは省いてある。そのために表の各数字を合計しても被調査者総数994にならない。

表10の数値をもとに、各語についてゆれがあると認めた人数と、その割合を示したものが表11である。

〔ジュウブン〕〔イチオウ〕は㊸と㊹の間のゆれ、他の4語は㊸と㊹の間のゆれであり、同列には扱えない。㊸や㊹では具体的な場面で、その語をどう表記するかを調べているのに対して、㊹ではその語についての表記法を一般化して質問しており、㊸と㊹との回答のずれと、㊸と㊹との回答のずれとは少し性質が異なる。また、㊸と㊹の間のゆれでは、無意識的なゆれを扱っているが、個人内におけるゆれという点では意識的なゆれについても考慮を払う必要がある。

表11 ゆれのある人の比率

	①ゆれ	②総計	③書き分け	④ (①／②)	⑤ (①+③／②)
ジュウブン	47人	986人	(446)人	4.7%	50.0%
イチオウ	97	978	(100)	9.9	20.1
キ ヨ ウ	62	938		6.6	
コ ト	214	949		22.5	
ハ ナ シ	197	946		20.8	
ジョジョニ	261	926		28.1	

まず、〔ジュウブン〕と〔イチオウ〕を比べると、無意識的なゆれが見られた人の割合（表11の④の値）は〔イチオウ〕の方が大きい。前節で③の各語におけるゆれの大きさを測定したが、その結果（表3，93ページ）では〔ジュウブン〕の方が〔イチオウ〕よりもゆれが大きく、この結果とは逆になっている。ただし、ここでも意識的なゆれをも含めて、ゆれが見られる人の割合（表の⑤の値）を考えると、〔ジュウブン〕の方がはるかに大きな値になってしまう。〔キョウ〕以下の4語についても同様に表3の結果と比べてみよう。〔ハナシ〕の場合、ここでは送り仮名をも含めているので、ゆれの大きさは、〔ハナシ〕だけ表3の $S_3$ を採用する。するとゆれの大きさは、ジョジョニ（.69）＞コト（.44）＞ハナシ（.37）＞キョウ（.19）となり、上の表11の結果と対応している。

以上のことから断言はできないが、個人内におけるゆれの大きさと個人間におけるゆれの大きさとは、かなりよく対応することが考えられる。つまり、個人によってさまざまに表記される語というのは、個人における表記が確定していてそれが個人によって異なるというだけでなく、個人内においてもさまざまに表記されるのであって、その結果として個人間による表記のゆれが大きくなると考えることができる。

### 3.2.3. 表記の傾向の分析

#### 【表記の傾向】

調査結果から得られるデータとしては、個々の質問に対する回答そのもの

だけでなく、同種類の質問のいくつかを通じての、個人の回答の傾向というものもある。たとえば、㊸の設問ではことばをどう表記したかということだけでなく、その回答にどれくらい漢字表記を用いたかの割合（一種の漢字含有率）を調べることができる。また、㊸'では表記をする際にどれほど迷いが生じるかの割合、㊹では二通りの表記形式を書き分けようとする割合、㊺では表記を訂正しようとする割合などをも調べることができる。これらの個人の表記の傾向は、個人の表記上の意識の反映と見ることができよう。そこで、こうした被調査者個人の表記の傾向をとりあげ、それらがどのように関連しているのか、また、職業による差は存在するのかということを分析する。

表記の傾向としてとりあげるものは、上述の㊸～㊺のそれぞれにおけるもののほか、さらに二つのことを追加する。一つは、表記の際に敬意にどれほど注意するかということである。これは、㊴—5、㊴—6（往復はがきの返信における「御芳名」「御住所」「〇〇行」に対する処置についての質問）の回答から後述の方法によって測定する。追加することのもう一つは、前節で述べた個人内部の表記のゆれの問題である。この調査で個人においてそのゆれがどれほど見られたかという度合いを測定する。これらの二つのことがらを追加したのは、これらも表記の一つの傾向を示すものであると同時に、表記上の意識とかかわりが深いと考えたためである。

- ① 漢字使用度（㊸で、漢字表記を用いた語はどれだけか）
- ② 迷いの度合い（㊸'で、表記上迷いが生じた語はどれだけか）
- ③ 書き分けの度合い（㊹で、書き分けると答えた語はどれだけか）
- ④ 訂正の度合い（㊺で、訂正した語はどれだけか）
- ⑤ 表記上の敬意の度合い
- ⑥ 個人内部の表記のゆれの度合い

これらは、いずれも度合いを問題にしている。度合いとしてとりあげているというのは、各個人の表記の傾向を数量化して考えているという意味である。以下、①～⑥の各項目の数量化の方法について説明を加える。

①は、「3.2.1. 各設問の集計結果」の【Bについて】の項でとりあげた

28語について、そのうち何語を漢字で書いているかを問題にしている。実際のデータでは、漢字で書かれた語数の最高は26、最低は5で、平均値が18.2であった。そこで、漢字で書かれた語数について、平均値を中心に、人数がだいたい同じくらいになるようにして、全体で4段階に区切った。そしてその4段階それぞれに得点を与えた。実際の数値でいうと、漢字表記の語数が5～15の場合を1点、16～18を2点、19・20を3点、21～26を4点とした。

②は、表記形式の選択に迷った語の数である。対象にした語は①と同様、28語である。ただし、迷いには漢字表記と仮名表記の間の迷いと、二通り以上の漢字表記の間の迷いとの2種類がある。そこで両方の迷いがあるものは同じ1語でも2語と数える。したがって最大は56語となる可能性があるが、実際には上限が17語、下限が0語で、平均値は3.5であった。先の①と同様に処理して、迷いの語数が0・1の場合を1点、2・3を2点、4・5を3点、6～17を4点とした。

③は、㉔で示した二通りの表記形式について、場合によって書き分けると答えた（「意味の違いによって両方を書き分けている」または「その時の気分で両方を書き分けている」を選択した）語が何語あるかによって得点化した。ただし、㉔で提示した語は以前にも述べた通り、四つのグループに分けることができた。二通りの表記形式について

- (1)書き分けの理由として意味の違いが考えられやすいもの
- (2)一方の表記形式が漢字制限・音訓制限に触れるもの
- (3)一方の表記形式が誤字とされているもの
- (4)個人の書きぐせで書き分けられるもの

の四つである。これらのグループによって、書き分けの選び方に差があるならば、全体をまとめて一つにすることは、せっかくのデータを相殺してしまうことになる。たとえば、もし、(1)のグループで書き分けを多く選ぶ人と(2)のグループで書き分けを多く選ぶ人との間に差があるらば、当然(1)と(2)は区別して扱うべきである。そこで、そうした違いが判明しない現時点では、

とりあえず、四つのグループそれぞれについて得点化した。

(1)のグループは5語あったが、そのうち何語を書き分けると答えたかによって得点を与えた。書き分けるとした語数が0の場合には1点、1の場合には2点というように順次与えて、最大5語には6点を与えた。(2)のグループ以下も同様にして得点を与えた。(2)のグループは全部で5語あるので、やはり1～6点、(3)のグループは4語なので1～5点、(4)のグループは6語なので1～7点を与えることになる。

④は、①の設問で訂正した方がよいと答えた(①—1で「誤りとはいえないが訂正した方がよい」または「誤りだから、訂正すべきだ」を選択した)語の数が何語あったかによって得点化した。①についても、③の場合と同様四つのグループに分けることができた。

(1)漢字と仮名の間のゆれ

(2)送り仮名のゆれ

(3)漢字と漢字の間のゆれ

(4)一方の表記が誤字であるもの

の四つである。これについても、先の③の③の書き分けの場合と同様に処置し、グループごとに訂正した方がよいと答えた数によって得点を与えた。(1)のグループは4語あったので、訂正の語数が0なら1点、1なら2点というようにし、最大は5点となる。(2)のグループは5語なので1～6点、(3)のグループは7語なので1～8点、(4)のグループは5語なので1～6点を与えることになる。

⑤は、④—5、④—6の往復はがきの返信に関する質問の回答によって得点化した。まず、④—5における「御」や「芳」の字について、「必ず消す」という回答には+1、「消さない」には-1、その他の「決めていない」「わからない」および無答には0を与える。同様に④—6の「〇〇行」については、必ず敬称にかえるという回答には+2、そのままにするという回答には-1、それ以外には0を与えた。そして④—5、④—6の両者を合計した得点を、(2)の得点とした。つまり、両者の合計としては-2から+2までの5

段階となる。この5段階に対して、数値の小さい方を1点として5点までの得点を与える。

㊸は、前節で測定した個人内部のゆれをもつ語が何語あるかによって得点化した。前節では㊸と㊹、あるいは㊸と㊺の両方に登場した6語を扱ったが、ここでは、条件を均一にするために、㊸と㊺の両方に現れた4語だけに絞って考える。すなわち、[キョウ][コト][ハナシ][ジョジョニ]の4語の表記について、㊸と㊺に違いがあると認められるものが何語あるかによって、得点を与えようというのである。違いがあるかどうかの認定は前節で述べたことに従う。違いのある語の数は、当然0～4であり、得点としては、違いの数の少ない方から順に1～5点を与えた。

#### 【表記の傾向の相互関係】

上述の方法によって得点を与えて数量化した、それぞれの表記の傾向において、お互いにどのように関連しあっているのかを見てみよう。得点化したデータをもとに、お互いの相関係数を求めた結果が表12である。表12では、相関の比較的高いもの（.150以上のもの）を太字で示している。この太字の部分に着目して、表記の傾向を図示したものが図VIである。

図VIについて少し解説を加える。

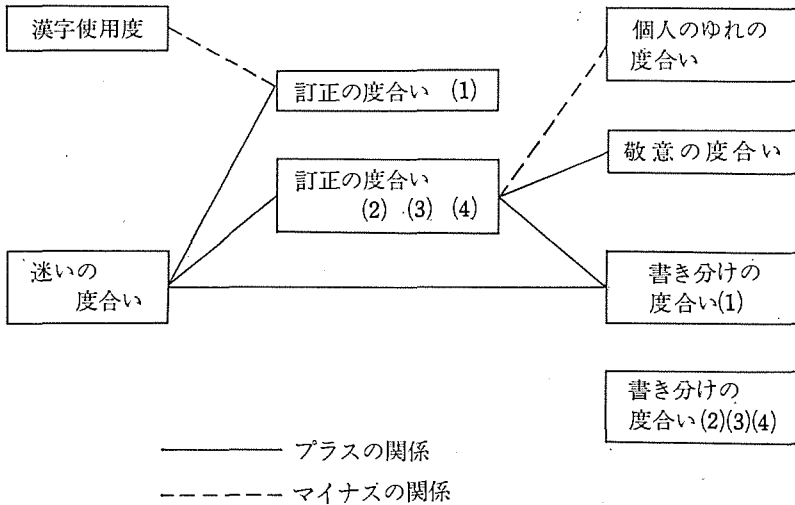
「訂正の度合い(1)」は、漢字と仮名の間にゆれのある語で、原表記が漢字表記であるものに対する訂正の度合いである。したがって漢字使用度が多い人ほど当然この訂正は少なくなると考えられる。図VIの「漢字使用度」と「訂正の度合い(1)」との破線（マイナスの関係）はそれを示している。また、「訂正の度合い(1)」の対象となる語は、誤りを訂正するものではないので、これを訂正するということは、正誤に関する意識よりも標準表記や表記効果に関する意識が働いていることになる。

「訂正の度合い(2)(3)(4)」は、送り仮名、漢字と漢字の間のゆれ、誤表記が訂正の対象となるものである。これらの訂正理由には“送り仮名の規則に反しているから”や“別の漢字を使っているから”という理由が多かった。つまり、正誤に関する意識が働いていると思われる。こういう意識の強い人で

表12 表記の傾向の相互関係

	① 漢字使用度	② 迷いの度合い	③				④				⑤ 敬意の度合い	⑥ 個人のゆれの度合い
			書き分度の 割合 (1)	書き分度の 割合 (2)	書き分度の 割合 (3)	書き分度の 割合 (4)	訂正の 割合 (1)	訂正の 割合 (2)	訂正の 割合 (3)	訂正の 割合 (4)		
① 漢字使用度		-.133	.018	.113	.085	.115	-.266	-.037	-.045	-.102	-.009	-.103
② 迷いの度合い	-.133		.160	.141	-.007	.057	.214	.289	.283	.302	.088	-.131
③	書き分けの 度合い (1)	.018	.160	.242	.268	.328	.121	.200	.202	.192	.152	-.093
	" (2)	.113	.141	.242	.293	.420	-.071	.100	.036	.074	.018	-.032
	" (3)	.085	-.007	.268	.293	.424	-.091	-.098	-.094	-.115	-.061	.033
	" (4)	.115	.057	.328	.420	.424	-.034	.018	-.028	-.029	-.020	.012
④	訂正の 度合い (1)	-.266	.214	.121	-.071	-.091	-.034	.356	.395	.415	.146	-.129
	" (2)	-.037	.289	.200	.100	-.098	.018	.356	.498	.577	.245	-.328
	" (3)	-.045	.283	.202	.036	-.094	-.028	.395	.498	.593	.270	-.272
	" (4)	-.102	.302	.192	.074	-.115	-.029	.415	.577	.593	.251	-.313
⑤ 敬意の度合い	-.009	.088	.152	.018	-.061	-.020	.146	.245	.270	.251		-.134
⑥ 個人のゆれの度合い	-.103	-.131	-.093	-.032	.033	.012	-.129	-.328	-.272	-.313	-.134	

図VI



あれば、表記上の敬意に対しても強い注意を払うであろうし、書き分け、特に意味の違いによる書き分けには敏感な反応を示すことは十分考えられることである。図の「訂正の度合い(2)(3)(4)」と「敬意の度合い」、「書き分けの度合い(1)」とが実線（プラスの関係）で結ばれているのは、この関係を示しているわけである。また「訂正の度合い(2)(3)(4)」と「個人のゆれの度合い」とが破線で結ばれている。これは表記意識（特に正誤に関する意識）が強いほど、個人内部でのゆれが少ない、すなわち、表記が統一されていることを示しているわけで、これも納得できることである。

「迷いの度合い」からは「訂正の度合い(2)(3)(4)」と「書き分け(1)」のほか「訂正の度合い(1)」にも実線が伸びている。「迷いの度合い」が高い人も表記形式に注意を払う度合いが強いわけで、やはり表記に対する意識や関心が強い傾向があるものと思われる。

なお、「書き分けの度合い(2)(3)(4)」については書き分けの度合いの内部では強い相関が見られたが、他の表記の傾向とはそれほど大きな関連は見られなかった。



# 【職業別に見た表記の傾向】

表記の傾向について、教員・学生・主婦の三つの職業に分けて調べてみよう。先に述べた表記の傾向の各得点について職業別の平均点と全体の平均点をまとめて表にしたのが表13である。

教員・学生・主婦の三者の値を比べると、

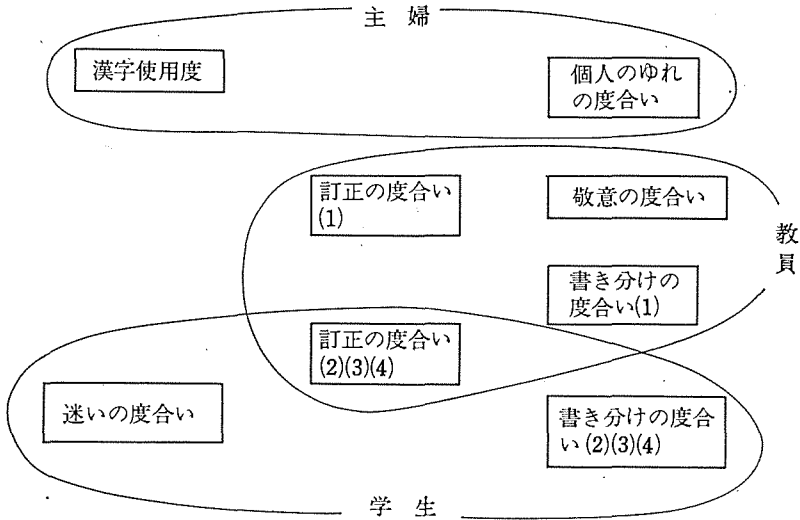
- ・漢字使用度は主婦が高く、教員が低い。
- ・迷いの度合いは学生が高く、主婦が低い。
- ・書き分けの度合いは、(1)については教員が高く主婦が低い、(2)(3)(4)については学生が高く、教員が低い。
- ・訂正の度合いは、(1)については教員が高く主婦が低い、(2)(3)(4)については教員と学生が高く主婦が低い。
- ・敬意の度合いは教員が高い。
- ・個人のゆれの度合いは主婦が高い。

という反応が見られた。大まかにまとめていえば、教員は「書き分けの度合い(1)」「訂正の度合い(1)～(4)」「敬意の度合い」において高い得点を示し、学生は「迷いの度合い」「訂正の度合い(2)(3)(4)」で高い得点を示した。それに対して、主婦は「漢字使用度」と「個人のゆれの度合い」で高い値を示した

表13

	教 員	学 生	主 婦	その他	全 体	
① 漢字使用度	2.25	2.62	2.88	2.77	2.55	
② 迷いの度合い	2.53	2.97	1.76	1.90	2.36	
③ {	書き分けの度合い(1)	4.16	3.90	3.55	3.54	3.87
	〃 (2)	1.70	2.44	1.66	1.65	1.84
	〃 (3)	2.22	2.63	2.32	2.21	2.33
	〃 (4)	2.08	2.57	2.47	2.17	2.29
④ {	訂正の度合い(1)	2.62	2.07	1.52	1.75	2.12
	〃 (2)	4.49	4.51	2.45	2.27	3.71
	〃 (3)	4.33	4.08	1.97	2.40	3.46
	〃 (4)	4.70	4.69	3.09	3.38	4.14
⑤ 敬意の度合い	4.19	3.55	3.56	3.40	3.80	
⑥ 個人のゆれの度合い	1.61	1.48	2.04	1.97	1.74	

図Ⅶ



が、「迷いの度合い」や「訂正の度合い」では低い値を示した。このことを先の図Ⅵに重ね合わせて考えると、図Ⅶのような関連を導き出すことができる。つまり、表記に対する意識や関心の強さとかかわりが深い項目で教員や学生が反応しているのに対し、主婦はそれと相反する関係にある項目に反応を示したのである。教員と学生は表記に対する意識や関心が強いと言えよう。そして、教員と学生がともに表記意識が強いといっても、教員が「訂正の度合い(1)」を含んでいる点で、正誤に対する意識だけでなく、標準表記や表記効果に対する意識もあるのに対し、学生は正誤に対する意識が強いようである。他方、主婦においては、漢字使用の傾向が認められるわけで、漢字指向の意識があるように思われる。

### 3.2.4. まとめ

この調査の目的のポイントを要約すれば、

- 1 ゆれの見られやすい語に対して、表記者はどのような反応をするか。
- 2 その反応は表記者における表記意識とどのようにかかわっているか。

の2点である。

まず、第1点について根本的な結論としてあげられるのは、表記される語の性質と表記者のあり方が反応の要因として働いているということである。ゆれが見られやすい語といっても、その語がどのようなゆれのパターンをもっているか、また、どのような理由でゆれが存在するのかという点ではさまざまなものがある。たとえば、ゆれのパターンでは漢字と仮名の対立だけが問題になるものもあれば、漢字と仮名の対立のほか、漢字と漢字の対立、さらには送り仮名まで問題になるものもある。また、ゆれの存在理由では、同訓異字の書き分け、漢字政策による複数表記の存在、あるいは正字と誤字といったものがあつた。こうしたゆれのパターンや存在理由の違いによって、表記者の反応に差が見られた。一方、表記者のあり方によって反応に差があるものもあつた。この調査では、被調査者を構成する主な集団として、教員・学生・主婦の三集団があつた。これらの職業を異にする集団においていくつかの項目で反応に差が見られた。

表記される語の性質と表記者のあり方という二つの要因のうち、前者については、さらに仮説として考えられることがある。それは、語そのものが表記の安定度をもっているのではないかということである。表記のゆれは、表記されたものがあつて初めてゆれがあるかどうか認められる。表記がゆれるかどうかは表記者によって決まってくるはずである。しかし、実際の社会において二通り以上の表記形式が使用されている現象が存在するとき、その語の表記の安定度が、その現象の頻度によってある程度定められてしまう。つまり、表記者が表記する以前にその語自体に、ゆれる可能性としての“表記の安定度”があると考えられる。

このような表記の安定度を仮定する理由は、個人間におけるゆれの大きい語は、個人の意識内におけるゆれ（迷い）が生じやすい（97ページ参照）し、また個人内におけるゆれの大きさと、個人間におけるゆれの大きさががかなりよく対応した（117ページ参照）からである。語にはそれぞれ表記の安定度というものがあり、それが小さい語は、個人によってさまざまに書

かれてその結果として、社会の中にゆれが認められるし、同時に個人においてもさまざまな書かれて個人の中でもゆれが認められる。さらには個人として表記したものにゆれは認められなくても、表記する際に迷い（意識内でのゆれ）として出現するのだと考えることができる。

ここで注意すべきことは、表記の安定度と表記のゆれ（現象）とがニワトリと卵の関係にあるということである。社会における表記のゆれの度合いが表記の安定度を定め、表記の安定度が表記のゆれの度合いを定めるのである。ただし、表記のゆれにかかわる要因は、表記の安定度だけではないので単純にループしているとは言えない。

そのもう一方の要因である表記者のあり方については、この節の最初にあげたこの調査目的の第2点「その反応は表記意識とどのようにかかわっているか」の問題である。そこで、この第2点に話を移す。

前節では、被調査者の表記の反応をデータとして、漢字をどの程度使用しているかとか、他人の表記に対してどの程度訂正を行っているかとか、いくつかの面について表記の傾向を調べた。そして、その表記の傾向の相関係数をもとに、それらの相互の関係を求めた。その結果、表記の傾向は、表記の意識や関心の強弱を中心として関連しあう図式にまとめることができた（図VI参照）。そしてまた、その図式は教員・学生・主婦について、それぞれの表記の特徴的な面の差異を説明するのにも有効であった。つまり、表記に対する意識や関心の強さを軸として、（教員・学生）対（主婦）に分かれ、さらに表記意識の内容のあり方によって（教員）と（学生）とが分離されたのである（図VI参照）。

そして、このような表記意識の差異を生み出すものは、表記者の表記にかかわる生活環境・経験などであると思われる。日常の生活において表記を行う機会は、教員・学生が多く主婦は少ない。また表記習慣への習熟度という点では学生に未熟さが認められる（90～91ページ参照）。表記を行う機会の多さは当然、表記意識や関心の度合いを強めるだろう。また受験を比較的最近に経験した学生は正誤の意識を強くもっているだろうが、表記習慣に対す

る意識などはそれほど強くないものと推測される。

結局、表記のゆれという現象には、表記される語の性質と表記者の意識のあり方が要因となっているのであり、それらに現実に行われている表記や、表記にかかわる生活環境が影響していることになる。ここにもやはり“ニワトリと卵”に似た関係が存在する。ただし、表記意識は時間的な流れの中で変化してゆく可能性が強く、その変化はゆれという現実に変化を与えるわけで、決して単純なくり返しにはならないはずである。

## 付 表

ここには，付表として，次の三種をおさめる。

- 付－１ 新聞における語表記のゆれ一覧
- 付－２ 広報紙における表記上の誤用一覧
- 付－３ 意識調査における基本集計一覧

## 付－１ 新聞における語表記のゆれ一覧

この表は、新聞の語彙調査をもとに、同一の語に対して複数の表記形式が見られた語を集めて五十音順に排列し、各見出し語のもとにその表記形式と使用度数を表示したものである（表記形式の異同については15ページ、使用度数については9ページ参照）。ただし、助詞・助動詞、固有名詞等は除いている。なお、ここに掲げた語は、ゆれのある見出し語4,916語のうち、文字と記号の対立だけのゆれの場合を除いた4,878語である。

- 1 見出し語について……各見出し語の直後の（ ）内には語種と品詞を示した。また、語の識別が困難だと思われるものについては、その漢字表記を〔 〕内に示すか、または注記をくゝ内に示した。

語種・品詞の示し方は次の通りである。

（語種） 和……和語      漢……漢語      外……外来語  
混……混種語

（品詞） 名……体言（代名詞を除く）・形容動詞語幹  
代……代名詞      動……動詞      形……形容詞  
副……副詞      連……連体詞      接……接続詞  
感……感動詞      頭……接頭辞      尾……接尾辞

- 2 表記形式について……各見出し語における表記形式の排列は、原則として、漢字を含む表記形式、片仮名の表記形式、平仮名の表記形式の順とし、漢字を含む表記形式が複数である場合はそれらを度数順に並べた。ただし、表記形式の相互の関連を考慮して見やすくするためにこれらの原則をはずしている場合もある。

ア (和・感)		遇う	1	茜	1
ア	2	遭う	1	あかね	2
あ	3	逢う	1	アカリ (和・名)	
アア (和・感)		あう	4 5	明り	4
嗚呼	1	アエグ (和・動)		あかり	4
ああ	1 7	喘ぐ	1	アガリ (和・名)	
アイ (和・頭)		あえぐ	6	上り	2 0
相	6 5	アエテ (和・副)		上がり	3
あい	1 9	敢えて	2	あがり	2
アイ (和・頭)		あえて	1 7	アガリコム (和・動)	
合	5	アエモノ (和・名)		あがり込む	2
合い	2	あえ物	1	上がりこむ	1
あい	2	あえもの	1	アガル (和・動)	
アイカワラズ (和・副)		アオイ (和・形)		上がる	1 0 3
相変わらず	1 0	青い	3 1	上る	1 0
相変らず	9	蒼い	1	樹がる	2
相かわらず	1	碧い	1	あがる	7 3
あい変わらず	2	あおい	1	アカルイ (和・形)	
あいかわず	4	アオグ (和・動)		明るい	1 2 3
アイキョウ (漢・名)		仰ぐ	4	あかるい	2
愛敬	1	あおぐ	2	アカルサ (和・名)	
愛嬌	1	アオクサイ (和・形)		明るさ	1 8
愛きょう	1	青くさい	2	あかるさ	1
あいきょう	2	青臭い	1	アキ (和・名)	
アイソ (漢・名)		アオザメル (和・動)		空き	1
愛想	4	蒼ざめる	4	アキ	2
あいそ	2	青ざめる	2	アキカン (混・名)	
アイダ (和・名)		あおざめる	1	空カン	1
間	4 5 4	アオジロイ (和・形)		空かん	1
あいだ	2 5	青白い	2	アキグチ (和・名)	
アイデア (外・名)		蒼白い	1	秋口	2
アイデア	3 6	アオムケ (和・名)		秋ぐち	2
アイディア	4	あお向け	2	アキス (和・名)	
アイノコ (和・名)		仰向け	1	空巢	3
アイノコ	1	あおむけ	1	空き巢	1
あいのこ	1	アカ (和・名)		あき巢	3
アイマ (和・名)		赤	7 4	アキ巢	1
合間	3	あか	3	アキス	1
あい間	1	アカイ (和・形)		アキチ (混・名)	
あいま	2	赤い	4 2	空地	6
アイマイ (漢・名)		紅い	3	あき地	4
あいまい	2 0	あかい	2	アキビン (混・名)	
アイマイ	1	アカグミ (和・名)		空びん	2
アイロニー (外・名)		赤組	1	空ビン	1
アイロニー	1	紅組	1	あきビン	1
アイロニイ	1	アカス (和・動)		アキブクロ (和・名)	
アウ (和・尾)		明かす	1	空袋	3
合う	6 3	あかす	1	あき袋	3
あう	3 6	アカツキ (和・名)		アキヤ (和・名)	
アウ (和・動)		暁	5	空家	2
合う	1 2 1	あかつき	3	あき家	1
会う	9 7	アカネ (和・名)		アキラカ (和・名)	



明らか	3 2 9	アゴヒゲ (和・名)		足なみ	1
明か	1	あごヒゲ	1	アシバヤ (和・名)	
あきらか	7	あごひげ	1	足早	2
アキラメル (和・動)		アサ (和・名)		足ばや	2
諦める	3	朝	3 7 3	アシブミ (和・名)	
あきらめる	3 2	アサ	6	足踏み	7
アキレル (和・動)		あさ	6	足ふみ	2
呆れる	1	アサガオ (和・名)		アシモト (和・名)	
あきれる	2 0	朝顔	4	足元	1
アク (和・動)		アサガオ	3	足もと	5
開く	5	あさがお	1	アジワウ (和・動)	
空く	1	アサバン (混・名)		味わう	2 6
あく	2 3	朝暁	1 2	あじわう	1
アク (和・動)		朝ばん	3	アス (和・名)	
飽く	1	アザムク (和・動)		明日	4 4
あく	1	欺く	1	あす	1 4 0
アクビ (和・名)		あざむく	2	アズカリ (和・名)	
アクビ	1	アサモヤ (和・名)		預かり	7
あくび	1	朝モヤ	1	預り	4
アグラ (和・名)		朝もや	1	アズカル (和・動)	
アグラ	1	アザヤカ (和・名)		預かる	1 1
あぐら	2	鮮やか	7	預る	1
アゲ (和・名)		鮮か	1	あずかる	5
揚げ	3	あざやか	2 2	アズキ (和・名)	
上げ	2	アシ (和・名)		小豆	6
あげ	1 9	足	1 3 5	アズキ	1 5
アゲク (混・名)		脚	4	アズケ (和・名)	
揚げ句	1 4	アシ	1	預け	4
あげく	1	あし	2	あずけ	4
アゲソコ (和・名)		アシ (和・名)		アズケル (和・動)	
アゲソコ	2	葎	1	預ける	2 7
あげそこ	2	アシ	1	あずける	5
アケル (和・動)		あし	1	アズサ (和・名)	
明ける	6	アジ (和・名) (鱈)		梓	1
開ける	3	アジ	1 1	あづさ	5
空ける	2	あじ	3	アセ (和・名)	
あける	5 8	アジ (和・名)		汗	3 5
アゲル (和・動)		味	1 4 8	アセ	5
上げる	7 9	アジ	1	アセグク (和・名)	
挙げる	7	あじ	1	汗だく	4
揚げる	5	アジツケ (和・名)		汗ダク	1
あげる	3 9 6	味つけ	7	アセモ (和・名)	
アゴ (和・名)		味付け	4	アセモ	1
顎	1	アシドメ (和・名)		あせも	2
アゴ	6	足止め	3	アゼン (漢・副)	
あご	3	足どめ	3	啞然	1
アコガレ (和・名)		アシドリ (和・名)		あ然	1
憧れ	5	足取り	3	アソバス (和・動)	
あこがれ	1 3	足取	1	遊ばす	1
アコガレル (和・動)		足どり	1 0	あそばす	1
憧れる	1	アシナミ (和・名)		アソブ (和・動)	
あこがれる	6	足並み	1 0	遊ぶ	6 3

あそぶ	2	当たり前	9	集まる	59
アタイ (和・名)		当り前	6	集る	48
値	13	あたり前	1	あつまる	5
価	3	アタリマエ	2	アツミ (和・名)	
アダウチ (和・名)		あたりまえ	3	厚み	3
仇討	1	アタリヤ (和・名)		厚味	2
アダ討ち	1	当り屋	4	アツメ (和・名)	
アタエル (和・名)		当たり屋	4	集	4
与える	273	アタル (和・動)		集め	1
あたえる	14	当たる	113	アツメル (和・動)	
アタカカ (和・名)		当る	74	集める	190
暖か	6	アタル	1	あつめる	6
暖かか	1	あたる	125	アテ (和・尾)	
アタカイ (和・形)		アチコチ (和・副)		宛	7
暖かい	35	アチコチ	2	あて	5
温かい	1	あちこち	16	アテ (和・名)	
あたたかい	11	アテラ (和・名)		当て	6
アタカサ (和・名)		アチラ	2	アテ	3
暖かさ	6	あちら	4	あて	50
あたたかさ	1	アッ (和・感)		アテサキ (和・名)	
アタカミ (和・名)		アッ	11	宛先	4
暖かみ	1	あっ	12	あて先	24
あたたかみ	1	アツイ (和・形)		アテナ (和・名)	
アタマル (和・動)		厚い	35	あて名	7
温る	1	あつい	2	宛名	3
温まる	1	アツイ (和・形)		アチニゲ (和・名)	
暖まる	1	暑い	25	当て逃げ	2
あたたまる	6	熱い	15	あて逃げ	1
アタメル (和・動)		あつい	2	アテヌノ (和・名)	
暖める	2	アツカイ (和・名)		当て布	1
あたためる	5	扱い	57	あて布	1
アタマ (和・名)		扱	2	アテハズレ (和・名)	
頭	188	あつかい	4	当てはずれ	1
アタマ	6	アツカウ (和・動)		あてはずれ	2
アタマウチ (和・名)		扱う	63	アテハマル (和・動)	
頭打ち	3	あつかう	6	当てはまる	2
頭うち	1	アッサク (漢・名)		あてはまる	10
アトラシイ (和・形)		圧搾	1	アテハメル (和・動)	
新しい	448	圧さく	1	当てはめる	1
新らしい	6	アッサリ (和・副)		あてはめる	4
あたらしい	3	アッサリ	1	アテル (和・動)	
アタリ (和・名)		あっさり	16	当てる	37
当たり	65	アッセン (漢・名)		当テル	3
当り	47	斡旋	2	宛てる	1
当	4	あっせん	44	あてる	50
アタリ	2	アッパク (漢・名)		アト (和・名)	
あたり	54	圧迫	19	跡	44
アタリチラス (和・動)		圧ばく	1	痕	1
当りちらす	1	アツマリ (和・名)		アト	2
当たりちらす	1	集まり	12	あと	30
あたり散らす	1	集り	5	アト (和・名)	
アタリマエ (和・名)		アツマル (和・動)		後	22

アト	1	危ない	2	アマリ (和・名)	
あと	639	あぶない	22	余	71
アトカタ (和・名)		アブラ (和・名)		余り	35
跡方	2	油	28	あまり	186
跡形	1	脂	1	アマル (和・動)	
跡かた	1	アブラ	1	余る	3
あとかた	1	アブラアゲ (和・名)		あまる	5
アトツギ (和・名)		油揚げ	1	アマンジル (和・動)	
後継	3	油揚	1	甘んじる	1
あと継ぎ	1	アブラケ (和・名)		あまんじる	1
あとつぎ	1	油氣	2	アミ (和・名)	
アトマワシ (和・名)		あぶら氣	1	編	7
後回し	1	アブラショウ (混・名)		編み	5
あと回し	1	脂性	2	アミ (和・名)	
あとまわし	2	あぶら性	2	網	14
アナ (和・名)		アブル (和・動)		アミ	3
穴	54	あぶる	2	あみ	1
アナ	6	アブル	1	アミキ (混・名)	
アナウメ (和・名)		アフレル (和・動)		編み機	2
穴埋め	2	溢れる	5	編機	1
穴うめ	2	あふれる	62	アミダス (和・動)	
アナ埋め	1	アホウ (漢・名)		編み出す	1
アナタ (和・代)		阿呆	5	あみ出す	4
貴女	4	あほう	2	アミノノ (和・名)	
貴方	1	アマ (和・名)		編物	7
あなた	322	海女	3	編み物	2
アニ (和・名)		海士	1	編みもの	2
兄	24	あま	1	あみもの	15
あに	1	アマイ (和・形)		アム (和・動)	
アバク (和・動)		甘い	39	編む	22
暴く	1	あまい	9	あむ	9
あばく	3	アマイ	1	アメ (和・名)	
アバレマワル (和・動)		アマエル (和・動)		飴	6
暴れまわる	1	甘える	3	アメ	2
あばれ回る	1	あまえる	1	あめ	1
アバレル (和・動)		アマサ (和・名)		アヤウイ (和・形)	
暴れる	4	甘さ	8	危うい	8
あばれる	9	アマサ	1	あやうい	1
アビール (外・名)		あまさ	2	アヤシイ (和・形)	
アビール	24	アマス (和・動)		怪しい	5
アッビール	1	余す	2	妖しい	4
アビセル (和・動)		あます	1	あやしい	9
浴びせる	9	アマミ (和・名)		アヤシム (和・動)	
あびせる	4	甘味	5	怪む	1
アビル (和・動)		甘み	1	あやしむ	2
浴びる	48	あまみ	1	アヤツル (和・動)	
あびる	12	アマヤカス (和・動)		操る	2
アフター (外・名)		甘やかす	4	あやつる	4
アフター	10	あまやかす	2	アヤブム (和・動)	
アフタ	1	アマヨリ (和・名)		危ぶむ	2
アブナイ (和・形)		甘より	1	あやぶむ	3
危い	1	あまより	1	アヤマチ (和・名)	

誤ち	1	荒す	2	歩く	1 2 4
過ち	1	アラタ (和・名)		あるく	2
あやまち	6	新た	1 0 2	アルジ (和・名)	
アヤマリ (和・名)		新	1	主	2
誤	1	あらた	5	あるじ	1
誤り	2 6	アラタメル (和・動)		アルミニウム (外・名)	
アヤマル (和・動)		改める	9 3	アルミニウム	6
誤る	3 3	あらためる	2 9	アルミニウム	2
あやまる	7	アラモノ (和・名)		アレ (和・代)	
アヤマル (和・動)		荒物	2	アレ	1
謝る	1	あらもの	1	あれ	4 8
あやまる	8	アラワス (和・動)		アレハダ (和・名)	
アユ (和・名)		現わす	1 6	荒れ肌	1
站	1	表わす	6	アレ肌	1
アユ	5	表す	1	アレル (和・動)	
アユミ (和・名)		あらわす	2 7	荒れる	2 4
歩み	1 1	アラワレ (和・名)		あれる	1
あゆみ	3	現れ	6	アワ (和・名)	
アラ (和・感)		現われ	4	泡	1 2
アラ	2	アラワレル (和・動)		沫	1
あら	3	現われる	5 4	アワ	7
アラアラシイ (和・形)		現れる	3 3	あわ	1
荒々しい	2	表われる	3	アワ (和・名)	
あらあらしい	1	あらわれる	4 8	粟	2
アライ (和・形)		アリ (和・名)		アワ	1
荒い	4	蟻	4	アワイ (和・形)	
あらい	1	あり	1	淡い	8
アライアガリ (和・名)		アリガタイ (和・形)		あわい	2
洗い上り	3	有難い	1	アワセ (和・名)	
洗い上がり	1	ありがたい	2 6	合せ	1
アライオトス (和・動)		アリガトウ (和・副)		あわせ	4
洗い落す	1	有難う	3	アワセル (和・動)	
洗い落とす	1	ありがとう	2 3	合わせる	1 0 1
アライバ (和・名)		アリサマ (和・名)		合せる	5
洗い場	1	有様	1 1	併せる	1
洗場	1	ありさま	1 1	あわせる	6 4
アラウ (和・動)		アル (和・動)		アワセワザ (和・名)	
洗う	7 6	有る	3 1	合せ技	1
洗ふ	2	在る	3	合わせ技	1
あらう	1	有	2	アワダテ (和・名)	
アラカセギ (和・名)		ある	9 6 0 7	アワ立て	1
荒かせぎ	2	アルイハ (和・接)		あわ立て	1
あらかせぎ	1	或は	2	アワレ (和・名)	
アラシ (和・名)		或いは	1	哀れ	4
嵐	1 6	あるいは	1 3 7	あわれ	6
アラシ	6	アルイハ (和・副)		アン (漢・名) (館)	
あらし	1 0	或は	1	アン	2
アラシ (和・名)		あるいは	2 1	あん	3
荒らし	3	アルキマワル (和・動)		アンギヤ (漢・名)	
荒し	1	歩きまわる	4	行脚	3
アラス (和・動)		歩き回る	2	あんぎゃ	1
荒らす	6	アルク (和・動)		アンダーシャツ (外・名)	

アンダーシャツ	1	いい渡す	6	粹	1
アンダーシャツ	1	イウ (和・動)		イキ	2
アンド (外・名)		言う	2 2 8	イキ (漢・名)	
アンド	1 9	云う	1 5	意気	3 0
あんど	1	イウ	1	イキ	1
アンナイ (漢・名)		いう	7 5 2 3	イキイキ (和・副)	
案内	1 9 6	いふ	3	生き生き	7
あんない	3	イエスタデー (外・名)		生きいき	1
アンマ (漢・名)		イエスタディ	1	イキイキ	1
アンマ	1	イエスタデー	1	イキウメ (和・名)	
あんま	4	イオウ (和・名)		生き埋め	2
アンヨ (和・名)		硫黄	1 1	生埋	2
アンヨ	1	イオウ	3	イキオイ (和・名)	
あんよ	1	イカ (和・副)		勢い	3 0
イイアテル (和・動)		如何	2	勢	2
言い当てる	1	いか	1 3 7	いきおい	1
云い当てる	1	イカ (和・名)		イキガイ (和・名)	
イイカエス (和・動)		イカ	4	生きがい	5
言いかえす	1	いか	1	生甲斐	2
いい返す	1	イカガ (和・副)		生き甲斐	1
イイガタイ (和・形)		如何	1	イキギレ (和・名)	
言い難い	1	いかが	1 8	息切れ	6
いい難い	1	イカス (和・動)		息ぎれ	2
イイダス (和・動)		イカス	2	息切れ	1
いい出す	8	イカす	3	イキサツ (和・名)	
いいだす	2	いかに	1	イキサツ	2
イイナズケ (和・名)		イカス (和・動)		いきさつ	1 7
許婚者	1	生かす	7 8	イキヅマル (和・動)	
許嫁	1	活かす	2	息づまる	3
イイナリ (和・名)		いかに	8	息詰まる	1
言いなり	2	イカダ (和・名)		いきづまる	1
云いなり	1	イカダ	1	イキドオリ (和・名)	
いいなり	2	いかに	1	憤り	3
イイノコス (和・動)		イガミアウ (和・動)		いきどおり	3
言い残す	1	イガミ合う	1	イキヌク (和・動)	
いい残す	1	いがみ合う	1	生き抜く	4
イイハル (和・動)		いがみあう	1	生抜く	2
言い張る	1	イカリ (和・名)		生きぬく	3
いい張る	1	錨	1	イキノコリ (和・名)	
いいはる	1	いかり	1	生き残り	5
イイブン (混・名)		イカン (漢・名)		生残り	1
いい分	1 0	遺憾	1 9	イキノコル (和・動)	
言い分	4	遺憾	1	生き残る	9
言いぶん	4	いかに	4	生残る	1
いいぶん	2	イカン (和・副)		イキマク (和・動)	
イイマワシ (和・名)		如何	2	息まく	1
言い回し	1	いかに	2 3	いきまく	3
いいまわし	1	イキ (和・名)		イキモノ (和・名)	
イイワタス (和・動)		息	2 4	生きもの	4
言渡す	1 0	イキ	2	生き物	1
言い渡す	3	いき	1	イキル (和・動)	
言いわたす	1	イキ (和・名)		生きる	1 8 2

活きる	1	意志	19	忙しき	5
イキル	3	イジ (漢・名)		いそがしき	2
いきる	4	意地	9	イソギ (和・名)	
イクサ (和・名)		イジ	1	急ぎ	7
戦	3	いじ	2	いそぎ	1
戦さ	1	イシガキ (和・名)		イソグ (和・動)	
いくさ	4	石垣	2	急ぐ	92
イグサ (和・名)		石ガキ	2	いそぐ	8
茜草	1	石がき	1	イタイ (和・形)	
い草	1	イシズエ (和・名)		痛い	32
イクツ (和・名)		礎	1	いたい	5
幾つ	1	いしずえ	1	イタガラス (混・名)	
いくつ	53	イシユク (漢・名)		板硝子	2
イクド (混・名)		萎縮	2	板ガラス	1
幾度	1	い縮	1	イタキレ (和・名)	
いくど	1	イショウ (漢・名)		板切れ	3
イクニン (混・名)		衣裳	50	板キレ	1
幾人	2	衣装	23	イダク (和・動)	
いく人	1	イヌ (漢・名)		抱く	29
イクブン (混・名)		椅子	28	いだく	14
いく分	4	イス	26	イタス (和・動)	
幾分	2	いす	9	致す	24
いくぶん	11	イズコ (和・代)		いたす	122
イクラ (和・名)		何処	1	イタズラ (和・名)	
幾ら	1	いずこ	1	悪戯	2
いくら	65	イズミ (和・名)		イタズラ	3
イケ (和・名)		泉	5	いたずら	12
池	16	いずみ	2	イタダク (和・動)	
いけ	1	イズレ (和・代)		頂く	17
イケガキ (和・名)		何れ	1	戴く	7
生垣	1	いずれ	292	いただく	149
生けがき	1	いづれ	6	イタマシイ (和・形)	
イケバナ (和・名)		イスワル (和・動)		痛ましい	6
生け花	8	居すわる	3	いたましい	3
生花	1	いすわる	2	イタミ (和・名)	
いけ花	6	イセエビ (和・名)		痛み	50
いけばな	6	イセエビ	1	傷み	1
イケル (和・動)		いせえび	1	いたみ	2
生ける	2	イゼン (漢・名)		イタム (和・動)	
いける	2	以前	91	痛む	12
イコイ (和・名)		いぜん	1	いたむ	9
憩	2	イゼン (漢・名)		イタメル (和・動)	
憩い	2	依然	38	痛める	22
いこい	7	いぜん	29	傷める	2
イザ (和・感)		イソ (和・名)		いためる	8
イザ	2	礎	2	イタル (和・動)	
いざ	24	イソ	1	至る	64
イザコザ (和・名)		いそ	3	到る	3
イザコザ	2	イソガシイ (和・形)		至ル	1
いざこざ	2	忙しい	40	いたる	53
イシ (漢・名)		いそがしい	11	イタワリ (和・名)	
意思	59	イソガシサ (和・名)		イタワリ	1

いたわり	2	イッサイ (漢・名)		挑む	15
イタワル (和・動)		一切	64	いどむ	17
労る	1	いっさい	29	イトメ (和・名)	
いたわる	6	イッシュウ (漢・名)		糸目	1
イチオウ (漢・名)		一蹴	1	いとめ	2
一応	90	一しゅう	3	イナカ (和・名)	
いちおう	7	イッシュョ (漢・名)		田舎	10
イチガイ (漢・名)		一緒	34	いなか	3
一概	1	一諸	1	みなか	2
いちがい	6	一しょ	3	イナカマチ (和・名)	
イチゴ (和・名)		いっしょ	126	田舎町	1
苺	2	イッシュウ (漢・名)		いなか町	1
イチゴ	6	一生	36	イニシアチブ (外・名)	
いちご	1	いっしょう	1	イニシアチブ	6
イチジルシイ (和・形)		イッセイ (漢・副)		イニシアティブ	2
著しい	24	一斉	46	イヌ (和・名)	
いちじるしい	14	一せい	1	犬	18
いちぢるしい	1	いっせい	24	イヌ	2
イチズ (漢・名)		イッソウ (漢・副)		イネ (和・名)	
一途	2	一層	42	稲	12
いちず	2	一そう	3	イネ	8
イチダン (漢・副)		いっそう	56	イネカリ (和・名)	
一段	62	イックイ (漢・副)		稲刈り	1
いちだん	1	一体	19	イネ刈り	1
イチハヤク (和・副)		いったい	28	イノチ (和・名)	
いち早く	15	イッタン (漢・副)		命	23
いちちはやく	2	一たん	2	イノチ	2
イチバン (漢・副)		いったん	39	いのち	12
一番	139	イッバイ (漢・副)		イノチガケ (和・名)	
いばん	4	一杯	5	命がけ	5
いちばん	77	一ぱい	5	いのちがけ	2
イチマツ (漢・名)		イッバイ	1	イノチトリ (和・名)	
一抹	1	いっばい	149	命取り	4
いちまつ	1	イッポウ (漢・名)		命とり	1
イチョウ (漢・名)		一方	372	イノル (和・動)	
イチョウ	7	いっぽう	4	祈る	28
いちょう	2	イツワル (和・動)		いのる	1
イッカ (漢・名)		偽る	4	イバル (混・動)	
一家	78	いつわる	2	威張る	2
1家	1	イトオシイ (和・形)		いばる	5
イッキ (漢・名)		愛しい	1	イブ (外・名)	
一気	27	いとおしい	2	イヴ	2
いっき	1	イトグチ (和・名)		イブ	1
イッキョ (漢・名)		糸口	10	イマ (和・名)	
一挙	31	いとぐち	1	今	199
いっきょ	2	イトコ (和・名)		いま	756
イッケツ (漢・名)		徒弟	1	イマゴロ (和・名)	
泣血	3	いとこ	2	今ごろ	4
イッ血	1	イトナム (和・動)		いまごろ	9
イッコウ (漢・副)		宮む	11	イマサラ (和・副)	
一向	7	いとなむ	1	今さら	5
いっこう	10	イドム (和・動)		いまさら	18

イマシメル (和・動)		入	6 3	いろどり	1
戒める	2	イリグチ (和・名)		イロドル (和・動)	
いましめる	1	入口	4 0	色どる	3
イマダ (和・副)		入り口	1 2	彩る	2
未	3	イリマジル (和・動)		いろどる	3
未だ	2	入りまじる	3	イロヌキ (和・名)	
いまだ	7	いりまじる	1	色ぬき	4
イモ (和・名)		イリミダレル (和・動)		色ヌキ	1
イモ	6	入り乱れる	3	色抜き	1
いも	4	入乱れる	2	イロワケ (和・名)	
イモガユ (和・名)		入りみだれる	1	色分け	1
芋粥	1	イル (和・動)		色わけ	1
芋ガユ	1	入る	2 5	イワイ (和・名)	
イヤ (和・名)		入ル	2	祝い	1 9
イヤ	1 8	いる	2	祝	2
いや	3 8	イル (和・動)		イワク (和・名)	
イヤ (和・感)		居る	1 2	日	1
イヤ	1	イル	1	日く	1
いや	4 1	いる	1 2 4 2	いわく	5
イヤオウ (混・名)		ゐる	6	イワクツキ (和・名)	
いや応	2	イル (和・動)		イワク付き	1
否応	1	要る	2	イワクつき	1
いやおう	3	いる	2 6	いわくつき	1
イヤス (和・動)		イレ (和・尾)		イワナ (和・名)	
癒す	1	入れ	1 1	岩魚	2
いやす	2	入	1	イワナ	1
イヤホン (外・名)		いれ	1	インセキ (漢・名)	
イヤホン	4	イレカエ (和・名)		イン石	1
イヤホーン	3	入替え	6	いん石	1
イヤミ (和・名)		入替	3	インターン (外・名)	
イヤ味	2	入れ替え	2	インターン	1 0
いやみ	1	イレカエル (和・動)		インタン	1
イヨイヨ (和・副)		入れ替える	1	インチキ (和・名)	
愈々	1	入替える	1	インチキ	7
いよいよ	7 7	イレズミ (和・名)		いんちき	1
イヨク (漢・名)		入墨	2	インディアン (外・名)	
意欲	6 8	刺青	1	インディアン	5
意慾	2	いれずみ	2	インデアン	1
イライ (漢・名)		イレル (和・動)		インネン (漢・名)	
以来	2 4 5	入れる	2 9 8	因縁	3
いらい	5 5	いれる	6 7	いんねん	3
イライラ (和・副)		イロ (和・名)		ウイスキー (外・名)	
イライラ	1 5	色	1 5 2	ウイスキー	1 6
いらいら	5	いろ	2	ウィスキー	4
イラダチ (和・名)		イロイロ (和・名)		ウヰスキー	2
イラダチ	1	色々	5	ウヰスキー	1
いらだち	1	いろいろ	1 5 7	ウインドウ (外・名)	
イラダツ (和・動)		イロズリ (和・名)		ウィンドー	7
イラだつ	1	色刷	3	ウィンド	2
いらだつ	3	色刷り	1	ウウン (和・感)	
イリ (和・尾)		イロドリ (和・名)		ウーン	1
入り	1 7 9	色どり	7	うーん	1



ううん	1	うき世	1	受け取り	1
ウェーター (外・名)		ウク (和・動)		ウケトル (和・動)	
ウェイター	3	浮く	17	受取る	36
ウェイト	1	うく	1	受け取る	25
ウェスタン (外・名)		ウグイス (和・名)		受けとる	17
ウェスタン	6	ウグイス	1	うけとる	4
ウェスターン	1	うぐいす	2	ウケハライ (和・名)	
ウエツケル (和・動)		ウケ (和・名)		受払い	2
植えつける	5	受け	5	受け払い	2
植付ける	1	受	1	ウケモツ (和・動)	
ウオ (和・名)		うけ	1	受け持つ	12
魚	1	ウケイレ (和・名)		受持つ	2
うお	1	受入れ	7	受けもつ	1
ウォール (外・名)		受け入れ	5	うけもつ	3
ウォール	8	ウケイレル (和・動)		ウケル (和・動)	
ウォール	1	受け入れる	20	受ける	444
ウカウカ (和・副)		受入れる	18	うける	113
ウカウカ	1	うけいれる	1	ウケワタシ (和・名)	
うかうか	1	ウケオイ (和・名)		受け渡し	4
ウカガウ (和・動)		請負	11	受渡	1
伺う	8	請け負い	1	ウゴカス (和・動)	
窺う	1	ウケオウ (和・動)		動かす	28
うかがう	26	請け負う	5	うごかす	1
ウカス (和・動)		請負う	1	ウゴキマワル (和・動)	
浮かす	6	ウケザラ (和・名)		動き回る	2
うかす	1	受けザラ	4	動きまわる	1
ウカピアガル (和・動)		うけ皿	4	ウゴク (和・動)	
浮び上がる	4	ウケタマワル (和・動)		動く	109
浮かび上がる	3	承る	34	動ク	1
浮かびあがる	1	承わる	1	うごく	3
浮びあがる	1	うけたまわる	5	ウサバラン (和・名)	
ウカブ (和・動)		ウケツグ (和・動)		ウサばらし	1
浮かぶ	13	受けつぐ	3	うさばらし	1
浮ぶ	7	受継ぐ	1	ウシ (和・名)	
うかぶ	4	受け継ぐ	1	牛	21
ウカベル (和・動)		うけつぐ	2	ウシ	7
浮かべる	7	ウケツケ (和・名)		うし	1
浮べる	3	受付	77	ウシナウ (和・動)	
うかべる	4	受け付け	10	失う	112
ウキ (漢・名)		受付け	7	喪う	1
雨期	5	ウケツケル (和・動)		うしなう	2
雨季	1	受けつける	9	ウシロ (和・名)	
ウキデル (和・動)		受け付ける	8	後ろ	22
浮き出る	1	受付ける	4	後	3
浮きでる	1	ウケトメル (和・動)		うしろ	27
ウキボリ (和・名)		受けとめる	3	ウシロムキ (和・名)	
浮彫り	9	受止める	1	後ろ向き	1
浮き彫り	2	うけ止める	1	うしろ向き	1
浮きぼり	5	うけとめる	3	ウス (和・尾)	
ウキヨ (和・名)		ウケトリ (和・名)		薄	19
浮世	8	受取り	7	うす	1
浮き世	1	受取	3	ウズ (和・名)	

渦	3	ウタゴエ (和・名)		打込み	2
ウズ	4	歌声	3	打ち込み	1
うず	1	歌ごえ	1	打ちこみ	1
ウスイ (和・形)		うたごえ	1	うち込み	1
薄い	4 4	ウチ (和・名)		ウチコミ	1
ウスい	1	内	2 4	ウチコム (和・動)	
うすい	1 1	ウチ	1 0	打ち込む	6
ウスギリ (和・名)		うち	5 1 1	打込む	4
薄切り	7	ウチ (和・頭)		打ちこむ	5
うす切り	2	内	5	撃ち込む	2
ウスグライ (和・形)		うち	2	撃ちこむ	1
薄暗い	2	ウチアゲ (和・名)		うち込む	1
うすぐらい	2	打上げ	1 6	うちこむ	2
ウスビ (和・名)		打ち上げ	7	ウチダス (和・動)	
薄日	1	打ちあげ	1	打ち出す	3 6
うす陽	1	ウチアケル (和・動)		打出す	2 5
ウズマキ (和・名)		打ち明ける	2	うち出す	1
渦巻	2	打明ける	2	うちだす	1
うず巻き	3	ウチアゲル (和・動)		ウチタテル (和・動)	
ウズマク (和・動)		打ち上げる	1 5	打立てる	1
渦巻く	1	打上げる	1 4	打ち樹てる	1
渦まく	1	打ちあげる	2	打ちたてる	1
ウズ巻く	1	ウチアワセ (和・名)		うち立てる	1
うずまく	3	打合せ	1 2	うちたてる	5
ウスメル (和・動)		打ち合わせ	6	ウチツヅク (和・動)	
薄める	3	打合	1	打ち続く	1
うすめる	1	ウチアワセル (和・動)		うち続く	1
ウズメル (和・動)		打ち合わせる	6	ウチドコロ (和・名)	
埋める	4	打合わせる	5	打ちどころ	1
うずめる	1	打合せる	1	うちどころ	1
ウスレル (和・動)		打ちあわせる	1	ウチトル (和・動)	
薄れる	7	ウチカツ (和・動)		打ち取る	3
うすれる	4	打ち勝つ	2	打取る	2
ウセル (和・動)		打勝つ	1	討取る	1
失せる	2	うちかつ	1	討ちとる	3
うせる	1	ウチキリ (和・名)		うちとる	2
ウン (和・名)		打ち切り	1 6	ウチヌク (和・動)	
噓	2	打ち切り	2	撃ち抜く	2
ウン	1 8	ウチキル (和・動)		打ちぬく	1
うそ	1 0	打ち切る	1 0	うち抜く	1
ウタ (和・名)		打切る	9	ウチヤブル (和・動)	
歌	1 5 4	うち切る	1	打破る	3
唄	9	ウチクダク (和・動)		打ち破る	2
うた	1 5	打ち砕く	1	打ちやぶる	1
ウタウ (和・動)		打ちくだく	1	ウチヨセル (和・動)	
歌う	7 7	ウチケン (和・名)		打寄せる	1
唄う	3	打消し	1	打ちよせる	1
謳う	3	打ち消し	1	ウチワケ (和・名)	
うたう	4 5	ウチケス (和・動)		内訳	8
ウタガイ (和・名)		打消す	3	内わけ	2
疑い	1 3 7	打ち消す	2	うちわけ	1
疑	2	ウチコミ (和・名)		ウツ (和・動)	

打つ	233	ウナギノボリ (和・名)		うまれる	6
撃つ	19	ウナギノボリ	1	ウミ (和・名)	
討つ	1	ウナギのぼり	1	海	130
うつ	23	うなぎのぼり	1	湖	8
ウツクシイ (和・形)		ウノミ (和・名)		うみ	1
美しい	172	ウのみ	1	ウミダス (和・動)	
うつくしい	1	うのみ	1	生み出す	18
ウツシトル (和・動)		ウバウ (和・動)		生みだす	10
写し取る	1	奪う	103	産みだす	2
写しとる	1	うばう	3	うみだす	1
うつしとる	1	ウバグルマ (和・名)		ウム (漢・名)	
ウツス (和・動)		うば車	6	有無	14
移す	40	乳母車	1	ウム	2
うつす	1	ウバユリ (和・名)		ウム (和・動)	
ウツス (和・動)		ウバユリ	1	生む	65
写す	29	うばゆり	1	産む	7
映す	4	ウマ (和・名)		うむ	5
撮す	1	馬	14	ウメ (和・名)	
うつす	26	ウマ	10	梅	9
ウツエ (和・名)		ウマイ (和・形)		ウメ	4
訴え	28	ウマイ	2	うめ	1
うったえ	3	ウまい	1	ウメタテ (和・名)	
ウツリ (和・副)		うまい	135	埋立	6
ウツリ	1	ウマサ (和・名)		埋立て	2
うっとり	1	巧さ	1	埋め立て	2
ウツリカワリ (和・名)		ウマサ	1	埋めたて	1
移り変り	3	うまさ	16	ウメクテル (和・動)	
移り変わり	2	ウマミ (和・名)		埋め立てる	3
移りかわり	1	うま味	3	埋立てる	1
うつりかわり	1	ウマ味	1	ウメボシ (和・名)	
ウツル (和・動)		うまみ	5	梅ぼし	2
移る	52	ウマル (和・動)		梅干	1
うつる	4	埋まる	6	ウメル (和・動)	
ウツル (和・動)		うまる	1	埋める	15
映る	7	ウマレ (和・名)		うめる	3
写る	2	生まれ	84	ウヤムヤ (和・名)	
うつる	10	生れ	39	ウヤムヤ	1
ウツワ (和・名)		生	3	うやむや	2
器	10	ウマレカワル (和・動)		ウヨ (漢・名)	
ウツワ	1	生まれ変わる	1	紆余	1
ウデ (和・名)		生れ変わる	1	う余	1
腕	59	生れ変る	1	ウラ (和・名)	
ウデ	1	生まれかわる	1	裏	116
ウド (和・名)〔独活〕		ウマレツキ (和・名)		ウラ	6
ウド	1	生れつき	5	うら	6
うど	1	生まれつき	1	ウラエリ (和・名)	
ウナガス (和・動)		ウマレデル (和・動)		裏衿	1
促す	8	生まれ出る	1	裏エリ	1
うながす	11	生まれでる	1	裏えり	1
ウナギ (和・名)		ウマレル (和・動)		ウラオモテ (和・名)	
ウナギ	3	生まれる	86	裏表	1
うなぎ	8	生れる	58	うらおもて	1

ウラガエシ (和・名)		売り買い	2	ウルシヌリ (和・名)	
裏返し	3	売買	1	うるし塗り	2
うらがえし	1	ウリカイ	1	漆塗り	1
ウラガキ (和・名)		ウリカタ (和・名)		ウレイ (和・名)	
裏書き	7	売り方	8	愁	1
裏書	2	売方	1	憂い	1
ウラガワ (和・名)		ウリキレ (和・名)		うれい	1
裏側	21	売切れ	6	ウレエル (和・動)	
ウラ側	2	売切	2	憂える	4
ウラギル (和・動)		ウリコシ (和・名)		うれえる	1
裏切る	16	売越し	1	ウレシイ (和・形)	
うらぎる	1	売り越し	1	嬉しい	1
ウラツケ (和・名)		ウリコミ (和・名)		うれしい	48
裏づけ	20	売込み	4	ウレユキ (和・名)	
裏付け	5	売り込み	2	売れ行き	13
うらづけ	1	ウリコム (和・動)		売行き	3
うらづけ	1	売り込む	6	売行	1
ウラツケル (和・動)		売込む	1	売れゆき	1
裏付ける	7	売りこむ	2	ウロウロ (和・副)	
裏づける	7	ウリダシ (和・名)		ウロウロ	1
ウラナウ (和・動)		売出し	13	うろうろ	2
占う	6	売り出し	7	ウワキ (和・名)	
うらなう	2	売出	2	浮気	6
ウラバナシ (和・名)		ウリダス (和・動)		うわ気	2
うら話	1	売出す	7	ウワギ (和・名)	
うらばなし	1	売り出す	4	上着	16
ウラハラ (和・名)		ウリトバス (和・動)		上衣	5
裏ハラ	1	売り飛ばす	2	ウワサ (和・名)	
ウラハラ	1	売飛ばす	1	噂	13
うらはら	1	売りとばす	1	噂さ	2
ウラミ (和・名)		ウリバ (和・名)		ウワサ	19
恨み	2	売場	48	うわさ	5
ウラミ	1	売り場	10	ウワマワル (和・動)	
うらみ	8	ウリハラウ (和・動)		上回る	97
ウラム (和・動)		売り払う	1	上まわる	8
恨む	2	売払う	1	ウント (和・副)	
怨む	1	ウリモノ (和・名)		ウンと	2
うらむ	1	売物	9	うんと	8
ウラヤマシイ (和・形)		売り物	6	エ (漢・名)	
羨しい	1	売りもの	28	絵	82
うらやましい	9	ウリワタシ (和・名)		画	29
ウララ (和・名)		売渡し	5	え	26
ウララ	1	売渡	1	エア (外・名)	
うらら	1	ウリワタス (和・動)		エア	3
ウリ (和・名)		売渡す	1	エアー	1
売り	83	売りわたす	1	エアコン (外・名)	
うり	3	ウル (和・動)		エアコン	3
ウリアゲ (和・名)		得る	2	エヤコン	1
売上げ	50	うる	75	エイリ (混・名)	
売り上げ	21	ウルオイ (和・名)		絵入	1
売上	13	潤い	1	絵入り	1
ウリカイ (和・名)		うるおい	1	画入り	1

エガク (和・動)		エリぐり	5	追い上げる	3
描く	163	えりぐり	2	追いあげる	2
えがく	23	エリスグル (和・動)		オイウチ (和・名)	
エクスプレス (外・名)		選りすぐる	2	追い打ち	5
エクスプレス	4	えりすぐる	1	追い討ち	1
エクスプレス	1	エリモト (和・名)		追いうち	1
エグル (和・動)		エリ元	1	オイコシ (和・名)	
扶る	2	えり元	1	追い越し	3
えぐる	11	えりもと	1	追越し	1
エサ (和・名)		エル (和・動)		オイコス (和・動)	
傾	1	得る	258	追い越す	8
エサ	17	える	121	追越す	4
えさ	1	エロチシズム (外・名)		追いこす	1
エッセー (外・名)		エロチシズム	1	オイコミ (和・名)	
エッセー	7	エロティシズム	1	追い込み	8
エッセイ	2	エン (漢・名)		追込み	2
エツラン (漢・名)		縁	9	追いこみ	1
閲覧	7	エン	1	オイコム (和・動)	
えつらん	3	エンギ (漢・名)		追い込む	26
エノグ (混・名)		演技	35	追込む	9
絵具	2	演技	1	追いこむ	6
絵の具	1	エンケイ (漢・名)		オイシイ (和・形)	
エビ (和・名)		円形	4	オイシイ	1
エビ	4	円型	4	おいしい	51
えび	2	エンジ (漢・名)		オイダス (和・動)	
エビジルシ (和・名)		エンジ	3	追い出す	4
えび印	2	えんじ	4	追出す	3
エビ印	1	エンジニア (外・名)		オイタチ (和・名)	
エビス (和・名)		エンジニア	6	生いたち	1
戎	1	エンジニヤ	2	生い立ち	2
蛭子	1	エントツ (漢・名)		オイツク (和・動)	
えびす	2	煙突	15	追いつく	23
エホン (漢・名)		エントツ	2	追付く	1
絵本	12	エンビツ (漢・名)		オイツメル (和・動)	
えほん	2	鉛筆	16	追いつめる	18
エモノ (和・名)		エンビツ	5	追詰める	1
獲物	1	えんびつ	1	オイテ (和・動)	
エモノ	1	エンマ (漢・名)		於	1
エラスチック (外・名)		閻魔	1	於て	1
エラスチック	1	エンマ	2	おいて	107
エラスティック	1	エンム (漢・名)		オイハラウ (和・動)	
エラビヌク (和・動)		煙霧	5	追い払う	3
選びぬく	1	えんむ	2	追払う	1
えらびぬく	1	オ (和・頭)		追いはらう	1
エラブ (和・動)		御	13	オイマワス (和・動)	
選ぶ	25	オ	4	追い回す	1
えらぶ	16	お	3048	追い廻す	1
エリ (和・名)		オイ (和・感)		オウ (漢・名)	
袴	1	オイ	2	王	66
エリ	9	おい	4	おう	1
えり	8	オイアゲル (和・動)		オウ (和・動)	
エリグリ (和・名)		追上げる	3	追う	104

おう	1	大きな	3 3 6	オオヤケ (和・名)	
オウ (和・動)		巨きな	1	公	9
負う	6 9	オオキメ (和・名)		おおやけ	1
おう	4	大きめ	2	オオヨロコビ (和・名)	
オウイツ (漢・名)		大き目	1	大喜び	1 7
横溢	1	オオケガ (和・名)		大喜こび	1
横いつ	1	大けが	7	大よろこび	1
オウセイ (漢・名)		大ケガ	3	オオラカ (和・名)	
旺盛	4	オオゲサ (混・名)		大らか	1
おう盛	2	大げさ	3	おおらか	2
オエツ (漢・名)		大袈裟	1	オカゲ (和・名)	
嗚咽	1	オオゴト (和・名)		お陰	2
おえつ	1	大ゴト	1	お蔭	1
オエル (和・動)		おおごと	1	おかげ	2 7
終える	5 0	オオサジ (和・名)		オカシサ (和・名)	
おえる	2	大さじ	4 2	オカシサ	1
オオ (和・感)		大サジ	1	おかしき	4
オー	1	オオサワギ (和・名)		オカス (和・動)	
おお	7	大騒ぎ	1 6	犯す	8
オオ (和・頭)		大さわぎ	5	侵す	3
大	9 8	オオスジ (和・名)		冒す	2
おゝ	2	大筋	6	おかす	1 1
オオアタリ (和・名)		大すじ	1	オカズリ (和・名)	
大当り	3	オオゼイ (混・名)		陸釣り	1
大当たり	2	大ぜい	7	オカ釣り	1
大あたり	1	大勢	6	オキ (和・頭)	
オオイ (和・形)		多勢	5	置	3
多い	7 3 2	おおぜい	4	置き	1
おおい	1	オオピラ (和・名)		オキ (和・尾)	
オオイカクス (和・動)		大っぴら	3	置き	1
おおい隠す	2	おおっぴら	2	おき	1 7
おおいかくす	2	オオヅメ (和・名)		オキアイ (和・名)	
オオイソガシ (和・名)		大詰め	1 3	沖合	6
大忙し	1	大詰	6	沖合い	2
大忙がし	1	オオドオリ (和・名)		オキアガル (和・動)	
大いそがし	1	大通り	1 2	起上がる	1
オオオロシ (和・名)		大通	1	起きあがる	1
大卸	1	オーバーコート (外・名)		オキカエル (和・動)	
大卸し	1	オーバーコート	1 9	置きかえる	2
オオガカリ (和・名)		オーバコート	2	おきかえる	1
大がかり	1 7	オオハバ (和・名)		オキテ (和・名)	
大掛かり	2	大幅	1 4 7	掟	7
オオカタ (和・副)		大巾	4	オキテ	1
大方	7	オービター (外・名)		おきて	2
おおかた	1	オービター	5	オギナウ (和・動)	
オオガタ (和・名)		オビター	1	補う	1 8
大型	1 5 4	オオビン (混・名)		おぎなう	1
大形	5	大瓶	5	オキル (和・動)	
オオカミ (和・名)		大ビン	3	起きる	7 0
狼	4	オオマカ (和・名)		おきる	9
オオカミ	1	大まか	1	オク (和・名)	
オオキナ (和・連)		おおまか	1	奥	8 5

おく	1	敵か	1	オシアゲル (和・動)	
オク (和・動)		おごそか	1	押上げる	4
置く	130	オコタル (和・動)		おしあげる	1
オク	2	怠る	16	オシイル (和・動)	
おく	352	おこたる	1	押し入る	9
オクソク (漢・名)		オコナウ (和・動)		押入る	1
憶測	3	行なう	784	オシイレ (和・名)	
臆測	1	行う	282	押入れ	5
オクユキ (和・名)		おこなう	59	押し入れ	1
奥行	16	オコリ (和・名)		オシエ (和・名)	
奥行き	4	起こり	4	教え	8
オクラセル (和・動)		起り	1	教	1
遅らせる	8	オコル (和・動)		オシエル (和・動)	
おくらせる	1	起こる	97	教える	91
オクリカエス (和・動)		起る	74	おしえる	3
送り帰す	2	興る	1	オシカケル (和・動)	
送り返す	1	おこる	20	押しかける	13
オクリコム (和・動)		オコル (和・動)		おしかける	1
送り込む	12	怒る	5	オジキ (混・名)	
送りこむ	4	おこる	4	オジギ	1
オクリダス (和・動)		オゴル (和・動)		おじぎ	1
送り出す	9	騒る	1	オシキル (和・動)	
送りだす	1	オゴル	1	押し切る	5
おくり出す	1	おごる	3	押切る	4
オクリトドケル (和・動)		オサエ (和・名)		オシゲ (和・名)	
送り届ける	2	押え	1	惜し気	1
送りとどける	1	オサエ	1	惜しげ	1
オクリヌシ (和・名)		おさえ	2	オシコミ (和・名)	
贈り主	2	オサエコム (和・動)		押込み	2
送り主	1	押えこむ	3	押しこみ	1
オクリモノ (和・名)		押え込む	2	オシコム (和・動)	
贈りもの	22	オサエル (和・動)		押し込む	3
贈り物	11	押える	108	押込む	1
贈物	5	抑える	3	押しこむ	2
おくりもの	3	おさえる	22	オシコメル (和・動)	
オクル (和・動)		オサナイ (和・形)		押し込める	2
送る	259	幼い	13	押込める	1
贈る	114	おさない	1	オシスメル (和・動)	
おくる	27	オサマル (和・動)		押し進める	2
オクレ (和・名)		納まる	4	おしすすめる	3
遅れ	17	収まる	2	オシダシ (和・名)	
おくれ	4	治る	1	押し出し	4
オクレル (和・動)		おさまる	18	押出し	2
遅れる	104	オサメル (和・動)		押しだし	1
おくれる	19	収める	34	オシダス (和・動)	
オコス (和・動)		納める	19	押し出す	7
起こす	80	治める	4	おし出す	2
起す	48	おさめる	19	オシツケ (和・名)	
起ス	1	オジ (和・名)		押付け	1
興す	1	伯父	1	押しつけ	1
おこす	25	オジ	2	オシツケル (和・動)	
オゴソカ (和・名)		おじ	10	押しつける	9

押付ける	1	恐らく	4	墮ちる	1
オシッコ (和・名)		おそらく	4 4	陥ちる	1
オシッコ	1	オンレ (和・名)		おちる	1 0
おしっこ	1	恐れ	3 6	オット (和・名)	
オシツブス (和・動)		怖れ	1	夫	1 6 1
押しつぶす	3	おそれ	3 7	良人	2
おしつぶす	2	オンレイル (和・動)		オテアゲ (和・名)	
オシツマル (和・動)		恐れ入る	1	お手上げ	4
押詰る	1	おそれいる	1	お手あげ	1
押しつまる	1	オンレル (和・動)		オトウト (和・名)	
オシナガス (和・動)		恐れる	3 6	弟	3 0
押し流す	3	怖れる	2	おとうと	1
おし流す	1	懼れる	1	オドカス (和・動)	
オシボタン (混・名)		おそれる	7	威かす	1
押ボタン	3	オンロシイ (和・形)		おどかす	4
押しボタン	1	恐ろしい	1 6	オトコ (和・名)	
押鉤	1	恐しい	1	男	4 1 4
オシメ (和・名)		おそろしい	7	オトコ	4
押し目	2 3	オンロシサ (和・名)		オトコマサリ (和・名)	
押目	9	恐ろしさ	2	男勝り	1
オシモドス (和・動)		恐しさ	1	男まさり	2
押戻す	3	オンワル (和・動)		オトコモノ (和・名)	
押し戻す	1	教わる	7	男もの	2
押しもどす	1	おそわる	1	男物	1
オシヤレ (和・名)		オダヤカ (和・名)		オトシアナ (和・名)	
オシヤレ	1 0	穏やか	2	落し穴	1
おシヤレ	3	おだやか	1 8	おとし穴	1
おしやれ	8 9	オチ (和・名)		オドシトル (和・動)	
オシヨセル (和・動)		落ち	1 4	おどし取る	2
押しよせる	4	落	2	おどしとる	9
押し寄せる	2	オチアウ (和・動)		オトシモノ (和・名)	
オシロイ (和・名)		落ち合う	2	落し物	1
白粉	3	おち合う	1	落としもの	1
おしろい	2	おちあう	1	オトス (和・動)	
オス (和・名)		オチイル (和・動)		落す	1 6
雄	1	陥る	9	落とす	2 5
オス	1 1	おちいる	1 0	おとす	7
オス (和・動)		オチコム (和・動)		オドス (和・動)	
押す	6 7	落ち込む	9	オドス	1
推す	2 1	落込む	4	おどす	4 5
オス	3	落ちこむ	3	オトズレ (和・名)	
おす	8	オチツキ (和・名)		訪れ	3
オセオセ (和・名)		落着き	7	おとずれ	2
押せ押せ	1	落ち着き	1	オトナ (和・名)	
おせおせ	1	落つき	3	大人	3 7
オソイ (和・形)		オチツク (和・動)		オトナ	3
遅い	2 2	落ち着く	1 8	おとな	3 4
おそい	3 8	落着く	1 2	オドリ (和・名)	
オソイカカル (和・動)		落ちつく	7	踊り	4 0
遅いかかる	4	おちつく	4	おどり	2
おそいかかる	1	オチル (和・動)		オドリアガル (和・動)	
オソラク (和・副)		落ちる	1 1 4	おどり上がる	1



おどりあがる	2	オビ (和・名)		思い	49
オドリコ (和・名)		帯	22	想い	1
踊子	1	オビ	1	おもい	3
踊り子	7	オヒトヨシ (和・名)		オモイアガリ (和・名)	
オトル (和・動)		お人好し	1	思い上がり	1
劣る	22	お人よし	1	思いあがり	1
おとる	2	おひとよし	1	オモイアタル (和・動)	
オドル (和・動)		オビヤカス (和・動)		思い当る	1
踊る	28	脅かす	6	思いあたる	1
おどる	4	おびやかす	9	オモイアマル (和・動)	
オトロエ (和・名)		オビル (和・動)		思い余る	3
亥え	9	帯びる	8	思いあまる	2
おとろえ	1	おびる	6	オモイウカベル (和・動)	
オトロエル (和・動)		オヒレ (和・名)		思い浮かべる	6
衰える	10	尾ヒレ	1	思い浮べる	2
おとろえる	9	尾ひれ	1	思い浮かべる	1
オドロカス (和・動)		オボエ (和・名)		オモイエガク (和・動)	
驚かす	7	覚え	4	想い描く	1
おどろかす	2	おぼえ	5	思い描く	1
オドロキ (和・名)		オボエガキ (和・名)		オモイキリ (和・副)	
驚き	11	覚書	15	思いきり	9
オドロキ	1	覚え書き	14	思い切り	7
おどろき	2	オボエル (和・動)		オモイキル (和・動)	
オドロク (和・動)		覚える	32	思い切る	33
驚く	80	おぼえる	15	思切る	1
驚ろく	1	オボレル (和・動)		思いきる	13
オドロク	3	溺れる	1	オモイコム (和・動)	
おどろく	28	おぼれる	6	思いこむ	5
オナカ (和・名)		オマエ (和・代)		思い込む	1
お腹	1	お前	22	オモイダス (和・動)	
おなか	5	オマエ	1	思い出す	25
オナジ (和・名)		おまえ	13	思いだす	9
同じ	407	オマケ (和・名)		オモイタツ (和・動)	
おなじ	6	おマケ	1	思い立つ	2
オノオノ (和・代)		おまけ	8	思いたつ	2
各々	2	オマワリ (和・名)		オモイツメル (和・動)	
おのおの	3	お巡り	9	思い詰める	1
オノレ (和・名)		おまわり	4	思いつめる	1
己	1	オムツ (和・名)		オモイデ (和・名)	
己れ	1	おムツ	7	思い出	35
おのれ	5	おむつ	6	思出	1
オバ (和・名)		オメシ (和・名)		想い出	1
叔母	2	お召	7	おもひで	2
伯母	2	御召	1	オモイナオス (和・動)	
小母	1	オメデトウ (和・感)		思い直す	1
おば	14	お目出とう	1	思いなおす	1
オバケ (和・名)		オメデトウ	1	オモウ (和・動)	
お化け	4	おめでとう	12	思う	1070
オバケ	9	オモ (和・名)		思ふ	3
オハヨウ (和・感)		主	49	想う	1
お早よう	1	おも	51	おもう	12
おはよう	13	オモイ (和・名)		オモカゲ (和・名)	

面影	13	およぐ	3	おりこむ	1
俤	1	オヨビ (和・接)		オリジナル (外・名)	
おもかげ	6	及	3	オリジナル	26
オモシロイ (和・形)		及び	41	オリヂナル	1
面白い	33	および	250	オリタタミ (和・名)	
おもしろい	54	オヨブ (和・動)		折りたたみ	9
オモシロサ (和・名)		及ぶ	45	折たたみ	2
面白さ	6	およぶ	26	オリマゼル (和・動)	
おもしろさ	7	オヨボス (和・動)		織りまぜる	2
オモシロミ (和・名)		及ぼす	17	おりまぜる	1
面白味	1	およぼす	5	オリメ (和・名)	
おもしろ味	1	オリ (和・名)		折り目	2
おもしろみ	2	織	10	折りめ	2
オモチャ (和・名)		織り	5	オリモノ (和・名)	
オモチャ	9	オリ (和・名)		織物	19
おもちゃ	21	折	1	織り物	3
オモテ (和・名)		折り	16	オリヤマ (和・名)	
表	49	オリアイ (和・名)		折山	1
オモテ	1	折合い	2	折り山	1
おもて	2	折り合い	1	オリル (和・動)	
オモムキ (和・名)		折りあい	1	降りる	28
趣	5	オリアウ (和・動)		下りる	1
趣き	1	折合う	2	おりる	26
おもむき	3	折り合う	2	オリンピック (外・名)	
オモムク (和・動)		折りあう	1	オリンピック	83
赴く	2	オリオリ (和・名)		オリムピック	1
おもむく	5	折り折り	7	オル (和・動)	
オモモチ (和・名)		おりおり	5	折る	23
面持ち	1	オリカエシ (和・名)		おる	11
面もち	1	折り返し	5	オル (和・動)	
オモワク (和・名)		折返し	2	居る	6
思惑	16	オリカサナル (和・動)		居ル	1
おもわく	1	折重なる	1	おる	772
オモワシイ (和・形)		折り重なる	1	オル (和・動)	
思わしい	2	オリガミ (和・名)		織る	3
おもわしい	1	折り紙	6	おる	1
オヤコ (和・名)		折紙	4	オレ (和・名)	
親子	23	オリカラ (和・副)		俺	16
母子	1	折りから	4	オレ	18
母娘	2	おりから	3	おれ	42
父子	1	オリコミ (和・名)		オロシ (和・名)	
父娘	1	織込み	1	卸	16
親娘	1	織り込み	1	卸し	8
オヤジ (和・名)		オリコミ (和・名)		卸シ	1
オヤジ	5	折込	1	オロシウリ (和・名)	
おやじ	10	折り込み	1	卸売	39
オヤユビ (和・名)		オリコム (和・動)		卸売り	7
親指	1	織り込む	8	卸し売り	6
拇指	1	織込む	4	卸し売	2
おや指	1	おり込む	4	オロシショウ (和・名)	
オヨグ (和・動)		織りこむ	3	卸商	1
泳ぐ	32	折りこむ	1	卸し商	1

オロス (和・動)		買い	2	外とう	1
降ろす	4	ガイ (和・尾)		カイドク (漢・名)	
おろす	44	買い	84	買徳	15
オワリ (和・名)		買	2	買い徳	1
終わる	14	カイアゲ (和・名)		買得	6
終り	9	買い上げ	4	買い得	1
終	2	買上	2	カイトリ (和・名)	
おわり	17	カイアゲル (和・動)		買いとり	2
オウル (和・動)		買上げる	16	買取	1
終わる	168	買い上げる	7	買取り	1
終る	97	買いあげる	4	カイトル (和・動)	
おわる	15	カイイヌ (和・名)		買い取る	3
オンガク (漢・名)		飼犬	1	買いとる	3
音楽	263	飼いイヌ	1	カイナラス (和・動)	
オンガク	1	カイレ (和・名)		飼い慣らす	1
オンキユウ (漢・名)		買入れ	9	飼いならす	1
温灸	1	買入れ	2	カイヌシ (和・名)	
温キユウ	1	カイレル (和・動)		飼い主	3
オンチ (漢・名)		買入れる	5	飼主	1
音痴	1	買い入れる	3	カイモドシ (和・名)	
オンチ	1	カイカエ (和・名)		買戻し	6
オンナ (和・名)		買いかえ	4	買戻し	5
女	277	買い替え	1	カイモドス (和・動)	
婦	1	買替	1	買戻す	1
おんな	2	買換	1	買いもどす	1
オンナガク (和・名)		カイカタ (和・名)		カイモノ (和・名)	
女形	1	買方	2	買物	43
女方	1	買方	2	買い物	21
オンナゴコロ (和・名)		カイキ (混・名)		買いの	21
女心	2	買気	12	カイヨウ (漢・名)	
女ごころ	1	買気	6	洩瘍	1
オンナノコ (和・名)		カイコム (和・動)		カイヨウ	16
女の子	18	買込む	1	かいよう	1
女のこ	1	買い込む	1	カイライ (漢・名)	
オンブ (和・名)		買いこむ	2	カイライ	1
オンブ	2	カイススム (和・動)		かいらい	1
おんぶ	1	買い進む	4	カイリ (漢・名)	
カ (漢・尾)		買進む	1	湮	3
カ	7	カイドシ (和・名)		海里	2
か	2	買出し	1	カイリ	7
ケ	2	買出し	1	カウ (和・動)	
カ (漢・名)		カイチョウ (漢・名)		飼う	13
蚊	6	開張	3	かう	1
カ	4	開帳	2	カウ (和・動)	
カア (和・名)		カイツケ (和・名)		買う	264
母	49	買い付け	6	かう	7
かあ	100	買付け	3	カウンター (外・名)	
カーテンウォール (外・名)		カイテン (漢・名)		カウンター	13
カーテンウォール	4	回転	44	カウンタ	1
カーテンオール	2	廻転	1	カエ (和・頭)	
カイ (和・頭)		ガイトウ (漢・名)		替	3
買	2	外套	2	替え	1

ガエ (和・尾)		香り	3 8	かかわる	1 0 2
替え	2	カオリ	1	カキ (和・名)	
がえ	7	かおり	6	書	3
カエウタ (和・名)		カオル (和・動)		書き	2
替え歌	1	香る	3	カキ (和・名)	
かえ歌	1	薫る	1	牡蠣	1
カエシ (和・名)		かおる	2	カキ	1 2
返し	8	カカエコム (和・動)		かき	2
かえし	2	抱え込む	1	カキ (漢・名)	
カエス (和・動)		かかえこむ	2	夏季	1 3
返す	4 5	カカエル (和・動)		夏期	6
帰す	6	抱える	6	カキ (和・名)	
かえす	1 3	かかえる	6 1	柿	1
カエリミル (和・動)		カカゲル (和・動)		カキ	2
顧みる	6	掲げる	2 3	かき	1
省みる	1	かかげる	2 8	カギ (和・名)	
かえり見る	1	カカト (和・名)		鍵	7
かえりみる	2	カカト	1	カギ	7 3
カエル (和・名)		かかと	1	カキアゲル (和・動)	
カエル	6	カガミ (和・名)		書きあげる	2
かえる	1	鏡	1 6	書上げる	1
カエル (和・動)		カガミ	2	書き上げる	1
変える	9 7	カガヤカシイ (和・形)		かきあげる	1
代える	8	輝かしい	6	カキオロシ (和・名)	
替える	3	輝しい	2	書下ろし	2
かえる	4 3	輝やかしい	2	書き下ろし	1
カエル (和・動)		かがやかしい	1	書下し	1
帰る	2 4 7	カガヤキ (和・名)		カキオロス (和・動)	
帰ル	1	輝き	3	書き下ろす	1
返る	3	かがやき	3	書きおろす	1
還る	2	カガヤク (和・動)		カキカエ (和・名)	
かえる	3 2	輝く	3 5	書換	7
カオ (和・名)		かがやく	2	書き換え	1
顔	2 7 4	カカリ (和・名) <囲碁>		書きかえ	2
カオ	1	カカリ	3	カキカエル (和・動)	
かお	1	かかり	1	書き換える	3
カオアワセ (和・名)		カカリ (和・尾)		書換える	1
顔合せ	1 2	係	1 5 3	書きかえる	1
顔合わせ	2	掛	2	カキコム (和・動)	
カオダチ (和・名)		がかり	1 2	書きこむ	4
顔だち	2	カカリイン (混・名)		書き込む	2
顔立ち	1	係員	2 4	書込む	1
カオツキ (和・名)		係り員	2	かきこむ	1
顔つき	6	カカリカン (混・名)		カキタス (和・動)	
顔付き	1	係官	7	書き足す	1
カオマケ (和・名)		係り官	4	描き足す	1
顔負け	5	カカル (和・動)		カギツコ (和・名)	
顔まけ	3	係る	1	カギツ子	1
カオミセ (和・名)		掛かる	1	カギツ子	1
顔見世	2	かかる	2 8 0	カキトル (和・動)	
顔見せ	1	かかわる (和・動)		書きとる	2
カオリ (和・名)		拘る	1	書き取る	1

カキナオス (和・動)		額縁	1	カケコム (和・動)	
書き直す	2	かくぶち	1	かけ込む	5
書きなおす	1	カクラン (漢・名)		駈け込む	2
カキネ (和・名)		かく乱	3	かけこむ	4
かき根	2	攪乱	1	ガケシタ (和・名)	
垣根	1	カクレミノ (和・名)		崖下	1
かきね	1	隠れミノ	1	がけ下	1
カギバリ (和・名)		カクレミノ	2	カゲツ (漢・名)	
鉤針	3	カクレル (和・動)		カ月	2 4 4
かぎ針	6	隠れる	6	ケ月	3 5
カギ針	1	かくれる	1 1	か月	9 9
カギョウ (漢・名)		カケ (和・頭)		カケツケル (和・動)	
稜業	6	掛け	4	駆けつける	4
か業	1	掛	1	かけつける	4 8
カギリ (和・名)		かけ	1	カケハシ (和・名)	
限り	1 1 0	カケ (和・尾)		かけ橋	4
かぎり	5 2	掛け	1	かけはし	1
カギル (和・動)		かけ	4	カケハナレル (和・動)	
限る	9 6	カゲ (和・名)		かけ離れる	2
かぎる	2 0	影	2 3	かけはなれる	2
カク (和・動)		カゲ	1	カケヒキ (和・名)	
書く	2 7 5	かげ	4	かけ引き	4
画く	1	カゲ (和・名)		カケ引き	1
かく	2 0	陰	1 3	駆け引き	2
ガクエン (漢・名)		蔭	2	駆引	1
学園	9 4	カゲ	7	かけひき	5
学苑	3	かげ	2 3	カケマワル (和・動)	
カクシ (和・頭)		ガケ (和・名)		駆けまわる	1
隠し	2	ガケ	2	かけ回る	1
かくし	1	がけ	3	かけまわる	2
カクシモツ (和・動)		カケアイ (和・名)		カケメグル (和・動)	
隠し持つ	1	掛合い	2	駆けめぐる	1
かくし持つ	1	かけ合い	1	かけめぐる	2
カクス (和・動)		カケアウ (和・動)		カケモチ (和・名)	
隠す	8	かけあう	1	かけ持ち	1
かくす	2 1	かけ合う	1	かけもち	3
ガクゼン (漢・名)		カケアガル (和・動)		カケヨル (和・動)	
愕然	1	かけ上がる	2	かけ寄る	2
ガク然	1	かけあがる	3	かけよる	1
カクヅケ (混・名)		カケアワセ (和・名)		カケリツ (混・名)	
格付	1	かけ合わせ	1	カケ率	2
格付け	1	かけあわせ	1	かけ率	1
格づけ	1	カケオチ (和・名)		カケル (和・動)	
カクナリ (混・名)		かけ落ち	2	駆ける	4
角成り	1 1	駆落	1	駈ける	2
角成	2	ガケクズレ (和・名)		かける	3
カクビン (漢・名)		ガケくずれ	2	カケル (和・動)	
角瓶	3	がけくずれ	3	掛ける	4
角びん	1	カケゴエ (和・名)		架ける	1
ガクブチ (混・名)		かけ声	6	かける	4 9 0
額ぶち	3	カケ声	1	カケル (和・動)	
額縁	1	掛け声	1	脂ける	7

かける	8	飾りもの	3	かしら	1
カゲン (漢・名)		飾り物	1	カス (和・動)	
加減	7	カザル (和・動)		貸す	2 2
かげん	4	飾る	4 2	かす	2
カゴ (和・名)		かざる	6	ガス (外・名)	
駕籠	2	カジ (漢・名)		瓦斯	5
カゴ	2	火事	7 4	ガス	1 8 4
カゴ (和・名)		かじ	1	カズカズ (和・副)	
籠	1	カシキリ (和・名)		数々	1 9
カゴ	5	貸切	4	数かず	1
かご	4	貸し切り	2	かずかず	1 1
カコウ (和・動)		カシキン (混・名)		カズノコ (和・名)	
囲う	2	貸金	7	カズノコ	1
かこう	2	貸し金	1	かずのこ	2
カコク (漢・名)		カシゲル (和・動)		ガスモレ (混・名)	
カ国	1 0 3	傾げる	1	ガス漏れ	1
ケ国	6	かしげる	1 2	ガスもれ	1
カ国	3 2	カシコイ (和・形)		カスリキズ (和・名)	
カコク (漢・名)		賢い	1	カスリ傷	1
過酷	4	かしこい	2	かすり傷	1
苛酷	3	カシダオレ (和・名)		かすりきず	1
カコム (和・動)		貸倒	2	カゼ (和・名)	
囲む	2 8	貸倒れ	1	風邪	1 1
かこむ	6	カシダシ (和・名)		カゼ	2 6
カサ (和・名)		貸出し	1 7	かぜ	1 0
傘	7	貸し出し	1 3	カゼ (和・名)	
カサ	1 3	貸出	1 0	風	3 2 4
カサアゲ (和・名)		カシツケ (和・名)		かぜ	1
かさ上げ	1	貸付	5 5	カゼアタリ (和・名)	
カサあげ	1	貸し付け	6	風当	5
カサカサ (和・副)		貸付け	4	風あたり	2
カサカサ	1	カシツケル (和・動)		カセグ (和・動)	
かさかさ	1	貸付ける	3	稼ぐ	3
カサナル (和・動)		貸し付ける	1	かせぐ	2 8
重なる	1 7	貸しつける	1	カゼグスリ (和・名)	
かさなる	2	カシモト (和・名)		かぜ薬	4
カサネ (和・副)		貸し元	1	カゼ薬	3
重	1	貸元	1	風邪薬	2
重ね	1	カショ (漢・名)		ガゼン (漢・名)	
カサネル (和・動)		カ所	1 0 0	俄然	3
重ねる	6 3	か所	3 6	がぜん	4
かさねる	4	ヶ所	3	カゾエル (和・動)	
カサバル (和・動)		個所	1	数える	2 6
カサばる	1	カジョウ (漢・名)		かぞえる	3
かさばる	2	箇条	2	カタ (和・尾) <方法>	
カザリ (和・名)		偶条	1	方	6 5 1
飾り	7	カ条	3	かた	2 3
かざり	2	ヶ条	1	カタ (和・尾) <方面>	
カザリダナ (和・名)		か条	1	方	1 1 5
飾りダナ	3	カシラ (和・名)		かた	2
飾りだな	2	頭	4	カタ (和・尾) <敬称>	
カザリモノ (和・名)		カシラ	5	方	3 0

かた	7	かたち	20	ガチ (和・尾)	
カタ (和・名)		カタチヅクル (和・動)		勝ち	2
型	43	形づくる	4	がち	76
カタ	2	形作る	1	カチコシ (和・名)	
カタ (和・尾)		カタヅク (和・動)		勝ちし	3
形	51	片付く	3	勝ち越し	2
カタ	2	片づく	3	カチススム (和・動)	
カタ (和・名)		かたづく	1	勝ち進む	4
肩	62	カタヅケル (和・動)		勝ち進む	3
カタ	1	片づける	4	カチトル (和・動)	
カタ (和・名)		片付ける	2	勝ちとる	3
片	5	かたづける	3	勝ち取る	1
かた	7	かたずける	1	かちとる	11
カタイ (和・尾)		カタッパシ (和・名)		カチヌク (和・動)	
難い	8	片っぱし	4	勝ち抜く	3
がたい	28	かたっぱし	1	勝抜く	1
カタイ (和・形)		カタドオリ (和・名)		カチノコル (和・動)	
堅い	39	型通り	2	勝残る	2
固い	4	型どおり	1	勝ち残る	1
カタい	4	カタマル (和・動)		カチボシ (和・名)	
かたい	19	固まる	22	勝ち星	3
カタガキ (和・名)		かたまる	6	勝星	1
肩書き	10	カタミ (和・名)		カチミ (混・名)	
肩書	4	形見	1	勝味	3
カタガタ (和・名)		かたみ	3	勝ちみ	1
方々	16	カタムク (和・動)		カチメ (和・名)	
かたがた	2	傾く	11	勝ち目	1
カタガワリ (和・名)		かたむく	1	勝目	1
肩代わり	11	カタムケル (和・動)		カツ (和・動)	
肩代り	5	傾ける	23	勝つ	113
肩がわり	2	かたむける	2	かつ	2
カタギ (和・名)		カタメ (和・尾)		カツ (和・接)	
気質	1	固め	7	且つ	1
かたぎ	1	かため	1	かつ	33
カタクズレ (和・名)		カタメル (和・動)		カツオ (和・名)	
型くずれ	2	固める	77	鰹	1
形くずれ	1	かためる	9	松魚	1
カタクリ (和・名)		カタヨル (和・動)		カツオ	6
カタクリ	2	片寄る	6	かつお	1
かたくり	3	かたよる	3	かつを	1
カタコリ (和・名)		カタリアウ (和・動)		カツオブシ (和・名)	
肩こり	21	語りあう	2	鰹節	5
肩コリ	1	語り合う	1	カツオ節	2
カタサ (和・名)		カタル (和・動)		かつお節	1
堅さ	3	語る	408	勝男武士	1
カタサ	1	かたる	1	カツオブシ	1
かたさ	3	カタログ (外・名)		かつおぶし	1
カスミ (和・名)		型録	1	ガッカリ (和・副)	
片隅	3	カタログ	26	ガッカリ	3
片すみ	3	カタワラ (和・名)		がっかり	5
カタチ (和・名)		傍	3	カツグ (和・動)	
形	211	かたわら	13	担ぐ	1

かつぐ	7
ガックリ (和・副)	
ガックリ	5
がっくり	3
カッ (漢・名)	
括弧	1
カッコ	19
カッコウ (漢・名)	
格好	13
恰好	1
カッコ	7
カッコウ	1
カッコー	1
かっこう	9
かっこ	1
カッサイ (漢・名) [喝采]	
カッサイ	2
かっさい	2
カッタツ (漢・名)	
闊達	1
かっ達	1
ガツチリ (和・副)	
ガツチリ	7
がっちり	11
カット (和・副)	
カット	7
かっと	1
カットパス (和・動)	
カッ飛ばす	1
かっ飛ばす	1
カッパ (和・名)	
河童	3
カッパ	12
かっぱ	2
カッパライ (和・名)	
カッパライ	1
かっぱらい	1
カッポウ (漢・名)	
割烹	4
カッポウ	1
かっぽう	1
カツラ (和・名) [髪]	
カツラ	2
かつら	6
カテ (和・名)	
糺	4
カテ	1
カド (和・名)	
角	24
カド	2
かど	5
カドデ (和・名)	

門出	3
かどで	1
カトリ (和・名)	
蚊取	5
蚊取り	1
蚊とり	4
かとり	2
カナ (和・名)	
仮名	4
カナ	5
かな	3
カナアミ (和・名)	
金網	5
金アミ	1
カナシイ (和・形)	
悲しい	19
哀しい	3
愛しい	1
かなしい	3
カナシサ (和・名)	
悲しさ	3
哀しさ	1
カナシミ (和・名)	
悲しみ	18
哀しみ	1
かなしみ	2
カナメ (和・名)	
要め	1
カナメ	2
かなめ	1
カナラズ (和・副)	
必ず	113
必らず	1
かならず	10
カナラズシモ (和・副)	
必ずしも	2
必しも	1
かならずしも	5
カニ (和・名) [蟹]	
カニ	8
かに	4
カネ (和・名)	
鐘	16
カネ	1
カネ (和・名)	
金	211
カネ	34
カネアイ (和・名)	
かねあい	2
かねあい	3
カネモチ (和・名)	
金持ち	8

金持	5
金もち	1
カネル (和・動)	
兼ねる	13
かねる	21
カネン (漢・名)	
カ年	60
か年	10
ケ年	5
カバーツキ (混・名)	
カバー付き	4
カバー付	2
カバン (外・名)	
匏	2
カバン	23
かばん	3
カビ (和・名)	
カビ	13
かび	1
カビン (漢・名)	
花瓶	1
花びん	1
カビン	1
カブ (和・名)	
蕪	1
カブ	2
カブキ (和・名)	
歌舞伎	23
カブキ	7
かぶき	6
カブキカイ (混・名)	
歌舞伎界	2
カブキ界	1
かぶき界	1
カブト (和・名)	
カブト	1
かぶと	2
カベ (和・名)	
壁	74
カベ	16
かべ	1
カマ (和・名)	
釜	6
カマ	10
かま	5
カマウ (和・動)	
構う	4
かまう	19
カマエ (和・名)	
構え	41
かまえ	1
カマエル (和・動)	



構える	18	カユミ	1	空っ風	2
かまえる	10	かゆみ	5	からっ風	1
ガマグチ (和・名)		ガヨイ (和・尾)		からっかぜ	1
ガマ口	1	通い	2	カラット (外・名)	
ガマグチ	1	かよい	1	カラット	8
カマボコ (和・名)		カヨウ (和・動)		キャラット	1
カマボコ	1	通う	35	カラテ (和・名)	
かまぼこ	1	かよう	9	空手	2
ガマン (漢・名)		かよふ	1	唐手	1
我慢	6	カラ (和・名)		から手	1
ガマン	4	殻	2	カラブリ (和・名)	
がまん	15	から	2	から振り	4
カミガタ (和・名)		ガラアキ (和・名)		空振り	1
髪形	3	ガラ空き	1	カラマワリ (和・名)	
髪型	1	ガラあき	1	から回り	1
カミキリ (和・名)		がらあき	1	からまわり	1
紙切り	1	カラアゲ (和・名)		カラムアイ (和・名)	
カミキリ	1	から揚げ	2	からみ合い	2
カミクズ (和・名)		カラ揚げ	1	からみあい	2
紙くず	4	ガラガラ (和・副)		カラムアウ (和・動)	
紙屑	1	ガラガラ	2	からみ合う	4
カミシメル (和・動)		がらがら	1	からみあう	3
噛みしめる	1	ガラクタ (和・名)		カラリ (和・副)	
かみしめる	5	ガラクタ	2	カラリ	2
カミシモ (和・名)		がらくた	1	からり	1
カミシモ	1	カラクリ (和・名)		ガラリ (和・副)	
かみしも	1	カラクリ	4	がらり	3
カミノリ (和・名)		からくり	1	ガラリ	4
剃刀	3	カラン (和・名)		カリ (和・名)	
カミノリ	14	カラン	2	狩り	3
カミナリ (和・名)		からし	2	狩	1
雷	4	カランシアエ (和・名)		カリ (和・名)	
カミナリ	2	カランあえ	1	仮り	1
カミマキ (和・名)		からしあえ	1	かり	26
紙巻	2	カラス (和・名)		カリイレ (和・名)	
紙巻き	1	カラス	6	借入れ	5
カメ (和・名)		からす	1	借り入れ	3
カメ	1	ガラス (外・名)		借入	2
かめ	1	硝子	2	カリダス (和・動)	
カモシダス (和・動)		ガラス	26	かり出す	2
かもし出す	3	ガラスバリ (混・名)		狩り出す	1
かもしだす	2	ガラス張り	3	カリトル (和・動)	
カヤ (和・名)		ガラスばり	1	刈り取る	1
茅	1	カラダ (和・名)		刈取る	1
カヤ	2	体	54	カリヌイ (和・名)	
カヤブキ (和・名)		身体	13	仮縫い	1
茅葺	1	軀	3	仮縫	1
カヤブキ	1	からだ	71	カ Ril (和・動)	
カユイ (和・形)		カラダツキ (和・名)		借りる	46
カユイ	1	体つき	2	かりる	11
かゆい	2	身体つき	1	カル (和・動)	
カユミ (和・名)		カラッカゼ (和・名)		堅る	4

かる	2	交わす	3	カンガエル (和・動)	
カルイ (和・形)		かわす	15	考える	880
軽い	92	カワラ (和・名)		かんがえる	1
かるい	4	川原	4	ガング (漢・名)	
カルサ (和・名)		河原	1	玩具	3
軽さ	3	かわら	3	がん具	2
かるさ	1	カワラ (和・名)		カンゲキ (漢・名)	
カレ (和・代)		瓦	1	感激	24
彼	357	かわら	2	カンゲキ	1
かれ	48	カワラブキ (和・名)		ガンコ (漢・名)	
カレル (和・動)		カワラぶき	1	頑固	1
枯れる	5	かわらぶき	1	ガンコ	7
枯る	1	カワリ (和・名)		がんこ	5
かれる	1	変わり	14	カンシキ (漢・名)	
カレン (漢・名)		変り	6	鑑識	7
可憐	2	かわり	3	カンシキ	1
かれん	1	カワリ (和・名)		カンジトル (混・動)	
カロウ (漢・名)		代わり	17	感じとる	6
過労	4	代り	14	感じ取る	1
かろう	1	替わり	2	カンシュウ (漢・名)	
カロウジテ (和・副)		かわり	30	監修	22
辛うじて	2	カワリダネ (和・名)		鑑修	1
かろうじて	4	変わりダネ	2	カンショウ (漢・名)	
カワ (和・名)		変わり種	1	鑑賞	51
川	44	カワリバナ (和・名)		観賞	4
河	3	代わりバナ	1	カンジン (漢・名)	
カワイイ (和・形)		代わりばな	1	肝心	17
可愛い	7	かわりばな	1	カンジン	1
可愛い	2	カワル (和・動)		かんじん	7
かわいい	22	変わる	116	カンスル (混・動)	
カワイガル (和・動)		変る	82	関する	249
可愛がる	2	代わる	28	かんする	11
かわいがる	6	代る	11	カンダカイ (混・形)	
カワイソウ (和・名)		かわる	58	カン高い	1
可哀相	1	ガン (漢・名)		かん高い	1
かわいそう	12	雁	1	カンタン (漢・名)	
カワカス (和・動)		がん	1	簡単	115
乾かす	2	ガン (漢・名)		カンタン	5
かわかす	3	癌	3	かんたん	8
カワキ (和・名)		ガン	72	カンチガイ (混・名)	
乾き	1	カンイリ (混・名)		勘違い	2
かわき	2	缶入	2	勘ちがい	2
カワク (和・動)		かん入り	2	カンヅク (混・動)	
乾く	9	カンガエコム (和・動)		感づく	1
乾わく	2	考え込む	1	勘づく	1
かわく	10	考えこむ	1	カンヅメ (混・名)	
カワグツ (和・名)		カンガエダス (和・動)		缶詰	11
皮靴	1	考え出す	2	カン詰	4
皮グツ	1	考えだす	1	カン詰め	3
皮ぐつ	1	カンガエナオス (和・動)		かん詰	1
カワス (和・動)		考え直す	6	カンヅメ	2
交す	5	考えなおす	1	カンづめ	2

かんづめ 3  
 カンニン (漢・名)  
 勘忍 1  
 かんにん 2  
 カンバツ (漢・名)  
 干バツ 1  
 かんぱつ 1  
 ガンバル (混・動)  
 頑張る 3  
 がん張る 2  
 ガンバル 2  
 がんばる 4 2  
 ガンバン (漢・名)  
 看板 5 4  
 カンバン 4  
 カンベキ (漢・名)  
 完ベキ 9  
 完ベキ 1  
 完璧 4  
 かんベキ 1  
 キ (漢・名)  
 機 5 5 8  
 キ 3  
 き 1  
 キ (和・名)  
 木 4 3  
 樹 4  
 キイ (漢・名)  
 奇異 1  
 きい 6 4  
 キイロイ (和・形)  
 黄色い 1 4  
 黄いろい 1  
 キカイ (漢・名)  
 機械 1 9 1  
 キカイ 1  
 キガイ (漢・名)  
 気概 2  
 氣概 1  
 キガエ (和・名)  
 着替え 2  
 着換え 1  
 キガカリ (混・名)  
 気ガカリ 3  
 きがかり 1  
 キカス (和・動)  
 キカす 2  
 きかす 1  
 キガネ (混・名)  
 気がね 3  
 きがね 1  
 キガル (混・名)

気軽 3 6  
 気軽る 1  
 氣がる 5  
 キカン (漢・名)  
 機関 2 9 6  
 きかん 1  
 キキイル (和・動)  
 聞入る 1  
 聞き入る 1  
 ききいる 1  
 キキカエス (和・動)  
 訊きかえす 1  
 ききかえす 1  
 キキテ (和・名)  
 きき手 3  
 聞き手 1  
 ききて 1  
 キキメ (和・名)  
 効きめ 3 3  
 効き目 3  
 キキメ 8  
 ききめ 6  
 キキョウ (漢・名)  
 桔梗 1  
 キキョウ 1  
 キキン (漢・名) (飢饉)  
 キキン 1  
 ききん 1  
 キク (和・動)  
 聞く 3 7 3  
 聴く 2  
 きく 9 9  
 キク (和・動)  
 効く 2 4  
 利く 3  
 きく 3 1  
 キク (和・名)  
 菊 1 4  
 キク 4  
 キグ (漢・名)  
 器具 3 7  
 機具 2  
 キケイ (漢・名)  
 奇形 2  
 畸形 1  
 キゲン (漢・名)  
 機嫌 4  
 キゲン 5  
 きげん 2 0  
 キコエル (和・動)  
 聞こえる 2 0  
 聞える 1 3

きこえる 1 2  
 キゴコチ (和・名)  
 着心地 1  
 着ごこち 1  
 キザシ (和・名)  
 兆し 2  
 兆 1  
 キザシ 1  
 きざし 1 3  
 キザミ (和・名)  
 刻み 1  
 きざみ 3  
 キザミコム (和・動)  
 刻み込む 2  
 刻みこむ 1  
 きざみこむ 2  
 キザム (和・動)  
 刻む 7  
 きざむ 6  
 キジ (和・名)  
 きじ 1  
 キジ 2  
 キシベ (和・名)  
 岸べ 3  
 岸辺 1  
 キシャ (漢・名)  
 汽車 1 2  
 きしゃ 1  
 キシャク (漢・名)  
 稀釈 2  
 希釈 1  
 キジュン (漢・名)  
 基準 7 2  
 規準 2  
 キス (外・名)  
 キス 4  
 キッス 2  
 キズ (和・名)  
 傷 1 8  
 キズ 5  
 キズキアゲル (和・動)  
 築きあげる 5  
 築き上げる 2  
 キズク (和・動)  
 築く 2 4  
 きずく 3  
 キズナ (和・名)  
 絆 2  
 きずな 1  
 キセキ (漢・名)  
 奇跡 9  
 奇蹟 6

キゼワシイ (混・形)		きのどく	1	きめつける	5
気ぜわしい	1	キノポリ (和・名)		キメテ (和・名)	
気ゼワシイ	1	木のぼり	3	決め手	10
キノウ (和・動)		木登り	1	キメ手	13
競う	21	キハク (漢・名)		きめ手	7
きそう	3	氣迫	6	きめて	2
キタエル (和・動)		氣魄	2	キメル (和・動)	
鍛える	11	キハダ (和・名)		決める	365
きたえる	1	木肌	1	キメル	1
キタヨリ (和・名)		木ハダ	1	キメる	3
北寄り	26	キビキビ (和・副)		きめる	37
北より	4	キビキビ	4	キモイリ (和・名)	
キタル (和・連)		きびきび	3	肝いり	1
来たる	2	キビシイ (和・形)		きもいり	2
来る	1	厳しい	18	キモチ (混・名)	
きたる	21	キビシイ	3	氣持	132
キチント (和・副)		きびしい	169	氣持ち	39
キチンと	2	キビシサ (和・名)		キモノ (和・名)	
きちんと	10	厳しさ	1	着物	14
キツイ (和・形)		きびしさ	17	キモノ	6
きつい	12	キボリ (和・名)		きもの	42
キツイ	1	木彫	4	チャー (和・感)	
キッカケ (和・名)		木彫り	3	チャー	1
キッカケ	11	キマジメ (和・名)		チャアー	2
きっかけ	61	生真面目	1	ギャクモドリ (混・名)	
キツク (混・動)		きまじめ	3	逆戻り	3
気づく	41	キマル (和・動)		逆もどり	4
気付く	5	決まる	103	キャバレー (外・名)	
キツケ (和・名)		決る	51	キャバレー	23
着付	10	きまる	75	キャバレ	1
着付け	3	ギマン (漢・名)		キュウ (漢・名)	
ギッシリ (和・副)		欺瞞	2	灸	1
ギッシリ	2	ぎまん	2	キュウ	1
ぎっしり	8	キミ (和・名)		キュウ (漢・名)	
キッスイ (混・名)		君	50	急	103
生粋	2	キミ	9	きゅう	1
生っ粋	2	きみ	1	ギウウカワ (混・名)	
きっ粋	1	ギミ (漢・名)		牛皮	14
キッチン (外・名)		気味	44	牛革	13
キッチン	5	ぎみ	3	キュウクツ (漢・名)	
キチン	1	キメ (和・名)		窮屈	3
キツネ (和・名)		木目	1	きゅうくつ	2
キツネ	1	キメ	9	キュウリ (和・名)	
きつね	1	きめ	73	キュウリ	18
キップ (混・名)		キメコマカイ (和・形)		きゅうり	1
切符	16	キメ細かい	6	きゅうり	1
キップ	1	きめ細かい	1	キョウ (和・名)	
キノウ (和・名)		キメコム (和・動)		今日	48
昨日	9	きめ込む	1	きょう	334
きのう	40	きめこむ	2	けふ	1
キノドク (混・名)		キメツケル (和・動)		キョウ (漢・名)	
気の毒	15	決めつける	2	經	2

キョウ	1	きり	1	キリトリ (和・名)	
キョウエン (漢・名)		キリ (和・名) <限度>		切取り	2
共演	30	キリ	4	切り取り	1
協演	1	きり	4	キリトル (和・動)	
キョウカク (漢・名)		キリ (和・名)		切り取る	2
伏客	3	切り	7	切りとる	1
きょう客	1	切	4	キリヌキ (和・名)	
キョウコウ (漢・名)		きり	1	切抜	3
凶行	2	キリアゲル (和・動)		きりぬき	1
兇行	1	切り上げる	3	キリヌケル (和・動)	
キョウダイ (漢・名)		切りあげる	1	切り抜ける	6
兄弟	50	キリカエ (和・名)		切抜ける	1
姉弟	5	切換え	7	切りぬける	1
きょうだい	3	切換	5	キリハナス (和・動)	
キョウナ (混・名)		切り換え	1	切り離す	8
京菜	1	切替え	7	切離す	4
キョウナ	1	切り替え	4	切りはなす	1
キョウナリ (混・名)		切替	2	キリヒラク (和・動)	
香成	3	切りかえ	2	切り開く	4
香成り	2	きりかえ	1	切りひらく	1
キョウリョウ (漢・名)		キリカエル (和・動)		きりひらく	3
橋梁	2	切り替える	24	キリフキ (和・名)	
橋りょう	1	切り換える	1	霧吹き	1
ギョウレン (漢・名)		切換える	1	きりふき	1
行列	14	切りかえる	19	キリフダ (和・名)	
ぎょう列	1	きりかえる	2	切り札	7
キョウレン (漢・名)		キリカワル (和・動)		切札	5
教練	1	切替る	1	キリミ (和・名)	
教練	1	切り替わる	1	切り身	2
キョシュツ (漢・名)		切りかわる	1	切身	2
抛出	1	キリキズ (和・名)		キリモリ (和・名)	
きょ出	1	切り傷	1	切盛り	1
キョネン (漢・名)		きりきず	2	きりもり	3
去年	53	ギリギリ (和・副)		キリリ (和・副)	
きょ年	1	ギリギリ	17	キリリ	1
キョヘン (漢・名)		ぎりぎり	10	きりり	1
巨絹	5	キリサゲ (和・名)		キル (和・動)	
巨絹	3	切下げ	2	切る	144
キヨラカ (和・名)		切り下げ	1	斬る	4
清らか	7	キリサゲル (和・動)		キル	5
聖らか	1	切り下げる	1	きる	26
キライ (和・形)		切下げる	1	キル (和・尾)	
嫌い	2	キリタオス (和・動)		切る	39
きらい	27	切倒す	1	きる	27
キラキラ (和・副)		きり倒す	1	キレ (和・名)	
キラキラ	2	切りたおす	1	切れ	27
きらきら	1	キリダス (和・動)		キレ	2
キラス (和・動)		切り出す	2	キレイ (漢・名)	
切らす	4	きり出す	1	清潔	1
きらす	1	キリツメル (和・動)		キレイ	8
キリ (和・名)		切りつめる	2	きれい	60
霧	94	きりつめる	3	キレハシ (和・名)	

切れ端	1	工合	1	空洞	2
切れはし	1	ぐあい	3 2	空どう	1
キレメ (和・名)		クイイル (和・動)		クーリー (外・名)	
切れ目	6	くい入る	2	苦力	3
切れめ	1	食い入る	1	クーリ	1
きれめ	1	クイコミ (和・名)		クキ (和・名) 〔莖〕	
キレル (和・動)		食込み	1	クキ	2
切れる	2 8	食いこみ	1	くき	1
きれる	3	くい込み	1	クギツケ (和・名)	
キロアタリ (混・名)		クイコム (和・動)		クギづけ	1
キロ当	7	くい込む	5	くぎづけ	1
キロ当り	3	くいこむ	1	クグリヌケル (和・動)	
キロ当たり	2	クイサガリ (和・名)		くぐり抜ける	3
ギワ (和・尾)		食下がり	1	くぐりぬける	1
際	1 1	食いさがり	1	クサイ (和・形)	
ギワ	5	クイサガル (和・動)		臭い	7
ぎわ	8	食い下がる	2	クサイ	1
キワダツ (和・動)		食下がる	2	くさい	6
際立つ	1	くいさがる	3	クサイ (和・尾)	
きわ立つ	1	クイチガイ (和・名)		臭い	1
きわだつ	3	食違い	1	くさい	4
キワメテ (和・副)		食い違い	5	クサトリ (和・名)	
極めて	1	くい違い	3	草取り	2
キワメテ	1	くいちがひ	4	草とり	1
きわめて	1 1 2	クイチガウ (和・動)		クサリ (和・名)	
ギンガ (漢・名)		食違う	7	鎖	1
銀河	1	食い違う	2	クサリ	2
ぎんが	1	くい違う	3	くさり	1 4
キンギョ (漢・名)		食いちがう	2	クサル (和・動)	
金魚	7	クイツク (和・動)		腐る	8
キンギョ	2	食いつく	4	くさる	3
きんぎょ	1	くいつく	1	クサレエン (混・名)	
キンコ (漢・名)		クイトメル (和・動)		腐れ縁	2
禁固	8	食い止める	6	くされ縁	2
禁錮	2	食止める	1	クジ (和・名)	
キンショウ (漢・名)		食いとめる	5	クジ	1
僅少	1	くい止める	2	くじ	4
きん少	1	くいとめる	2	クシクモ (和・副)	
キンシン (漢・名)		クイモノ (和・名)		奇しくも	1
謹慎	3	食いもの	2	くしくも	1
きん慎	1	食い物	1	クジケル (和・動)	
ギンナリ (混・名)		クウ (和・動)		挫ける	1
銀成り	3	食う	3 9	くじける	3
銀成	1	喰う	3	クジャク (漢・名)	
キンバイ (漢・名)		くう	1 6	孔雀	1
金盃	2	グウゼン (漢・名)		クジャク	1
キンバイ	1	偶然	1 5	くじゃく	1
キンモツ (漢・名)		ぐうぜん	1	クシャミ (和・名)	
禁物	7	クウテイ (漢・名)		クシャミ	2
キンモツ	1	空てい	3	くしゃみ	1
グアイ (混・名)		空挺	1	クジラ (和・名)	
具合	1 5	クウドウ (漢・名)		鯨	1

クジラ	6	口	1 1 4	国柄	3
くじら	2	くち	3	国がら	1
クズ(和・名)		グチ(漢・名)		クニヅクリ(和・名)	
クズ	3	愚痴	1	国づくり	3
くず	2	グチ	1	国造り	2
クズス(和・動)		クチアタリ(和・名)		クバル(和・動)	
崩す	2	口当り	1	配る	2 9
くずす	1 2	口あたり	1	くばる	3
クズヤ(和・名)		クチグセ(和・名)		クビ(和・名)	
屑屋	1	口癖	1	首	6 3
くず屋	1	口ぐせ	2	クビ	7
クズヤ	1	クチビル(和・名)		クビキリ(和・名)	
クスリ(和・名)		唇	5	首切り	2
薬	5 6	くちびる	1	クビ切り	1
クスリ	7	クチベタ(和・名)		クビスジ(和・名)	
くすり	4	口ベタ	1	首筋	1
クスリユビ(和・名)		口べた	1	頸筋	1
薬指	1	クチモト(和・名)		首スジ	1
くすり指	3	口もと	3	クフウ(漢・名)	
クズレサル(和・動)		口元	1	工夫	2 6
崩れ去る	1	グチル(混・動)	1	くふう	2 3
くずれ去る	1	グチる	1	クマ(和・名)	
クズレル(和・動)		ぐちる	1	熊	3
崩れる	2	クツ(和・名)		くま	3
くずれる	4 8	靴	3 0	クミアゲル(和・動)	
クセ(和・名)		クツ	1 0	組み上げる	1
癖	1	くつ	1 1	組みあがる	1
クセ	8	クッキリ(和・副)		クミアワセ(和・名)	
くせ	3	クッキリ	1	組合せ	1 8
クセモノ(和・名)		くっきり	6	組み合わせ	1 2
クセ者	1	クッサク(漢・名)		組合わせ	5
くせ者	1	掘削	2	組みあわせ	2
クダケル(和・動)		掘さく	1	クミアワセル(和・動)	
砕ける	1	クツシタ(和・名)		組み合わせる	9
くだける	4	靴下	1 5	組合せる	2
クダサル(和・動)		くつ下	7	組合わせる	2
下さる	2 6 2	クツ下	3	クミイレ(和・名)	
くださる	5 1 7	くつした	1	組み入れ	1
クダス(和・動)		クツク(漢・名)		組入	1
下す	1 9	屈託	1	クミコム(和・動)	
くだす	2 0	くったく	1	組み込む	2
クダモノ(和・名)		グット(和・副)		組込む	2
果物	1 5	グッと	7	くみこむ	1
クダモノ	2	ぐっと	2 5	クミクテ(和・名)	
くだもの	6	クドク(和・動)		組立て	1 0
クダナイ(和・形)		口説く	1	組立	6
下らない	1	くどく	1	組み立て	6
くだらない	3	クニ(和・名)		クミクテル(和・動)	
クダル(和・動)		国	6 0 1	組み立てる	3
下る	8	クニ	1	組立てる	2
くだる	4	くに	1	組みたてる	2
クチ(和・名)		クニガラ(和・名)		クミツケル(和・動)	

組付ける 1  
 組みつける 1  
 クム (和・動)  
 組む 58  
 くむ 3  
 クモ (和・名)  
 蜘蛛 5  
 クモ 1  
 クモ (和・名)  
 雲 44  
 天衣 1  
 クモリ (和・名)  
 曇 88  
 曇り 34  
 くもり 4  
 クモル (和・動)  
 曇る 29  
 くもる 1  
 クラ (和・名)  
 蔵 5  
 クラ 1  
 クライ (和・形)  
 暗い 56  
 昏い 1  
 クラウ (和・動)  
 咬う 1  
 くらう 4  
 クラガエ (和・名)  
 クラ替え 1  
 クラ変え 1  
 くらがえ 1  
 クラシ (和・名)  
 暮らし 29  
 暮し 14  
 くらし 30  
 クラシツクリ (和・名)  
 くらし作り 2  
 くらしづくり 1  
 クラス (和・動)  
 暮らす 17  
 暮す 15  
 くらす 2  
 クラタテ (和・名)  
 蔵建 1  
 くらたて 1  
 クラブ (外・名)  
 倶楽部 9  
 クラブ 101  
 クラベモノ (和・名)  
 比べもの 1  
 くらべもの 1  
 クラベル (和・動)

比べる 109  
 くらべる 103  
 グラム (外・名)  
 瓦 15  
 グラム 48  
 クリ (和・名)  
 クリ 1  
 くり 1  
 クリアゲ (和・名)  
 繰り上げ 5  
 繰上げ 4  
 繰りあげ 1  
 くり上げ 1  
 クリアゲル (和・動)  
 繰り上げる 5  
 繰上げる 4  
 くり上げる 4  
 繰りあげる 1  
 くりあげる 1  
 クリーン (外・名)  
 クリーン 2  
 クリン 1  
 クリカエシ (和・名)  
 繰り返し 1  
 繰りかえし 1  
 くり返し 1  
 クリカエス (和・動)  
 くり返す 28  
 繰り返す 19  
 繰返す 17  
 繰りかえす 2  
 くりかえす 19  
 クリコシ (和・名)  
 繰越し 2  
 繰り越し 1  
 クリダス (和・動)  
 繰出す 5  
 繰り出す 2  
 くり出す 8  
 くりだす 1  
 クリノベ (和・名)  
 繰延べ 5  
 繰り延べ 1  
 くりのべ 3  
 クリノベル (和・動)  
 繰り延べる 1  
 くりのべる 3  
 クリヒロゲル (和・動)  
 繰り広げる 2  
 繰りひろげる 1  
 くり広げる 5  
 くりひろげる 21

クル (和・動)  
 来る 305  
 来 1  
 クル 1  
 くる 1638  
 クル (和・動)  
 繰る 1  
 くる 3  
 クルイ (和・名)  
 狂い 3  
 クルイ 1  
 クルウ (和・動)  
 狂う 14  
 くるう 1  
 クルクル (和・副)  
 クルクル 1  
 くるくる 3  
 グルグル (和・副)  
 グルグル 1  
 ぐるぐる 2  
 クルシイ (和・形)  
 苦しい 75  
 くるしい 1  
 クルマ (和・名)  
 車 237  
 くるま 3  
 クルマ 4  
 クルリ (和・副)  
 クルリ 1  
 くるり 1  
 グルリ (和・副)  
 グルリ 1  
 ぐるり 4  
 クレージー (外・名)  
 クレージー 6  
 クレイジー 2  
 クレル (和・動)  
 暮れる 8  
 くれる 7  
 グレンタイ (漢・名)  
 愚連隊 2  
 ぐれん隊 2  
 グレン隊 1  
 グレンタイ 1  
 クロウト (和・名)  
 クロウト 2  
 くろうと 2  
 クロース (外・名)  
 クロース 2  
 クロス 1  
 クワエル (和・動)  
 加える 239



くわえる	3	けおとす	1	けっこう	6
クワシイ (和・形)		ケガ (和・名)		クッシテ (混・副)	
詳しい	4 2	怪我	1	決して	5 1
くわしい	5 6	ケガ	5	けっして	8
クン (漢・尾)		けが	4 9	ケットウ (漢・名)	
君	2 5 5	ケガニン (混・名)		決闘	6
クン	2	怪我人	1	決斗	3
くん	1 1	ケガ人	5	ケツベツ (漢・名)	
グン (和・副)		けが人	8	決別	1
グン	3	ゲキ (漢・名)		訣別	1
ぐん	1 7	劇	7 4	ゲツレイ (漢・名)	
グングン (和・副)		げき	1	月齡	3
グングン	3	ケサ (和・名)		月令	1
ぐんぐん	9	今朝	5	ケブカイ (和・形)	
ゲ (和・尾)		けさ	2 6	毛深い	2
気	2	ケシイン (混・名)		毛ぶかい	1
ゲ	3	消印	1 7	ケムリ (和・名)	
ケイケン (漢・名)		消し印	3	煙	3 3
敬虔	2	ケシカケル (和・動)		けむり	2
敬けん	1	ケシかける	1	ケヤキ (和・名)	
けいけん	1	けしかける	1	榎	1
ケイコ (漢・名)		ケシトメル (和・動)		ケヤキ	1
稽古	4	消しとめる	3	けやき	1
けい古	1	消し止める	1	ケル (和・動)	
けいこ	3 2	ケズリ (和・名)		蹴る	2
ケイコウ (漢・名)		削り	1	ける	1 4
螢光	3	ケズリ	1	ケロリ (和・副)	
ケイ光	1	ケズリトル (和・動)		ケロリ	2
けい光	2	削り取る	1	けろり	1
ケイシキ (漢・名)		削りとる	1	ケン (漢・名)	
形式	4 8	けずりとる	1	剣	6
型式	4	ケズリブシ (和・名)		ケン	1
ケインツ (漢・名)		削節	2	ケン (漢・名)	
輕率	2	けずりぶし	1	鍵	2
輕卒	1	ケズル (和・動)		けん	1
ケイタイ (漢・名)		削る	8	ケンウン (漢・名)	
形態	1 1	けずる	1 1	卷雲	2
形体	1	ケタ (和・尾)		絹雲	1
ケイナリ (混・名)		桁	2	ケンカ (漢・名)	
桂成	4	ケタ	7	喧嘩	9
桂成り	2	ゲタ (漢・名)		ケンカ	1 2
ケイバ (漢・名)		下駄	1	けんか	2 1
競馬	5 9	ゲタ	7	ゲンケイ (漢・名)	
けいば	1	ケタハズレ (和・名)		原形	4
ケイベツ (漢・名)		ケタ外れ	1	原型	1
輕蔑	1	ケタはずれ	1	ケンジュウ (漢・名)	
輕べつ	1	ケッキョク (漢・副)		けん銃	6
ケースイリ (混・名)		結局	1 1 4	拳銃	4
ケース入り	4	けっきょく	5	ゲンナリ (和・副)	
ケース入	1	ケッコウ (漢・名)		ゲンナリ	2
ケオトス (和・動)		結構	5 2	げんなり	2
け落す	1	ケッコウ	1	ケンバイ (漢・名)	

建べい	17	交差	44	肥える	3
建ペイ	1	交叉	4	こえる	1
建蔽	1	コウシ (和・名)		コーデュロイ (外・名)	
ケンメイ (漢・名)		子ウシ	3	コーデュロイ	3
懸命	22	子牛	1	コオデロイ	1
けんめい	5	コウジャク (漢・名)		コオル (和・動)	
ケンラン (漢・名)		耗弱	2	凍る	10
絢爛	8	こう弱	1	こおる	1
けんらん	2	ゴウセン (漢・名)		ゴカイ (漢・名)	
ケンロウ (漢・名)		合織	25	誤解	25
堅牢	1	合せん	1	ごかい	1
堅ろう	1	コウソク (漢・名)		コガタ (和・名)	
コ (和・名)		梗塞	2	小型	71
子	269	コウソク	1	小形	3
コ	1	こうそく	3	コガタ	3
こ	4	コウタ (和・名)		コガネ (和・名)	
コ (和・尾)		小唄	7	黄金	2
子	43	小うた	4	こがね	1
こ	3	コウタイ (漢・名)		コキザミ (和・名)	
コ (漢・尾)		交代	38	小刻み	2
個	179	交替	1	小きざみ	2
コ	35	コウデン (漢・名)		こきざみ	1
コ (和・頭)		香典	4	コクサイ (漢・名)	
小	30	香奠	1	国際	597
こ	1	こうでん	1	コクサイ	1
コ (漢・名)		コウバイ (漢・名)		ゴケ (混・名)	
古	13	勾配	2	碁笥	1
こ	4	こう配	2	ゴケ	1
ゴ (漢・頭)		こうばい	1	コケイ (漢・名)	
御	87	コウハン (漢・名)		固形	6
ゴ	5	広範	14	固型	1
ご	1078	広汎	3	コケシ (和・名)	
ゴ (漢・名)		コウフン (漢・名)		コケシ	1
後	800	興奮	19	こけし	2
ご	1	昂奮	2	コゲチャ (混・名)	
コイ (和・形)		コウヘン (漢・名)		こげ茶	2
濃い	43	後編	1	焦げ茶	1
こい	1	後篇	1	コゲツカス (和・動)	
コイガタキ (和・名)		コウヨウ (漢・名)		焦げつかず	1
恋仇	1	高揚	6	こげつかず	3
恋がたき	1	昂揚	1	コケラオトシ (和・名)	
コイシイ (和・形)		コウリ (和・名)		コケラ落し	1
恋しい	4	小売	44	こけら落し	1
こいしい	1	小売り	35	こけら落とし	1
コイヌ (和・名)		コエ (和・名)		コゲル (和・動)	
仔犬	2	声	266	焦げる	1
子イヌ	1	こえ	13	こげる	2
小イヌ	1	こゑ	2	ココ (和・代)	
ゴウカ (漢・名)		コエル (和・動)		此处	1
豪華	108	越える	105	ココ	1
ごうか	1	こえる	8	ここ	410
コウサ (漢・名)		コエル (和・動)		こゝ	4

ゴゴ (漢・名)		ござる	7 1	こちこち	1
午後	1 0 8 7	ゴシ (和・尾)		コツ (漢・名) <要領>	
午后	3	越し	1	コツ	1 5
ココチ (和・名)		ごし	1	こつ	2
心地	4	コジキ (漢・名)		ゴツイ (和・形)	
こちこ	2	乞食	2	ゴツイ	1
ココロ (和・名)		コジキ	1	ゴツい	1
心	2 3 1	こじき	1	コヅカイ (和・名)	
こころ	1 2	コジマル (和・名)		小遣い	1
ココロアタリ (和・名)		小締まる	3	小づかい	1
心当り	2	小締る	1	こづかい	1 2
心あたり	1	小じまる	3	コッケイ (漢・名)	
ココロガケル (和・動)		コシマワリ (和・名)		滑稽	6
心がける	9	腰回り	1	こっけい	5
心掛ける	4	腰まわり	1	コツコツ (和・名)	
ココロガマエ (和・名)		ゴジュウオン (漢・名)		コツコツ	3
心構え	9	五十音	5	こつこつ	1
心がまえ	5	50音	2	ゴッソリ (和・副)	
ココロクバリ (和・名)		コショウ (漢・名)		ゴッソリ	2
心配り	1	コショウ	7	ごっそり	1
心くばり	1	こしょう	4	ゴツガエス (和・動)	
ココロザシ (和・名)		コジワ (和・名)		ごった返す	3
志	5	小ジワ	5	ごったがえす	1
こころざし	1	小じわ	2	コットウ (漢・名)	
ココロニクイ (和・形)		コス (和・動)		骨董	1
心憎い	2	越す	4 2	骨とう	1
心にくい	2	こす	4	コツプ (和・名)	
ココロノコリ (和・名)		コズエ (和・名)		小粒	4
心残り	3	梢	1	小つぶ	1
心のこり	1	こずゑ	1	コト (和・名)	
ココロミ (和・名)		ゴゼン (漢・名)		殊	2
試み	2 5	御前	6	こと	2 9
こころみ	6	ご前	1	コト (和・名)	
ココロミル (和・動)		コタエ (和・名)		事	4 9
試みる	3 3	答え	6 7	コト	4
試る	1	答	3 6	こと	6 0 6 3
ココロモチ (和・名)		こたえ	5 3	ゴト (和・尾)	
心持	2	コタエル (和・動)		毎	6
心持ち	2	答える	1 5 4	ごと	1 1 2
こころもち	1	応える	9	コトカク (和・形)	
ココロヨイ (和・形)		こたえる	2 3	事欠く	1
快い	8	ゴタゴタ (和・副)		こと欠く	1
こころよい	3	ゴタゴタ	4	コトガラ (和・名)	
コザカナ (和・名)		ごたごた	1	事柄	2
小魚	1	コダチ (和・名)		事がら	1
小ザカナ	1	木立ち	2	ことがら	3
コザラ (和・名)		木立	1	コトゴトク (和・副)	
小皿	5	コタツ (漢・名)		悉く	2
小ザラ	2	コタツ	5	ことごとく	4
小ざら	1	こたつ	9	コトシ (和・名)	
ゴザル (混・動)		コチコチ (和・動)		今年	1 5 6
御座る	2	コチコチ	3	ことし	4 2 0

ゴトシ (和・形)		コバム (和・動)		混み合う	2
如し	7	拒む	7	込みあう	1
如シ	1	こばむ	4	こみあう	1
如	1	ゴハン (漢・名)	15	コミュニティズム (外・名)	1
ごとし	15	ご飯	6	コミュニティズム	1
コトナル (和・動)		ごはん	1	コムミュニズム	1
異なる	24	コビン (漢・名)	1	コム (和・尾)	3
異る	12	小ビン	1	込む	12
ことなる	2	小びん	1	コム (和・動)	3
コトバ (和・名)		コビン (混・名)	2	混む	3
言葉	151	小瓶	1	こむ	3
コトバ	4	小ビン	3	コムギ (和・名)	27
ことば	120	コブネ (和・名)	1	小麦	7
コドモ (和・名)		小舟	1	コムギ	46
子供	307	小船	1	コメ (和・名)	8
子ども	258	コマ (和・名)	19	コムヅクリ (和・名)	4
こども	138	独楽	5	米づくり	1
コトワザ (和・名)		コマ	5	米作り	8
諺	1	コマアミ (和・名)	1	コメディ (外・名)	4
コトワザ	1	細編み	1	コメディ	4
ことわざ	5	細あみ	1	ゴメン (漢・名)	6
コトワリ (和・名)		こまあみ	33	ご免	2
断わり	1	コマオト (和・名)	18	御免	1
ことわり	20	駒音	1	ゴメン	6
コトワル (和・動)		コマ音	1	コモゴモ (和・副)	1
断わる	29	コマカイ (和・形)	1	交々	3
断る	21	細かい	1	こもごも	9
ことわる	7	こまかい	1	コモノ (和・名)	4
コナゴナ (和・副)		コマギレ (和・名)	1	小物	7
こなごな	1	こま切れ	1	小もの	1
粉々	1	こまぎれ	1	コモリ (和・名)	7
コナミルク (混・名)		コマメ (和・名)	1	子守	1
粉ミルク	2	小まめ	1	子守り	20
コナミルク	2	こまめ	1	小屋	2
コネ (外・名)		コマヤカ (和・名)	1	小舎	2
コネ	1	細やか	1	こや	6
こね	2	こまやか	6	コユウ (漢・名)	1
コネコ (和・名)		コマル (和・動)	4	固有	3
子猫	3	困る	2	個有	1
こねこ	2	こまる	14	コヨイ (和・名)	1
ゴネル (和・動)		コマワリ (和・名)	5	今宵	1
ゴネル	1	小回り	1	こよい	11
ごねる	1	小まわり	1	コヨミ (和・名)	2
コノ (和・連)		コミ (和・尾)	2	暦	3
此の	1	込み	6	こよみ	
この	4600	込	4		
コノゴロ (和・名)		こみ	2		
この頃	3	ゴミ (漢・名)	1		
このごろ	35	呉味	1		
コバコ (和・名)		ゴミ	14		
小箱	4	ごみ	2		
小函	1	コミアウ (和・動)			

コラス (和・動)		昆虫	7	最中	15
凝らす	1	こん虫	2	さい中	1
こらす	10	コンテナ (外・名)		サイハイ (漢・名)	
ゴラン (漢・名)		コンテナー	17	采配	1
ご覧	32	コンテナ	7	さい配	1
ごらん	31	コンド (漢・名)		サイフ (漢・名)	
コル (和・動)		今度	90	財布	12
凝る	1	こんど	308	サイフ	2
こる	19	コントン (漢・名)		さいふ	3
コレ (和・代)		混沌	2	サイワイ (和・名)	
是	2	渾沌	1	幸い	12
コレ	4	混とん	1	幸	1
これ	2907	コンバ (外・名)		さいわい	9
コロ (和・名)		来ん派	1	サエ (和・名)	
頃	9	コンバ	3	冴え	1
ころ	644	コンブ (漢・名)		さえ	1
コガリコム (和・動)		昆布	3	サエル (和・動)	
ころがり込む	1	コンブ	7	冴える	3
ころがりこむ	2	こんぶ	2	さえる	12
コロボ (和・動)		コンベア (外・名)		サオ (和・名)	
転ぶ	3	コンベア	2	竿	1
ころぶ	4	コンベヤー	2	サオ	8
コロモガエ (和・名)		コンヤ (漢・名)		サカイメ (和・名)	
衣がえ	4	今夜	44	境目	2
ころもがえ	1	こんや	4	境め	1
コワイ (和・形)		コンロ (漢・名)		サカエル (和・動)	
怖い	4	コンロ	2	栄える	3
コワイ	1	こんろ	1	さかえる	1
こわい	20	サア (和・感)		サカサ (和・名)	
ゴウゴウ (和・副)		さア	1	逆	1
ゴウゴウ	1	さあ	19	さかさ	1
ごわごわ	1	サァ	1	サガシ (和・名)	
コワバル (和・動)		サーベイヤー (外・名)		捜し	3
硬ばる	1	サーベア	3	探し	2
こわばる	3	サーベイヤー	12	さがし	7
コン (漢・名)		サイ (漢・名)		サガシダス (和・動)	
根	2	際	123	捜し出す	4
コン	1	さい	84	探し出す	2
コンゲン (漢・名)		サイキン (漢・名)		サガス (和・動)	
根源	13	最近	386	捜す	36
根元	1	さいきん	14	探す	6
コンゴ (漢・名)		サイゴ (漢・名)		さがす	20
今後	300	最後	171	サカズキ (和・名)	
こんご	86	最期	3	盃	2
コンジョウ (漢・名)		さいご	1	杯	2
根性	18	サイスル (混・動)		さかずき	2
こんじょう	1	際する	22	サカダチ (和・名)	
コンタン (漢・名)		さいする	5	さか立ち	2
魂胆	1	サイソク (漢・名)		逆立ち	1
コンタン	1	催促	4	サカナ (和・名)	
こんたん	1	さいそく	1	魚	59
コンチュウ (漢・名)		サイチュウ (漢・名)		肴	2

サカナ	5	割く	1	避ける	83
さかな	5	さく	9	さける	28
サガル(和・動)		サク(漢・名)		サゲル(和・動)	
下がる	51	サク	2	下げる	60
下る	3	さく	1	退げる	1
下ル	1	サクサン(漢・名)		さげる	9
さがる	3	酢酸	2	ササエ(和・名)	
サカン(和・名)		さく酸	1	支え	6
盛ん	44	サクシ(漢・名)		ささえ	6
さかん	22	作詞	12	ササエル(和・動)	
サキ(和・名)		作詩	2	支える	19
先	105	サクセイ(漢・名)		ささえる	23
前	2	作成	52	ササゲル(和・動)	
さき	142	作製	1	捧げる	4
サキ(和・尾)		サクツケ(混・名)		ささげる	8
先	58	作付	7	ササヤキ(和・名)	
さき	2	作付け	1	囁き	2
サギ(漢・名)		サクラ(和・名)		ささやき	6
詐欺	51	桜	13	サシアゲル(和・動)	
サギ	7	サクラ	15	差し上げる	9
サキガケ(和・名)		さくら	14	差上げる	9
先駆	2	サクラザイ(混・名)		差しあげる	7
さきがけ	6	桜材	2	さしあげる	34
サキガケル(和・動)		サクラ材	1	サシアタリ(和・副)	
先がける	4	サ克蘭ボ(混・名)		差当り	1
先駆ける	2	サ克蘭ボ	8	さし当り	1
サキゴロ(和・名)		さくらんぼ	1	さし当たり	1
先ごろ	6	サグル(和・動)		さしあたり	5
さきごろ	21	探る	22	サシアタル(和・動)	
サキザキ(和・名)		さぐる	20	さし当たる	2
先々	3	ザクロ(漢・名)		さし当る	1
さきざき	1	石榴	1	さしあたる	2
先ざき	1	ざくろ	4	サシエ(混・名)	
サキダツ(和・動)		サケ(和・名)〔鮭〕		さし絵	7
先立つ	36	サケ	11	挿絵	6
先だつ	2	さけ	1	さしえ	2
さき立つ	1	サゲドマル(和・動)		サジキ(和・名)	
さきだつ	1	下げ止まる	4	棧敷	1
サキホコル(和・動)		下げどまる	1	さじき	2
咲き誇る	1	サケビ(和・名)		サシコミ(和・名)	
咲きほこる	1	叫び	11	指し込み	2
サキホド(和・名)		叫	1	指込み	1
先程	2	サケビゴエ(和・名)		さしこみ	1
先ほど	1	叫び声	4	サシコム(和・動)	
さきほど	3	さけび声	1	さし込む	3
サキマワリ(和・名)		サケブ(和・動)		差し込む	1
先回り	1	叫ぶ	49	サシクロス(和・動)	
先まわり	1	さけぶ	5	刺し殺す	5
サキモノ(和・名)		サケメ(和・名)		刺殺す	4
先物	2	裂け目	2	サシズ(混・名)	
先もの	2	さけ目	1	指図	1
サク(和・動)		サケル(和・動)		さしず	1

サンダス (和・動)		誘い合せる	1	サバク (和・動)	
差出す	4	誘合わせる	1	裁く	3
差し出す	4	サソウ (和・動)		さばく	2
さし出す	2	誘う	2 2	サバク (漢・名)	
さしだす	2	誘ふ	1	砂漠	1 8
サシツカエ (和・名)		さそう	6	砂ばく	3
差支え	4	サダカ (和・名)		サバク	3
差しつかえ	1	定か	1	さばく	9
サシテ (和・名)		さだか	1	サビ (和・名) (錆)	
指手	6	サダメル (和・動)		サビ	1
指し手	3	定める	3 1	さび	1
サシトメル (和・動)		さだめる	1	サビシイ (和・形)	
差し止める	2	サツキバレン (和・名)		寂しい	5
差し止める	1	五月晴れ	2	淋しい	3
サンノベル (和・動)		さつき晴れ	1	さびしい	2 4
差しのべる	2	ザックバラン (和・名)		サビシゲ (和・名)	
さしのべる	4	ザックバラン	1	淋しげ	1
サシヒカエル (和・動)		ざっくばらん	5	さびしげ	1
差し控える	3	ザックリ (和・副)		サビシサ (和・名)	
差控える	2	ザックリ	1	寂しさ	3
差しひかえる	1	ざっくり	1	淋しさ	1
サシミ (和・名)		サツク (漢・副)		さびしさ	4
刺身	1	早速	1 4	サファイア (外・名)	
刺し身	1	さっそく	4 8	サファイア	1
サシミ	2	サット (混・副)		サファイヤ	2
さしみ	2	サット	1 2	サボル (和・動)	
サンモドシ (和・名)		さっと	9	サボル	1
差戻し	2	ザットウ (漢・名)		さぼる	1
差し戻し	2	雑踏	1	サマ (和・名)	
サス (和・動)		雑沓	1	様	2
刺す	5 7	サツバリ (和・副)		さま	6
指す	1 7	サツバリ	1 1	サマ (和・尾)	
差す	2	さつぱり	3 2	様	2 1 7
射す	1	サテ (和・接)		さま	2 9 6
さす	3 9	サテ	1	サマザマ (和・名)	
サズケル (和・動)		さて	5 2	様々	1
授ける	2	サト (和・名)		さまざま	5 7
さずける	1	里	8	サマス (和・動)	
サスマタ (和・名)		さと	1	覚ます	2
刺股	1	サトイモ (和・名)		さます	9
さすまた	1	里芋	1	サマタケル (和・動)	
ザセツ (漢・名)		里いも	1	妨げる	7
挫折	4	さといも	1	さまたげる	8
ざ折	1	サトリ (和・名)		サムイ (和・形)	
ざせつ	1	悟り	4	寒い	3 5
ザゼン (漢・名)		さとり	1	さむい	4
坐禅	3	サトル (和・動)		サムライ (和・名)	
座禅	2	悟る	5	侍	7
サソイ (和・名)		さとる	3	サムライ	3
誘い	7	サナカ (和・名)		さむらい	1
さそい	3	さ中	2	サメ (和・名)	
サソイアワセル (和・動)		さなか	6	鮫	1

サメ	1	サワギ (和・名)		山ろく	1 2
サメル (和・動)		騒ぎ	5 2	山麓	2
冷める	2	さわぎ	1 3	シ (漢・尾)	
さめる	1	サワギタテル (和・動)		時	2 4 4 4
サメル (和・動)		騒ぎ立てる	1	シ	8
醒める	1	騒ぎたてる	1	シアガリ (和・名)	
サメル	1	さわぎたてる	1	仕上がり	3
さめる	1 2	サワグ (和・動)		仕上り	2
サヤヨセ (和・名)		騒ぐ	1 6	仕あがり	1
サヤ寄せ	1	さわぐ	9	シアゲ (和・名)	
さやよせ	1	サワヤカ (和・名)		仕上げ	2 8
サヨウ (混・名)		爽やか	6	仕上	3
左様	1	爽か	2	シアワセ (和・名)	
さよう	5	さわやか	2 8	幸せ	1 4
サヨウナラ (混・感)		サウル (和・動)		幸	3
サヨウナラ	1 1	触る	1	悴せ	2
さようなら	5	さわる	8	シアワセ	3
サラ (和・名)		サン (和・尾)		しあわせ	3 2
皿	7	サン	1	ジイ (和・名)	
サラ	1 0	さん	2 2 1 4	爺	4
さら	2	サン (漢・名)		ジイ	1
ザラ (和・副)		棧	1	じい	1 7
ザラ	3	サン	6	シイタケ (和・名)	
ざら	2	サンカ (漢・名)		シイタケ	8
サラウ (和・動)		賛歌	3	しいたけ	2
淡う	1	讃歌	1	シイル (和・動)	
さらう	9	サンゴ (漢・名)		強いる	4
サラケダス (和・動)		珊瑚	7	しいる	5
さらけ出す	7	サンゴ	6	シイレ (和・名)	
さらけだす	1	ザンゴウ (漢・名)		仕入れ	6
サラサラ (和・副)		鹽礫	1	仕入	4
サラサラ	1	ざんごう	3	シェルバ (外・名)	
さらさら	1	サンザン (漢・名)		シェルバ	1
サラット (和・副)		散々	3	シェルバ	1
サラッと	6	サンザン	1	ジェントルマン (外・名)	
さらっと	3	さんざん	1 0	ジェントルマン	1
サラニ (和・副)		サンジ (漢・名)		ゼントルマン	1
更に	1 5	賛辞	4	シオキ (和・名)	
さらに	5 7 3	讃辞	1	仕置	2
サラリト (和・副)		サンショウ (漢・名)		仕置き	1
サラリと	1	サンショ	1	シオヤキ (和・名)	
さらりと	1	さんしょう	1	塩焼	1
サル (和・名)		サンドイッチ (外・名)		塩焼き	1
猿	2	サンドイッチ	1	シオリ (和・名)	
サル	1	サンドウィッチ	1	葉	2
さる	8	サンマ (和・名)		しおり	6
サル (和・動)		サンマ	4	シカ (和・名)	
去る	4 1	さんま	4	鹿	1
さる	1	サンリンボウ (漢・名)		シカ	5
サル (和・連)		三隣亡	4	ジカ (漢・名) (直)	
去る	5 0	三輪宝	3	ジカ	1
さる	2 2 9	サンロク (漢・名)		じか	3



シカケ (和・名)		しくみ	8	シゼン (漢・名)	
仕掛け	9	シケ (和・名)		自然	147
仕掛	1	シケ	4	しぜん	1
仕かけ	2	しけ	1	シソウ (漢・名)	
シカケ	1	シゲキ (漢・名)		齒槽	1
しかけ	1	刺激	48	齒そう	1
シカケル (和・動)		シゲキ	1	シタイ (漢・名)	
仕掛ける	8	しげき	2	肢体	2
仕かける	1	シゲミ (和・名)		し体	1
しかける	4	茂み	3	シダイ (漢・名)	
シカタ (和・名)		しげみ	1	次第	101
仕方	32	シゲル (和・動)		しだい	35
しかた	11	茂る	3	シタウ (和・動)	
ジカタビ (混・名)		しげる	1	森う	4
地下タビ	1	シコウ (漢・名)		したう	1
地下たび	1	嗜好	1	シタウケ (和・名)	
シカルベキ (和・連)		しこう	1	下請け	25
然るべき	1	シゴク (和・動)		下請	4
しかるべき	2	シゴク	1	シタガウ (和・動)	
ジカン (漢・名)		しごく	7	従う	47
時間	809	シコム (和・動)		したがう	17
じかん	1	仕込む	1	シタガッテ (和・接)	
シキ (和・名)		しこむ	1	従って	27
敷き	4	シコリ (和・名)		したがって	112
敷	1	シコリ	4	シタク (漢・名)	
ジキジキ (漢・副)		しこり	3	支度	2
直々	2	シシュウ (漢・名)		仕度	1
じきじき	1	刺繍	10	したく	5
シキセ (和・名)		刺しゅう	9	シタシム (和・動)	
仕着せ	1	シシュウ	4	親しむ	28
し着せ	1	ししゅう	7	したしむ	2
シキチ (混・名)		シジユク (漢・名)		シタタカモノ (和・名)	
敷地	28	私塾	1	シタタカ者	1
敷き地	7	私じゅく	1	したたか者	1
シキツメル (和・動)		ジシン (漢・名)		したたかもの	1
敷きつめる	3	地震	143	シタテ (和・名)	
しきつめる	3	地しん	3	仕立	30
シキモノ (和・名)		ジシン (漢・名)		仕立て	20
敷物	9	自身	125	シタテル (和・動)	
敷もの	1	じしん	2	仕立てる	10
シキリ (和・名)		シズカ (和・名)		したてる	1
仕切	3	静か	71	シチメンチョウ (漢・名)	
仕切り	1	しずか	5	七面鳥	1
シク (和・動)		シズク (和・名)		シチメンチョウ	1
敷く	17	雫	2	シチュー (外・名)	
しく	5	しずく	1	シチュー	3
ジグザグ (外・名)		シズマル (和・動)		シチュウ	1
ジグザグ	4	静まる	9	ジツ (漢・名)	
じぐざぐ	1	鎮まる	1	実	108
シクミ (和・名)		シズム (和・動)		じつ	9
仕組み	27	沈む	16	ジツエン (漢・名)	
仕組	1	しずむ	3	実演	22

じつえん	1	品うす	1	波い	7
シツカリ (和・副)		シナサダメ (和・名)		しぶい	4
確り	1	品さだめ	2	シブシブ (和・副)	
しっかり	63	品定め	1	シブシブ	1
シツクリ (和・副)		シナジナ (和・名)		しぶしぶ	2
シツクリ	1	品々	4	ジブン (漢・名)	
しつくり	1	品じな	1	自分	449
ジツクリ (和・副)		シナゾロエ (和・名)		じぶん	4
ジツクリ	4	品揃え	1	シボリ (和・名)	
じつくり	21	品ぞろえ	1	紋り	3
ジツサイ (漢・名)		シナモノ (和・名)		しばり	3
実際	140	品物	19	シボル (和・動)	
実さい	1	品もの	1	シボル	1
じっさい	2	シニセ (和・名)		しぼる	57
シツシン (漢・名)		老舗	8	シマ (和・名)	
湿疹	3	シニセ	2	縞	1
湿しん	1	しにせ	4	シマ	1
シツシン	1	シノギ (和・名)		しま	4
しっしん	1	シノギ	1	シマツ (漢・名)	
シツソウ (漢・名)		しのぎ	7	始末	46
失踪	2	シノグ (和・動)		しまつ	2
失そう	1	凌ぐ	3	シマツク (和・感)	
ジツツキ (混・名)		シノグ	1	シマツク	1
地繞き	1	しのぐ	20	しまった	1
地つづき	1	シノビコム (和・動)		シマリ (和・名)	
シツト (漢・名)		忍び込む	9	シマリ	1
嫉如	6	忍びこむ	1	しまり	2
しっと	2	しのびこむ	1	シマル (和・動)	
ジツト (和・副)		シノブ (和・動)		締まる	2
ジツと	1	忍ぶ	3	閉まる	1
じっと	14	偲	1	シマる	1
シツボ (和・名)		しのぶ	13	しまる	5
シツボ	1	シハライ (和・名)		シミ (和・名)	
しっぱ	2	支払い	69	シミ	19
シツヨウ (漢・名)		支払	6	しみ	2
執拗	2	シバラク (和・副)		ジミ (漢・名)	
執よう	1	暫く	1	地味	14
しつよう	4	しばらく	51	じみ	2
シテ (和・名)		シバリアゲル (和・動)		シミコム (和・動)	
仕手	38	縛りあげる	2	しみ込む	2
シテ	7	縛り上げる	1	しみこむ	4
ジテン (漢・名)		しばりあげる	2	シミトオル (和・動)	
自転	54	シバル (和・動)		しみとおる	1
じてん	1	縛る	3	しみとほる	1
シトウ (漢・名)		しばる	15	シミル (和・動)	
死闘	3	シハン (漢・名)		泌みる	1
死斗	3	四半	10	しみる	10
シトメル (和・動)		4半	1	シミワタル (和・動)	
仕止める	1	シビレ (和・名)		凍みわたる	1
しとめる	2	シビレ	2	しみ渡る	1
シナウス (和・名)		しびれ	3	しみわたる	1
品薄	6	シブイ (和・形)		シメキリ (和・名)	

締切	19	者	2634	じゅう	1
締切り	14	しゃ	1	シュウアケ(混・名)	
締め切り	7	シャ(漢・名)		週明け	6
メ切	10	車	679	週あけ	1
メ切り	2	しゃ	2	ジュウタン(漢・名)	
しめ切り	1	ジャア(和・感)		絨毯	1
しめきり	1	ジャァ	1	絨たん	1
シメキル(和・動)		じゃあ	3	ジュウタン	4
締め切る	7	ジャガイモ(混・名)		じゅうたん	6
締切る	6	ジャガイモ	3	シュウトメ(和・名)	
締めきる	1	じゃがいも	3	姑	4
メ切る	1	シャク(漢・名)〔瘡〕		シュウトメ	1
しめ切る	3	シャク	1	しゅうとめ	1
しめきる	1	しゃく	1	ジュウブン(漢・名)	
シメククリ(和・名)		シャクシ(漢・名)		十分	257
締めくくり	3	杓子	1	充分	6
しめくくり	8	シャクシ	4	じゅうぶん	5
シメクロス(和・動)		ジャコウ(漢・名)		シュール(外・名)	
絞殺す	1	麝香	2	シュール	3
絞め殺す	1	ジャコウ	2	シュル	1
シメス(和・動)		シャダン(漢・名)		ジュク(漢・名)	
示す	309	しゃ断	11	塾	13
しめす	3	遮断	2	じゅく	2
シメダシ(和・名)		シャニムニ(和・副)		ジュズ(漢・名)	
締出し	2	シャニムニ	3	数珠	2
締め出し	1	しゃにむに	1	じゅず	1
しめ出し	1	ジャマ(漢・名)		シュセキ(漢・名)	
シメダス(和・動)		邪魔	6	首席	16
締め出す	6	ジャマ	2	主席	10
締出す	2	じゃま	9	ジュチュウ(漢・名)	
締めだす	1	シャモジ(漢・名)		受注	28
閉め出す	1	シャモジ	1	受註	1
しめ出す	3	しゃもじ	4	シュッショウ(漢・名)	
シメル(和・動)		ジャリ(和・名)		出生	9
占める	92	砂利	1	しゅっしょう	1
しめる	10	ジャリ	4	ジュニア(外・名)	
シメル(和・動)		じゃり	2	ジュニア	12
締める	8	ジャリョウ(漢・名)		ジュニア	1
閉める	3	車両	31	シュヨウ(漢・名)	
絞める	1	車輛	6	腫瘍	1
しめる	19	シャレ(漢・名)		しゅよう	2
シメル(和・動)		洒落	1	シュン(漢・名)〔旬〕	
湿る	4	シャレ	3	シュン	1
しめる	4	しゃれ	12	しゅん	1
ジモト(混・名)		シャレル(和・動)		ジュンカン(漢・名)	
地元	127	洒落る	1	循環	28
地もと	1	しゃれる	7	じゅんかん	1
シモトリ(和・名)		ジャンパー(外・名)		ジュンスイ(漢・名)	
霜とり	5	ジャンパー	16	純粹	21
霜取	2	ジャンパー	1	純スイ	1
霜取り	2	ジュウ(漢・尾)		ショー(外・名)	
シャ(漢・名)		中	109	ショー	64

ショウ	12
ショウ (漢・尾)	
娘	31
じょう	3
ショーウィンドー (外・名)	
ショーウィンドー	1
ショーウィンド	1
ショウガ (漢・名)	
ショウガ	10
しょうが	5
ショウキ (漢・名)	
常規	1
常軌	1
ショウキョウ (漢・名)	
状況	110
情況	2
ショウグン (漢・名)	
將軍	96
ショウグン	2
ショウサン (漢・名)	
硝酸	1
しょう酸	1
ショウサン (漢・名)	
称赞	8
賞讃	2
ショウズ (漢・名)	
上手	20
じょうず	10
ショウセイ (漢・名)	
勝勢	3
勝盛	1
ショウブ (漢・名)	
丈夫	25
じょうぶ	3
ショウユ (漢・名)	
醬油	11
ショウ油	2
しょう油	2
ショウユ	1
しょうゆ	40
ショウリュウ (漢・名)	
蒸馏	4
蒸留	1
ショウリ (漢・名)	
淨瑠璃	3
淨る	1
ショールーム (外・名)	
ショールーム	9
ショウルーム	1
ショカン (漢・名)	
書簡	51
書翰	1

ショクサン (漢・名)	
殖産	4
ショクサン	1
ショクヨク (漢・名)	
食欲	29
食慾	1
ジョジョウ (漢・名)	
叙情	8
抒情	4
シラサギ (和・名)	
白鷺	2
白サギ	2
シラセ (和・名)	
知らせ	25
しらせ	3
シラナミ (和・名)	
白波	1
白浪	1
しらなみ	1
シラベ (和・名)	
調べ	250
調	1
シラベシヨ (混・名)	
調べ所	1
調所	1
シラベル (和・動)	
調べる	187
しらべる	4
シラミツブシ (和・名)	
シラミつぶし	2
しらみつぶし	1
シリ (和・名)	
尻	2
シリ	6
しり	1
シリアイ (和・名)	
知り合い	5
知合い	4
しりあい	1
シリアウ (和・動)	
知り合う	11
知合う	2
知りあう	1
シリアガリ (和・名)	
シリあがり	1
しりあがり	1
シリコン (外・名)	
シリコン	6
シリコーン	1
シリシリ (和・副)	
シリシリ	5
じりじり	4

シリソク (和・動)	
退く	5
しりぞく	3
シリゾケル (和・動)	
退ける	7
卻ける	1
しりぞける	6
シリダカ (和・名)	
シリ高	5
じり高	2
シリヒン (混・名)	
シリ貧	5
じり貧	2
シリメ (和・名)	
シリ目	2
しり目	3
尻目	1
シリヤス (和・名)	
シリ安	14
じり安	10
シル (和・動)	
知る	412
識ル	1
しる	8
シルコ (和・名)	
シルコ	1
しるこ	2
シルシ (和・名)	
印	20
しるし	14
シレル (和・動)	
知れる	65
しれる	147
ジレンマ (外・名)	
ジレンマ	4
ディレンマ	2
シロアリ (和・名)	
白アリ	2
白蟻	1
シロアリ	4
しろあり	1
シロウト (和・名)	
素人	3
シロウト	1
しろうと	7
シロギス (和・名)	
白ギス	3
シロギス	6
シロクロ (和・名)	
白黒	9
しろくろ	2
シロネズミ (和・名)	

白ネズミ	4	辛抱	9	スウ (和・動)	
シロネズミ	1	しんぼう	4	吸う	13
シロバイ (混・名)		シンボク (漢・名)		すう	5
白バイ	1	親ばく	3	スウセイ (漢・名)	
シロバイ	1	親睦	2	すう勢	2
シワ (和・名)		シンボジウム (外・名)		趨勢	1
シワ	10	シンボジウム	8	ズウツト (和・副)	
しわ	4	シンボジウム	1	ずーっと	1
シワザ (和・名)		ジンマシン (漢・名)		ずうっと	2
仕業	3	ジンマシン	1	スエ (和・名)	
しわざ	2	じんましん	2	末	31
シワヨセ (和・名)		ジンモン (漢・名)		すえ	13
シワ寄せ	6	尋問	3	スエオキ (和・名)	
しわよせ	2	訊問	1	据置き	56
シン (漢・名) (芯)		じんもん	1	据置	12
シン	12	ス (和・名)		据え置き	8
しん	5	素	1	すえ置き	1
シンガタ (混・名)		す	1	スエオク (和・動)	
新型	28	スイート (外・名)		据置く	8
新形	1	スイート	3	据え置く	7
シンク (漢・名)		スイート	1	据えおく	1
真紅	1	スイガラ (和・名)		すえおく	1
深紅	1	吸いがら	7	スエル (和・動)	
シンズイ (漢・名)		すいがら	1	据える	3
真髓	4	スイコム (和・動)		すえる	10
神髓	2	吸いこむ	3	ズガ (漢・名)	
シンセツ (漢・名)		吸い込む	1	図画	3
親切	52	すいこむ	1	ずが	1
しんせつ	1	スイスイ (和・副)		スガタ (和・名)	
ジンソウ (漢・名)		スイスイ	2	姿	268
ジン臓	6	すいすい	1	すがた	2
腎臓	4	スイセイ (漢・名)		スキ (和・名)	
じん臓	2	彗星	1	好き	96
ジンソク (漢・名)		すい星	1	好	1
迅速	3	スイセン (漢・名)		すき	6
じん速	1	推薦	61	スキ (和・名) (隙)	
ジンチョウゲ (漢・名)		推せん	7	スキ	15
沈丁花	2	推選	2	すき	4
ジンチョウゲ	1	すいせん	4	スギ (和・名)	
シントウ (漢・名)		スイソウ (漢・名)		杉	3
浸透	25	水稽	3	スギ	1
滲透	1	水そう	1	スギ (和・名)	
ジンドル (混・動)		スイトル (和・動)		過ぎ	26
陣取る	3	吸い取る	1	過	1
陣どる	2	吸いとる	1	すぎ	211
シンビョウ (漢・名)		ズイヒツ (漢・名)		スギサル (和・動)	
信びょう	2	随筆	12	過ぎ去る	4
信憑	1	ずいひつ	1	すぎ去る	1
シンブン (漢・名)		ズイブン (漢・名)		すぎさる	1
新聞	534	随分	1	スキトオル (和・動)	
しんぶん	1	ずい分	1	透き通る	1
シンボウ (漢・名)		ずいぶん	21	すき透る	1

すきとおる	1	すご味	1	スタンド (外・名)	
スキマ (和・名)		スサマジイ (和・形)		スタンド	4 1
すき間	1 0	凄じい	1	すたんど	1
スキ間	1	すさまじい	1 0	スチュワードス (外・名)	
スキマ	1	スシ (和・名)		スチュワードス	1 3
すきま	1	鮠	1	スチュアデス	1
スキヤキ (和・名)		寿司	1	ズツ (和・尾)	
すき焼	4	スシ	3	宛	3
スキヤキ	1	すし	3	ずつ	1 1 8
スギル (和・尾)		スジ (和・名)		スッキリ (和・副)	
過ぎる	7 5	筋	8 7	スッキリ	9
すぎる	1 4 7	スジ	1 4	すっきり	1 5
ズキン (和・名)		すじ	2	ステキ (和・名)	
ズキン	1	スジチガイ (和・名)		素敵	3
ずきん	2	筋違	1	ステキ	9
スグ (和・副)		スジちがい	1	すてき	2 6
スグ	8	スジミチ (和・名)		スデニ (和・副)	
すぐ	2 1 9	スジ道	1	既に	1 1
スクウ (和・動)		筋道	1	すでに	3 0 3
果かう	2	スジムカイ (和・名)		ステル (和・動)	
果食う	1	筋向	2	捨てる	6 1
スクナイ (和・形)		筋向	1	棄てる	4
少ない	2 5 3	スジメ (和・名)		すてる	1 2
少い	2	筋目	1	ストーリー (外・名)	
すくない	1	すじ目	1	ストーリー	4
スクナクモ (和・副)		スジョウ (漢・名)		ストーリー	1
少なくも	1	索性	3	スナオ (和・名)	
すくなくも	1	索性	1	素直	1 2
スクナクトモ (和・副)		スズ (和・名)〔錫〕		すなお	1 5
少なくとも	3 3	スズ	3	スナワチ (和・副)	
少くとも	1	すず	2	即ち	1
すくなくとも	1	ススム (和・動)		すなわち	4 2
スグレル (和・動)		進む	1 9 6	ズバヌケル (和・動)	
優れる	1 2	すすむ	1 3	ズバ抜ける	4
秀れる	1	ススメ (和・名)		ずば抜ける	3
すぐれる	9 2	勧	1	ずばぬける	2
スゴイ (和・形)		すすめ	2 1	スバヤイ (和・形)	
凄	1	ススメル (和・動)		素早い	2
スゴイ	1	進める	2 3 2	すばやい	9
すごい	2 4	勧める	5	スバラシイ (和・形)	
スコール (外・名)		薦める	1	素晴らしい	6
乾杯	1	すすめる	5 0	素晴らしい	3
スコール	4	スズラン (混・名)		すばらしい	8 5
スコシ (和・副)		スズラン	4	スバラシサ (和・名)	
少し	1 6 9	すずらん	2	素晴らしい	2
すこし	1 5	スソ (和・名)		すばらしさ	7
スゴス (和・動)		裾	2	ズバリ (和・副)	
過ごす	3 3	スソ	7	ズバリ	2 3
過す	1	すそ	6	ずばり	4
すごす	5	スター (外・名)		スピーカー (外・名)	
スゴミ (和・名)		スター	5 6	スピーカー	1 3
スゴ味	1	スタア	1	スピーカ	1 7

スベ (和・名)		すみ	18	鋭い	51
術	1	ズミ (和・尾)		するどい	6
すべ	3	済	8	スルドサ (和・名)	
スペシャル (外・名)		済み	4	鋭さ	5
スペシャル	13	ずみ	32	鋭どさ	1
スペシャル	1	スミコミ (和・名)		ズレ (和・名)	
スペシャル	2	住込み	7	ズレ	2
スベスベ (和・副)		住み込み	2	ずれ	7
スベスベ	3	スミツク (和・動)		ズレコム (和・動)	
すべすべ	4	住みつく	1	ズレ込む	2
スベテ (和・名)		すみつく	1	ずれこむ	1
全て	1	スミヤカ (和・副)		スレスレ (和・副)	
統べて	1	速やか	5	スレスレ	1
スベテ	1	速か	2	すれすれ	7
すべて	251	すみやか	13	スレチガイ (和・名)	
スベリダイ (混・名)		スミレ (和・名)		スレ違い	2
スベリ台	3	スミレ	2	すれ違い	1
すべり台	1	すみれ	4	すれちがひ	3
滑り台	1	スミワタル (和・動)		スレチガウ (和・動)	
スベリダシ (和・名)		澄みわたる	1	すれ違う	8
すべり出し	5	すみわたる	1	すれちがう	1
すべりだし	1	スム (和・動)		スワリコミ (和・名)	
スベリダス (和・動)		済む	9	すわり込み	3
すべり出す	2	すむ	86	すわりこみ	2
すべりだす	2	スム (和・動)		スワリコム (和・動)	
スベル (和・動)		住む	96	すわり込む	8
滑る	2	棲む	2	座りこむ	1
すべる	15	スム	1	すわりこむ	5
スポーツウェア (外・名)		すむ	2	スワル (和・動)	
スポーツウェア	2	スム (和・動)		座る	4
スポーツウェア	1	澄む	8	坐る	3
スポンジ (外・名)		すむ	1	すわる	32
スポンジ	7	スムーズ (外・名)		スンナリ (和・副)	
スポンヂ	1	スムーズ	16	スンナリ	1
スマイ (和・名)		スモース	2	すんなり	3
住い	16	スモッグ (外・名)		セ (和・名)	
住まい	6	スモッグ	29	背	11
住マイ	1	スモック	3	せい	1
すまい	6	スラスラ (和・副)		セイ (漢・頭)	
スマス (和・動)		スラスラ	1	精	10
済ます	15	すらすら	1	せい	3
すます	3	ズラリ (和・副)		セイカン (漢・名)	
スマナイ (和・感)		ズラリ	5	精かん	4
すまない	5	ずらり	9	精悍	2
すまん	2	スリ (和・尾)		セイカン	1
シミ (和・名)		刷	9	ゼイコミ (混・名)	
墨	10	刷り	2	税込	2
シミ	1	すり	1	税込み	2
すみ	1	ズルズル (和・副)		セイジュウ (漢・名)	
シミ (和・名)		ズルズル	1	精揉	1
隅	9	ずるずる	6	せいじゅう	1
シミ	16	スルドイ (和・形)		セイノロイ (混・名)	

勢ぞろい	5	石鹼	13	セワニ (和・名)	
勢揃い	4	石けん	9	背ワニ	1
ゼイタク (漢・名)		せっけん	1	背わに	1
贅沢	1	セッケン (漢・名)		セン (漢・名)	
ゼイタク	5	席捲	2	栓	3
ぜいたく	12	席巻	2	セン	1
セイチョウ (漢・名)		ゼッサン (漢・名)		センイ (漢・名)	
成長	143	絶賛	43	繊維	90
生長	3	絶讃	5	せん維	2
セイトン (漢・名)		ゼツタイ (漢・副)		センイ	4
整とん	2	絶対	108	センエイ (漢・名)	
整頓	1	ゼツタイ	6	先鋭	6
セイフク (漢・名)		ぜったい	5	尖鋭	1
征服	13	セナカ (和・名)		センコウ (漢・名)	
せいふく	1	背中	18	線香	4
セオイ (和・名)		背なか	2	せんこう	2
背負	1	ゼニ (和・名)		センサイ (漢・名)	
背負い	1	銭	2	繊細	7
背おい	1	ゼニ	1	せんさい	1
セカセカ (和・副)		セノビ (和・名)		センザイ (漢・名)	
セカセカ	1	背伸び	2	洗剤	18
せかせか	1	背のび	1	洗ざい	1
セキ (和・名)		ゼヒ (漢・副)		センジョウ (漢・名)	
咳	2	是非	12	洗淨	3
セキ	4	ぜひ	93	洗じょう	1
せき	1	セマイ (和・形)		センセイ (漢・名)	
セキ (和・名)		狭い	54	先生	272
堰	3	せまい	18	センセイ	2
せき	1	セマル (和・動)		ゼンゼン (漢・副)	
セキガク (漢・名)		迫る	87	全然	27
碩学	3	せまる	12	ぜんぜん	6
せきがく	1	セメ (和・名)		ゼンソク (漢・名)	
セキニン (漢・名)		攻め	27	ゼンソク	8
責任	269	せめ	1	ぜんそく	3
せきにん	1	セメコム (和・動)		センクーライン (外・名)	
セクシー (外・名)		攻め込む	3	センターライン	3
セクシー	1	攻めこむ	1	センタライン	1
セクシィ	1	セメル (和・動)		ゼンタイ (漢・名)	
セジ (漢・名)		攻める	39	全体	177
世辞	2	せめる	1	ぜんたい	1
世事	1	セリアイ (和・名)		センタク (漢・名)	
せじ	1	せり合い	4	洗濯	32
セスジ (和・名)		せりあい	2	洗たく	40
背筋	1	セリアウ (和・動)		洗タク	1
背すじ	1	せり合う	3	センタク	1
セタケ (和・名)		せりあう	2	せんたく	2
背たけ	2	セリフ (和・名)		センチメートル (外・尾)	
背丈	1	セリフ	18	櫃	1
セッカク (漢・副)		せりふ	1	センチメートル	1
折角	4	ゼロ (外・名)		センバツ (漢・名)	
せっかく	39	零	1	選拔	58
セッケン (漢・名)		ゼロ	24	センバツ	1



ゼンブ (漢・名)		双書	1	底曳き	1
全部	143	ゾウスイ (漢・名)		ソセイ (漢・名)	
ぜんぶ	8	雑炊	1	蘇生	2
センベイ (漢・名)		ぞうすい	1	そ生	1
センベ	1	ソウソウ (漢・副)		ソング (和・動)	
せんべい	3	早々	29	注ぐ	18
ゼンページ (混・名)		そうそう	4	そそぐ	16
全ページ	2	ソウテイ (漢・名)		ソダチザカリ (和・名)	
全頁	1	装幀	4	育ち盛り	1
ゼンペン (漢・名)		装丁	2	育ちざかり	1
全編	6	装釘	1	ソダツ (和・動)	
全篇	1	装てい	1	育つ	30
ゾイ (和・尾)		ソドウ (漢・名)		そだつ	3
治い	9	騒動	37	ソダテアゲル (和・動)	
ぞい	7	そうどう	1	育てあげる	4
ソウ (和・動)		ゾウリ (漢・名)		育て上げる	2
沿う	14	草履	1	ソチ (漢・名)	
添う	2	ソウリ	1	措置	195
そう	35	ぞうり	5	ソチ	1
ソウ (漢・名)		ソエル (和・動)		ソツ (漢・名) [率]	
象	5	添える	18	ソツ	4
ソウ	2	そえる	33	そつ	1
ソウアクリ (混・名)		ソーダ (外・名)		ソックリ (和・副)	
総当り	1	曹達	2	ソックリ	1
総当たり	1	ソーダ	1	そっくり	22
ソウキョク (漢・名)		ゾーッ (和・副)		ソッコウ (漢・名)	
筈曲	1	ゾーッ	1	側溝	1
そう曲	1	ゾオッ	1	側こう	1
ソウケイ (漢・名)		ソクスル (混・動)		ソッコク (漢・名)	
造形	13	即する	7	ソッコク (漢・名)	
造型	3	則する	1	ソッコク (漢・名)	
ソウゴウ (漢・名)		ゾクゾク (漢・名)		ソッコク (漢・名)	
総合	209	続々	19	ソッコク (漢・名)	
綜合	10	ゾクゾク	1	ソッコク (漢・名)	
ソウサ (漢・名)		ぞくぞく	11	ソッコク (漢・名)	
造作	5	ソゲキ (漢・名)		ソッコク (漢・名)	
雑作	1	狙撃	3	ソッコク (漢・名)	
ソウザイ (漢・名)		そ撃	2	ソッコク (漢・名)	
総菜	1	ソコ (和・名)		ソッコク (漢・名)	
そうざい	5	底	46	ソッコク (漢・名)	
ソウシ (漢・名)		そこ	1	ソッコク (漢・名)	
草紙	4	ソコソコ (和・副)		ソッコク (漢・名)	
草子	1	ソコソコ	1	ソッコク (漢・名)	
双紙	1	そこそこ	3	ソッコク (漢・名)	
ソウジ (漢・名)		ソコヌケ (和・名)		ソッコク (漢・名)	
掃除	36	底ぬけ	4	ソッコク (漢・名)	
そうじ	5	底抜け	1	ソッコク (漢・名)	
ソウシボリ (混・名)		そこ抜け	1	ソッコク (漢・名)	
総しぼり	2	ソコビキ (和・名)		ソッコク (漢・名)	
総絞り	1	底引き	3	ソッコク (漢・名)	
ソウショ (漢・名)		底引	2	ソッコク (漢・名)	
叢書	6	底びき	2	ソッコク (漢・名)	

外	79	ソリ (和・名)〔反り〕		たいかい	1
そと	1	ソリ	1	ダイキライ (混・形)	
ソトガケ (和・名)		そり	4	大きらい	5
外掛け	3	ソル (和・動)		大嫌い	1
外がけ	1	剃る	3	タイクツ (漢・名)	
ソトギ (和・名)		そる	3	退屈	4
外着	1	ソル (和・動)		たいくつ	1
外衣	1	反る	1	タイコ (漢・名)	
ソトボリ (和・名)		そる	3	太鼓	7
外濤	1	ソレ (和・代)		タイコ	3
外ぼり	2	ソレ	1	たいこ	2
ソナエツケ (和・名)		それ	1453	ダイコン (漢・名)	
備えつけ	2	ソロイ (和・名)		大根	12
備え付け	1	揃	6	ダイコン	21
ソナエル (和・動)		揃い	4	だいこん	1
備える	61	そろい	31	ダイジ (漢・名)	
そなえる	21	ソロウ (和・動)		大事	41
ソナワル (和・動)		揃う	10	だいい	7
備わる	4	そろろ	56	タイシタ (混・連)	
そなわる	2	ソロエ (和・名)		大した	11
ソノ (和・連)		揃	4	たいした	12
其	1	そろえ	3	タイシテ (混・副)	
その	3368	ソロエル (和・動)		大して	2
ソバ (和・名)		揃える	13	たいして	5
傍	1	そろえる	49	ダイジョウブ (漢・名)	
そば	30	ソロソロ (和・副)		大丈夫	16
ソバ (和・名)		ソロソロ	1	だいいょうぶ	6
ソバ	1	ぞろぞろ	2	タイスル (混・動)	
そば	9	ソロバン (混・名)		対する	1122
ソバカス (和・名)		ソロバン	5	たいする	36
ソバカス	12	そろばん	10	タイセツ (漢・名)	
そばかす	1	ソワソワ (和・副)		大切	103
ソバメ (和・名)		ソワソワ	1	たいせつ	8
側妾	2	そわそわ	1	タイソウ (漢・名)	
側女	1	ゾンジル (混・動)		体操	33
ソバヤ (和・名)		存じる	15	体そう	2
ソバ屋	1	存知る	6	たいそう	5
そば屋	1	ゾンブン (漢・名)		ダイタイ (漢・副)	
そばや	1	存分	8	大体	22
ソファ (外・名)		ぞんぶん	5	だいたい	15
ソファ	3	タイ (漢・名)		ダイダイ (和・名)	
ソファー	1	対	153	橙	1
ソマツ (漢・名)		タイ	4	ダイダイ	1
粗末	12	タイアタリ (混・名)		タイテイ (漢・副)	
ソマツ	1	体当たり	6	大抵	3
そまつ	1	体あたり	1	大てい	1
ソムク (和・動)		体当り	5	たいてい	17
背く	1	ダイイチ (漢・副)		タイヒ (漢・名)	
そむく	5	第一	13	退避	7
ソヨカゼ (和・名)		だいいち	3	待避	6
微風	4	タイカイ (漢・名)		ダイブ (漢・副)	
そよ風	4	大会	570	大分	9

だいぶ	19	タカラ	7	タコ	5
タイフウ (漢・名)		タカラモノ (和・名)		タシ (和・名)〔足し〕	
台風	125	宝物	4	タシ	2
颱風	4	宝もの	1	たし	1
タイヘイ (漢・名)		ダキコム (和・動)		ダシ (和・名)〔出し〕	
太平	14	抱きこむ	2	だし	4
泰平	1	抱き込む	1	ダシ	7
タイヘン (漢・副)		タキダシ (和・名)		ダシイレ (和・名)	
大変	75	タキ出し	1	出し入れ	4
大へん	5	たき出し	1	出し入れ	1
たいへん	70	タキビ (和・名)		タシカ (和・副)	
タイヨウ (漢・名)		焚火	3	確か	38
太陽	79	たき火	2	たしか	70
たいよう	1	タク (和・動)		タシカメル (和・動)	
タイルバリ (混・名)		焚く	1	確かめる	25
タイル張	1	たく	1	たしかめる	6
タイル貼り	1	タクアン (漢・名)		タシザン (混・名)	
タウエ (和・名)		タクアン	2	足し算	2
田植え	4	たくあん	2	たし算	1
田植	2	タグイ (和・名)		ダシジル (和・名)	
タエマ (和・名)		類い	1	ダシ汁	1
絶え間	2	たぐい	3	だし汁	1
絶えま	1	タクサン (漢・名)		ダシモノ (和・名)	
たえま	1	沢山	8	だし物	2
タエル (和・動)		たくさん	92	出しもの	1
耐える	47	タクシー (外・名)		だしもの	8
堪える	2	タクシー	90	タス (和・動)	
たえる	7	タクシ	1	足す	3
タオス (和・動)		タクミ (和・名)		達す	1
倒す	12	巧み	27	たす	3
たおす	1	たくみ	10	ダス (和・動)	
タカイ (和・形)		タケ (和・名)		出す	598
高い	307	丈	1	だす	57
たかい	1	タケ	1	ダス (和・尾)	
タガイ (和・名)		たけ	5	出す	51
互い	59	タケナワ (和・名)		だす	13
互	3	タケナワ	1	タスケアイ (和・名)	
たがい	12	たけなわ	4	助け合い	1
タカダカ (和・副)		タケノコ (和・名)		たすけ合い	1
高々	3	タケノコ	1	たすけあい	1
たかだか	1	たけのこ	1	タスケル (和・動)	
タカマル (和・動)		タケヤブ (和・名)		助ける	42
高まる	43	竹やぶ	3	たすける	1
たかまる	4	タケやぶ	4	タズネビト (和・名)	
タカメ (和・名)		タケル (和・動)		尋ね人	1
高め	10	猛る	1	たずね人	1
高目	8	たける	1	タズネル (和・動)	
タカメル (和・動)		タコ (和・名)〔蛸〕		訪ねる	9
高める	83	たこ	1	尋ねる	3
たかめる	3	タコ	3	訊ねる	1
タカラ (和・名)		タコ (和・名)〔蛸〕		たずねる	75
宝	9	たこ	6	たづねる	1

タソガレ (和・名)		たたずむ	2	立入る	4
黄昏	1	たたづむ	1	立ち入る	3
たそがれ	3	タダチニ (和・副)		タチオクレル (和・動)	
タダ (和・副)		直ちに	4 9	立ち遅れる	5
唯	2	直ニ	2	立遅れる	2
只	1	ただちに	3 9	立ちおくれる	1
タダ	1	タタミ (和・名)		たち遅れる	1
ただ	1 1 2	畳	7	タチギエ (和・名)	
たゞ	6	タタミ	4	立ち消え	3
タダ (和・名)		タダヨウ (和・動)		立消え	2
タダ	3	漂う	4	タチキル (和・動)	
ただ	1 1	ただよう	1 3	断ち切る	4
タダイマ (和・副)		タタル (和・動)		たち切る	1
只今	7	崇る	1	たちきる	1
ただ今	3	たたる	9	タチコメル (和・動)	
ただいま	1 0	タダレ (和・名)		立ちこめる	3
タタエル (和・動)		タダレ	1	たちこめる	3
譏える	1	ただれ	9	タチサル (和・動)	
たたえる	1 6	タチ (和・尾)		立ち去る	3
タタカイ (和・名)		達	1 4	立ちさる	1
戦い	5 3	たち	1 1 9 5	タチドマル (和・動)	
闘い	1 1	タチ (和・名) (質)		立ち止まる	2
斗い	1	タチ	2	立ちどまる	1
戦ひ	1	たち	1	タチナオリ (和・名)	
たたかい	9	タチ (和・頭)		立ち直り	9
タタカウ (和・動)		立	1 2	立直り	8
戦う	6 5	立ち	7	タチナオル (和・動)	
闘う	1 0	タチアイ (和・名)		立ち直る	9
斗う	1	立合い	1 1	立直る	3
たたかう	1 4	立会い	4	タチナラブ (和・動)	
タタキコム (和・動)		立ち会い	4	建ち並ぶ	2
たたき込む	5	立会	3	立並ぶ	1
たたきこむ	4	タチアウ (和・動)		タチノキ (和・名)	
タタキダス (和・動)		立ち会う	3	立退	2
たたき出す	6	立会う	4	立退き	3
たたきだす	2	立ち合う	1	立ちのき	3
タタキツケル (和・動)		タチアガリ (和・名)		タチノク (和・動)	
叩きつける	1	立上り	2	立ちのく	2
たたきつける	4	立ち上がり	2	立退く	1
タタク (和・動)		タチアガル (和・動)		タチノボル (和・動)	
叩く	3	立ち上がる	7	立上る	1
たたく	3 5	立上る	4	立ちのぼる	1
タダシ (和・接)		立上がる	4	たちのぼる	1
但し	8	立ち上る	2	タチハダカル (和・動)	
ただし	5 0	立ちあがる	4	立ちはだかる	1
タタス (和・動)		起ちあがる	1	たちはだかる	1
立たす	3	たち上がる	1	タチバナシ (和・名)	
たたす	1	タチイリ (和・名)		立話	1
タダス (和・動)		立入り	6	立話し	1
正す	1 8	立ち入り	4	タチマチ (和・副)	
ただす	1 6	立入	1	忽ち	3
タタズム (和・動)		タチイル (和・動)		たちまち	2 3

タチマワリ (和・名)		ダテ (和・尾)		たな	1
立ちまわり	2	立て	14	タナイタ (和・名)	
立回り	1	立	3	棚板	1
タチヨル (和・動)		タテカエ (和・名)		タナ板	1
立寄る	2	建て替え	1	タナバタ (和・名)	
立ち寄る	10	建てかえ	1	七夕	3
タツ (和・動)		タテカエル (和・動)		たなばた	1
立つ	246	立替える	1	タニ (和・名)	
建つ	22	たてかえる	1	谷	19
たつ	43	タテガキ (和・名)		溪	1
タツ (和・動)		タテ書	1	タヌキ (和・名)	
発つ	2	タテ書き	1	狸	3
たつ	3	タテナオシ (和・名)		タヌキ	1
タツ (和・動)		建て直し	5	たぬき	2
断つ	24	立て直し	4	タネ (和・名)	
裁つ	11	タテナオス (和・動)		種	9
絶つ	5	建て直す	11	タネ	24
たつ	4	立て直す	3	たね	5
タツ (和・動)		建てなおす	1	タノシイ (和・形)	
経つ	3	たてなおす	1	楽しい	121
たつ	53	タテバス (混・名)		愉しい	1
ダツゼイ (漢・名)		タテバス	1	たのしい	20
脱税	28	たてバス	2	タノシサ (和・名)	
だつぜい	1	タテマエ (和・名)		楽しさ	25
タツク (和・副)		建前	9	愉しさ	2
タツク	2	建て前	9	たのしさ	3
たった	40	たてまえ	2	タノシミ (和・名)	
タツイ (和・形)		タテマシ (和・名)		楽しみ	38
尊い	5	建増し	1	たのしみ	10
貴い	1	建て増し	1	タノシム (和・動)	
タツブ (和・動)		タテマツル (和・動)		楽しむ	119
尊ぶ	1	奉る	1	愉しむ	1
たつとぶ	1	たてまつる	2	たのしむ	14
タッパーウェア (外・名)		タテモノ (和・名)		タノム (和・動)	
タッパーウェア	4	建物	76	頼む	56
タッパーウェア	1	建て物	16	たのむ	13
タッパウェア	1	タテル (和・動)		タノモシイ (和・形)	
タツブリ (和・副)		立てる	64	頼もしい	5
たつぶり	45	建てる	53	頼母しい	1
タツブリ	8	たてる	61	たのもし	3
タテ (和・名)		タトエバ (和・接)		タバコ (外・名)	
盾	2	例えば	26	煙草	4
タテ	5	たとえば	148	たばこ	34
タテ (和・名)		タドリツク (和・動)		タバコ	38
縦	16	たどり着く	2	タバネル (和・動)	
堅	1	たどりつく	8	束ねる	1
タテ	6	タドル (和・動)		タバねる	1
たて	1	辿る	1	タビ (和・名)	
ダテ (和・尾)		たどる	61	足袋	2
建	75	タナ (和・名)		たび	1
建て	4	棚	7	タビ (和・名)	
だて	1	タナ	12	度	2

たび	60	黙る	18	足りる	34
タビカサナル(和・動)		だまる	4	たりる	1
たび重なる	3	タムロ(和・名)		タル(和・名)	
度重なる	2	タムロ	1	樽	2
タビナレル(和・動)		たむろ	1	たる	4
旅慣れる	1	タメ(和・名)		タル(和・動)	
旅なれる	1	為	8	足る	18
タビビト(和・名)		ため	2463	たる	1
旅人	3	ダメ(混・名)		ダルマ(漢・名)	
旅びと	1	駄目	2	ダルマ	3
タブー(外・名)		ダメ	31	だるま	1
タブー	4	だめ	22	ダレ(和・名)	
タブウ	1	タメイキ(和・名)		ダレ	3
タブン(漢・副)		ため息	8	だれ	2
多分	17	溜息	2	ダレ(和・代)	
たぶん	5	タメ息	1	誰	23
タベモノ(和・名)		ためいき	1	誰れ	1
食べもの	6	タメコム(和・動)		だれ	146
食べ物	5	貯めこむ	1	タレサガル(和・動)	
たべもの	1	ためこむ	1	たれ下がる	1
タベル(和・動)		タメシ(和・名)		たれさがる	1
食べる	103	試し	1	タレル(和・動)	
たべる	12	ためし	4	垂れる	1
ダホ(漢・名)		タメス(和・動)		たれる	2
ダ捕	1	試す	13	タワシ(和・名)	
だ捕	1	ためす	9	タワシ	2
タマ(和・名)		タメル(和・動)		たわし	1
球	18	矯める	1	タン(漢・名)	
玉	3	ためる	2	譚	3
弾	1	タメル(和・動)		たん	1
タマ	27	貯める	11	タンキュウ(漢・名)	
タマウ(和・動)		ためる	4	探究	31
給う	3	タモツ(和・動)		探求	4
たまう	6	保つ	54	タンゲン(漢・名)	
タマゴ(和・名)		たもつ	3	探険	2
卵	39	タヨリ(和・名)		探検	9
タマゴ	4	便り	25	ダンゴ(混・名)	
タマシイ(和・名)		タヨリ	1	団子	1
魂	18	たより	27	ダンゴ	1
タマシイ	1	タヨリ(和・名)		だんご	4
ダマシトル(和・動)		頼り	7	タンコウ(漢・名)	
だまし取る	3	たより	17	炭鉱	20
だましとる	12	タヨル(和・動)		炭礦	5
タマネギ(和・名)		頼る	17	タンザク(漢・名)	
玉ねぎ	2	たよる	16	短冊	1
玉ネギ	1	タラ(和・名)		たんざく	2
タマネギ	12	鱈	1	タンス(漢・名)	
たまねぎ	1	タラ	5	タンス	19
タマモノ(和・名)		タラス(和・動)		たんす	16
賜物	1	垂らす	2	タンゼン(漢・名)	
たまもの	2	たらす	4	丹前	4
ダマル(和・動)		タリル(和・動)		たんぜん	1

ダンゼン (漢・副)		小さい	109	チッソ (漢・名)	
断然	6	ちいさい	1	窒素	8
だんぜん	4	チイサナ (和・連)		チッソ	1
タンタン (漢・副)		小さな	75	チナミニ (和・接)	
淡々	5	ちいさな	2	チナミニに	1
たんたん	2	チエ (漢・名)		ちなみに	5
タンチョウ (漢・名)		知恵	29	チナム (和・動)	
丹頂	2	チエ	9	因む	1
タンチョウ	2	チューン (外・名)		ちなむ	16
ダンドリ (混・名)		チューン	15	チビル (和・動)	
段取り	17	チエン	1	チビる	2
段どり	1	チカイ (和・形)		ちびる	1
ダンナ (外・名)		近い	256	チマナコ (和・名)	
旦那	2	ちかい	7	血眼	1
だんな	2	チガイ (和・尾)		血まなこ	1
タンナル (混・連)		違い	4	チミツ (漢・名)	
単なる	34	ちがい	27	綴密	2
たんなる	5	チガウ (和・動)		ち密	1
タンニ (混・副)		違う	183	チャッカリ (和・副)	
単に	36	ちがう	67	チャッカリ	1
たんに	4	チカゴロ (和・名)		ちゃっかり	1
タンネン (漢・名)		近ごろ	26	チャヅケ (混・名)	
たん念	2	近頃	5	茶漬	3
丹念	1	ちかごろ	9	茶づけ	2
たんねん	5	チカチカ (和・副)		チャノユ (混・名)	
タンノウ (漢・名)		ちかちか	1	茶の湯	6
堪能	2	チカチカ	1	茶ノ湯	1
たんのう	4	チカヅク (和・動)		チャワン (漢・名)	
タンバク (漢・名)		近づく	60	茶わん	3
蛋白	4	近付く	1	茶碗	2
タン白	2	チカヨル (和・動)		チャン (和・尾)	
たん白	1	近寄る	5	チャン	7
タンバク	9	近よる	3	ちゃん	295
たんばく	12	チカラコブ (和・名)		チャンネル (外・名)	
タンペン (漢・名)		力コブ	4	チャンネル	40
短編	7	力こぶ	1	チャネル	1
短篇	2	チグハグ (和・名)		チュウガタ (混・名)	
たんべん	1	チグハグ	4	中型	12
タンボ (混・名)		ちぐはぐ	2	中形	1
田んぼ	7	チコク (漢・名)		チュウセン (漢・名)	
田甫	2	遅刻	4	抽せん	40
たんぼ	2	ちこく	1	抽選	34
ダンボール (混・名)		チソウ (漢・名)		チュウビン (漢・名)	
段ボール	6	馳走	2	中瓶	2
ダンボール	1	ちそう	10	中ビン	2
ダンワ (漢・名)		チザマル (和・動)		チュウヘン (漢・名)	
談話	21	縮まる	5	中篇	2
ダンワ	1	縮る	1	中編	2
チ (和・名)		ちぢまる	1	チョウ (漢・名)	
血	48	チザメル (和・動)		蝶	2
ち	1	縮める	5	チョウ	3
チイサイ (和・形)		ちぢめる	1	チョウダイ (漢・名)	

頂戴	2	チリバメル (和・動)		束の間	2
ちょうだい	4	散りばめる	1	つかのま	1
チョウチョウ (漢・名)		ちりばめる	5	ツカレ (和・名)	
蝶々	3	チリメン (混・名)		疲れ	5 4
ちょうちょう	1	縮面	3	つかれ	1
チョウチン (漢・名)		ちりめん	9	ツカレル (和・動)	
提灯	3	チンギン (漢・名)		疲れる	3 5
チョウチン	1	賃金	1 1 8	つかれる	3
ちょうちん	1	賃銀	1	ツキ (和・名) <天空>	
チョウド (漢・副)		ツァン (和・尾)		月	6 1
丁度	1	ツァン	1	つき	1
ちょうど	4 7	つぁん	2	ツキ (和・名) <時間>	
チョウヘン (漢・名)		ツイタチ (和・名)		月	5 0
長編	2 9	一日	3 1 9	つき	1
長篇	1 4	1日	1	ツキ (和・尾)	
チョウホウ (漢・名)		ツイタテ (和・名)		付	1 1 2
ちょう報	2	衡立	1	付き	2 7
諜報	1	ツイタテ	1	ツキ	1
チョクセツ (漢・名)		ついたて	1	つき	1 2 6
直接	1 6 7	ツイデ (和・接)		ツギ (和・名)	
ちよくせつ	1	次いで	7	次	3 1 9
チョット (和・副)		ついで	5 3	つぎ	2 3 4
一寸	2	ツイニ (和・副)		ツキアイ (和・名)	
チョット	1	遂に	9	つき合い	5
ちよっと	1 4 3	ついに	8 9	付き合い	1
チョッピリ (和・副)		ツイヤス (和・動)		つきあい	1 1
チョッピリ	2	費やす	7	ツキアウ (和・動)	
ちょっぴり	1 5	費す	2	つき合う	6
チョンギル (和・動)		ついやす	4	付合う	1
チョン切る	1	ツウ (漢・名)		つきあう	6
ちゃん切る	1	通	3 6	ツキアゲ (和・名)	
チョンマゲ (和・名)		ツウ	1	突き上げ	3
チョンマゲ	1	ツカイ (和・名)		突上げ	1
ちゃんまげ	1	使い	5	突きあげ	1
チラス (和・動)		つかい	8	つきあげ	1
散らす	9	ツカイコム (和・動)		ツキアゲル (和・動)	
ちらす	2	使い込む	1	つき上げる	2
チラバル (和・動)		つかいこむ	1	突きあげる	1
散らばる	6	ツカイミチ (和・名)		ツキアタル (和・動)	
ちらばる	4	使い道	3	突当る	1
チラホラ (和・副)		使いみち	1	つき当る	1
チラホラ	2	ツカイワケル (和・動)		つき当たる	1
ちらほら	1	使いわける	4	つきあたる	1
チリ (和・名)		使い分ける	2	ツキアワセル (和・動)	
塵	1	ツカウ (和・動)		突合せる	1
チリ	9	使う	5 5 5	突合わせる	1
チリダリ (和・副)		つかう	3 6	つき合わせる	1
ちりちり	2	ツカエル (和・動)		ツキイタ (和・名)	
ちりじり	1	仕える	6	突板	1
チリトリ (和・名)		つかえる	2	つき板	1
ちり取り	1	ツカノマ (和・名)		ツキオトシ (和・名)	
ちりとり	1	つかの間	8	突き落し	1



突き落とし	1	つきとめる	10	作り上げる	7
ツキカエス (和・動)		ツキハナス (和・動)		作りあげる	4
突き返す	1	突き放す	4	つくり上げる	4
突きかえす	1	突放す	1	創り上げる	1
つき返す	1	突き離す	1	創りあげる	1
ツキガケ (和・名)		つきはなす	2	つくりあげる	7
月掛	1	ツキバライ (和・名)		ツクリダス (和・動)	
月掛け	1	月払い	7	つくり出す	14
ツギコム (和・動)		月払	1	作り出す	5
つき込む	4	ツキヤブル (和・動)		作りだす	1
注ぎ込む	1	突き破る	3	創り出す	1
注ぎこむ	1	つき破る	1	創りだす	1
つきこむ	2	ツキル (和・動)		つくりだす	2
ツキササル (和・動)		尽きる	3	ツクル (和・動)	
突刺さる	1	つきる	10	作る	288
突きささる	1	ツク (和・動)		造る	14
ツキサス (和・動)		突く	18	創る	9
突き刺す	2	衝く	4	つくる	347
突差す	1	つく	47	ツケ (和・尾)	
つき刺す	1	ツク (和・動)		付	61
ツキソイ (和・名)		着く	44	付け	34
付き添い	5	付く	8	づけ	3
付添い	3	憑く	1	ツケ (和・尾)	
付添	1	つく	403	漬	2
付そい	1	ツグ (和・動)		づけ	11
つきそい	3	注ぐ	1	ツケアワセ (和・名)	
ツキノウ (和・動)		つぐ	1	つけ合せ	1
付添う	2	ツグ (和・動)		つけ合わせ	1
付き添う	2	継ぐ	8	ツケクワエル (和・動)	
つきそう	2	ツグ	7	つけ加える	12
ツキダス (和・動)		つぐ	10	付け加える	4
突き出す	5	ツグ (和・動)		ツケコム (和・動)	
突出す	2	次ぐ	31	つけ込む	6
つき出す	1	つぐ	13	つけこむ	2
ツキヅキ (和・名)		ツクス (和・動)		ツケモノ (和・名)	
月々	6	尽す	14	漬物	7
月づき	2	尽くす	14	つけ物	3
ツギツギ (和・副)		悉	1	つけもの	8
次々	24	悉くす	1	ツケル (和・動)	
次つぎ	1	つくす	44	付ける	6
つぎつぎ	38	ツクダニ (和・名)		つける	488
ツキツケル (和・動)		ツクダ煮	2	ツゲル (和・動)	
突きつける	6	つくだ煮	2	告げる	16
つきつける	9	佃煮	1	つげる	6
ツキデル (和・動)		つくだに	1	ツゴウ (漢・名)	
突出る	1	ツクリ (和・尾)		都合	37
突き出る	1	造り	16	つごう	5
つき出る	1	造	6	ツジ (和・名)	
つきでる	1	ツクリ (和・名)		辻	1
ツキトメル (和・動)		作り	10	つじ	1
突きとめる	2	つくり	147	ツタウ (和・動)	
つき止める	1	ツクリアゲル (和・動)		伝う	1

つたう 2  
 ツタエル (和・動) 167  
 伝える 2  
 つたえる 2  
 ツタワル (和・動) 25  
 伝わる 2  
 つたわる 2  
 ツチ (和・名) 21  
 土 1  
 ツチ 1  
 ツチカウ (和・動) 1  
 培う 1  
 培かう 1  
 つちかう 5  
 ツチクサイ (和・形) 1  
 土臭い 1  
 土くさい 1  
 ツツカケル (和・動) 2  
 突っかける 1  
 突っ掛ける 1  
 ツツキ (和・名) 5  
 続き 21  
 つづき 1  
 ツツキル (和・動) 1  
 突切る 1  
 突っ切る 1  
 ツツク (和・動) 282  
 続く 149  
 つづく 293  
 ツツケル (和・動) 123  
 続ける 5  
 つづける 2  
 ツツコミ (和・名) 1  
 突っ込み 2  
 突込み 1  
 突っこみ 20  
 ツツコム (和・動) 13  
 突っ込む 1  
 突込む 4  
 突っこむ 1  
 つっ込む 7  
 ツツジ (和・名) 4  
 ツツジ 2  
 つつじ 2  
 ツツシム (和・動) 4  
 慎む 1  
 慎しむ 2  
 謹む 3  
 つつしむ 3  
 ツツバシル (和・動)

突っ走る 5  
 突走る 1  
 つっ走る 1  
 ツツパネル (和・動) 1  
 突っばねる 1  
 つっばねる 1  
 ツツバリ (和・名) 1  
 突っ張り 1  
 突っばり 1  
 つっばり 1  
 ツツバル (和・動) 1  
 突張る 1  
 突っばる 1  
 ツツミ (和・名) 9  
 包 5  
 包み 1  
 つつみ 39  
 ツツム (和・動) 13  
 包む 6  
 つつむ 18  
 ツツル (和・動) 2  
 綴る 7  
 つづる 6  
 ツド (漢・名) 13  
 都度 6  
 つど 17  
 ツドイ (和・名) 57  
 集い 13  
 つどい 17  
 ツトメ (和・名) 57  
 勤め 13  
 つとめ 1  
 ツトメザキ (和・名) 1  
 勤め先 1  
 勤めさき 1  
 ツトメテ (和・副) 1  
 勉めて 1  
 努めて 5  
 つとめて 1  
 ツトメニン (和・名) 1  
 つとめ人 1  
 勤め人 52  
 ツトメル (和・動) 28  
 勤める 1  
 努める 15  
 務める 1  
 つとめる 1  
 ツナ (和・名) 5  
 綱 1  
 つな 1  
 ツナグ (和・動) 1  
 繋ぐ

つなぐ 36  
 ツネ (和・名) 40  
 常 36  
 つね 1  
 ツノル (和・動) 11  
 募る 2  
 つのる 3  
 ツバ (和・名) 1  
 唾 2  
 ツバ 3  
 つば 1  
 ツバサ (和・名) 9  
 翼 1  
 翅 2  
 つばさ 3  
 ツバメ (和・名) 4  
 ツバメ 3  
 つばめ 4  
 ツボ (和・名) 3  
 坪 7  
 ツボ 1  
 ツボミ (和・名) 1  
 ツボミ 3  
 つぼみ 156  
 ツマ (和・名) 1  
 妻 1  
 つま 10  
 ツマミ (和・名) 3  
 ツマミ 2  
 つまみ 26  
 ツマル (和・動) 2  
 詰る 2  
 つまる 27  
 ツミ (和・尾) 3  
 積 1  
 積み 2  
 積み 1  
 ツミアゲ (和・名) 2  
 積上げ 2  
 積み上げ 5  
 ツミアゲル (和・動) 2  
 積み上げる 1  
 積みあげる 3  
 つみあげる 1  
 ツミオロシ (和・名) 3  
 積みおろし 1  
 つみおろし 1  
 ツミカサナル (和・動) 1  
 積み重なる 1  
 積み重なる 1  
 ツミカサネ (和・名) 2  
 積み重ね

つみかさね	2	詰めよる	2	織く	1
ツミキ (和・名)		つめ寄る	1	つらぬく	5
積み木	4	つめよる	4	ツラネル (和・動)	
積木	2	ツメル (和・動)		連ねる	3
ツミコム (和・動)		詰める	9	つらねる	6
積み込む	6	つめる	12	ツリ (和・名) <釣り銭>	
積込む	2	ツモル (和・動)		ツリ	1
積みこむ	1	積る	1	つり	1
ツミダス (和・動)		つもる	2	ツリ (和・頭)	
積出す	1	ツヤ (和・名)		吊	1
積み出す	1	ツヤ	7	つり	1
ツミタテ (和・名)		つや	3	ツリ (和・名)	
積立	23	ツヤツヤ (和・副)		釣り	19
積み立て	4	ツヤツヤ	3	釣	8
積立て	3	つやつや	1	つり	11
積みたて	5	ツヤヤカ (和・名)		ツリアイ (和・名)	
ツミタテル (和・動)		ツヤヤか	1	釣合い	2
積立てる	8	つややか	1	釣り合い	1
積み立てる	5	ツユ (和・名)		ツリ合い	1
ツミトル (和・動)		梅雨	2	つり合い	1
摘みとる	1	ツユ	12	つりあい	1
つみ取る	1	つゆ	2	ツリアゲル (和・動)	
つみとる	2	ツユドキ (和・名)		つり上げる	2
ツミニ (和・名)		つゆ時	2	ツリ上げる	1
積荷	3	ツユどき	1	釣上げる	1
積み荷	2	ツユバレ (和・名)		釣りあげる	1
ツムギ (和・名)		梅雨晴れ	1	つりあげる	2
紬	2	ツユばれ	1	ツリコミ (和・名)	
つむぎ	9	ツヨイ (和・形)		釣りこみ	2
ツメ (和・名)		強い	642	つりこみ	1
爪	2	ツヨイ	1	ツリバ (和・名)	
ツメ	11	つよい	11	釣り場	12
つめ	1	ヅヨイ (和・尾)		つり場	1
ヅメ (和・名)		強い	3	ツリビト (和・名)	
詰	13	づよい	1	釣り人	1
詰め	1	ツヨマル (和・動)		釣り人	1
ツメアワセ (和・名)		強まる	71	つり人	1
詰合せ	22	つよまる	1	ツリボリ (和・名)	
詰め合わせ	5	ツヨミ (和・名)		釣堀	5
ツメコム (和・動)		強味	5	つり堀	1
つめ込む	1	強み	5	ツル (和・動)	
つめこむ	3	ツラ (和・名)		釣る	3
ツメショ (混・名)		面	1	吊る	1
詰所	1	つら	6	つる	6
詰め所	1	ツライ (和・形)		ツル (和・名)	
ツメタイ (和・形)		ツライ	1	鶴	3
冷たい	41	つらい	23	ツル	1
冷い	1	ツラナル (和・動)		ツルカメ (和・名)	
冷めたい	1	連なる	1	鶴亀	1
つめたい	6	連らなる	1	つるかめ	1
ツメオル (和・動)		ツラヌク (和・動)		ツルギ (和・名)	
詰め寄る	3	貫く	28	剣	1

つるぎ	1	ティーンエイジャー	2	てがたい	1
ツルハシ (和・名)		ティーンエージャー	1	テガル (和・名)	
鶴嘴	1	タイタイ (漢・名)		手軽	2 8
ツルハシ	1	停滞	2 9	手軽る	2
ツレ (和・名)		停滞	1	手がる	1
連れ	2	テイド (漢・名)		てがる	1
ツレ	2	程度	2 6 0	デキ (和・名)	
つれ	7 1	ていど	1 4	出来	8
ヅレ (和・尾)		デート (外・名)		デキ	1
連れ	1 9	デート	1 9	でき	7
連	2	デイト	6	デキアガリ (和・名)	
づれ	9	ティネイ (漢・名)		でき上り	1
ずれ	1	丁寧	4	できあがり	5
ツレコム (和・動)		ていねい	9	デキアガル (和・動)	
連込む	2	ティネン (漢・名)		でき上がる	9
連れ込む	2	定年	4 7	出来上がる	3
連れこむ	1	停年	3	出来あがる	1
ツレル (和・動)		ダイリ (和・名)		できあがる	2 1
釣れる	3	出入り	1 9	デキゴコロ (和・名)	
つれる	1 0	出入	2	出来心	1
ツレル (和・動)		ティレ (和・名)		でき心	1
連れる	3 7	手入れ	2 6	デキゴト (和・名)	
つれる	7 1	手入	1	出来事	1 1
ツンボ (和・名)		テウチ (和・名)		出来ごと	3
ツンボ	1	手打ち	1	できごと	1 0
つんぼ	4	手打	1	デキバエ (和・名)	
テ (和・名)		データ (外・名)		出来ばえ	1
手	4 4 9	データ	2 0	できばえ	4
テ	3	データー	8	テキバキ (和・名)	
テ (和・尾)		デオクレ (和・名)		テキバキ	2
手	6 7	出遅れ	7	てきばき	1
て	1	出おくれ	1	テキメン (漢・名)	
デアイ (和・名)		デオドラント (外・名)		テキメン	1
出合い	4	デオトラント	1	てきめん	1
出会	2	デオドラント	1	デキル (和・動)	
出合い	2	テオリ (和・名)		出来る	1 2 3
出合	1	手織り	4	できる	1 5 4 8
出あい	2	手織	2	テギワ (和・名)	
デアウ (和・動)		テカガミ (和・名)		手ぎわ	5
出会う	1 3	手鑑	2	手際	1
出合う	3	手鑑	2	テコイレ (和・名)	
出あう	1	テガカリ (和・名)		テコ入れ	1
テアテ (和・名)		手がかり	2 9	テコイレ	5
手当	3 2	手掛け	4	テコズル (和・動)	
手当て	1 7	手掛かり	2	手こずる	2
デアミ (和・名)		デカケル (和・動)		てこずる	1
手編	4	出かける	1 7	デコボコ (和・名)	
手編み	3	出掛ける	1	凸凹	3
テイ (漢・名) [体]		でかける	4	でこぼこ	2
テイ	1	テガタイ (和・形)		テゴロ (和・名)	
てい	1	手堅い	9	手ごろ	4
ティーンエイジャー (外・名)		手がたい	4	手頃	3

デサカリ (和・名)		手習い	1	照らす	10
出盛り	2	テナレル (和・動)		照す	3
出さかり	1	手なれる	2	デル (和・動)	
テサキ (和・名)		手慣れる	1	出る	882
手先	3	テヌカリ (和・名)		デル	3
手さき	2	手抜き	1	でる	24
デサキ (和・名)		手ぬかり	1	テレクサイ (和・形)	
出先	4	テヌグイ (和・名)		照れくさい	2
出さき	1	手ぬぐい	3	照れ臭い	1
テサゲ (和・名)		手拭	1	テレル (和・動) (照れる)	
手さげ	3	手拭い	1	テレル	2
手提	1	テノヒラ (和・名)		てれる	2
テスジ (和・名)		掌	2	テン (漢・名)	
手筋	1	てのひら	1	店	514
手スジ	1	デバナ (和・名)		テン	1
テスリ (和・名)		出鼻	1	テング (漢・名)	
手スリ	3	出ばな	1	天狗	5
手すり	1	テバナシ (和・名)		テング	4
テスリ	1	手ばなし	3	テンサイ (漢・名)	
テゼマ (和・名)		手放し	1	甜菜	2
手ぜま	2	テビカエル (和・動)		てんさい	1
手狭	1	手控える	2	デンデン (漢・名)	
デクラメ (和・名)		手びかえる	1	電電	31
デクラメ	5	テビキ (和・名)		でんでん	3
でたらめ	6	手引き	8	テントウ (漢・名)	
テチガイ (和・名)		手引	2	天道	1
手違い	3	手びき	1	テントウ	1
手ちがい	1	テブクロ (和・名)		てんと	1
テチョウ (混・名)		手袋	17	テンブク (漢・名)	
手帳	32	手ぶくろ	2	転覆	21
手帖	2	テマ (和・名)		てんぶく	1
デッカイ (和・形)		手間	28	テンブラ (外・名)	
デッカイ	2	テマ	1	天ぶら	8
でっかい	6	テマネ (和・名)		てんぶら	2
テツクリ (和・名)		手真似	1	デンボウ (漢・名)	
手作り	2	手まね	1	電報	19
手づくり	2	テマワシ (和・名)		デンボー	1
テツヅキ (和・名)		手回し	3	デンワ (漢・名)	
手続き	48	手まわし	1	電話	427
手続	32	デマワリ (和・名)		デンワ	1
テトリバヤイ (和・形)		出回り	5	でんわ	13
手っとり早い	2	出まわり	1	ト (和・名)	
手っ取り早い	1	デマワル (和・動)		戸	4
てっとり早い	1	出回る	14	扉	1
テドリ (和・名)		出まわる	2	ドア (外・名)	
手取り	4	テモチ (和・名)		ドア	40
手取	2	手持ち	22	ドアー	8
テナゲ (和・名)		手持	3	ドアイ (混・名)	
手投げ	5	テモト (和・名)		度合	2
手投	1	手元	11	度合い	12
テナライ (和・名)		手もと	7	トイ (和・名)	
手習	1	テラス (和・動)		間	69

問い 29  
 トイアワセ (和・名) 25  
 問合せ 20  
 問い合わせ 4  
 問い合せ 3  
 問合 2  
 問いあわせ 1  
 トイアワセル (和・動) 10  
 問い合わせる 3  
 問合せる 3  
 問合わせる 3  
 トウ (和・名) 12  
 父 3  
 とう 5  
 トウ (和・動) 52  
 問う 5  
 とう 6  
 トウ (漢・尾) 1  
 棟 1  
 とう 1  
 トウガラシ (混・名) 5  
 トウガラシ 1  
 とうガラシ 9  
 とうがらし 3  
 ドウキ (漢・名) 3  
 動悸 1  
 どうき 3  
 ドウクツ (漢・名) 2  
 洞窟 2  
 どうくつ 23  
 トウゲ (和・尾) 1  
 峠 23  
 とうげ 1  
 トウコン (漢・名) 1  
 闘魂 1  
 斗魂 1  
 ドウシ (漢・名) 15  
 同志 2  
 同士 7  
 どうし 46  
 ドウシ (漢・名) 4  
 同志 38  
 当日 3  
 とうじつ 76  
 トウセン (漢・名) 2  
 当選 2  
 当せん 123  
 ドウソ (和・副) 123  
 どうぞ

どーぞ 1  
 トウダイ (漢・名) 5  
 灯台 1  
 燈台 2  
 トウテイ (漢・副) 9  
 到底 10  
 とうてい 11  
 トウフ (漢・名) 1  
 豆腐 1  
 トウフ 1  
 とうふ 1  
 トウマル (混・名) 1  
 軍鶏 1  
 とうまる 1  
 ドウモ (和・副) 48  
 どうも 1  
 どーも 3  
 トウモロコシ (混・名) 3  
 トウモロコシ 2  
 とうもろこし 1  
 トウロウ (漢・名) 1  
 灯ろう 1  
 とうろう 2  
 ドオシ (和・尾) 1  
 通し 1  
 どおし 86  
 トオス (和・動) 5  
 通す 111  
 とおす 35  
 トオリ (和・名) <街路> 1  
 通り 1  
 通 1  
 とおり 201  
 トオリ (和・名) <状態> 175  
 通り 1  
 とおり 1  
 トオリコス (和・動) 1  
 通り越す 1  
 通りこす 3  
 トオリスギル (和・動) 3  
 通り過ぎる 3  
 通りすぎる 94  
 トオル (和・動) 5  
 通る 1  
 とおる 368  
 トキ (和・名) 1  
 時 800  
 刻 4  
 とき 4  
 ドキ (和・尾) 4  
 時 4  
 どき

トキアカス (和・動) 2  
 解き明かす 1  
 解きあかす 1  
 ときあかす 1  
 トキオコス (和・動) 1  
 説き起こす 1  
 とき起こす 3  
 トキオリ (和・副) 1  
 時おり 1  
 時折 1  
 時折り 1  
 とき折り 1  
 ときおり 1  
 ドギツイ (和・形) 1  
 度ぎつい 2  
 どぎつい 101  
 トキドキ (和・名) 5  
 時々 41  
 時どき 2  
 トギレル (和・動) 2  
 途切れる 10  
 とぎれる 4  
 トク (漢・名) 1  
 得 4  
 徳 1  
 トク 2  
 とく 23  
 トク (和・動) 4  
 解く 61  
 とく 1  
 トクイ (漢・名) 1  
 得意 43  
 とくい 1  
 トクセン (漢・名) 1  
 特選 1  
 特撰 1  
 特薦 1  
 トクチョウ (漢・名) 66  
 特徴 18  
 特長 34  
 ドクトク (漢・名) 2  
 独特 2  
 独得 93  
 トクニ (混・副) 408  
 特に 307  
 とくに 5  
 トクベツ (漢・名) 22  
 特別 5  
 とくべつ 22  
 トクメイ (漢・名) 22  
 匿名

とく名	1	年寄り	12	届出	2
トケコム (和・動)		年寄	4	トドケデル (和・動)	
溶け込む	2	年より	1	届け出る	24
とけ込む	2	としより	1	届出る	1
とけこむ	5	トジル (和・動)		トドケル (和・動)	
トケル (和・動)		閉じる	16	届ける	47
解ける	3	とじる	1	とどける	7
溶ける	2	トシワスレ (和・名)		トトノウ (和・動)	
とける	14	年わすれ	2	整う	12
トゲル (和・動)		年忘れ	1	ととのう	2
遂げる	7	ドスグロイ (和・形)		トトノエル (和・動)	
とげる	17	ドス黒い	3	整える	25
トコロ (和・名)		どす黒い	1	ととのえる	15
所	39	トスル (混・動)		トマル (和・動)	
処	1	賭する	2	止る	1
ところ	1082	とする	1	留る	1
ドサクサ (和・名)		トダエル (和・動)		とどまる	68
ドサクサ	1	途絶える	6	ドドメ (混・名)	
どさくさ	1	とだえる	2	土止め	2
トザス (和・動)		トダナ (和・名)		土どめ	1
閉ざす	14	戸棚	5	トナエル (和・動)	
とざす	2	戸ダナ	2	唱える	14
トシ (和・名)		トタン (漢・名)		となえる	6
年	87	途端	2	トナリ (和・名)	
齡	1	トタン	1	隣	80
とし	2	とたん	27	隣り	15
トジコミ (和・名)		ドタン (和・副)		となり	8
綴込	2	ドタン	5	トニカク (和・副)	
とじ込	1	どたん	3	とに角	2
とじこみ	1	トツギサキ (和・名)		とにかく	73
トジコメル (和・動)		嫁ぎ先	1	ドノ (和・尾)	
閉じ込める	4	とつぎ先	1	殿	5
閉じこめる	2	トツグ (和・動)		どの	3
とじ込める	1	嫁ぐ	4	トバク (漢・名)	
トジコモル (和・動)		とつぐ	3	トバク	17
閉じこもる	2	ドッコイショ (和・感)		とばく	4
閉じ込もる	1	ドッコイショ	1	トバス (和・動)	
とじこもる	1	どっこいショ	6	飛ばす	11
トシゴロ (和・名)		トツゼン (漢・副)		とばす	9
年ごろ	8	突然	62	トビ (和・名)	
年頃	1	とつぜん	1	飛び	1
トシツキ (和・名)		トツビ (漢・名)		とび	2
年月	1	突飛	1	トビイシ (和・名)	
歳月	1	とっぴ	1	飛石	4
ドシドシ (和・副)		トドク (和・動)		飛び石	3
ドシドシ	2	届く	36	トビウオ (和・名)	
どしどし	13	とどく	17	トビウオ	1
トジマリ (和・名)		トドケ (和・名)		とびうお	3
戸締り	3	届け	15	トビオリ (和・名)	
戸締まり	1	届	4	飛びおり	3
戸じまり	1	トドケデ (和・名)		飛び降り	2
トシヨリ (和・名)		届け出	27	トビオリル (和・動)	

飛び降りる	6	トボケル (和・動)		ともかく	45
飛び降りる	2	トボケる	1	トモカセギ (和・名)	
トビカウ (和・動)		とぼける	4	共かせぎ	10
飛びかう	3	トボシイ (和・形)		共稼ぎ	1
とびかう	1	乏しい	17	トモグチ (和・名)	
トビカカル (和・動)		とぼしい	1	友だち	56
飛びかかる	4	トマドイ (和・形)		友達	6
とびかかる	1	戸惑い	1	ともだち	2
トビコミ (和・名)		とまどい	5	トモナウ (和・動)	
飛込み	2	トマドウ (和・動)		伴う	66
飛び込み	2	戸惑う	2	ともなう	69
トビコム (和・動)		トマドウ	1	トモニ (和・副)	
飛び込む	8	とまどう	7	共に	37
飛び込む	6	トマトビューレ (外・名)		ともに	235
飛びこむ	6	トマトビューレ	1	ドモリ (和・名)	
とび込む	6	トマトビューレー	1	ドモリ	1
とびこむ	4	トマリ (和・名)		どもり	2
トビショク (混・名)		泊	1	トラ (和・名)	
トビ職	2	泊まり	1	虎	9
とび職	1	トマリキヤク (混・名)		トラ	4
トビダス (和・動)		泊り客	3	とら	1
飛び出す	19	泊まり客	1	ドライヤー (外・名)	
飛出す	7	トマル (和・動)		ドライヤー	11
飛びだす	3	止まる	25	ドライヤ	1
とび出す	19	止る	6	トラエル (和・動)	
とびだす	10	泊まる	9	捕える	24
トビタツ (和・動)		泊る	7	捉える	5
飛立つ	3	とまる	31	とらえる	65
飛び立つ	2	トメ (和・名)		ドラムカン (混・名)	
トビチル (和・動)		止め	7	ドラムカン	5
飛散る	4	止	2	ドラムかん	1
飛び散る	3	とめ	4	トラワレル (和・動)	
とび散る	1	トメソデ (和・名)		捕われる	4
トビツク (和・動)		留袖	9	とらわれる	21
飛びつく	5	留めそで	3	トランジスタ (外・名)	
とびつく	4	トメソデ	1	トランジスタ	15
トビデル (和・動)		トメル (和・動)		トランジスター	15
飛び出る	1	止める	14	トリ (和・名)	
とび出る	1	泊める	2	鳥	35
トビマワル (和・動)		停める	1	酉	4
飛び回る	2	とめる	35	トリ	7
とび回る	2	トモ (和・尾)		とり	3
飛びまわる	1	共	31	トリ (和・名)	
とびまわる	1	とも	13	取り	8
トビラ (和・名)		トモ (和・名)		とり	8
扉	8	供	3	トリアゲル (和・動)	
トビラ	4	伴	1	取り上げる	45
とびら	7	トモエ (和・尾)		取上げる	18
トブ (和・動)		巴	1	とり上げる	12
飛ぶ	83	ともえ	3	取りあげる	9
トブ	4	トモカク (和・副)		とりあげる	48
とぶ	22	とも角	1	トリアツカイ (和・名)	



取扱い	4 2	取り組み	8	取り出す	5
取扱	3 1	取組み	7	取出す	3
トリアツカウ (和・動)		取組	5	とり出す	2
取り扱う	1 1	トリクム (和・動)		とりだす	3
取扱う	7	取り組む	4 0	トリクテ (和・名)	
とり扱う	1	取組む	2 8	取り立て	3
トリイレ (和・名)		とり組む	5	とりたて	1
取入れ	3	取りくむ	3	トリクテル (和・動)	
取り入れ	1	とりくむ	7	取立てる	1
トリイレル (和・動)		トリケシ (和・名)		取りたてる	1
取入れる	1 3	取消し	5	とりたてる	3
取り入れる	1 6	取消	1	トリツギ (和・名)	
採り入れる	1	トリケス (和・動)		取次	1
とり入れる	2 1	取り消す	5	取次ぎ	1
とりいれる	6	取消す	1	トリツグ (和・動)	
トリエ (和・名)		トリコ (和・名)		取次ぐ	2
取り得	2	トリコ	1	取りつぐ	1
とりえ	3	とりこ	1	トリツケ (和・名)	
トリオコナウ (和・動)		トリコム (和・動)		取付	5
執り行なう	1	取り込む	1	取付け	3
とり行う	1	トリ込む	1	取り付け	2
トリカエ (和・名)		トリコウス (和・動)		トリツケル (和・動)	
取替え	2	取りこわす	3	取付ける	5
とりかえ	1	取り壊す	1	取りつける	3
トリカエス (和・動)		とりこわす	1	とりつける	2 0
取り返す	4	トリサル (和・動)		トリデ (和・名)	
取返す	2	とり去る	3	咎	5
とり返す	1	取去る	1	トリデ	1
トリカエル (和・動)		トリシマリ (和・名)		とりで	2
取替える	2	取締	1 2 5	トリナオス (和・動)	
取り替える	1	取り締まり	2 4	とり直す	3
取りかえる	1	取締り	2 0	取直す	1
とりかえる	2	取締まり	1	トリノコス (和・動)	
トリカカル (和・動)		トリシマル (和・動)		取り残す	6
取りかかる	2	取り締まる	8	取残す	2
とりかかる	1 0	取締る	2	とり残す	3
トリカコム (和・動)		取締まる	1	とりのこす	1
とり囲む	6	トリシラベ (和・名)		トリノゾク (和・動)	
とりかこむ	2	取調べ	1 3	取除く	5
取り囲む	2	取り調べ	4	取り除く	3
取囲む	1	トリシラベル (和・動)		とり除く	5
トリキメ (和・名)		取り調べる	7	取りのぞく	1
取決め	9	取調べる	2	とりのぞく	3
取り決め	2	トリソロエル (和・動)		トリハカラウ (和・動)	
取決め	1	取揃える	1 5	取り計らう	2
とりきめ	7	取り揃える	4	取りはからう	1
トリキメル (和・動)		取揃る	2	トリハジメ (和・名)	
取り決める	5	取りそろえる	2	とり始め	1
取決める	1	取そろえる	1	とりはじめ	1
とり決める	1	とり揃える	1	トリハズシ (和・名)	
とりきめる	1	とりそろえる	1	取りはずし	2
トリクミ (和・名)		トリダス (和・動)		とりはずし	1

トリヒキ (和・名)		ドロヌマ (和・名)		ナカ	1
取引	8 1	泥沼	6	なか	3 7 0
取り引き	2 3	ドロ沼	2	ナガ (和・名)	
取引き	1 4	どろ沼	1	長	9
トリマク (和・動)		トロビ (和・名)		なが	1
取巻く	1 1	トロ火	1	ナガアミ (和・名)	
取り巻く	3	とろ火	1	長あみ	7
取りまく	3	ドロボウ (混・名)		長縊み	1
とり巻く	3	泥棒	2 2	ナガイ (和・形)	
とりまく	1 1	ドロボウ	5	長い	1 6 7
トリマトメ (和・名)		どろぼう	3	永い	1
取りまとめ	1	ドロミズ (和・名)		ながい	1 3
とりまとめ	1	泥水	1	ナガイキ (和・名)	
トリモドス (和・動)		ドロ水	1	長生き	4
取戻す	9	ドロコ (和・名)		長いき	1
取り戻す	9	泥んこ	3	ナカイリ (和・名)	
とり戻す	3	どろんこ	1	中入り	4
取りもどす	2	トンアタリ (混・名)		中入	1
とりもどす	7	トン当たり	3	ナガウタ (和・名)	
トリモノ (和・名)		トン当り	1	長唄	5
捕物	1 3	ドンソコ (和・名)		長うた	4
捕りもの	1	ドン底	4	ナカガイ (和・名)	
とり物	1	どん底	2	仲買	8
トリヤメ (和・名)		トンチャク (漢・名)		仲買い	7
取りやめ	3	頓着	1	ナガグツ (和・名)	
取止め	1	とん着	1	長グツ	1
とり止め	1	ドンドン (和・副)		長ぐつ	1
とりやめ	1	ドンドン	2	ナカゴロ (和・名)	
トリヤメル (和・動)		どんだん	2 4	中ごろ	3
取止める	3	ナイ (和・形)		なかごろ	1
取りやめる	1	無い	1 0	ナカシ (和・名)	
とり止める	2	亡い	5	仲仕	6
とりやめる	1	ナイ	1	仲士	1
トリヨセル (和・動)		ない	4 0 7	ナガシコム (和・動)	
取り寄せる	5	ナオ (和・副)		流しこむ	1
取寄せる	2	尚	3	流し込む	1
トル (和・動)		なお	3 6 2	ナガス (和・動)	
取る	7 8	ナオシ (和・名)		流す	5 0
撮る	4	直し	4	流ス	1
採る	4	なおし	1	ナガツツキ (和・名)	
奪る	1	ナオス (和・動)		長続き	1 1
トル	7	直す	1 7	長つづき	1
とる	1 2 7 2	治す	1 4	ナカバ (和・名)	
ドレ (和・代)		なおす	1 5	半ば	1 3
ドレ	1	ナオル (和・動)		なかば	1 0
どれ	7 3	直る	3	ナカマ (和・名)	
ドレイ (漢・名)		治る	2	仲間	8 3
奴隷	1	癒る	1	なかま	2
ドレイ	1	なおる	1 1	ナカミ (和・名)	
ドロ (和・名)		ナカ (和・名)		中身	2 2
泥	4	中	7 2 5	中み	1
ドロ	1 5	仲	2 9	なかみ	3

ナガメ (和・名)		無くなる	1	ナゾ	16
眺め	1	なくなる	28	なぞ	1
ながめ	14	ナグル (和・動)		ナゾナゾ (和・名)	
ナガメル (和・動)		殴る	1	ナゾナゾ	1
眺める	7	なぐる	23	なぞなぞ	1
ながめる	29	ナゲ (和・名)		ナダレ (和・名)	
ナガモチ (和・名)		投げ	15	雪崩れ	1
長もち	4	投	1	ナダレ	9
長持ち	1	ナゲウリ (和・名)		なだれ	9
なが持ち	1	投げ売り	2	ナダレコム (和・動)	
ナカユビ (和・名)		投売り	1	なだれ込む	1
中指	2	ナゲク (和・動)		なだれこむ	1
中ユビ	1	嘆く	18	ナツカシイ (和・形)	
ナカヨシ (和・名)		なげく	6	懐しい	1
仲よし	4	ナゲコム (和・動)		なつかしい	15
仲良し	1	投げこむ	6	ナツケ (和・名)	
なかよし	2	投込む	3	名付け	1
ナガラク (和・副)		ナゲダス (和・動)		名づけ	1
長らく	4	投出す	3	ナツケル (和・動)	
ながらく	1	投げ出す	3	名づける	9
ナガレコム (和・動)		なげだす	1	名付ける	3
流れこむ	12	ナゲゾリ (和・名)		ナットク (漢・名)	
流れ込む	6	投げ釣り	3	納得	39
ナギ (和・名) (組)		投釣	1	なっとく	4
ナギ	2	ナゲモノ (和・名)		ナッパ (和・名)	
なぎ	1	投げもの	3	葉っ葉	1
ナキゴエ (和・名)		投げ物	2	ナッパ	1
鳴き声	5	ナゴリ (和・名)		ナツバテ (和・名)	
鳴声	3	名残り	3	夏バテ	2
泣き声	2	名残	1	夏ばて	1
ナキサケブ (和・動)		ナシ (和・形)		ナツモノ (和・名)	
泣き叫ぶ	2	ナシ	8	夏物	1
泣きさけぶ	1	なし	140	夏もの	1
なき叫ぶ	1	ナシ (和・名)		ナトリ (和・名)	
ナク (和・動)		梨	1	名取	2
泣く	82	ナシ	5	名取り	1
鳴く	6	なし	1	なとり	1
啼く	1	ナジミ (和・名)		ナナクサ (和・名)	
なく	1	馴染み	1	七草	3
ナグサメ (和・名)		なじみ	36	ななくさ	1
慰め	4	ナス (和・動)		ナナメ (和・名)	
なぐさめ	4	為	1	斜め	4
ナグサメル (和・動)		なす	19	ななめ	5
慰める	6	ナス (和・名)		ナニ (和・代)	
なぐさめる	5	茄子	1	何	290
ナクス (和・動)		ナス	5	ナニ	1
無くす	2	なす	1	なに	73
失くす	1	ナゼ (和・副)		ナニカ (和・副)	
亡くす	1	何故	4	何か	49
なくす	33	なぜ	111	なにか	32
ナクナル (和・動)		ナゾ (和・名)		ナニゲ (和・名)	
亡くなる	7	謎	16	何気	2

なにげ	3	ナマ物	1	ナリギン(混・名)	
ナニゴト(和・名)		ナマリ(和・名)		成り銀	2
何事	8	鉛	1	成銀	1
何ごと	1	ナマリ	1	ナリタツ(和・動)	
なにごと	4	ナミ(和・名)		成り立つ	6
ナニシロ(和・副)		波	5 6	成立つ	4
何しろ	7	浪	1	成りたつ	2
何にしろ	1	ナミ(和・名)		なり立つ	1
なにしろ	1 4	並み	1 1	なりたつ	6
ナニナニ(和・代)		並	1	ナリヒビク(和・動)	
何々	2	なみ	3	鳴り響く	1
なににな	1	ナミ(和・尾)		鳴りひびく	2
ナニブン(混・副)		並み	1 4	ナリモノ(和・名)	
何分	1	並	1	鳴物	3
なにぶん	2	なみ	4 0	鳴り物	1
ナニモノ(和・名)		ナミウツ(和・動)		ナリユキ(和・名)	
何もの	3	波打つ	1	成行き	1 6
何者	2	波うつ	1	成り行き	1 2
なにもの	8	ナミキ(和・名)		成りゆき	1
ナノル(和・動)		並木	2	ナル(和・動)	
名乗る	1 0	並み木	1	成る	1 9
名のる	4	ナミナミ(和・名)		ナル	1
ナベ(和・名)		並々	2	なる	1 7 0 1
鍋	1	なみなみ	2	ナル(和・動)	
ナベ	1 0	ナメル(和・動)		鳴る	2 6
なべ	8	ナメル	2	なる	1
ナマ(和・名)		なめる	1 3	ナルホド(和・副)	
生	6	ナヤミ(和・名)		成程	1
ナマ	2 0	悩み	5 2	なるほど	2 4
なま	5	なやみ	1	ナレアイ(和・名)	
ナマ(和・頭)		ナライ(和・名)		なれ合い	2
生	1 7	習い	2	慣れ合い	1
ナマ	1	ならい	1	なれあい	4
ナマエ(和・名)		ナラス(和・動)		ナレル(和・動)	
名前	8 8	慣らす	1	慣れる	6
名まえ	1	ならす	3	馴れる	1
なまえ	2	ナラビ(和・名)		なれる	2 2
ナマケグセ(和・名)		並び	1 1	ナワバリ(和・名)	
ナマケ癖	1	並	2	縄ばり	1
なまけぐせ	2	ならび	7	ナワ張り	1
ナマケモノ(和・名)		ナラビニ(和・接)		なわ張り	1
ナマケモノ	1	並びに	4	ナワばり	1
なまけもの	1	ならびに	2 4	ナン(漢・名)	
ナマナマシイ(和・形)		ナラブ(和・動)		難	4 7
生々しい	2	並ぶ	6 7	なん	1
ナマナマシイ	1	ならぶ	6	ナンド(混・名)	
ナマナマしい	1	ナラベル(和・動)		何度	2 9
ナマミ(和・名)		並べる	3 7	なん度	3
ナマ身	2	ならべる	7	なんど	6
生身	1	ナリキン(混・名)		ナンナク(混・副)	
ナマモノ(和・名)		成金	2	難なく	1
生もの	1	成り金	1	なんなく	1

ナンバン (漢・名)		にぎる	4 6	にせ	1
南蛮	5	ニギワス (和・動)		ニセモノ (和・名)	
南ばん	1	賑わす	1	ニセ物	4
ナンヨウ (漢・名)		にぎわす	6	ニセもの	1
南洋	6	ニクイ (和・形)		にせもの	1
なんよう	1	憎い	2	ニクテル (和・動)	
ナンラ (和・副)		にくい	1 7	煮立てる	4
何ら	3 1	ニクシミ (和・名)		煮たてる	2
何等	1	憎しみ	4	ニチ (漢・名)	
なんら	2 4	にくしみ	2	日	5 5 4 4
ニアウ (和・動)		ニクシュ (漢・名)		ニチ	4
似合う	4	肉腫	1	ニチヨウ (漢・名)	
似あう	1	肉シュ	1	日曜	2 1 6
ニアゲ (和・名)		ニクシン (漢・名)		にちよう	1
荷揚げ	5	肉親	7	ニッコリ (和・副)	
荷上げ	3	肉身	1	ニッコリ	8
ニイ (漢・名)		ニクミアウ (和・動)		にっこり	7
兄	7	憎み合う	1	ニツマル (和・動)	
にい	4	にくみあう	1	煮詰る	1
ニオイ (和・名)		ニクム (和・動)		煮つまる	4
匂い	3	憎む	3	ニナウ (和・動)	
臭い	1	にくむ	2	粗う	1
ニオイ	9	ニゲオクレ (和・動)		になう	1 2
におい	2 6	逃げ遅れる	4	になふ	1
ニオウ (和・動)		逃げおくれる	1	ニブイ (和・名)	
匂う	4	ニゲコム (和・動)		鈍い	2
におう	6	逃げ込む	4	にぶい	8
にほう	1	逃げこむ	4	ニブル (和・動)	
ニガイ (和・形)		ニゲダス (和・動)		鈍る	6
苦い	3	逃げ出す	1 3	にぶる	5
ニガイ	1	逃げだす	4	ニモノ (和・名)	
にがい	3	ニゲマワル (和・動)		煮もの	3
ニガテ (和・名)		逃げ回る	2	煮物	1
苦手	4	逃げまわる	2	ニヤリ (和・副)	
ニガ手	1	ニゲミチ (和・名)		ニヤリ	3
ニガニガシゲ (和・名)		逃げ道	1	にやり	1
苦々しげ	1	にげみち	1	ニューフェイス (外・名)	
にがにがしげ	1	ニゴス (和・動)		ニューフェイス	2
ニガワライ (和・名)		濁す	2	ニューフェース	2
ニガ笑い	1	にごす	3	ニラミ (和・名)	
にが笑い	3	ニゴル (和・動)		ニラミ	2
ニキビ (和・名)		濁る	1	にらみ	5
ニキビ	1 1	にごる	1	ニラミアウ (和・動)	
にきび	2	ニシキ (和・名)		にらみ合う	1
ニキビアト (和・名)		錦	1	にらみあう	2
ニキビ跡	5	ニシキ	1	ニラミアワセル (和・動)	
にきびあと	1	ニシン (和・名)		にらみ合わせる	3
ニギリ (和・名)		ニシン	1	にらみ合せる	1
握り	3	にしん	2	にらみあわせる	4
にぎり	1 4	ニセ (和・頭)		ニラミスエル (和・動)	
ニギル (和・動)		贋	1	睨み据える	1
握る	2 3	ニセ	2 8	にらみすえる	1

ニラム (和・動)		ヌキトル (和・動)		ヌレル (和・動)	
睨む	2	抜取る	4	滞れる	3
にらむ	1 3	抜きとる	2	ぬれる	1 1
ニワカ (和・名)		ヌキンデル (和・動)		ネ (和・名)	
ニワカ	1	抜ん出る	1	音	6
にわか	9	抜きん出る	1	ネ	1
ニワトリ (和・名)		ヌク (和・動)		ネアガリ (和・名)	
鶏	4	抜く	4 5	値上がり	4 4
ニワトリ	1 2	ヌク	2	値上り	3 1
ニン (漢・名)		ぬく	1 2	ネウチ (和・名)	
人	2 6 5 4	ヌグ (和・動)		値打ち	7
にん	2	脱ぐ	9	値打	2
ニンギョウ (漢・名)		ぬぐ	5	値うち	1
人形	5 4	ヌグイサル (和・動)		ネウチ	2
にんぎょう	1	ぬぐい去る	3	ネエ (和・名)	
ニンジョウ (漢・名)		ぬぐいさる	2	姉	7
人情	2 0	ヌケ (和・名)		姐	1
にんじょう	1	抜け	1	ねえ	1
ニンジン (漢・名)		ぬけ	1	ネガイ (和・名)	
人参	1	ヌケダス (和・動)		願ひ	4 5
ニンジン	1 6	抜け出す	4	願	5
にんじん	2	ぬけ出す	3	希い	1
ヌイアワセル (和・動)		ぬけだす	1	ねがひ	3
縫合わせる	1	ヌケル (和・動)		ネガウ (和・動)	
縫い合わせる	2	抜ける	3 5	願う	7 1
縫いあわせる	1	脱ける	1	希う	2
ヌイシロ (和・名)		ぬける	1 1	ネガウ	2
縫いしろ	1 9	ヌシ (和・名)		ネガサ (和・名)	
ぬいしろ	1	主	7	値がさ	3 2
ヌイツケル (和・動)		ぬし	3	値ガサ	1
縫いつける	2	ヌスピト (和・名)		ネギ (和・名)	
ぬいつける	2	盗人	1	ネギ	1 5
ヌウ (和・動)		ぬすびと	1	ねぎ	3
縫う	1 8	ヌスム (和・動)		ネコ (和・名)	
ぬう	9	盗む	5 5	猫	7
ヌカヅケ (和・名)		ぬすむ	2	ネコ	9
ヌカづけ	1	ヌリ (和・名)		ねこ	1
ぬかづけ	1	塗り	4	ネコム (和・動)	
ヌキ (和・名)		塗	1	寝込む	2
抜き	7	ヌリカエル (和・動)		寝こむ	1
ヌキ	1	塗りかえる	2	ネゴロ (和・名)	
ぬき	7	塗替える	1	値ごろ	2
ヌキウチ (和・名)		ぬりかえる	3	値頃	1
抜き打ち	4	ヌリツブス (和・動)		ネサガリ (和・名)	
抜き打ち	1	塗りつぶす	3	値下がり	1 9
ヌキサシ (和・名)		ぬりつぶす	3	値下り	9
抜き差し	1	ヌル (和・動)		ネシズマル (和・動)	
抜き差し	1	塗る	2 1	寝静まる	1
抜き挿し	1	ぬる	1 2	寝しずまる	1
ヌキトリ (和・名)		ヌルマユ (和・名)		ネジマゲル (和・動)	
抜き取り	1	ぬるま湯	1	ねじ曲げる	1
抜きとり	1	ヌルマ湯	1	ねじまげる	1

ネズミ (和・名)		ねり	1	ノサバル (和・動)	
ネズミ	1 3	ネリアゲル (和・動)		ノサバル	1
ねずみ	1	練り上げる	2	のさばる	3
ネタム (和・動)		練りあげる	1	ノシアガル (和・動)	
妬む	2	ねり上げる	1	のし上がる	3
ねたむ	1	ネル (和・動)		のしあがる	3
ネダン (混・名)		寝る	5 6	ノセル (和・動)	
値段	1 0 2	ねる	1	乗せる	3 2
値だん	1	ネル (和・動)		載せる	6
ネダン	6	練る	1 6	のせる	4 2
ネバリ (和・名)		ねる	1 2	ノゾキ (和・名)	
粘り	2	ネンシュツ (漢・名)		ノゾキ	2
ネバリ	2	ねん出	4	のぞき	1
ねばり	6	捻出	1	ノゾキコム (和・動)	
ネバリツヨイ (和・形)		ネンバイ (漢・名)		のぞき込む	2
粘り強い	3	年配	7	覗き込む	1
ねばり強い	1	年輩	1	のぞきこむ	2
ネバリツヨサ (和・名)		ネンレイ (漢・名)		ノゾク (和・動) [覗く]	
粘り強さ	1	年齢	1 0 5	ノゾク	1
ねばり強さ	1	年令	4 3	のぞく	3 6
ネビエ (和・名)		ノウロウ (漢・名)		ノゾク (和・動)	
寝冷え	1	膿漏	1	除く	1 1 4
寝びえ	1	のうろう	1	のぞく	1 1
ネマキ (和・名)		ノガモ (和・名)		ノゾミ (和・名)	
寝巻	1	野鴨	1	望み	1 6
寝間着	1	野ガモ	1	のぞみ	1
ネム (和・名) [合歡]		ノガレル (和・動)		ノゾム (和・動)	
ネム	1	迷れる	3	望む	1 3 4
ねむ	1	のがれる	9	臨む	3 0
ネムリ (和・名)		ノギク (混・名)		のぞむ	3 7
眠り	6	野菊	5	ノタレジニ (和・名)	
ねむり	1	野ギク	1	野たれ死に	1
ネムル (和・動)		ノギク	1	ノタレ死に	1
眠る	3 6	ノキナミ (和・名)		ノチ (和・名)	
眠ル	1	軒並み	2 1	後	6 5
ねむる	2	軒なみ	3	のち	1 2 9
ネライ (和・名)		ノコギリ (和・名)		ノッカル (和・動)	
狙い	2	鋸	3	乗っかる	1
ネライ	9	ノコギリ	1	のっかる	3
ねらい	9 6	ノコス (和・動)		ノッコミ (和・名)	
ネライウチ (和・名)		残す	1 3 6	乗っ込み	1
ねらい打ち	4	遺す	1	のっこみ	1
ねらい撃ち	2	のこす	6	ノド (和・名)	
ネライウツ (和・動)		ノコノコ (和・副)		ノド	1 3
ねらい打つ	1	ノコノコ	1	のど	6
ねらいうつ	1	のこのこ	1	ノドカ (和・名)	
ネラウ (和・動)		ノコリ (和・名)		ノドカ	1
狙う	6	残り	5 5	のどか	1 0
ネラウ	1	のこり	1	ノバス (和・動)	
ねらう	1 2 9	ノコル (和・動)		伸ばす	2 3
ネリ (和・名)		残る	1 2 6	延ばす	1 3
煉	2	のこる	5	のばす	2 0

ノビ (和・名)		ノミ	4	乗切る	5
伸び	46	ノミコム (和・動)		のり切る	1
ノビ	5	のみ込む	4	のりきる	1
のび	5	飲み込む	2	ノリクミ (和・名)	
ノビチヂミ (和・名)		飲みこむ	1	乗組	27
のび縮み	1	のみこむ	8	乗組み	23
のびぢぢみ	1	ノミモノ (和・名)		乗り組み	1
ノビナヤミ (和・名)		飲みもの	4	ノリクム (和・動)	
伸び悩み	6	飲物	3	乗組む	1
伸びなやみ	1	飲み物	2	乗り組む	1
ノビナヤム (和・動)		ノム (和・動)		ノリコエル (和・動)	
伸び悩む	18	飲む	95	乗り越える	4
のび悩む	1	呑む	1	のりこえる	4
ノビノビ (和・副)		のむ	71	ノリコム (和・動)	
伸び伸び	3	ノリ (和・名)		乗り込む	9
延び延び	1	乗り	36	乗込む	1
のびのび	11	のり	1	乗りこむ	3
ノビリツ (混・名)		ノリ (和・名)		ノリステル (和・動)	
伸び率	11	ノリ	3	乗捨てる	1
延び率	2	のり	1	乗り捨てる	1
ノビル (和・動)		ノリ (和・名)		ノリダス (和・動)	
伸びる	69	海苔	5	乗り出す	28
延びる	6	ノリ	7	乗出す	14
ノビル	1	のり	2	のり出す	6
のびる	17	ノリアイ (和・名)		乗りだす	4
ノベ (和・名)		乗り合い	5	のりだす	3
延べ	17	乗合	4	ノリツグ (和・動)	
延	2	ノリアゲル (和・動)		乗継ぐ	1
のべ	2	乗上げる	3	乗りつぐ	2
ノベバライ (和・名)		乗り上げる	2	ノリツケル (和・動)	
延払い	8	乗りあげる	3	乗りつける	6
延べ払い	3	のり上げる	1	のりつける	1
ノベル (和・動)		ノリイレ (和・名)		ノリマキ (和・名)	
述べる	245	乗り入れ	11	ノリ巻き	1
のべる	68	乗入れ	9	のり巻き	1
ノボセ (和・名)		ノリイレル (和・動)		ノリマウス (和・動)	
ノボセ	1	乗り入れる	6	乗回す	2
のぼせ	1	乗入れる	2	乗り回す	1
ノボセル (和・動)		ノリカエ (和・名)		乗りまわす	1
ノボせる	2	乗り換え	9	ノリモノ (和・名)	
のぼせる	5	乗換え	5	乗物	5
ノボリ (和・名)		乗換	3	乗り物	2
上り	27	のりかえ	8	乗りもの	1
登り	1	ノリカエル (和・動)		のりもの	1
ノボル (和・動)		乗り換える	4	ノル (和・動)	
登る	31	乗りかえる	1	乗る	137
上る	27	のりかえる	1	載る	4
昇る	1	ノリキ (混・名)		のる	41
ノボル	1	乗気	3	ノレン (漢・名)	
のぼる	66	乗り気	3	暖簾	1
ノミ (和・名)		ノリキル (和・動)		ノレン	1
蜚	3	乗り切る	8	のれん	11



ノロシ (和・名)		ハイリコム (和・動)		はきけ	2
ノロシ	1	はいり込む	4	ハキダス (和・動)	
のろし	1	入りこむ	2	はき出す	3
ノン (外・名)		入り込む	1	吐き出す	2
否	1	はいりこむ	6	ハキモノ (和・名)	
ノン	4	ハイル (和・動)		厩物	1
ノンビリ (和・副)		入る	5 6	はきもの	3
ノンビリ	4	入	4	ハギレ (和・名)	
のんびり	14	はいる	6 0 9	端切れ	1
バー (外・名)		ハウ (和・動)		ハギレ	1
バー	3 3	這う	1	ハク (和・動)	
ばあ	1	ハウ	1	吐く	7
バアイ (和・名)		はう	4	はく	7
場合	5 8 5	ハエ (和・名)		ハク (漢・名)	
ばあい	4	蠅	2	白	2
ハアク (漢・名)		ハエ	4	ハク	1
把握	4	ハエル (和・動)		ハグキ (和・名)	
はあく	1	映える	5	歯グキ	5
パーティー (外・名)		はえる	5	歯ぐき	1
パーティー	2 3	ハエル (和・動)		ハグクム (和・動)	
パーティ	2 1	生える	2	育む	1
ハーフメイド (外・名)		はえる	3	はぐくむ	3
ハーフメイド	1	ハオリ (和・名)		ハクサイ (漢・名)	
ハーフメード	1	羽織	9	白菜	4
ハイ (和・感)		ハオリ	1	ハクサイ	1 1
ハイ	1 2	バカ (漢・名)		はくさい	1
はい	6	馬鹿	2	バクゼン (漢・名)	
ハイ (漢・尾)		バカ	2 3	ばく然	3
杯	3 1	ばか	9	漠然	1
ハイ	3	ハガキ (和・名)		ハクダツ (漢・名)	
はい	1 0	葉書	6	はく奪	3
ハイウェー (外・名)		ハガキ	8 7	ハク奪	1
ハイウェイ	7	はがき	6 6	バクダン (漢・名)	
ハイウェー	6	バカバカシイ (混・形)		爆弾	3 7
バイエン (漢・名)		バカバカしい	1	バクダン	1
ばい煙	1 5	ばかばかしい	2	バクチ (混・名)	
バイ煙	7	ハカマ (和・名)		バクチ	3
ハイガ (漢・名)		袴	1	ばくち	5
胚芽	3	はかま	1	バクト (漢・名)	
はいが	1	ハカマイリ (和・名)		博徒	1
ハイコム (和・動)		基参り	2	バク徒	1
はい込む	1	基まいり	1	バクフ (漢・名)	
はいこむ	1	ハカリシル (和・動)		瀑布	1
ハイザラ (和・名)		はかり知る	1	ばくふ	1
灰ザラ	2	はかりしる	1	バクロ (漢・名)	
灰ざら	1	ハカル (和・動)		暴露	1 3
ハイティーン (外・頭)		図る	4 6	バクロ	1
ハイティーン	4	計る	8	ばくろ	1
ハイティン	1	測る	4	ハゲシイ (和・形)	
ハイハイ (和・名)		はかる	1 8 9	激しい	1 3 8
ハイハイ	1	ハキケ (和・名)		烈しい	1
はいはい	1	吐き気	5	はげしい	4 6

ハゲシサ (和・名)		ハシゴ (和・名)		ハズレル (和・動)	
激しさ	8	梯子	1	外れる	1
はげしさ	2	ハシゴ	13	はずれる	22
ハゲタカ (和・名)		はしご	1	ハゼツリ (和・名)	
禿鷹	1	ハジマリ (和・名)		ハゼ釣	1
ハゲタカ	2	始まり	4	ハゼ釣り	1
ハゲマシ (和・名)		始り	2	ハタ (和・名)	
励まし	3	はじめり	7	旗	16
はげまし	2	ハジマル (和・動)		ハタ	1
ハゲマス (和・動)		始まる	105	ハタ (和・副)	
励ます	16	始る	39	ハタ	1
はげます	4	はじまる	100	はた	1
ハゲム (和・動)		ハジメ (和・名)		ハダ (和・名)	
励む	8	初め	118	肌	46
はげむ	6	始め	7	膚	2
ハコイリ (和・名)		始	1	ハダ	14
函入	12	はじめ	478	はだ	4
函入り	1	ハジメテ (和・副)		ハダアイ (和・名)	
箱入	7	初めて	131	肌合い	1
箱入り	4	初メテ	1	ハダ合い	1
ハコビ (和・名)		始めて	2	はだ合い	1
運び	23	はじめて	167	ハダアレ (和・名)	
はこび	2	ハジメル (和・動)		肌あれ	9
ハコビコム (和・動)		始める	141	肌アレ	2
運び込む	4	初める	3	肌荒れ	1
運びこむ	1	はじめる	137	ハダカ (和・名)	
ハコブ (和・動)		バショ (混・名)		裸	7
運ぶ	88	場所	203	ハダカ	7
はこぶ	5	ばしょ	1	はだか	3
ハサミウチ (和・名)		ハシリコム (和・動)		ハダキ (和・名)	
はさみ打ち	2	走り込む	2	肌着	20
はさみ討ち	1	走りこむ	1	ハダ着	3
はさみうち	1	ハシリマワル (和・動)		はだ着	3
ハサム (和・動)		走りまわる	4	ハタケ (和・名)	
挟む	1	走り回る	2	畑	25
はさむ	30	ハシル (和・動)		畠	2
ハシ (和・名)		走る	125	ハダザワリ (和・名)	
端	17	はしる	1	肌ざわり	4
はし	1	ハズ (和・名)		はだざわり	1
ハシ (和・名)		筈	4	ハダシ (和・名)	
箸	1	ハズ	1	はだし	5
ハシ	1	はず	159	はだし	2
ハジ (和・名)		ハズカシイ (和・形)		ハタシテ (和・副)	
恥	3	恥ずかしい	11	果たして	18
ハジ	1	恥かしい	3	果たして	11
ハシカ (和・名)		はずかしい	5	はたして	21
麻疹	1	ハズス (和・動)		ハタシルシ (和・名)	
ハシカ	3	外す	1	旗印	6
はしか	3	はずす	43	旗じるし	2
ハジキカエス (和・動)		ハズレ (和・名)		ハタス (和・動)	
はじき返す	1	外れ	1	果たす	56
はじきかえず	2	はずれ	3	果たす	25

はたす 3  
 ハタチ (和・名) 1  
 20才 1  
 ハタチ 1  
 はたち 3  
 バタバタ (和・副) 4  
 バタバタ 4  
 ばたばた 1  
 ハタラク (和・名) 48  
 働 48  
 はたらき 2  
 ハタラクカケル (和・動) 33  
 働きかける 33  
 はたらきかける 1  
 ハタラクザカリ (和・名) 2  
 働き盛り 2  
 働きざかり 1  
 ハタラク (和・動) 168  
 働く 168  
 働らく 1  
 はたらく 1  
 ハタン (漢・名) 3  
 破たん 3  
 破綻 2  
 ハチ (漢・名) 5  
 ハチ 5  
 はち 3  
 ハチウエ (混・名) 1  
 ハチ植え 1  
 はち植え 2  
 バチカイ (和・名) 1  
 場違い 1  
 場ちがい 2  
 ハチキレル (和・動) 1  
 はち切れる 1  
 はちきれる 1  
 バチクリ (和・副) 1  
 バチクリ 1  
 ばちくり 1  
 ハチマキ (混・名) 2  
 はち巻 2  
 はち巻き 1  
 ハチ巻 1  
 ハチミツ (混・名) 2  
 蜂蜜 2  
 ハチミツ 4  
 はちみつ 1  
 ハツ (和・頭) 203  
 初 203  
 はつ 1  
 ハッ (和・副) 1  
 ハッ 1

はっ 1  
 ハツガン (漢・名) 5  
 発ガン 5  
 発がん 1  
 ハッキリ (和・副) 3  
 ハッキリ 3  
 はっきり 177  
 バック (外・名) 44  
 バック 44  
 バッグ 1  
 ハッコウ (漢・名) 14  
 発酵 14  
 醗酵 6  
 ハッシン (漢・名) 1  
 発疹 1  
 発シン 1  
 バッスイ (漢・名) 3  
 抜粋 3  
 抜萃 1  
 バックリ (和・副) 1  
 バックリ 1  
 ばったり 2  
 バッテキ (漢・名) 5  
 抜てき 5  
 抜搦 2  
 ばってき 1  
 ハット (漢・名) 1  
 法度 1  
 はっと 1  
 ハッパ (漢・名) 3  
 発破 3  
 ハッパ 1  
 ハッピ (漢・名) 1  
 ハッピ 1  
 はっぴ 1  
 ハツラツ (漢・名) 2  
 発らつ 2  
 ハツラツ 1  
 はつらつ 8  
 ハテ (和・名) 8  
 果て 8  
 はて 3  
 ハテ (和・感) 1  
 ハテ 1  
 はて 1  
 ハデ (和・名) 13  
 派手 13  
 ハデ 10  
 はで 10  
 ハテル (和・動) 7  
 果てる 7  
 はてる 2

ハト (和・名) 1  
 鳩 1  
 ハト 3  
 はと 2  
 ハドメ (和・名) 2  
 歯止め 2  
 歯どめ 1  
 ハナ (和・名) 23  
 鼻 23  
 ハナ 5  
 ハナ (和・名) 139  
 花 139  
 華 5  
 はな 1  
 ハナシ (和・名) 502  
 話 502  
 話し 4  
 噺 2  
 ハナシ 1  
 はなし 18  
 バナシ (和・尾) 2  
 放し 2  
 ばなし 15  
 ハナシアイ (和・名) 122  
 話し合い 122  
 話合い 52  
 話しあい 2  
 ハナシアウ (和・動) 83  
 話し合う 83  
 話合う 39  
 話しあう 7  
 ハナス (和・動) 10  
 離す 10  
 放す 5  
 はなす 2  
 ハナス (和・動) 111  
 話す 111  
 はなす 1  
 ハナツ (和・動) 45  
 放つ 45  
 はなつ 2  
 ハナバナシイ (和・形) 2  
 花々しい 2  
 華々しい 2  
 はなばなしい 5  
 ハナマツリ (和・名) 1  
 花祭り 1  
 花まつり 1  
 ハナミズ (和・名) 2  
 鼻ミズ 2  
 鼻みず 2  
 ハナヤカ (和・名)

花やか	6	阻む	3	早まる	5
華やか	2	沮む	1	はやまる	1
はなやか	10	はばむ	14	ハヤメ (和・名)	
ハナヤカサ (和・名)		ハブク (和・動)		早め	21
花やかさ	2	省く	3	早目	14
華やかさ	1	はぶく	4	ハヤリ (和・名)	
はなやかさ	2	ハブラシ (混・名)		ハヤリ	1
ハナヤグ (和・動)		歯ブラシ	1	はやり	7
華やぐ	1	ハブラシ	3	ハラ (和・名)	
はなやぐ	1	はぶらし	3	腹	31
ハナレ (和・名)		ハマグリ (和・名)		ハラ	22
離れ	2	蛤	1	バラ (和・名)	
ばなれ	2	ハマグリ	1	薔薇	2
ハナレレ (和・動)		ハマリコム (和・動)		バラ	15
離れる	101	はまり込む	2	ばら	5
はなれる	12	はまりこむ	3	ハライ (和・名)	
ハニワ (和・名)		ハミガキ (和・名)		払	5
ハニワ	1	齒磨	27	払い	56
はにわ	1	齒みがき	4	ハライコミ (和・名)	
ハネ (和・名)		ハミガキ	1	払込	5
羽根	4	ハミダス (和・動)		払込み	2
羽	2	ハミ出す	1	払い込み	2
バネ (和・名)		はみ出す	6	払いこみ	1
バネ	5	ハメ (和・名)		ハライコム (和・動)	
ばね	2	羽目	1	払い込む	2
ハネアガル (和・動)		ハメ	4	払込む	1
はね上がる	5	はめ	1	払いこむ	1
ハネ上がる	1	ハメコミ (和・名)		ハライサゲ (和・名)	
はねあがる	2	ハメ込み	1	払い下げ	5
ハネカエル (和・動)		はめこみ	1	払下げ	5
ハネ返す	3	ハメコム (和・動)		ハライサゲル (和・動)	
はね返す	3	ハメ込む	1	払下げる	4
はねかえす	2	はめ込む	1	払い下げる	1
ハネカエル (和・動)		はめこむ	5	ハライモドス (和・動)	
はね返る	4	ハメル (和・動)		払い戻す	2
ハネ返る	1	ハメル	1	払戻す	2
はねかえる	3	はめる	13	ハラウ (和・動)	
ハネトバス (和・動)		ハヤイ (和・形)		払う	80
ハネ飛ばす	1	早い	375	はらう	13
はね飛ばす	1	速い	15	バラエティー (外・名)	
はねとばす	2	はやい	26	バラエティー	5
ハネル (和・動)		ハヤガワリ (和・名)		バラエティ	7
はねる	27	早変わり	2	バラエティ	1
ハネる	9	早変り	1	バラエン (混・名)	
ハバ (和・名)		早がわり	1	バラ園	1
幅	98	ハヤサ (和・名)		ばらえん	1
巾	12	速さ	3	ハラス (和・動)	
ハバヒロイ (和・形)		早さ	1	晴らす	3
幅広い	11	ハヤバヤ (和・副)		はらす	2
巾広い	1	早々	4	ハラハラ (和・副)	
巾ひろい	1	早ばや	1	ハラハラ	6
ハバム (和・動)		ハヤマル (和・動)		はらはら	2

バラバラ (和・副)		張り込み	3	バンザイ (漢・名)	
バラバラ	16	ハリダス (和・動)		万歳	18
ばらばら	2	張り出す	12	バンザイ	9
ハラマキ (和・名)		はり出す	5	ばんざい	1
腹巻	1	ハリツケル (和・動)		ハンジョウ (漢・名)	
腹巻き	1	張りつける	2	繁盛	8
腹まき	1	はりつける	4	繁昌	4
ハラン (漢・名)		バリティ (外・名)		ハンソデ (混・名)	
波乱	34	バリティ	1	半袖	13
波瀾	1	バリティー	1	半そで	5
ハリ (和・名)		ハリバコ (和・名)		ハantai (漢・名)	
針	9	貼箱	1	反対	376
ハリ	4	貼函	8	ハantai	1
ハリ (和・名)		ハル (和・動)		ハンチュウ (漢・名)	
張り	7	張る	37	範疇	1
張	2	貼る	18	はんちゅう	1
ハリ	1	はる	44	ハンディ (外・名)	
はり	1	ハルカ (和・名)		ハンディ	6
ハリ (和・尾)		遙か	1	ハンデ	1
貼	2	はるか	43	バント (外・名)	
貼り	1	ハルサキ (和・名)		バント	21
ハライ (和・名)		春さき	1	バンド	10
張り合い	1	春先	4	ハンドバック (外・名)	
張りあい	1	ハレ (和・名)		ハンドバック	21
はりあい	2	晴	60	ハンドバッグ	26
ハリアウ (和・動)		晴れ	42	ハンブ (混・名)	
張り合う	1	ハレアガル (和・動)		半端	3
張りあう	1	晴れ上がる	1	ハンバ	2
ハリアゲル (和・動)		晴上がる	1	はんば	12
張り上げる	1	晴れあがる	2	ハンブ (漢・名)	
はり上げる	1	ハレギ (和・名)		頒布	3
はりあげる	3	晴着	13	はん布	3
ハリガミ (和・名)		晴れ着	13	はんぶ	1
はり紙	6	ハレマ (和・名)		バンヤキ (混・名)	
張紙	2	晴間	3	バン焼	1
張り紙	2	晴れ間	6	バン焼き	1
貼り紙	1	ハン (漢・尾)		ハンラン (漢・名)	
ハリキリ (和・名)		半	491	ハンラン	1
張り切り	2	はん	5	はんらん	11
はりきり	1	バン (漢・尾)		ヒ (和・名)	
ハリキル (和・動)		番	264	日	18
張り切る	6	バン	1	隅	5
張切る	4	ばん	5	ヒアクリ (和・名)	
はり切る	1	バン (漢・名) <すべて>		日当り	3
ハリキル	2	万	1	日当たり	1
はりきる	3	バン	2	日あたり	1
張りきる	2	ハンエリ (混・名)		ビーナツ (外・名)	
ハリコ (和・名)		半エリ	1	ビーナツ	3
張り子	4	半衿	1	ビーナツ	2
ハリ子	1	バングミ (混・名)		ヒエコミ (和・名)	
ハリコミ (和・名)		番組	167	冷え込み	1
張込み	1	番組み	29	冷えこみ	1

ヒエル (和・動)		引き揚げる	18	引き込む	1
冷える	8	引き上げる	56	引きこむ	1
ひえる	1	引上げる	26	ひきこむ	3
ヒカエ (和・名)		引きあげる	8	ヒキサク (和・動)	
控え	7	ひき上げる	1	引きさく	3
控	4	ひきあげる	2	引き裂く	2
ヒカエシツ (混・名)		ヒキイル (和・動)		引裂く	1
控室	2	率いる	6	ひき裂く	1
控え室	2	ひきいる	4	ヒキサゲ (和・名)	
ヒカエメ (和・名)		ヒキイレル (和・動)		引下げ	35
控えめ	3	引き入れる	3	引き下げ	8
控え目	2	ひき入れる	1	ヒキサゲル (和・動)	
ひかえ目	2	ヒキウケ (和・名)		引き下げる	14
ひかえめ	5	引受け	9	引下げる	7
ヒガエリ (和・名)		引き受け	6	引きさげる	1
日帰り	16	引受	4	ひきさげる	1
日帰	1	ヒキウケル (和・動)		ヒキシメ (和・名)	
ヒカエル (和・動)		引き受ける	18	引締め	9
控える	26	引受ける	7	引き締め	3
ひかえる	32	引きうける	1	ヒキシメル (和・動)	
ヒカゲ (和・名)		ひきうける	5	引き締める	6
日陰	6	ヒキオコス (和・動)		引締める	2
日蔭	1	引起す	4	引きしめる	1
日かげ	1	引き起す	4	ひきしめる	2
ヒカリ (和・名)		ひき起す	4	ヒキズル (和・動)	
光	48	ひき起こす	2	引きずる	14
光り	1	ひきおこす	3	ひきずる	7
ヒカリ	4	ヒキカエ (和・名)		ヒキダシ (和・名)	
ひかり	11	引換	2	引き出し	5
ヒカル (和・動)		引替え	2	引出し	3
光る	50	引き替え	1	引出	1
炯る	1	引きかえ	2	抽出し	1
ヒキ (和・尾)		ひきかけ	2	ひき出し	1
引	19	ヒキカエス (和・動)		ヒキダス (和・動)	
引き	5	引き返す	7	引き出す	16
ひき	1	引返す	3	引出す	4
ヒキアイ (和・名)		ひき返す	2	ひき出す	3
引合い	5	引きかえす	1	引きだす	2
引き合い	4	ひきかえす	6	ひきだす	1
ヒキアウ (和・動)		ヒキカエル (和・動)		ヒキタツ (和・動)	
引き合う	1	引替える	2	引立つ	1
ひき合う	1	引きかえる	1	引き立つ	1
ヒキアゲ (和・名)		ヒキガタリ (和・名)		ひきたつ	3
引上げ	53	弾きがたり	1	ヒキタテ (和・名)	
引上ゲ	1	ひき語り	1	引きたて	2
引き上げ	21	ヒキガネ (和・名)		引き立て	2
引揚げ	12	引き金	3	引立	1
引揚	10	引金	1	引立て	1
引き揚げ	8	ヒキコミ (和・名)		ヒキチギル (和・動)	
引きあげ	2	引きこみ	2	引きちぎる	3
ヒキアゲル (和・動)		引込み	1	ひきちぎる	2
引揚げる	20	ヒキコム (和・動)		ヒキツグ (和・動)	

引き継ぐ	9	ヒキワケ (和・名)		ひ護	1
引継ぐ	4	引き分け	16	ヒコウ (漢・名)	
引きつぐ	8	引分け	8	飛行	228
ヒキツケル (和・動)		ヒキワタシ (和・名)		ヒコー	3
引きつける	2	引渡し	1	ひこう	1
惹きつける	1	引き渡	1	ヒゴロ (和・名)	
ひきつける	9	引き渡し	1	日ごろ	27
ヒキツク (和・動)		ヒキワタス (和・動)		日頃	1
引き続く	48	引き渡す	10	ヒザ (和・名)	
引続く	32	引渡す	2	膝	3
引きつづく	6	ヒク (和・動)		ヒザ	16
ひき続く	5	引く	54	ヒザウエ (和・名)	
ひきつづく	12	惹く	3	ヒザ上	2
ヒキツレル (和・動)		弾く	3	ひざ上	2
引連れる	2	抽く	2	ヒサシ (和・名)	
引きつれる	2	轢く	1	ヒサシ	3
ひきつれる	1	退く	1	ひさし	1
ヒキトリ (和・名)		ひく	87	ヒザシ (和・名)	
引き取り	5	ヒクイ (和・形)		日ざし	7
引取り	4	低い	76	日差し	1
引取	1	ひくい	2	陽ざし	1
ヒキトル (和・動)		ビクッ (和・副)		ヒサシブリ (和・名)	
引き取る	8	ビクッ	1	久しぶり	39
引取る	7	びくっ	1	ひさしぶり	3
引きとる	3	ビクビク (和・副)		ヒザツメ (和・名)	
ひきとる	5	ビクビク	2	ヒザ詰め	1
ヒキヌク (和・動)		びくびく	1	ヒザづめ	1
引抜く	10	ヒクメ (和・名)		ヒサビサ (和・名)	
ひき抜く	2	低め	12	久々	3
引きぬく	1	低目	8	久びさ	1
ヒキノバシ (和・名)		ヒケ (和・名)		ひきびさ	3
引延し	1	引け	9	ヒジ (和・名)	
引き延ばし	1	ヒケ	1	肘	2
引きのばし	1	ひけ	2	ヒジ	3
ヒキノバス (和・動)		ヒゲ (和・名)		ひじ	2
引延す	1	ヒゲ	1	ヒジカケ (和・名)	
引延ばす	1	ひげ	21	脇掛	1
引き延ばす	1	ヒゲソリ (和・名)		脇掛け	1
ひきのばす	1	ヒゲ剃り	1	ひじかけ	1
ヒキハナス (和・動)		ヒゲソリ	1	ビシビシ (和・副)	
引きはなす	3	ヒゲそり	2	ビシビシ	2
引き離す	2	ひげそり	1	びしびし	2
引離す	1	ヒケツ (漢・名)		ヒシメキアウ (和・動)	
ひきはなす	1	秘訣	4	ひしめき合う	1
ヒキマワス (和・動)		秘決	1	ひしめきあう	1
引き回す	2	秘けつ	2	ヒジャゲル (和・動)	
引き廻す	1	ヒケツ	1	ヒジャゲル	1
ひき回す	1	ヒケル (和・動)		ひしゃげる	1
ヒキヨセル (和・動)		引ける	4	ヒスイ (漢・名)	
引寄せる	2	ひける	4	ヒスイ	1
引き寄せる	1	ヒゴ (漢・名)		ひすい	2
引きよせる	1	庇護	1	ヒズミ (和・名)	

ヒズミ	1	ヒックリカエス (和・動)		ヒトアメ (和・名)	
ひずみ	5	ひっくり返す	3	一雨	1
ヒソカ (和・名)		ひっくりかえす	1	ひと雨	1
秘か	2	ヒツケ (和・名)		ヒトイキ (和・名)	
ヒソカ	1	日づけ	7	一息	1 2
ひそか	1 3	日付	6	ひと息	1
ヒソム (和・動)		日付け	2	ヒトエ (和・名)	
潜む	2	ヒッコシ (和・名)		ひとえ	2
ひそむ	2 1	引越し	5	ひとへ	1
ヒタイ (和・名)		ひっこし	1	ヒトガキ (和・名)	
額	5	ヒッコス (和・動)		人ガキ	1
ひたい	4	引越す	2	人がき	1
ヒタイ	3	引越す	2	ヒトカゲ (和・名)	
ヒタス (和・動)		ヒッコミ (和・名)		人影	2
浸す	2	引込み	3	ひとかげ	1
ひたす	1	引込み	2	ヒトガラ (和・名)	
ヒタヒタ (和・副)		ヒッコム (和・動)		人柄	1 2
ヒタヒタ	1	ひっ込む	2	人がら	1
ひたひた	2	引込む	1	ヒトキワ (和・副)	
ヒダマリ (和・名)		引込む	1	一きわ	1
日だまり	1	引こむ	1	ひときわ	1 2
陽だまり	1	ひっこむ	2	ヒトクチ (和・名)	
ビタリ (和・副)		ヒッコムル (和・動)		ヒトクチ	1
ビタリ	1 1	引こめる	4	ひとくち	4
びたり	3	ひこめる	1	ヒトケ (和・名)	
ヒダリウチ (和・名)		ヒツジ (和・名)		人気	1
左打ち	4	羊	2	ひとけ	1
左撃ち	1	ヒツジ	1	ヒトコト (和・名)	
ヒダリゴエ (和・名)		ひつじ	2	一言	2
左越え	3	ヒツジカイ (和・名)		ひと言	2
左越	1	羊飼	1	ひとこと	1 2
ヒダリヒザ (和・名)		羊飼い	1	ヒトゴト (和・名)	
左ヒザ	1	ビッショリ (和・副)		他人事	2
左ひざ	1	ビッショリ	1	仙人ごと	1
ヒダリヒジ (和・名)		びっしょり	1	ひと事	1
左ヒジ	1	ビツタリ (和・副)		ひとごと	5
左ひじ	1	ビツタリ	2 3	ヒトゴミ (和・名)	
ヒダリヨリ (和・名)		びつたり	2 1	人ごみ	2
左寄り	3	ヒッバリ (和・名)		人混み	1
左より	1	引張り	2	ヒトサシ (和・名)	
ヒチョウ (漢・名)		引張り	1	人差	1
秘帖	1	引っぱり	1	人さし	1
秘帳	1	ひっぱり	6	ヒトシイ (和・形)	
ヒッカカル (和・動)		ヒッパル (和・動)		等しい	8
引っかかる	2	引張る	3	ひとしい	3
ひっかかる	1 8	引張る	3	ヒトスジ (和・名)	
ヒッカケル (和・動)		引ばる	9	一筋	7
引っかける	2	ひばる	2	ひと筋	2
ひっかける	6	ヒト (和・名)		ひとすじ	1 3
ビックリ (和・名)		人	1 0 7 5	ヒトツ (和・名)	
ビックリ	1 0	ヒト	2	一つ	4 2 4
びっくり	2 8	ひと	2 7	ヒトツ	2



ひとつ	161	飛成	2	ひやす	4
ヒトツクリ (和・名)		ヒナン (漢・名)		ビューティー (外・名)	
人づくり	2	非難	95	ビューティー	3
人造り	1	批難	1	ビューティ	1
ヒトトキ (和・副)		ヒノデ (和・名)		ビューロー (外・名)	
ひと時	1	日の出	6	ビューロー	2
ひととき	11	日出	2	ビューロー	1
ヒトナミ (和・名)		ヒノマル (和・名)		ビヨウ (漢・名)	
人並	1	日の丸	19	美容	47
人なみ	1	ヒノマル	3	ビヨウ	1
ヒトビト (和・名)		ヒビキ (和・名)		ビョウゲン (漢・名)	
人々	112	響き	4	病原	1
人びと	24	ひびき	3	病源	1
ひとびと	3	ヒビク (和・動)		ヒョウシ (漢・名)	
ヒトフキ (和・名)		響く	27	拍子	6
ひと吹き	1	ひびく	23	ひょうし	2
ひとふき	2	ヒビワレ (和・名)		ヒョウジ (漢・名)	
ヒトフリ (和・名)		ヒビ割れ	2	表示	31
ひと振り	3	ひびわれ	1	標示	1
ひとふり	1	ヒフ (漢・名)		ヒョウタン (漢・名)	
ヒトミ (和・名)		皮膚	14	ヒョウタン	2
瞳	9	皮フ	5	ひょうたん	1
ヒトミ	2	ヒフ	12	ビョウトウ (漢・名)	
ヒトムカシ (和・名)		ひふ	2	病とう	2
一昔	1	ヒマ (和・名)		病棟	1
ひと昔	1	暇	1	ビョウヨミ (混・名)	
ひとむかし	1	ヒマ	5	秒よみ	4
ヒトメ (和・名)		ひま	9	秒ヨミ	2
一目	15	ヒマシ (和・名)		秒読み	1
ひと目	3	日まし	3	ヒヨリ (和・名)	
ヒトリ (和・名)		日増し	1	日和	6
一人	417	ヒミツ (漢・名)		ひより	5
ひとり	73	秘密	60	ヒヨワ (和・名)	
ヒトリゴト (和・名)		ヒミツ	6	ひ弱	1
ひとり言	2	ヒメル (和・動)		ヒヨワ	1
独言	1	秘める	15	ひよわ	1
ひとりごと	2	ひめる	3	ヒラク (和・動)	
ヒトリダチ (和・名)		ヒモ (和・名)		開く	916
一人立ち	1	ヒモ	6	拓く	2
ひとり立ち	1	ひも	2	ヒラク	1
ヒトワタリ (和・副)		ヒヤアセ (和・名)		ひらく	1
一とわたり	1	冷汗	1	ひらく	34
ひとわたり	1	ヒヤ汗	1	ヒラケル (和・動)	
ヒナ (和・名)		ヒヤカス (和・動)		開ける	9
ひな	9	冷やかす	1	拓ける	1
ひな	4	ひやかす	2	ヒラヤ (和・名)	
ヒナマツリ (和・名)		ヒヤケ (和・名)		平屋	9
ひな祭り	2	日ヤケ	7	平家	2
ヒナ祭り	1	日やけ	6	ブリッ (和・副)	
ひなまつり	2	日焼け	3	ブリッ	2
ヒナリ (混・名)		ヒヤス (和・動)		びりっ	1
飛成り	3	冷やす	17	ヒル (和・名)	

昼	69	瓶詰	3	封じ込め	4
ヒル	3	壺詰	2	封じ込	1
ひる	2	ビン詰め	2	フウジコメル (和・動)	
ヒルスギ (和・名)		びん詰	1	封じ込める	7
昼すぎ	6	ビンづめ	1	封じこめる	1
昼過ぎ	3	ヒンド (漢・名)		フウセン (漢・名)	
ひるすぎ	2	ひん度	2	風船	5
ビルディング (外・名)		頻度	1	ふうせん	1
ビルディング	6	ヒンバツ (漢・名)		フウビ (漢・名)	
ビルヂング	1	ひん発	2	風靡	1
ヒルマ (和・名)		頻発	1	ふうび	3
昼間	20	ヒンバン (漢・名)		フェア (外・尾)	
ひるま	1	ひん繁	1	フェア	1
ヒロイ (和・形)		ひんぱん	3	フェアー	1
広い	124	ブ (漢・名)		フェーン (外・名)	
博い	1	分	7	焚風	1
ひろい	1	ブ	2	フェーン	2
ヒロウ (和・動)		ファンデーション (外・名)		フェスティバル (外・名)	
拾う	15	ファウンデーション	1	フェスティバル	9
ひろう	8	ファウンデーション	1	フェスティバル	1
ヒロガル (和・動)		ファンデーション	3	フェル (和・動)	
広がる	44	ブアツイ (混・形)		増える	9
拡がる	1	分厚い	4	ふえる	292
ひろがる	20	ぶあつい	1	フェルト (外・名)	
ヒロゲル (和・動)		ファイヤー (外・名)		フェルト	6
広げる	36	ファイヤー	2	フェルト	2
拡げる	1	ファイアー	1	フカ (漢・名)	
ひろげる	20	フィ (漢・名)		ふ化	4
ヒロバ (和・名)		不意	7	孵化	1
広場	46	ふい	4	フカイ (和・形)	
ひろば	7	フィルハーモニー (外・名)		深い	165
ヒロマル (和・動)		フィルハーモニー	1	ふかい	6
広まる	3	フィルハーモニア	1	フキアゲル (和・動)	
ひろまる	2	フィルム (外・名)		吹きあげる	1
ヒロメ (和・名)		フィルム	36	ふき上げる	1
広目	1	フィルム	5	ふきあげる	1
ひろめ	1	フウ (漢・尾)		フキアレル (和・動)	
ビワ (漢・名)		風	33	吹き荒れる	5
琵琶	2	フウ	3	吹荒れる	1
ビワ	1	ふう	32	フキコミ (和・名)	
びわ	2	フウガワリ (混・名)		吹き込み	5
ビン (漢・名)		風変わり	2	吹込み	1
瓶	13	風がわり	1	吹きこみ	1
ビン	11	ふう変わり	1	フキコム (和・動)	
びん	9	フウキリ (混・名)		吹きこむ	6
ヒンシ (漢・名)		封切	10	吹込む	5
瀕死	1	封切り	4	吹き込む	4
ひん死	1	フウシ (漢・名)		フキダス (和・動)	
ピンセン (漢・名)		風刺	8	吹出す	2
便せん	3	諷刺	3	ふきだす	1
びんせん	4	ふう刺	1	フキツケル (和・動)	
ピンヅメ (混・名)		フウジコメ (和・名)		吹きつける	6

ふきつける	2	フクロウ	1	フタ	18
フキア (和・名)		フクロヅメ (和・名)		ふた	1
吹出	5	袋詰	2	フタ (和・名)	
吹き出	1	袋詰め	1	豚	13
フキデル (和・動)		袋づめ	2	フタ	24
吹き出る	1	フクロヌイ (和・名)		フタアケ (和・名)	
吹出る	1	袋縫い	3	フタ開け	1
ふき出る	1	フクロ縫い	1	フタあけ	1
フキトバス (和・動)		フケル (和・動)		フタゴ (和・名)	
吹きとばす	3	更ける	1	ふた子	3
吹き飛ばす	2	ふける	1	ふたご	1
吹飛ばす	1	フサグ (和・動)		フタタビ (和・副)	
フキトブ (和・動)		塞ぐ	1	再び	163
吹飛ば	1	ふさぐ	9	再び	1
吹き飛ば	1	フサフサ (和・副)		ふたたび	22
吹きとぶ	1	フサフサ	1	フタツ (和・名)	
ふきとぶ	1	ふさふさ	1	二つ	205
フキヌケル (和・動)		フシ (和・名)		二ツ	1
吹き抜ける	2	節	2	ふたつ	2
吹きぬける	1	フシ	5	フタニク (混・名)	
フキハラウ (和・動)		ふし	3	豚肉	15
吹きはらう	1	ブジ (漢・名)		フタ肉	8
ふき払う	1	無事	42	フタムカシ (和・名)	
フキン (漢・名)		ぶじ	2	二昔	1
フキン	1	フシギ (漢・名)		ふた昔	1
ふきん	1	不思議	52	フタリ (和・名)	
フク (和・動)		ふしぎ	12	二人	442
吹く	45	フシマワシ (和・名)		2人	1
ふく	6	節まわし	1	ふたり	13
フク (和・動)		フシまわし	1	フダン (漢・名)	
拭く	2	フス (和・動)		普段	1
ふく	17	伏す	2	不断	1
フクシュウ (漢・名)		臥す	1	ふだん	31
復讐	5	ブス (漢・名)		フチ (和・名)	
ふくしゅう	1	附子	1	緑	1
フクシュウ (漢・名)		ブス	1	フチ	3
復習	4	フスマ (和・名)		ふち	7
復しゅう	2	フスマ	2	フチトリ (和・名)	
フクミ (和・名)		ふすま	2	緑とり	1
含み	12	フセイ (漢・名)		ふちとり	1
ふくみ	4	風情	2	ブチマケル (和・動)	
フクム (和・動)		ふぜい	1	ぶちまける	6
含む	175	フセグ (和・名)		ブチまける	1
ふくむ	26	防ぐ	84	フツウ (漢・名)	
フクメル (和・動)		ふせぐ	4	普通	126
含める	120	フソウ (漢・名)		ふつう	28
ふくめる	36	扶桑	1	フツカヨイ (和・名)	
フクレアガル (和・動)		ふそう	7	二日酔	13
ふくれ上がる	3	フゾク (漢・名)		二日酔い	1
ふくれあがる	7	付属	64	ブツギリ (和・名)	
フクロウ (和・名)		附属	1	ブツ切り	1
梟	1	フタ (和・名)〔蓋〕		ぶつ切り	1

ブッソウ (漢・名)		歩成	5	ブラリ	2
物騒	4	フネ (和・名)		ぶらり	1
ぶっそう	1	船	77	ブランコ (和・名)	
ブッチョウヅラ (混・名)		舟	7	ブランコ	5
仏頂面	1	フネ	2	ぶらんこ	2
ぶっちょうづら	1	フマエル (和・動)		フリ (和・名)	
フットパス (和・動)		踏まえる	1	振り	13
ふっ飛ばす	1	ふまえる	1	振	1
吹っとばす	1	フミキリ (和・名)		フリ	1
フットパス (和・動)		踏切	22	ふり	7
ぶっ飛ばす	1	踏み切り	4	ブリ (和・尾)	
ぶっとばす	1	フミキル (和・動)		振り	1
フットブ (和・動)		踏み切る	18	ぶり	106
吹っ飛ば	2	踏切る	17	フリアイ (和・名)	
吹っとぶ	1	ふみ切る	11	ふり合い	1
ふっとぶ	4	ふみきる	6	ふりあい	1
ブツブツ (和・副)		フミコム (和・動)		フリオトス (和・動)	
ブツブツ	2	踏込む	1	振落す	1
ぶつぶつ	1	ふみ込む	1	ふり落す	1
フデ (和・名)		ふみこむ	2	フリカエ (和・名)	
筆	26	フシメル (和・動)		振替	103
フデ	1	踏みしめる	1	振りかえ	1
フト (和・副)		ふみしめる	1	ふりかえ	1
フト	1	フミダス (和・動)		フリカエル (和・動)	
ふと	13	踏み出す	8	ふり返る	6
フトウ (漢・名)		踏出す	1	振り返る	4
ふ頭	4	ふみだす	1	振りかえる	1
フ頭	1	フミトマル (和・動)		ふりかえる	11
ブドウ (漢・名)		踏みとどまる	1	フリカケル (和・動)	
葡萄	1	ふみとどまる	1	振りかける	1
ブドウ	14	フミニジル (和・動)		ふりかける	11
ブドー	4	踏みにじる	3	フリカザス (和・動)	
ぶどう	7	ふみにじる	2	振りかざす	1
フトコロ (和・名)		フム (和・動)		ふりかざす	2
フトコロ	5	踏む	28	フリキル (和・動)	
ふところ	9	ふむ	11	振り切る	2
フトル (和・動)		フモト (和・名)		振切る	2
太る	11	籠	1	ふり切る	2
肥る	2	ふもと	3	ふりきる	1
ふとる	2	フヨウ (漢・名)		フリコ (和・名)	
フトン (漢・名)		不要	29	振子	1
布団	10	不用	6	振り子	1
フトン	9	フラス (和・動)		フリコム (和・動)	
ふとん	26	降らす	4	振込む	1
フナ (和・名)		降す	1	ふりこむ	1
フナ	7	フラフラ (和・副)		フリソデ (和・名)	
ふな	1	フラフラ	1	振袖	7
フナヤド (和・名)		ふらふら	2	振りそで	3
船宿	4	ブラブラ (和・副)		振そで	2
舟やど	1	ブラブラ	5	ふりそで	1
フナリ (混・名)		ぶらぶら	1	フリダシ (和・名)	
歩成り	8	ブラリ (和・副)		振出し	3

振り出し	2	ブルドーザ	2	ヘイ	7
ふりだし	2	フルワス (和・動)		へい	2
フリッケ (和・名)		悩わす	1	ヘイコウ (漢・名)	
振付	5	ふるわす	5	並行	28
振付け	1	プレーヤー (外・名)		併行	1
振り付け	1	プレーヤー	6	ヘイジツ (漢・名)	
フリマワス (和・動)		プレーヤー	1	平日	90
ふり回す	4	フレル (和・動)		へいじつ	1
振回す	3	触れる	21	ヘイタン (漢・名)	
振り回す	2	ふれる	65	平たん	2
振りまわす	1	フロ (漢・名)		平担	1
ふりまわす	3	風呂	35	ヘイヨウ (漢・名)	
フリムク (和・動)		フロ	18	併用	25
振り向く	1	ふろ	8	並用	1
ふり向く	1	フロク (漢・名)		ヘエ (和・形)	
ふりむく	4	付録	36	ヘエ	1
フリムケル (和・動)		附録	1	へえ	7
振向ける	1	フロク	1	ヘー	1
ふり向ける	1	ふろく	1	ページ (外・名)	
ふりむける	1	フロシキ (混・名)		頁	57
プリンス (外・名)		ふろ敷	1	ページ	96
プリンス	32	フロシキ	1	ページスウ (混・名)	
ぷりんす	1	ふろしき	5	頁数	1
プリント (外・名)		フワタリ (混・名)		ページ数	1
プリント	27	不渡り	7	ヘタ (和・名)	
ぷりんと	1	不渡	3	ヘタ	6
フル (和・動)		ブン (漢・名)		へた	5
降る	62	分	43	ヘダテル (和・動)	
ふる	1	ぶん	2	隔てる	2
フル (和・動)		フンイキ (漢・名)		へだてる	1
振る	35	ふんい気	10	ベツ (漢・名)	
ふる	13	雰囲気	5	別	156
フルイ (和・形)		ふんいき	21	べつ	1
古い	110	ブンショ (漢・名)		ベッコウ (漢・名)	
ふるい	1	文書	41	ベッ甲	1
フルウ (和・動)		ぶんしょ	1	ベッコウ	1
振るう	5	フンスイ (漢・名)		ベッシ (漢・名)	
振う	1	噴水	13	蔑視	1
奮う	3	ふんすい	1	べっ視	1
揮う	1	フندگان (漢・副)		ベツリ (和・副)	
ふるう	18	フندگان	1	ベツリ	1
フルエル (和・動)		ふんだん	10	べつたり	1
震える	1	フントウ (漢・名)		ヘッディング (外・名)	
ふるえる	8	奮闘	8	ヘディング	4
フルサト (和・名)		奮斗	2	ヘッピング	2
ふる里	1	ブンブン (和・副)		ベッド (外・名)	
ふるさと	29	ブンブン	1	ベッド	29
フルス (和・名)		ぶんぶん	1	ベツ	11
古果	1	フンマン (漢・名)		ベッドタウン (外・名)	
ふる果	2	憤満	1	ベッドタウン	3
ブルドーザー (外・名)		ふんまん	4	ベツタウン	1
ブルドーザー	5	ヘイ (漢・名)		ベツドルーム (外・名)	

ベットルーム	1	弁当	15	ほうり込む	2
ベッドルーム	1	べんとう	10	ほうりこむ	1
ベテン (和・名)		ベンリ (漢・名)		ホウリダス (和・動)	
ベテン	2	便利	110	放り出す	4
べてん	1	ベンリ	1	ほうり出す	2
ベツク (和・動)		べんり	4	放りだす	1
ベトつく	1	ボイ (和・尾)		ホウル (和・動)	
べとつく	3	ボイ	2	放る	14
ベナルティ (外・名)		ぼい	16	ほうる	4
ベナルティ	1	ボイラー (外・名)		ホオ (漢・名)	
ベナルティ	1	ボイラ	1	頬	3
ヘビ (和・名)		ボイラー	5	ホオ	3
蛇	1	ホウ (漢・名)		ホームウェア (外・名)	
ヘビ	1	方	365	ホームウェア	5
ベビーウェア (外・名)		ほう	96	ホームウェア	2
ベビーウェア	1	ボウ (漢・名)		ホームコメディ (外・名)	
ベビーウェア	1	棒	5	ホームコメディ	1
ベビーベッド (外・名)		ぼう	1	ホームコメディ	1
ベビーベット	1	ボウ (外・名) <リボン>		ホームコメディ	1
ベビーベッド	1	ボウ	1	ホカ (和・名)	
ヘヤ (和・名)		ボー	1	他	88
部屋	104	ホウジョウ (漢・名)		外	2
室	3	豊饒	2	ホカ	16
ヘヤ	1	豊穡	1	ほか	778
ヘヤ	4	ボウス (漢・名)		ホカナラナイ (和・連)	
ヘラス (和・動)		坊主	10	他ならない	1
減らす	26	坊ず	1	ほかならない	2
へらす	3	ボウゼン (漢・名)		ホカン (漢・名)	
ベラボウ (混・名)		茫然	2	保管	10
ベラボウ	1	ぼう然	2	ホカン	1
べらぼう	2	杲然	1	ボク (漢・名)	
ヘル (和・動)		ぼうぜん	1	僕	43
減る	97	ホウダイ (漢・名)		ボク	23
空る	2	放題	1	ぼく	90
へる	2	ほうだい	3	ボクトツ (漢・名)	
ヘン (漢・名)		ボウダイ (漢・名)		朴訥	1
辺	12	膨大	20	朴とつ	1
ヘン	24	尨大	1	ボケ (和・名)	
ヘン (漢・名)		ぼう大	1	ボケ	5
変	14	ホウチョウ (漢・名)		ぼけ	3
ヘン	2	包丁	17	ホコリ (和・名)	
へん	2	庖丁	1	誇り	24
ヘンクツ (漢・名)		ボウツ (和・副)		誇	1
偏屈	2	ボーツ	1	ホコリ (和・名)	
へんくつ	1	ぼうっ	1	埃	2
ヘンケイ (漢・名)		ボウトク (漢・名)		ホコリ	18
変型	10	冒瀆	2	ほこり	6
変形	4	ほうとく	1	ホコル (和・動)	
ヘンセイ (漢・名)		ホウマツ (漢・名)		誇る	49
編成	136	泡沫	1	ほこる	1
編制	1	ほうまつ	2	ホシイ (和・形)	
ベントウ (漢・名)		ホウリコム (和・動)		欲しい	8

ほしい	254	ボトッ (和・副)		掘出し	4
ホシガキ (和・名)		ボトッ	1	掘出	1
干しガキ	2	ぼとっ	1	掘り出し	1
干ガキ	1	ホトホト (和・副)		ホリバタ (和・名)	
ホス (和・動)		ホトホト	2	堀端	3
干す	4	ほとほと	2	掘ばた	1
ホす	1	ホトンド (和・副)		ポリューム (外・名)	
ポスト (外・名)		殆んど	2	ポリューム	6
ポスト	11	ほとんど	242	ポリウム	1
ぼすと	4	ホネ (和・名)		ポリーム	1
ボストンバッグ (外・名)		骨	28	ホル (和・動)	
ボストンバッグ	1	ホネ	1	彫る	4
ボストンバック	2	ホネグミ (和・名)		ほる	1
ホタル (和・名)		骨組み	4	ホレル (和・動)	
螢	3	骨組	1	惚れる	2
ホタル	3	ホネヌキ (和・名)		ホレル	1
ほたる	1	骨抜き	2	ほれる	5
ホッ (和・副)		骨ぬき	1	ホロビル (和・動)	
ホッ	13	ホホエム (和・動)		滅びる	7
ほっ	11	微笑む	1	亡びる	1
ボッカリ (和・副)		ほほえむ	3	ホロボス (和・動)	
ボッカリ	3	ホマレ (和・名)		滅ぼす	2
ぼっかり	1	誉れ	1	ほろぼす	1
ホッソリ (和・副)		ほまれ	1	ホン (漢・名)	
細っそり	1	ホメル (和・動)		本	99
ほっそり	2	ホメル	1	ほん	1
ポッチャン (混・名)		ほめる	9	ホンギマリ (混・名)	
坊っちゃん	3	ボヤキ (和・名)		本決り	3
坊ちゃん	1	ボヤキ	1	本決まり	2
ポッチャン	1	ばやき	1	ボンズ (外・名)	
ポッパツ (漢・名)		ホラ (和・名) (法螺)		ぼん酢	1
勁発	2	ホラ	1	ボンズ	1
ぼっ発	1	ほら	1	ホンダナ (混・名)	
ポツポツ (和・副)		ホラ (和・感)		本棚	5
ポツポツ	2	ホラ	1	本ダナ	1
ぼっぽつ	11	ほら	2	本だな	2
ポツリ (和・副)		ボラ (和・名) (鰐)		ホントウ (漢・名)	
ポツリ	2	ボラ	2	本当	62
ぼつり	1	ぼら	1	ホントウ	2
ボデー (外・名)		ホラアナ (和・名)		ほんとう	77
ボデー	8	ホラ穴	1	ボンヌキ (和・名)	
ボディ	2	ほら穴	1	ボン抜き	2
ホド (和・名)		ホリ (和・名)		ボンヌキ	1
程	5	堀	6	ホンネ (混・名)	
ほど	4	堀り	2	本音	5
ホトケ (和・名)		ホリオコス (和・動)		ほんね	1
仏	1	掘り起す	1	ボンノウ (漢・名)	
ホトケ	1	掘起す	1	煩惱	1
ほとけ	1	ホリサゲル (和・動)		ぼんのう	1
ホドコス (和・動)		掘り下げる	7	ホンモノ (混・名)	
施す	5	掘りさげる	3	本物	17
ほどこす	10	ホリダシ (和・名)		本もの	4

本モノ	1	まえ	2 1	捲き起す	1
ホンモノ	2	マエウリ (和・名)		巻きおこす	1
ほんもの	5	前売	5 1	まきおこす	1
ホンロウ (漢・名)		前売り	7	マキカエシ (和・名)	
翻弄	2	マエカケ (和・名)		巻き返し	6
ほんろう	2	前掛	1	巻返し	2
マ (和・名)		前掛け	1	まき返し	3
間	1 2 1	前かけ	1	巻きかえし	2
ま	4	マエバライ (和・名)		マキカエス (和・動)	
マ (和・頭)		前払い	5	巻き返す	1
真	9	前払	1	巻きかえす	1
ま	1	マエマワシ (和・名)		マキコム (和・動)	
マア (和・感)		前まわし	4	巻込む	3
マア	1	前マワシ	1	巻き込む	3
まア	1	マガウ (和・動)		巻きこむ	2
まあ	2 9	紛う	2	まき込む	2
マージャン (外・名)		まがう	1	まきこむ	8
麻雀	1	マカス (和・動)		マキノエ (和・名)	
マージャン	6	任す	3	巻きぞえ	2
マアクラシイ (和・形)		まかす	6	まきぞえ	1
真新しい	2	マカセル (和・動)		マキモドシ (和・名)	
ま新しい	1	任せる	5	巻戻し	2
マイアガル (和・動)		委せる	1	巻き戻し	2
舞上がる	3	まかせる	2 9	マキモノ (和・名)	
舞い上がる	2	マガリ (和・名)		巻物	1
舞いあがる	1	間借り	4	巻き物	1
マイオリル (和・動)		間借	2	巻もの	1
舞い降りる	1	マガリカド (和・名)		マガラス (和・動)	
舞いおりる	1	曲がり角	1	紛らす	1
マイゴ (和・名)		曲がりかど	1	まぎらす	1
迷い子	3	曲りかど	1	マガレル (和・動)	
まい子	1	マガリナリ (和・名)		紛れる	1
まいご	1	曲がりなり	2	まぎれる	2
マイコム (和・動)		まがりなり	3	マク (和・動)	
舞い込む	5	マガル (和・動)		巻く	2 0
舞込む	1	曲がる	7	まく	9
舞いこむ	1	曲る	2	マクアキ (混・名)	
マイシン (漢・名)		マがる	2	幕開き	2
邁進	1	まがる	2	幕あき	1
まい進	1	マキ (和・尾)		マクラ (和・名)	
マイツキ (混・名)		巻	5	枕	1
毎月	1 0 0	巻き	3	マクラ	2
まい月	1	マキアゲ (和・名)		まくら	2
マイニチ (漢・名)		巻上げ	1	マクラベ (和・名)	
毎日	3 0 6	巻き上げ	1	枕辺	1
まい日	1	マキアゲル (和・動)		まくらべ	1
マイル (和・動)		まき上げる	1	マクラモト (和・名)	
参る	1 5	まきあげる	3	まくら元	2
まいる	2 2	マキオコス (和・動)		マクラ元	1
まある	1	巻き起こす	6	枕もと	1
マエ (和・名)		巻起す	2	まくらもと	2
前	9 9 9	巻き起す	1	マクロ (和・名)	



鯖	1	まじめ	20	待ち	1
マグロ	6	マジリ (和・名)		マチアワセ (和・名)	
マケコス (和・動)		混り	2	待ち合わせ	1
負越す	2	まじり	7	待ち合わせ	1
負け越す	1	マジル (和・動)		マチツケル (和・動)	
マケスウ (混・名)		混じる	2	待受ける	3
負数	1	混る	1	待ち受ける	2
負け数	1	まじる	23	待ちうける	2
マケル (和・動)		マジワル (和・動)		マデカ (和・名)	
負ける	71	交わる	1	間近	8
まける	4	まじわる	1	まじか	1
マゲル (和・動)		マス (和・動)		マチガイ (和・名)	
曲げる	4	増す	30	間違ひ	39
枉げる	1	ます	14	まちがい	13
まげる	2	マス (和・名)		マチガウ (和・動)	
マゴコロ (和・名)		升	5	間違う	14
真心	4	マス	4	まちがう	5
まごころ	3	マズ (和・副)		マチガエル (和・動)	
マコト (和・名)		先ず	1	間違える	12
誠	2	まず	395	まちがえる	4
まこと	12	マズイ (和・形)		マチカド (和・名)	
マコトニ (和・副)		マズイ	2	町かど	3
誠に	3	まずい	9	街かど	1
まことに	43	マスマス (和・副)		マチカマエル (和・動)	
マサカ (和・副)		益々	2	待ちかまえる	3
マサカ	1	ますます	84	待ち構える	1
まさか	15	マゼアワセル (和・動)		待構える	1
マサツ (漢・名)		混ぜ合わせる	1	マチギ (和・名)	
摩擦	5	まぜ合わせる	2	町着	1
まさつ	1	マゼル (和・動)		街着	1
マサニ (和・副)		混ぜる	2	マチグルミ (和・名)	
正に	2	まぜる	13	町ぐるみ	1
応に	2	マタ (和・接)		街ぐるみ	1
まさに	35	又	8	マチゾクリ (和・名)	
マザマザ (和・副)		また	1312	町づくり	3
マザマザ	1	マダ (和・副)		町造り	1
まざまざ	2	マダ	1	街造り	1
マサル (和・動)		まだ	391	マチナカ (和・名)	
優る	1	マタガミ (和・名)		街中	3
まさる	8	マタ上	2	町中	1
マシ (和・尾)		また上	1	町なか	1
増し	6	マクス (和・動)		マチブセ (和・名)	
増	3	待たす	1	待伏せ	2
マシ (和・名) <良い>		またす	1	待ち伏せ	1
マシ	2	マタハ (和・接)		待ちぶせ	1
まし	3	又は	22	マチマチ (和・名)	
マジエル (和・動)		または	157	マチマチ	8
交える	6	マチ (和・名)		まちまち	26
まじえる	21	町	605	マツ (和・動)	
マジメ (和・名)		街	47	待つ	178
真面目	5	マチ (和・名)		まつ	26
マジメ	5	待	1	マツ (和・名)	

松	46	まったく	103	マネージャー	3
マツ	3	マッチ (外・名)		マヒ (漢・名)	
まつ	1	燐寸	1	麻痺	3
マツカ (和・名)		マッチ	18	マヒ	39
真赤	2	マッチメイト (外・名)		マブタ (和・名)	
真っ赤	2	マッチメイト	1	瞼	2
まっ赤	1	マッチメート	1	まぶた	2
マックラ (和・名)		マップタツ (和・名)		マボロシ (和・名)	
真っ暗	2	真っ二つ	1	幻	3
まっ暗	1	真二つ	1	まぼろし	2
まっくら	1	まっ二つ	1	マメ (和・頭)	
マックロ (和・名)		マツリ (和・名)		豆	19
真黒	4	祭り	28	マメ	1
真っ黒	3	祭	7	マモリヌク (和・動)	
まっ黒	2	まつり	20	守り抜く	2
まっくら	1	マト (和・名)		守りぬく	1
マツゲ (和・名)		的	13	マモル (和・動)	
睫毛	1	マト	10	守る	173
まつげ	1	まと	4	護る	1
マッコウ (和・名)		マド (和・名)		まもる	15
真っ向	6	窓	59	マユ (和・名)	
真向	2	まど	3	眉	1
まっこう	1	マドゴシ (和・名)		マユ	3
マツサオ (和・名)		窓越し	1	マヨイコム (和・動)	
まっ青	2	窓ごし	1	迷いこむ	2
真っ青	1	マトモ (和・名)		迷い込む	1
マツサカリ (和・名)		マトモ	1	マル (和・名)	
真盛り	1	まとも	8	丸	1
真っ盛り	1	マドワク (和・名)		まる	1
マツサキ (和・名)		窓わく	3	マル (和・名)	
真っ先	5	窓ワク	1	丸	6
まっ先	4	マナイタ (和・名)		マル	1
まっさき	1	まな板	2	まる	10
マッシュウ (漢・名)		マナ板	1	マルイ (和・形)	
抹消	1	マナザシ (和・名)		丸い	6
まっ消	1	眼差し	1	円い	1
マッシュロ (和・名)		まなざし	2	まるい	2
真白	4	マニアウス (和・動)		マルメル (和・動)	
真っ白	1	間にあわす	1	丸める	1
まっ白	6	まに合わす	1	まるめる	3
マッ白	1	マヌガレル (和・動)		マルモウケ (和・名)	
マッシュロイ (和・形)		免れる	15	丸もうけ	1
真っ白い	3	まぬがれる	14	まる儲け	1
真白い	1	マネ (和・名)		マワシ (和・名)	
マッ白い	1	真似	5	マワシ	2
まっ白い	1	マネ	6	まわし	2
マッスグ (和・名)		まね	6	マウス (和・動)	
真っすぐ	4	マネク (和・動)		回す	24
まっすぐ	6	招く	104	回ス	1
マツタク (和・副)		まねく	8	まわす	13
全く	120	マネジャー (外・名)		マワリ (和・名)	
マツタク	1	マネジャー	9	回り	10

周り	1	みいだす	2	みきわめる	2
廻り	1	ミイル (和・動)		ミコ (和・名)	
まわり	33	見入る	2	巫女	1
マワリミチ (和・名)		みいる	1	みこ	1
回り道	2	ミウケル (和・動)		ミゴタエ (和・名)	
マワリ道	1	見受ける	3	見ごたえ	2
マワリモチ (和・名)		見うける	3	みごたえ	1
回り持ち	1	みうける	1	ミコト (和・名)	
まわり持ち	1	ミエル (和・動)		命	1
マワル (和・動)		見える	133	ミコト	1
回る	67	みえる	72	ミゴト (和・名)	
廻る	1	ミオトシ (和・名)		見事	53
まわる	37	見落し	1	見ごと	1
マンガ (漢・名)		見おとし	1	みごと	36
漫画	35	ミオトス (和・動)		ミコミ (和・名)	
マンガ	22	見落す	4	見込み	84
まんが	14	見落とす	3	見込	3
マンジュウ (漢・名)		見おとす	1	見こみ	2
万頭	3	ミオボエ (和・名)		みこみ	3
マンジュウ	4	見覚え	1	ミコム (和・動)	
マンナカ (和・名)		見おぼえ	1	見込む	31
真ん中	29	ミカエシ (和・名)		見こむ	2
真中	2	見返し	9	ミジカアミ (和・名)	
まん中	5	ミカエシ	4	短編み	1
まんなか	3	ミガキ (和・名)		短あみ	1
マンマエ (和・名)		磨	1	ミジカイ (和・形)	
真前	3	みがき	2	短い	47
まん前	1	ミガク (和・動)		短かい	5
ミ (和・名)		磨く	6	ミズイラズ (和・名)	
実	25	みがく	19	水いらず	3
み	3	ミカケル (和・動)		水入らず	2
ミアイ (和・名)		見かける	5	ミズウミ (和・名)	
見合い	5	みかける	2	湖	12
見合	1	ミカン (漢・名)		みづうみ	1
ミアウ (和・動)		密柑	1	ミズカラ (和・副)	
見合う	17	ミカン	13	自ら	59
みあう	1	みかん	6	自から	1
ミアゲル (和・動)		ミギウチ (和・名)		みずから	47
見上げる	8	右打ち	4	ミズケ (和・名)	
見あげる	1	右打	1	水気	4
ミアタル (和・動)		ミギナゲ (和・名)		水け	1
見当る	12	右投げ	6	ミスゴス (和・動)	
見当る	10	右投	1	見過ごす	2
見あたる	3	ミギヨリ (和・名)		見すごす	1
みあたる	2	右寄り	5	みすごす	1
ミー (外・代)		右より	1	ミステリー (外・名)	
み	6	ミキリ (和・名)		ミステリ	1
ミー	5	見切	4	ミステリー	4
ミイ	1	見切り	3	ミステリィ	1
ミイダス (和・動)		見きり	1	ミズハケ (和・名)	
見出す	18	ミキワメル (和・動)		水はけ	4
見いだす	8	見きわめる	11	水ハケ	3

ミズヒキ (和・名)		ミチビキダス (和・動)		みどころ	2
水引き	1	導き出す	2	ミトメル (和・動)	
水ひき	1	みちびき出す	1	認める	309
ミズビクシ (和・名)		ミチュキ (和・名)		みとめる	6
水びたし	2	道行	2	ミドリ (和・名)	
水浸し	1	道行き	1	緑	58
ミスミス (和・連)		ミチル (和・動)		みどり	3
ミスミス	1	満ちる	19	ミトレル (和・動)	
みすみす	2	みちる	4	見とれる	2
ミズムシ (和・名)		ミツ (和・動)		みとれる	1
水虫	15	満つ	5	ミナ (和・名)	
ミズムシ	1	みつ	3	皆	54
ミセカケル (和・動)		ミツカル (和・動)		みな	91
見せかける	3	見つかる	23	ミナオス (和・動)	
みせかける	1	みつかる	24	見直す	13
ミセツケル (和・動)		ミツグ (和・動)		見なおす	1
見せつける	1	貢ぐ	1	ミナギル (和・動)	
みせつける	2	みつぐ	1	凝る	1
ミセバ (和・名)		ミックス (外・名)		みなぎる	1
見せ場	4	ミックス	6	ミナス (和・動)	
みせ場	1	ミクス	2	見なす	3
ミセル (和・動)		ミツケダス (和・動)		みなす	16
見せる	105	見つけ出す	1	ミナト (和・名)	
みせる	116	見つけだす	1	港	26
ミソ (漢・名)		みつけ出す	1	みなと	1
味噌	14	ミツケル (和・動)		ミナミ (和・名)	
ミソ	9	見つける	58	南	355
みそ	22	みつける	31	ミナミ	1
ミゾ (和・名)		ミッドナイト (外・名)		ミナライ (和・名)	
溝	1	ミッドナイト	6	見習	8
ミゾ	5	ミドナイト	1	見習い	4
みぞ	4	ミツバチ (混・名)		ミナラウ (和・動)	
ミタス (和・動)		蜜蜂	1	見習う	2
満たす	4	みつばち	1	みならう	1
満す	1	ミツメル (和・動)		ミノウエ (和・名)	
みたす	6	見つめる	16	身上	8
ミダレトブ (和・動)		みつめる	13	身の上	3
乱れとぶ	2	ミツモリ (和・名)		ミノガス (和・動)	
乱れ飛ぶ	1	見積もり	4	見のがす	19
ミチ (和・名)		見積	2	見逃す	7
道	219	見積り	2	見逃がす	7
路	1	ミツモル (和・動)		ミノマワリ (和・名)	
みち	1	見積もる	3	身の廻り	1
ミチカ (和・名)		見積る	1	身のまわり	1
身近	13	ミトオシ (和・名)		ミノリ (和・名)	
身近か	1	見通し	173	爽り	1
ミチツレ (和・名)		見とおし	2	みのり	6
道連れ	2	ミトオス (和・動)		ミノル (和・動)	
道づれ	2	見通す	6	爽る	13
ミチバタ (和・名)		見とおす	1	みのる	4
道ばた	4	ミドコロ (和・名)		ミハラシ (和・名)	
道端	1	見どころ	11	見晴し	2

見晴らし	1	みる	2856	ムコウ (和・名)	
見はらし	1	ミレン (漢・名)		向う	39
ミハリ (和・名)		未練	3	向こう	14
見張り	7	みれん	1	むこう	2
見張	1	ミワケ (和・名)		ムコウガワ (和・名)	
ミハル (和・動)		見分け	3	向側	6
見張る	4	見わけ	1	向こう側	6
見はる	1	ミワケル (和・動)		ムコウミズ (和・名)	
みはる	6	見分ける	3	向こう見ず	2
ミマイ (和・名)		見わける	1	向う見ず	1
見舞	15	みわける	1	ムザン (漢・名)	
見舞い	10	ムカウ (和・動)		無残	11
ミマモル (和・動)		向かう	107	無惨	1
見守る	22	向う	43	むざん	2
見まもる	4	むかう	5	ムシ (和・名)	
ミマウス (和・動)		ムカエル (和・動)		虫	20
見まわす	4	迎える	166	ムシ	1
見回す	1	むかえる	8	ムシ (和・名)	
ミマワリ (和・名)		ムカシ (和・名)		蒸し	2
見回り	2	昔	85	むし	3
見廻り	1	むかし	30	ムシアツイ (和・形)	
見まわり	1	ムカシバナシ (和・名)		むし暑い	5
ミナリ (和・名)		昔ばなし	1	蒸し暑い	1
耳鳴り	4	むかしばなし	2	ムシキ (混・名)	
耳鳴	1	ムキ (和・名)		蒸し器	1
ミモノ (和・名)		向き	53	むし器	1
見もの	6	ムキ	2	ムシクイ (和・名)	
みもの	2	むき	6	虫食い	2
ミヤゲ (和・名)		ムキ (和・尾)		虫くい	1
土産	3	向き	23	ムシくい	1
みやげ	13	向	10	ムシトリ (和・名)	
ミヤゲモノ (和・名)		むき	1	虫とり	3
みやげ物	6	ムキズ (混・名)		虫取り	1
土産物	2	無傷	4	ムシバ (和・名)	
ミヤスイ (和・形)		無キズ	2	虫歯	1
見やすい	3	無きず	1	ムシ歯	12
みやすい	1	ムキミ (和・名)		ムシロ (和・名)	
ミヨリ (和・名)		むき身	2	蔑	1
身寄り	3	むきみ	2	ムシロ	1
身より	1	ムク (和・動)		ムス (和・動)	
ミリョク (漢・名)		向く	25	蒸す	1
魅力	92	むき	3	むす	1
ミリョク	1	ムクイル (和・動)		ムズカシイ (和・形)	
ミリン (漢・名)		報いる	4	難しい	1
味淋	1	酬いる	1	ムズかしい	1
みりん	8	むくいる	1	むずかしい	112
ミル (和・動)		ムケル (和・動)		むづかしい	7
見る	780	向ける	45	ムスコ (和・名)	
診る	3	むける	8	息子	54
観る	2	ムコ (和・名)		ムスコ	1
視る	1	婿	1	むすこ	9
ミル	1	ムコ	1	ムスビ (和・名)	

結び	5	空しさ	1	銘打つ	1
ムスビ	1	むなしさ	1	銘うつ	1
むすび	5	ムネ (和・名)		メイクアップ (外・名)	
ムスピツキ (和・名)		旨	18	メイクアップ	3
結びつき	11	むね	15	メークアップ	5
結び付き	1	ムラ (和・名)		メイビ (漢・名)	
ムスピツケル (和・動)		村	136	明媚	1
結びつける	31	むら	6	明美	1
むすびつける	2	ムラガル (和・動)		メイフク (漢・名)	
ムスブ (和・動)		群がる	3	めい福	6
結ぶ	110	群らがる	1	めいふく	1
むすぶ	3	むらがる	5	メイヘン (漢・名)	
ムスメ (和・名)		ムラサキ (和・名)		名篇	3
娘	139	紫	11	名編	2
むすめ	1	ムラサキ	3	メイメイ (漢・名)	
ムスメゴコロ (和・名)		むらさき	5	銘々	1
娘心	1	ムラビト (和・名)		めいめい	2
娘ごころ	1	村人	6	メイワク (漢・名)	
ムダ (和・名)		むらびと	1	迷惑	41
ムダ	25	ムリ (漢・名)		めいわく	1
むだ	9	無理	62	メイン (外・名)	
ムダヅカイ (和・名)		ムリ	28	メーン	3
ムダ使い	2	むり	6	メイン	1
無駄遣い	1	ムリヤリ (混・副)		メートル (外・名)	
ムダづかい	2	無理やり	1	米	10
むだづかい	1	ムリヤリ	1	メートル	773
ムチ (漢・名)		むりやり	1	メカケ (和・名)	
無知	2	ムレ (和・名)		妾	2
無智	1	群れ	9	メカケ	2
ムチ (和・名)		群	4	めかけ	1
鞭	1	むれ	3	メガケル (和・動)	
ムチ	2	ムロン (漢・名)		目がける	5
ムチウツ (和・動)		無論	1	めがける	4
鞭打つ	1	むろん	24	メガシラ (和・名)	
ムチ打つ	1	ムンムン (和・副)		目頭	1
ムチうつ	1	ムンムン	1	目がしら	2
ムチャ (和・名)		むんむん	1	メガネ (和・名)	
無茶	1	メ (和・名)		眼鏡	10
ムチャ	1	目	386	目ガネ	1
ムッ (和・副)		眼	44	メガネ	13
むっ	1	め	1	めがね	3
ムーッ	1	メ (和・尾)		メグミ (和・名)	
ムッ (和・名)		目	513	利生	1
六つ	9	メ	1	恵み	1
六ツ	1	め	7	メグム (和・動)	
ムトドケ (混・名)		メアテ (和・名)		恵む	37
無届け	3	目当て	4	めぐむ	3
無届	1	目あて	3	メクラバン (混・名)	
ムナシイ (和・形)		メイ (和・名)		メクラ判	1
虚しい	1	メイ	1	めくら判	1
むなし	3	めい	1	メグリ (和・名)	
ムナシサ (和・名)		メイウツ (混・動)		巡り	1

めぐり	12	メダマ (和・名)		めり込む	6
メサキ (和・名)		目玉	11	めりこむ	3
目先	18	メダマ	2	メロディー (外・名)	
目さき	1	メチャクチャ (和・名)		メロディ	3
メザス (和・動)		メチャクチャ	2	メロディー	10
目ざす	34	めちゃくちゃ	1	メン (漢・名)	
目指す	2	メチャメチャ (和・名)		面	6
めざす	66	メチャメチャ	11	めん	2
メザマシ (和・名)		めちゃめちゃ	8	メン (漢・頭)	
目覚	1	メツキ (和・名)		面	1
目覚し	1	目つき	2	めん	1
目ざまし	2	眠つき	1	メンサテン (混・名)	
メザマシイ (和・形)		メッキリ (和・副)		綿サテン	2
目ざましい	4	メッキリ	1	綿さてん	1
めざましい	13	めっきり	4	メンズフロア (外・名)	
メザメ (和・名)		メツケ (和・名)		メンズフロア	1
目ざめ	1	目付	2	メンズフロアー	1
めざめ	1	目付け	1	メンツ (外・名)	
メザメル (和・動)		目つけ	1	面子	1
目ざめる	4	メツタ (和・副)		メンツ	6
目覚める	2	滅多	1	メンドウ (漢・名)	
めざめる	1	めった	10	面倒	18
メシ (和・名)		メデタイ (和・形)		めんどろ	15
飯	3	目出たい	1	メンルイ (漢・名)	
メシ	2	めでたい	3	めん類	3
めし	4	メバエ (和・名)		麵類	1
メシアガル (和・動)		芽ばえ	2	モア (外・名)	
召しあがる	6	芽生え	1	モア	1
召し上がる	3	めばえ	1	もあ	6
メシウタ (和・名)		メバエル (和・動)		モウカル (和・動)	
召歌	2	芽ばえる	4	儲かる	2
めしうた	1	めばえる	1	もうかる	10
メジリ (和・名)		メバル (和・名)		モウケル (和・動)	
眼尻	1	メバル	1	設ける	118
目尻	1	めばる	1	もうける	7
メジルシ (和・名)		メマイ (和・名)		モウシアゲル (和・動)	
目じるし	8	目まい	4	申しあげる	9
目印	1	目マイ	1	申上げる	9
目印し	1	めまい	5	申し上げる	4
めじるし	3	メミエ (和・名)		モウシアワセ (和・名)	
メス (和・名)		目見え	5	申し合わせ	16
雌	1	目見得	1	申合せ	13
牝	1	メモト (和・名)		モウシアワセル (和・動)	
メス	10	眼元	1	申し合わせる	5
メズラシイ (和・形)		目もと	1	申合わせる	4
珍しい	59	メモリ (和・名)		申しあわせる	1
珍らしい	3	目盛り	6	モウシイレ (和・名)	
めずらしい	14	目盛	3	申入れ	12
メダツ (和・動)		メヤス (和・名)		申し入れ	7
目立つ	112	目安	7	申入	2
目だつ	15	目やす	1	モウシイレル (和・動)	
めだつ	7	メリコム (和・動)		申入れる	21

申し入れる	20	木阿弥	1	モチカブ (和・名)	
モウシコミ (和・名)		モクアミ	1	持株	2
申込み	76	もくあみ	1	持ち株	2
申込	40	モクメ (混・名)		モチコシ (和・名)	
申し込み	24	木目	2	持越し	1
申しこみ	4	奎目	2	持ち越し	1
モウシコム (和・動)		もくめ	1	モチコス (和・動)	
申し込む	49	モクモク (漢・名)		持ち越す	13
申込む	42	黙々	4	持越す	6
申しこむ	5	もくもく	1	モチコタエル (和・動)	
モウシタテ (和・名)		モグリコム (和・動)		持ちこたえる	2
申し立て	6	もぐり込む	3	もちこたえる	1
申立て	5	もぐりこむ	3	モチコミ (和・名)	
申立	2	モシクハ (和・接)		持込み	4
モウシデ (和・名)		若しくは	3	持ち込み	2
申し出	5	もしくは	6	モチコム (和・動)	
申出	2	モチ (和・頭)		持込む	26
モウシデル (和・動)		持ち	18	持ち込む	26
申し出る	15	持	14	持ちこむ	6
申出る	5	もち	3	もち込む	1
モウシブン (混・名)		モチ (和・名)		もちこむ	8
申し分	1	餅	1	モチサル (和・動)	
申しぶん	1	モチ	6	持ち去る	3
モウシワケ (和・名)		もち	12	持去る	1
申しわけ	18	モチアガル (和・動)		モチグシ (和・名)	
申し訳	8	持ちあがる	2	持出し	6
申訳	4	もち上がる	2	持ち出し	2
モウス (和・動)		持ち上がる	1	モチグス (和・動)	
申す	29	もちあがる	2	持ち出す	16
もうす	1	モチアゲル (和・動)		持出す	15
モウソウ (漢・名)		持上げる	2	もち出す	1
妄想	1	もちあげる	4	モチナオシ (和・名)	
盲想	1	モチアジ (和・名)		持ち直し	2
モウラ (漢・名)		持ち味	4	もちなおし	1
網羅	3	持味	2	モチナオス (和・動)	
網ら	2	モチアワセ (和・名)		持ち直す	3
もうら	6	持ち合わせ	1	持直す	2
モエアガル (和・動)		持合わせ	1	モチヌシ (和・名)	
燃えあがる	3	モチイエ (和・名)		持主	15
燃え上がる	1	持家	3	持ち主	6
もえあがる	1	持ち家	1	モチマエ (和・名)	
モエヒロガル (和・動)		モチイル (和・動)		持ち前	3
燃え広がる	4	用いる	27	持前	1
燃えひろがる	2	もちいる	2	モチモノ (和・名)	
もえ広がる	1	モチカエル (和・動)		持ち物	2
モエル (和・動)		持ち帰る	4	持物	1
燃える	33	持帰る	2	モチヨル (和・動)	
もえる	1	もち帰る	1	持ち寄る	2
モギトル (和・動)		持ちかえる	1	持寄る	1
もぎ取る	1	モチカケル (和・動)		もちよる	2
もぎとる	8	持ちかける	4	モツ (和・動)	
モクアミ (漢・名)		もちかける	3	持つ	494



もつ	926	物置き	1	モモ	2
モッカ (漢・副)		モノオト (和・名)		もも	2
目下	25	物音	2	モヤス (和・動)	
もっか	1	もの音	1	燃やす	10
モツタイ (漢・名)		モノカゲ (和・名)		燃す	1
モツタイ	1	物陰	1	モヨウ (漢・名)	
もったい	5	物かげ	1	模様	109
モッテ (和・動)		モノガタリ (和・名)		もよう	31
以て	3	物語	83	モヨオシ (和・名)	
以って	2	物語り	16	催し	13
もって	51	ものがたり	2	催	1
モットモ (和・副)		モノゴト (和・名)		モヨオシモノ (和・名)	
最も	160	物事	4	催物	7
もっとも	143	ものごと	3	催し物	3
モツレアウ (和・動)		モノスゴイ (和・形)		催しもの	2
もつれ合う	1	物凄い	1	モヨオス (和・動)	
もつれあう	1	物すごい	1	催す	5
モテル (和・動)		ものすごい	15	もよおす	2
モテル	2	モノタリル (和・動)		モヨリ (和・名)	
モてる	1	物足りる	6	最寄り	7
もてる	1	もの足りる	2	最寄	2
モト (和・名)		モノホシ (和・名)		モラウ (和・動)	
元	235	物干	2	貰う	2
下	24	物干し	1	もらう	665
基	2	物ほし	1	モラス (和・動)	
モト	3	モノワカレ (和・名)		漏らす	2
もと	8	物別れ	6	洩らす	1
モトウリ (和・名)		ものわかれ	1	洩す	1
元売り	4	モミアウ (和・動)		もらす	15
元売	1	もみ合う	12	モリ (和・名)	
モドス (和・動)		モミ合う	1	森	29
戻す	19	もみあう	11	杜	1
もどす	10	モミクチャ (和・名)		モリ	1
モトヅク (和・動)		モミクチャ	1	もり	2
基づく	89	もみくちゃ	2	モリアガリ (和・名)	
もとづく	35	モミジ (和・名)		盛り上がり	8
もとづく	1	紅葉	1	盛上り	2
モトメル (和・動)		もみじ	5	盛上がり	1
求める	285	モミジオロシ (和・名)		モリアガル (和・動)	
もとめる	3	モミジオロシ	1	盛り上がる	5
モデル (和・動)		もみじおろし	2	盛上がる	2
戻る	62	モム (和・動)		盛り上る	1
もどる	38	モム	2	盛りあがる	3
モノ (和・名)		もむ	22	もりあがる	3
物	57	モメン (漢・名)		モリアゲル (和・動)	
モノ	37	木綿	5	盛り上げる	11
もの	3172	もめん	3	盛上げる	2
モノ (和・尾)		モモ (和・名)		盛りあげる	4
者	23	桃	3	もり上げる	1
もの	21	モモ	6	もりあげる	1
モノオキ (和・名)		もも	1	モリアワセ (和・名)	
物置	3	モモ (和・名) (腿)		盛合せ	1

盛り合わせ	1	ヤギ (和・名)		火傷	7
モリカエス (和・動)		山羊	1	ヤケド	9
盛返す	2	ヤギ	1	やけど	7
もり返す	2	ヤキアゲル (和・動)		ヤケル (和・動)	
モリコム (和・動)		焼き上げる	1	焼ける	19
盛り込む	9	焼きあげる	1	やける	7
盛込む	6	ヤキイモ (和・名)		ヤサイ (漢・名)	
盛りこむ	3	焼きイモ	2	野菜	82
もりこむ	1	焼きいも	1	やさい	2
モリタテル (和・動)		ヤキウチ (和・名)		ヤサオトコ (和・名)	
盛立てる	1	焼打ち	3	倭男	1
もり立てる	1	焼き打	1	ヤサ男	1
もりたてる	3	ヤキツケル (和・動)		ヤサキ (和・名)	
モレ (和・名)		焼きつける	1	矢先	3
モレ	1	やきつける	1	やさき	4
もれ	18	ヤキハラウ (和・動)		ヤサシイ (和・副)	
モレル (和・動)		焼きはらう	2	優しい	2
漏れる	4	焼払う	1	易しい	2
もれる	8	ヤキモノ (和・名)		やさしい	40
モロザシ (和・名)		焼物	2	ヤシ (漢・名)	
両差し	4	やきもの	2	椰子	2
もう差し	1	ヤク (和・動)		ヤシ	2
モロモロ (和・名)		焼く	55	ヤジウマ (和・名)	
諸々	3	灼く	2	ヤジ馬	1
もろもろ	2	やく	5	やじ馬	1
モンイレ (混・名)		ヤクザ (和・名)		ヤシキ (和・名)	
紋入れ	2	ヤクザ	3	屋敷	13
紋入	1	やくざ	23	邸	1
モンジョ (漢・名)		ヤクソク (漢・名)		やしき	1
文書	2	約束	88	ヤシナウ (和・動)	
もんじょ	3	やくそく	1	養う	16
モンヨウ (漢・名)		ヤクダツ (混・動)		やしなう	2
文様	5	役立つ	54	ヤジル (和・動)	
紋様	1	役だつ	2	ヤジる	1
ヤ (和・尾)		ヤクヨケ (混・名)		やじる	2
屋	240	厄よけ	1	ヤスアガリ (和・名)	
ヤ	32	やくよけ	1	安上ガリ	4
や	6	ヤグラ (和・名)		安あがり	2
ヤァ (和・感)		矢倉	1	ヤスイ (和・形)	
ヤア	11	ヤグラ	4	安い	142
やあ	2	やぐら	5	易い	1
ヤーッ	1	ヤクワリ (混・名)		やすい	58
ヤーイ (和・感)		役割	59	ヤスイ (和・尾)	
ヤーイ	1	役割り	29	易い	7
やーい	1	役わり	1	やすい	159
ヤカン (漢・名)		ヤケ (和・名)		ヤスマル (和・動)	
薬罐	1	ヤケ	1	休まる	2
ヤカン	2	やけ	1	安まる	1
ヤキ (和・名)		ヤケアト (和・名)		ヤスミ (和・名)	
焼き	9	焼け跡	9	休み	23
焼	2	焼けあと	2	ヤスミ	2
やき	1	ヤケド (和・名)		やすみ	6

ヤスム (和・動)		ヤブル (和・動)		ヤリダマ (和・名)	
休む	4 7	破る	9 2	ヤリ玉	5
やすむ	1	やぶる	2	やり玉	2
ヤスラギ (和・名)		ヤブレル (和・動)		ヤリッパナシ (和・名)	
安らぎ	1	敗れる	4 5	やりっ放し	1
やすらぎ	2	破れる	7	やりっぱなし	1
ヤセル (和・動)		やぶれる	2	ヤリナオス (和・動)	
瘦せる	1	ヤボッタイ (和・形)		やり直す	2
やせる	7	ヤボッたい	1	やりなおす	2
ヤタテ (和・名)		やぼったい	1	ヤリヌク (和・動)	
屋建	1	ヤマ (和・名)		やり抜く	2
やたて	1	山	1 6 1	やりぬく	1
ヤツ (和・名)		ヤマ	2 5	ヤル (和・動)	
奴	2	やま	3	演る	2
ヤツ	6	ヤマイ (和・名)		飲る	2
やつ	1 1	病	6	やる	6 2 9
ヤツ (和・名)		病い	2	ヤレ (和・感)	
八つ	1 0	ヤマイ	1	ヤレ	1
ハツ	1	ヤマヅミ (和・名)		やれ	2
ヤツアタリ (和・名)		山積み	3	ヤレヤレ (和・感)	
八つ当り	1	山積	1	ヤレヤレ	1
八つあたり	1	ヤマノボリ (和・名)		やれやれ	4
ヤッカイ (漢・名)		山登り	4	ヤロウ (漢・名)	
厄介	5	山のぼり	1	野郎	9
やっかい	1	ヤマハダ (和・名)		やろう	1
ヤッキ (和・名)		山肌	1	ヤワラカイ (和・形)	
躍起	1	山ハダ	2	柔かい	7
やっき	3	ヤマモト (和・名)		柔らかい	1
ヤツギバヤ (和・名)		山元	1	軟かい	1
矢つき早	3	山もと	1	やわらかい	2 1
矢つきばや	2	ヤマヤマ (和・名)		やはらかい	1
ヤトウ (和・動)		ヤマヤマ	1	ヤワラゲル (和・動)	
雇う	4	やまやま	1	柔らげる	2
やとう	2	ヤミ (和・名)		軟らげる	2
ヤドル (和・動)		間	2	和らげる	1
宿る	5	ヤミ	1 1	やわらげる	8
やどる	1	ヤミイチ (和・名)		ヤンワリ (和・副)	
ヤナギ (和・名)		闇市	1	ヤンワリ	2
柳	5	ヤミ市	1	やんわり	1
ヤナギ	6	ヤミツキ (和・名)		ユー (外・代)	
ヤネガワラ (和・名)		病みつき	1	ユウ	2
屋根ガワラ	2	やみつき	1	ユー	1
屋根瓦	1	ヤム (和・動)		ユーウツ (漢・名)	
ヤバン (漢・名)		已む	2	憂鬱	3
野蛮	5	止む	1	憂うつ	1
ヤバン	1	やむ	4 8	ユーウツ	1
ヤブ (和・名)		ヤメル (和・動)		ユウウツ	1
藪	4	止める	2	ゆううつ	1
やぶ	1	やめる	1 4 7	ユウカイ (漢・名)	
ヤブサメ (和・名)		ヤヨイ (和・名)		誘かい	1 6
流鎧馬	2	弥生	1	誘拐	1
やぶさめ	2	やよい	2	ユウギ (漢・名)	

遊戯	5	行詰り	4	ユニバーサル	2
遊技	1	行き詰まり	2	ユニバーサル	1
ユウグレ (和・名)		行きづまり	1	ユニヴァーサル	1
夕暮れ	5	ユキヅマル (和・動)		ユノシ (和・名)	
夕暮	1	行き詰まる	3	湯のし	1
ユウコウ (漢・名)		行詰る	1	ゆのし	2
友好	8 4	行き詰る	1	ユビ (和・名)	
交友	1	行きづまる	2	指	1 6
ユウバエ (和・名)		ゆき詰る	1	ゆび	2
夕映え	1	ユキドケ (和・名)		ユメ (和・名)	
夕ばえ	1	雪解け	1	夢	1 2 5
ユウヒ (和・名)		雪どけ	1	ユメ	7
夕陽	5	ユキトドク (和・動)		ユメミル (和・動)	
夕日	4	行き届く	2	夢みる	1 0
ユウベ (和・名)		ゆき届く	2	夢見る	3
夕べ	6	行きとどく	1	ユラグ (和・動)	
夕	5	ゆきとどく	6	揺らぐ	1
ユウヤミ (和・名)		ユキマツリ (和・名)		ゆらぐ	1
夕闇	1	雪祭り	1	ユリ (和・名)	
夕やみ	1	雪まつり	1	ユリ	2
ユウユウ (和・名)		ユキヤケ (和・名)		ゆり	1
悠々	5	雪ヤケ	1	ユル (和・動)	
ゆうゆう	1 2	雪やけ	1	揺る	1
ユーレイ (漢・名)		ユキヤナギ (和・名)		ゆる	5
幽霊	1 0	雪柳	1	ユルグ (和・動)	
ユーレイ	1	ユキヤナギ	1	揺ぐ	1
ユウレイ	2	ユク (和・動)		ゆるぐ	1
ユエ (和・名)		行く	4 1 3	ユルス (和・動)	
故	7	逝く	1	許す	1 0 8
ゆえ	1 6	いく	5 1 4	ゆるす	1 1
ユカイ (漢・名)		ゆく	2 1 5	ユルメル (和・動)	
愉快	1 6	ユクエ (和・名)		緩める	2
ユカイ	1	行方	5 8	ゆるめる	1 0
ユカタ (和・名)		ゆくえ	6	ユレウゴク (和・動)	
浴衣	1	ユスブル (和・動)		揺れ動く	2
ユカタ	3	揺すぶる	2	揺れうごく	1
ゆかた	1 0	ゆすぶる	1	ゆれ動く	1
ユキ (和・尾)		ゆさぶる	1 2	ユレル (和・動)	
行き	3 0	ユズリウケル (和・動)		揺れる	5
行	1 5	譲り受ける	2	ゆれる	8
ゆき	6	譲りうける	2	ユワカシ (和・名)	
ユキアウ (和・動)		ゆずり受ける	1	湯沸	6
行き会う	1	ユズル (和・動)		湯わかし	2
行きあう	1	譲る	2 5	ヨ (和・名)	
ユキスギ (和・名)		ゆずる	2 1	世	5 0
行き過ぎ	5	ユタカ (和・名)		ヨ	2
行過ぎ	3	豊か	6 9	ヨアケ (和・名)	
行きすぎ	1	ゆたか	2 0	夜明け	9
ユキスギル (和・動)		ユダン (和・名)		夜明	1
行過ぎる	1	油断	6	ヨイ (和・名)	
ゆきすぎる	1	ゆだん	2	酔	1
ユキヅマリ (和・名)		ユニバーサル (外・名)		酔い	1

ヨイ (和・形)		ヨコギル (和・動)		よせる	7
良い	64	機切る	2	ヨソオイ (和・名)	
好い	2	機ぎる	1	装い	12
佳い	2	ヨコス (和・動)		よそおい	1
善い	1	寄越す	2	ヨツ (和・名)	
イイ	3	よこす	7	四つ	49
ヨイ	1	ヨゴス (和・動)		四ツ	1
よい	1112	汚す	2	ヨッバライ (和・名)	
いい	422	よごす	2	酔っぱらい	11
ヨウ (漢・尾)		ヨコヅケ (和・名)		酔っ払い	2
様	2	横づけ	6	酔払い	1
よう	132	横付け	1	ヨツメ (和・名)	
ヨウガケ (混・名)		ヨコヅナ (和・名)		四ツ目	1
洋掛	4	横綱	20	四つ目	1
洋掛け	2	ヨコヅナ	1	ヨドオシ (和・名)	
ヨウガサ (混・名)		ヨコミチ (和・名)		夜通し	1
洋傘	2	横道	1	夜どおし	1
洋がさ	1	よこ道	1	ヨドム (和・動)	
ヨウカン (漢・名)		ヨコヤリ (和・名)		淀む	1
羊羹	3	横ヤリ	2	よどむ	2
ようかん	6	横やり	1	ヨナカ (和・名)	
ヨウサイ (漢・名)		ヨゴレ (和・名)		夜中	10
要緊	1	汚れ	11	夜なか	1
要さい	1	ヨゴレ	2	ヨナベ (和・名)	
ヨウシャ (漢・名)		よごれ	17	夜業	1
容赦	4	ヨゴレル (和・動)		夜なべ	1
ようしゃ	1	汚れる	5	ヨノナカ (和・名)	
ヨウス (漢・名)		よごれる	17	世の中	31
様子	56	ヨサ (和・名)		世中	1
ようす	10	良さ	5	ヨバナシ (和・名)	
ヨウフウ (漢・名)		よさ	38	夜嘶	1
洋風	13	ヨサン (漢・名)		夜ばなし	1
洋ふう	1	予算	403	ヨバワリ (和・尾)	
ヨク (漢・名)		ヨサン	1	呼ばわり	2
欲	6	ヨシ (和・名)		よばわり	1
慾	1	由	4	ヨビオコス (和・動)	
ヨク (漢・名)		よし	5	呼び起こす	2
浴	22	ヨシアシ (和・名)		呼びおこす	1
よく	1	良しあし	1	よび起こす	1
ヨクバル (混・動)		よし悪し	1	ヨビカケル (和・動)	
欲張る	2	よしあし	1	呼びかける	82
欲ばる	1	ヨジノボル (和・動)		よびかける	2
ヨケイ (漢・名)		よじ登る	4	ヨビゴエ (和・名)	
余計	5	よじのぼる	3	呼び声	2
よけい	4	ヨセ (和・名)		呼声	1
ヨコ (和・名)		寄せ	3	ヨビコム (和・動)	
横	49	ヨセ	3	呼込む	1
ヨコ	1	ヨセツケル (和・動)		呼び込む	1
よこ	1	寄せつける	2	呼びこむ	1
ヨコガキ (和・名)		よせつける	3	よびこむ	1
横書	3	ヨセル (和・動)		ヨビダシ (和・名)	
ヨコ書き	1	寄せる	45	呼出し	2

呼び出し	1	よゆう	1	ら	1161
ヨビダス (和・動)		ヨリ (和・尾)		ライ (漢・名) [瘰]	
呼出す	4	寄り	29	ライ	1
呼び出す	4	寄	22	らい	2
ヨビトメル (和・動)		より	5	ライ (漢・頭)	
呼びとめる	1	ヨリアイ (和・名)		来	42
よびとめる	1	寄合い	1	らい	1
ヨビナ (和・名)		寄り合い	1	ライサン (漢・名)	
呼び名	4	ヨリキリ (和・名)		礼賛	4
呼名	1	寄り切り	2	礼讃	1
ヨブ (和・動)		よりきり	1	らいさん	1
呼ぶ	182	ヨリキル (和・動)		ラク (漢・名)	
呼ブ	1	寄り切る	4	楽	44
よぶ	44	寄切る	1	ラク	6
ヨフケ (和・名)		ヨリツキ (和・名)		らく	8
夜更け	2	寄りつき	7	ラクイン (漢・名)	
夜ふけ	1	寄付き	2	落胤	1
ヨミ (和・名)		寄り付き	1	落いん	1
読み	5	ヨリック (和・動)		ラクガキ (混・名)	
ヨミ	1	寄付く	2	落書き	2
よみ	2	寄り付く	1	ラクガキ	1
ヨミアゲル (和・動)		ヨリドコロ (和・名)		ラクシュ (漢・名)	
読みあげる	2	より所	1	落首	1
読み上げる	2	よりどころ	2	らくしゅ	1
読上げる	1	ヨル (和・動)		ラクダ (漢・名)	
ヨミウリ (和・名)		寄る	14	ラクダ	8
読売	145	よる	1	らくだ	2
よみうり	17	ヨル (和・名)		ラクタン (漢・名)	
ヨミガエル (和・動)		夜	540	落胆	2
甦る	1	ヨル	19	落たん	1
甦える	1	よる	15	ラチガイ (漢・名)	
よみがえる	9	ヨロコバシイ (和・形)		埒外	1
ヨミトル (和・動)		喜ばしい	8	らち外	1
読みとる	7	よろこばしい	1	ラッキョウ (漢・名)	
読み取る	2	ヨロコバス (和・動)		ラッキョウ	2
読取る	1	喜こばす	5	らっきょう	2
ヨミモノ (和・名)		よろこばす	2	ランカン (漢・名)	
読物	11	ヨロコビ (和・名)		欄干	2
読み物	5	喜び	45	らんかん	2
読みもの	2	欲び	7	リアリズム (外・名)	
よみもの	1	慶び	1	リアリズム	6
ヨム (和・動)		よろこび	8	レアリスム	1
読む	176	ヨロコブ (和・動)		リキム (混・動)	
詠む	3	喜ぶ	62	力む	3
ヨム	1	喜こぶ	2	りきむ	1
よむ	14	よろこぶ	15	リグイ (漢・名)	
ヨメ (和・名)		ヨワイ (和・形)		利食い	17
嫁	19	弱い	78	利食	4
ヨメ	1	よわい	1	利喰い	2
ヨユウ (漢・名)		ラ (和・尾)		リクツ (漢・名)	
余裕	38	等	7	理屈	7
		ラ	1	理クツ	1

理くつ	1	レインコート (外・名)		老令	1
リス (漢・名)		レインコート	9	ロオドショオ (外・名)	
リス	4	レーンコート	2	ロードショー	4
りす	1	レースアミ (混・名)		ロードショウ	19
リップ (漢・名)		レース編み	2	ローブウェー (外・名)	
立派	38	レースあみ	1	ローブウェイ	3
りっぱ	29	レーダー (外・名)		ローブウェー	2
リボンツキ (混・名)		雷達	1	ロケット (外・名)	
リボン付	1	レーダー	30	ロケット	37
リボンつき	1	レーヨン (外・名)		ろけっと	18
リヤ (外・名) <後部>		レーヨン	61	ロマンス (外・名)	
リヤ	1	レイヨン	10	ロマンス	4
リア	1	レクリエーション (外・名)		ロマンズ	1
リュウマチ (外・名)		レクリエーション	4	ロマンチック (外・名)	
リュウマチ	12	レクリエーション	3	ロマンチック	5
リュウマチ	1	レクレーション	1	ロマンティック	1
リュウマチ	1	リクリエーション	1	ワ (和・名)	
リュウアシ (混・名)		レッキト (混・副)		輪	14
両足	4	レッキと	1	環	3
両脚	1	れっきと	1	わ	1
リュウショウ (漢・名)		レッツゴー (外・名)		ワァーッ (和・感)	
了承	42	レッツゴー	1	わぁーッ	1
諒承	1	レッツゴウ	1	ワァーッ	1
領掌	1	レモン (外・名)		わーッ	1
リュウワキ (混・名)		檸檬	1	ワァー (和・感)	
両脇	1	レモン	18	ワァー	1
両わき	1	レンガ (漢・名)		わーい	2
リュウコウ (漢・名)		レンガ	5	ワイドバン (混・名)	
旅行	265	れんが	1	ワイド判	4
りょうこう	1	レンケイ (漢・名)		ワイド版	1
リンゴ (漢・名)		連携	3	ワイヤー (外・名)	
林檎	1	連係	2	ワイヤー	4
リンゴ	18	レンゴウ (漢・名)		ワイヤ	2
りんご	8	連合	183	ワイロ (漢・名)	
リンズ (漢・名)		聯合	2	賄賂	1
繪子	6	レンセイ (漢・名)		ワイロ	2
りんず	10	鍊成	1	ワガ (和・連)	
ルイルイ (漢・名)		練成	1	我が	9
累々	1	レントツ (漢・名)		我	1
るいるい	1	鍊達	1	吾が	1
ルス (漢・名)		練達	1	吾	1
留守	36	レンマ (漢・名)		わが	378
るす	1	練磨	3	ワカイ (和・形)	
ルナ (外・名)		練摩	1	若い	309
ルナ	17	ロウ (漢・名)		わかい	1
ルナー	5	露	4	ワカガエル (和・動)	
ルネサンス (外・名)		ろう	1	若返る	5
ルネサンス	6	ローマン (外・名)		若がえる	2
ルネッサンス	2	浪漫	2	ワカサギ (和・名)	
レイ (漢・名)		ローマン	1	ワカサギ	4
礼	35	ロウレイ (漢・名)		わかさぎ	1
れい	1	老齡	12	ワカス (和・動)	

沸かす	9	わき腹	1	ワスレル (和・動)	
わかす	3	ワキミチ (和・名)		忘れる	9 8
ワカツ (和・動)		ワキ道	1	わずれる	3
分つ	2	わき道	1	ワタイレ (和・名)	
わかつ	2	ワキヤク (混・名)		綿入れ	2
ワカバ (和・名)		わき役	2	綿入	1
若葉	2	ワキ役	1	ワタ入れ	1
わかば	2	ワク (和・動)		わた入れ	1
ワカメ (和・名)		湧く	3	ワタクシ (和・代)	
ワカメ	1 0	沸く	2	私	8 7 7
わかめ	1	わく	2 6	わたくし	2 4
ワカモノ (和・名)		ワク (和・名)		ワタシ (和・代)	
若者	6 8	梓	1	私	2 0
若もの	8	ワク	4 8	ワタシ	2
ワカル (和・動)		わく	1	わたし	1 2 6
分る	1 7	ワケ (和・名)		ワタス (和・動)	
判る	1 1	訳	2	渡す	5 7
解る	3	ワケ	1	わたす	1
わかる	4 2 8	わけ	4 9 7	ワタリアウ (和・動)	
ワカレ (和・名)		ワケ (和・頭)		渡り合う	1
別れ	3 3	分	6	渡りあう	1
わかれ	1	分け	3	わたりあう	1
ワカレメ (和・名)		ワケアウ (和・動)		ワタル (和・動)	
分かれ目	2	分けあう	1	渡る	3 8
別れ目	1	わけあう	1	ワタル	1
ワカレル (和・動)		ワケル (和・動)		ワタる	2
分かれる	2 8	分ける	3 9	わたる	2 7 5
分れる	1 1	わける	5	ワッ (和・感)	
別れる	5	ワコウド (和・名)		ワッ	2
わかれる	1 9	若人	1 6	わっ	3
ワキ (和・名)		わこうど	1	ワナ (和・名)	
脇	8	ワザ (和・名)		罎	5
ワキ	1	技	9	ワナ	4
わき	3 2	ワザ	4	ワニ (和・名)	
ワキ (和・名)		わざ	5	ワニ	3
ワキ	6	ワサビ (和・名)		わに	1
わき	2	ワサビ	1	ワニガワ (和・名)	
ワキアガル (和・動)		わさび	1	ワニ皮	2
湧き上る	1	ワザワイ (和・名)		わに皮	1
湧きあがる	1	禍い	4	ワビシイ (和・形)	
ワキカエル (和・動)		禍	1	ワビシイ	1
わき返る	1	災い	2	わびしい	2
わきかえる	1	わざわい	5	ワラ (和・名)	
ワキタツ (和・動)		ワシ (和・代)		藁	1
沸きたつ	1	ワシ	3	ワラ	3
わき立つ	1	わし	1 6	わら	2
わきたつ	2	ワズラワシイ (和・形)		ワラウ (和・動)	
ワキヌイ (和・名)		煩わしい	1	笑う	5 9
ワキ縫い	1	わずらわしい	3	わらう	1
わき縫い	1	ワスレモノ (和・名)		ワラジ (和・名)	
ワキバラ (和・名)		忘れ物	3	ワラジ	2
脇腹	1	忘れもの	2	わらじ	1



ワラビ (和・名)		割切る	2	ワルイ (和・形)	
ワラビ	1	割りきる	1	悪い	207
わらび	1	わりきる	1	わるい	26
ワラヅキ (和・名)		ワリコム (和・動)		ワル (和・名)	
ワラぶき	1	割り込む	3	悪	8
わらぶき	1	割込む	3	ワル	1
ワラウス (和・名)		割りこむ	1	わる	2
笑わす	3	ワリダカ (和・名)		ワルサ (和・名)	
笑はす	1	割高	2	悪さ	7
ワリ (和・名)		割り高	2	わるさ	1
割り	12	ワリダシ (和・名)		ワレ (和・代)	
割	5	割出し	1	我	4
わり	6	割り出し	1	吾	1
ワリ (和・尾)		割りだし	1	ワレ	1
割	282	ワリダス (和・動)		われ	29
割り	4	割り出す	3	ワレワレ (和・代)	
ワリアイ (和・名)		割りだす	1	我々	6
割合	33	ワリビキ (和・名)		われわれ	226
割り合い	12	割引	45	ワンキョク (漢・名)	
ワリアイ (和・副)		割り引き	9	湾曲	1
割り合い	3	割引き	5	ワンキョク	1
わりあい	1	ワリマシ (和・名)		ワンサト (和・副)	
ワリアテ (和・名)		割増	2	ワンサと	1
割当	15	割り増し	2	わんさと	1
割当て	13	割増し	1	ワンタン (外・名)	
割り当て	10	ワリヤス (和・名)		ワンタン	1
ワリアテル (和・動)		割安	6	わんたん	2
割り当てる	4	割り安	1	ワンバク (和・名)	
割当てる	2	ワル (和・動)		腕白	1
ワリキル (和・動)		割る	40	わんぱく	4
割り切る	7	わる	2		

# 付－２ 広報紙における表記上の誤用一覧

	76町村 (43紙)					76都市 (42紙)					77町村 (45紙)					77都市 (41紙)				
	漢字	送仮名	仮名遣	計	参考判／頁	漢字	送仮名	仮名遣	計	参考判／頁	漢字	送仮名	仮名遣	計	参考判／頁	漢字	送仮名	仮名遣	計	参考判／頁
北海道	9	11	3	23	A3/6	2	3	1	6	B4/8	19	14	8	41	B5/79	4	7	—	11	A4/16
青 森	3	—	—	3	B5/14	—	—	—	0	B4/4	—	—	—	0	B5/14	—	—	—	0	B4/4
岩 手	1	1	—	2	B5/14	3	3	—	6	B5/16	1	5	—	6	B5/12	1	1	—	2	B5/16
宮 城	5	—	—	5	B5/14	1	2	—	3	B4/4	3	1	—	4	B5/16	2	—	—	2	B5/16
秋 田	4	1	—	5	B5/8	—	2	1	3	B5/16	7	10	—	17	B5/16	5	2	—	7	B5/12
山 形	10	7	1	18	B5/16	—	—	1	1	B5/16	2	5	—	7	B5/12	3	3	—	6	B5/16
福 島	1	—	2	3	A4/12	—	1	1	2	B5/16	—	2	—	2	A4/8	3	2	—	5	B5/16
茨 城	1	1	—	2	B5/14	1	—	—	1	B5/14	—	1	—	1	B5/16	1	—	1	2	B5/16
栃 木	3	1	1	5	B5/12	2	9	1	12	A4/8	4	6	—	10	B5/14	3	6	—	9	A4/16
群 馬	1	1	2	4	B5/12	2	11	1	14	A3/8	1	1	—	2	B5/16	2	1	—	3	A3/8
埼 玉	7	15	—	22	B5/16	—	3	—	3	A3/8	2	2	1	5	B5/14	1	—	—	1	A4/16
千 葉	6	1	—	7	B5/16	1	7	—	8	B5/20	9	3	1	13	B5/14	1	3	—	4	A4/16
東 京						1	2	—	3	A3/4						3	3	2	8	A3/6
神奈川	1	—	1	2	B4/6	3	2	—	5	A3/8	1	1	—	2	B4/8	—	—	—	0	A3/8
新 潟	16	3	1	20	B5/20	1	7	1	9	B5/20	9	20	3	32	B5/24	6	1	2	9	A4/24
富 山	2	2	2	6	B5/10	—	4	—	4	B5/16	2	4	—	6	B5/12	1	1	—	2	B5/16
石 川	3	17	—	20	B5/16	4	13	2	19	B5/12	2	4	5	11	B5/20	1	1	—	2	B5/12
福 井	6	4	3	13	B5/10	1	1	—	2	A4/6	1	1	—	2	B5/8	—	3	—	3	A4/6
山 梨	5	1	1	7	A4/12						3	—	1	4	A4/14	—	—	1	1	B5/16
長 野	5	—	1	6	B5/12	1	3	—	4	A4/8	—	2	2	4	B5/12	1	—	—	1	B5/14
岐 阜	6	4	—	10	B5/12	—	2	—	2	B4/4	5	8	3	16	B5/16	1	1	—	2	B4/4
静 岡	1	2	—	3	B5/12	—	1	—	1	B4/6	1	1	—	2	B5/12	—	2	1	3	B5/18
愛 知	2	2	—	4	B5/12	—	—	—	0	B5/8	2	—	—	2	B5/16	—	2	—	2	B5/10
三 重	1	—	—	1	B5/8	1	2	—	3	B5/14	1	4	—	5	B5/8	—	4	1	5	A4/8

	76町村 (43紙)					76都市 (42紙)					77町村 (45紙)					77都市 (41紙)				
	漢 字	送 仮 名	仮 名 遣	計	参 考 判 頁	漢 字	送 仮 名	仮 名 遣	計	参 考 判 頁	漢 字	送 仮 名	仮 名 遣	計	参 考 判 頁	漢 字	送 仮 名	仮 名 遣	計	参 考 判 頁
滋 賀	4	1	—	5	B5/10	6	—	—	6	B5/16	6	6	—	12	B5/12	1	—	—	1	B5/12
京 都	1	2	—	3	B5/10						4	12	—	16	A3/12					
大 阪	3	1	—	4	B5/16	—	6	—	6	A3/8	2	3	—	5	B5/12	5	2	—	7	B5/20
兵 庫	4	5	1	10	B5/14	—	2	1	3	A3/4	3	3	2	8	B5/12	—	2	—	2	B4/4
奈 良	6	11	—	17	B5/16	3	4	1	8	A3/6	2	3	—	5	B5/8	—	—	—	0	B4/6
和歌山	1	1	—	2	B5/6	3	2	—	5	B4/4	1	—	1	2	B5/8					
鳥 取	6	5	8	19	B5/16	1	4	1	6	B5/12	6	3	2	11	A4/16	3	—	—	3	A4/14
鳥 根	6	4	1	11	B5/12	—	2	—	2	B5/6	2	—	—	2	B5/8	2	7	—	9	B5/8
岡 山						1	2	—	3	A4/8	—	—	—	0	B5/8	1	3	—	4	A4/12
広 島	10	2	—	12	B5/12	8	6	2	16	B5/16	1	—	—	1	B5/12	1	9	2	12	B5/20
山 口	3	—	—	3	B5/14	3	2	1	6	B5/10	1	1	1	3	B5/14	—	3	—	3	A4/10
徳 島											2	—	3	5	B5/10	—	2	—	2	B5/12
香 川	6	1	1	8	B5/10	1	2	3	6	B5/20	4	1	—	5	B5/10	2	2	2	6	B5/20
愛 媛	1	1	2	4	B5/10	—	3	—	3	B5/10	—	4	—	4	B5/10	1	1	—	2	B4/6
高 知	6	—	—	6	A4/10	4	9	2	15	B5/8	—	1	—	1	B5/14	1	1	—	2	B4/10
福 岡	4	1	—	5	A4/12	—	—	—	0	A4/8	3	—	2	5	A4/16	1	1	1	3	A4/8
佐 賀	1	5	2	8	B4/4	2	1	—	3	B4/5	1	1	3	5	B4/4					
長 崎	1	1	—	2	B5/8	—	4	—	4	B4/4	1	5	—	6	B5/12	2	2	—	4	B4/4
熊 本	8	4	3	15	B5/12						2	6	1	9	B5/12					
大 分	2	5	1	8	B5/12	2	—	—	2	B5/10	7	5	—	12	B5/12	—	—	—	0	B5/8
宮 崎	2	—	—	2	B5/8	—	5	—	5	B5/8	1	2	—	3	B5/8	—	—	—	0	B5/8
鹿児島	—	4	—	4	A3/6	—	—	—	0	B5/10	—	—	—	0	B4/6					
沖 縄																				
計	174	128	37	339		58	132	20	210		125	151	39	315		59	78	13	150	

## 付－３ 意識調査における基本集計一覧

この表は、意識調査（調査票は73～77 ページ）について、質問の項目ごとの集計結果を一覧表にしたものである。被調査者全員をひとまとめにした「全体」の集計結果のほか、「教員」「学生」「主婦」「その他」に分類した職業別の集計結果も示している。

A 以下、調査票の㊤の質問文(一部省略したものあり)とその回答の集計を示す。

1 遠方にいる人にものを頼んだりお礼を述べたりする場合、手紙やはがきを書きますか。電話をかけますか。

	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ほとんど手紙やはがきを書く	207	20.8	102	25.0	68	31.3	22	9.2	15	11.5
どちらかといえば手紙やはがきを書く	342	34.4	159	39.0	91	41.9	56	23.5	36	27.5
どちらかといえば電話をかける	354	35.6	133	32.6	50	23.0	114	47.9	57	43.5
ほとんど電話をかける	86	8.7	13	3.2	8	3.7	42	17.6	23	17.6
無 答	5	.5	1	.2			4	1.7		

2 手紙やはがきを書くことは、好きですか、きらいですか。

	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
き ら い だ	90	9.1	13	3.2	16	7.4	38	16.0	23	17.6
別にきらいではないが、おっくうだ	619	62.3	258	63.2	120	55.3	159	66.8	82	62.6
す き だ	148	14.9	62	15.2	56	25.8	20	8.4	10	7.6
どちらともいえない	134	13.5	74	18.1	25	11.5	19	8.0	16	12.2
無 答	3	.3	1	.2			2	.8		

3 手紙やはがきを書くときは、おもにどのような筆記用具を使いますか。

(次の表の上段が「びんせん」の場合、下段が「はがき」の場合)

	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
万 年 筆	{ 513 51.6 424 42.7 }	{ 257 63.0 240 58.8 }	{ 137 63.1 99 45.6 }	{ 68 28.6 46 19.3 }	{ 51 38.9 39 29.8 }
ボ ー ル ペ ン	{ 155 15.6 204 20.5 }	{ 32 7.8 45 11.0 }	{ 11 5.1 26 12.0 }	{ 73 30.7 87 36.6 }	{ 39 29.8 46 35.1 }
万年筆と ボールペン	{ 223 22.4 230 23.1 }	{ 63 15.4 75 18.4 }	{ 56 25.8 61 28.1 }	{ 78 32.8 71 29.8 }	{ 26 19.8 23 17.6 }
万年筆と毛筆	{ 23 2.3 20 2.0 }	{ 21 5.1 11 2.7 }	{ 4 1.8 }	{ 1 .4 3 1.3 }	{ 1 .8 2 1.5 }
万年筆と サインペン	{ 15 1.5 23 2.3 }	{ .3 .7 4 1.0 }	{ 6 2.8 15 6.9 }	{ 3 1.3 1 .4 }	{ 3 2.3 3 2.3 }
そ の 他	{ 42 4.2 45 4.5 }	{ 23 5.6 18 4.4 }	{ 7 3.2 11 5.1 }	{ 6 2.5 10 4.2 }	{ 6 4.6 6 4.6 }
無 答	{ 23 2.3 48 4.8 }	{ 9 2.2 15 3.7 }	{ .5 }	{ 9 3.8 20 8.4 }	{ 5 3.8 12 9.2 }

4 びんせんやはがきはおもに縦書きにしますか。横書きにしますか。

(次の表の上段が「びんせん」の場合、下段が「はがき」の場合)

	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
縦 書 き	{ 758 76.3 854 85.9 }	{ 374 91.7 381 93.4 }	{ 45 20.7 151 69.6 }	{ 220 92.4 211 88.7 }	{ 119 90.8 111 84.7 }
横 書 き	{ 157 15.8 49 4.9 }	{ 7 1.7 5 1.2 }	{ 139 64.1 34 15.7 }	{ 5 2.1 6 2.5 }	{ 6 4.6 4 3.1 }
半々ぐらい	{ 66 6.6 50 5.0 }	{ 23 5.6 12 2.9 }	{ 33 15.2 32 14.7 }	{ 7 2.9 3 1.3 }	{ 3 2.3 3 2.3 }
無 答	{ 13 1.3 41 4.1 }	{ 4 1.0 10 2.5 }		{ 6 2.5 18 7.6 }	{ 3 2.3 13 9.9 }

5 往復はがきなどの返信に「御芳名」「御住所」などと印刷してあるとき、あなたは「御」や「芳」の字を消しますか。

	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
必 ず 消 す	535 53.8	273 66.9	83 38.2	123 51.7	56 42.7
消 さ ない	240 24.1	88 21.6	44 20.3	63 26.5	45 34.4
決 め て い ない	154 15.5	42 10.3	45 20.7	40 16.8	27 20.6
わ か ら ない	65 6.5	5 1.2	45 20.7	12 5.0	3 2.3

6 往復はがきなどの仮信のあて名に、「〇〇行」などと印刷してあるとき、あなたはどのようにしていますか。

	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
必ず「行」を消し敬称をつける	680	68.4	347	85.0	121	55.8	136	57.1	76	58.0
消さないでそのままにする	183	18.4	46	11.3	41	18.9	62	26.1	34	26.0
決めていない	99	10.0	14	3.4	37	17.1	30	12.6	18	13.7
わからない	32	3.2	1	.2	18	8.3	10	4.2	3	2.3

7 手紙やはがきを書くとき、国語辞書や漢字字典はどの程度使いますか。

	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
めったに使わない	80	8.0	29	7.1	28	12.9	16	6.7	7	5.3
たまに使うことがある	413	41.5	148	36.3	101	46.5	103	43.3	61	46.6
しばしば使うことがある	307	30.9	148	36.3	64	29.5	66	27.7	29	22.1
よく使う	186	18.7	82	20.1	24	11.1	49	20.6	31	23.7
無 答	8	.8	1	.2			4	1.7	3	2.3

B 調査票の③で提示した文章中のカタカナの語（下記の注1参照）を、どのような表記形式を用いて書いたか。また、書く際の迷い（a 漢字で書くか仮名で書くかの迷い、b 二通り以上の漢字表記の間での迷い）はなかったか。これらの点について、実際に書かれたものを整理して示す。

（注1）提示した文章は次の通りで、以下の表に整理したのは傍線を施した語である。表の語の順序は傍線の番号順である。

ハシリガキデ シツレイ イタシマス キノウノ ゴゴカラ コドモノ  
 ① ゲンキガ ナク ネット ② ハカッタ ③ トコロ ④ サンジウハチド イジョウ  
 アリマシタ ⑤ オ イシャ ⑥ サマノ ⑦ ハナシデハ ⑧ カゼダカラ ジュウブン  
 ⑨ エイヨウヲ ⑩ アタエテ ⑪ ヤスマセレバ ⑫ スグニ ⑬ ナオルダロウ トノ  
 コトデシタ ⑭ ケサニ ナッテ ネットハ ⑮ ジョジョニ ⑯ サガッテ キマシタガ  
 イチオウ ⑰ キョウハ ヤスマセマス ⑱ ミギ ⑲ トリイソギ ⑳ ゴ レンラク  
 モウシアゲマス ㉑  
 ㉒

（注2）表中の「他の漢字」とは、漢字で表記しようとしたが字形を誤って書いてしまった誤表記を中心とするものである（誤表記でも注目されるもの、数が多いものは項目を立てて集計している）。また「その他」には、被調査者がもとの文章を勝手にかえたために、その語が現れなかった場合、および、その語の部分が空白になっているものを含んでいる。

①	ハシリガキ	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	他
表 記 形 式	はしりがき	24 <sup>人</sup>	2.4 <sup>%</sup>	2 <sup>人</sup>	.5 <sup>%</sup>	2 <sup>人</sup>	.9 <sup>%</sup>	15 <sup>人</sup>	6.3 <sup>%</sup>	5 <sup>人</sup>	3.8 <sup>%</sup>
	ハシリガキ	1	.1							1	.8
	走り書き	688	69.2	337	82.6	153	70.5	119	50.0	79	60.3
	走書き	23	2.3	6	1.5	6	2.8	9	3.8	2	1.5
	走り書	28	2.8	4	1.0	4	1.8	14	5.9	6	4.6
	走書	11	1.1					6	2.5	5	3.8
	はしり書き	202	20.3	54	13.2	50	23.0	67	28.2	31	23.7
	走りがき	5	.5	2	.5			3	1.3		
	(他の漢字)	7	.7	1	.2	1	.5	3	1.3	2	1.5
	(その他)	3	.3	1	.2			2	.8		
迷 い	a 漢字と仮名	179	18.0	42	10.3	77	35.5	38	16.0	22	16.8
	b 漢字と漢字	15	1.5	3	.7	9	4.1	1	.4	2	1.5

②	イ タ シ マ ス	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	い た す	409	41.1	222	54.4	93	42.9	53	22.3	41	31.3
	致 す	553	55.6	180	44.1	113	52.1	174	73.1	86	65.6
	至 す	13	1.3			7	3.2	5	2.1	1	.8
	(他 の 漢 字)	4	.4			1	.5	3	1.3	1	.8
	(そ の 他)	14	1.4	5	1.2	3	1.4	3	1.3	3	2.3
迷 い	a 漢字と仮名	120	12.1	57	14.0	46	21.2	9	3.8	8	6.1
	b 漢字と漢字										

③	キ ノ ウ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	き の う	243	24.4	113	27.7	66	30.4	37	15.5	27	20.6
	昨 日	727	73.1	290	71.1	149	68.7	190	79.8	98	74.8
	(他 の 漢 字)	7	.7			1	.5	4	1.7	2	1.5
	(そ の 他)	16	1.6	4	1.0	1	.5	7	2.9	4	3.1
迷 い	a 漢字と仮名	212	21.3	112	27.5	67	30.9	18	7.6	15	11.5
	b 漢字と漢字	15	1.5	8	2.0	1	.5	5	2.1	1	.8

④	ゴ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	ご	1	.1					1	.4		
	午 後	935	94.1	399	97.8	214	98.6	205	86.1	117	89.3
	午 后	41	4.1	8	2.0			23	9.7	10	7.6
	(他 の 漢 字)	12	1.2			3	1.4	6	2.5	3	2.3
	(そ の 他)	4	.4					3	1.2	1	.8
迷 い	a 漢字と仮名	4	.4	1	.2	1	.5	1	.4	1	.8
	b 漢字と漢字	9	.9	5	1.2	2	.9	1	.4	1	.8

⑤	コ ド モ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	こ ど も	10	1.0	9	2.2			1	.4		
	子 供	762	76.7	242	59.3	172	79.3	226	95.0	122	93.1
	子 ど も	214	21.5	156	38.2	44	20.3	7	2.9	7	5.3
	(他 の 漢 字)	4	.4			1	.5	1	.4	2	1.5
	(そ の 他)	4	.4	1	.2			3	1.3		
迷 い	a 漢字と仮名	98	9.9	57	14.0	37	17.1	3	1.3	1	.8
	b 漢字と漢字	3	.3	3	.7						



⑥	ナ	イ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	な	い	871	87.6	368	90.2	198	91.2	194	81.5	111	84.7
	無	い	118	11.9	40	9.8	19	8.8	39	16.4	20	15.3
	(他 の 漢 字)		3	.3					3	1.3		
	(そ の 他)		2	.2					2	.8		
迷 い	a	漢字と仮名	62	6.2	28	6.9	18	8.3	11	4.6	5	3.8
	b	漢字と漢字	2	.2	1	.2	1	.5				

⑦	ハ	カ	ル	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	は	か	る	214	21.5	96	23.5	34	15.7	60	25.2	24	18.3
	計		る	660	66.4	251	61.5	155	71.4	158	66.4	96	73.3
	測		る	114	11.5	60	14.7	28	12.9	16	6.7	10	7.6
	量		る	1	.1							1	.8
	図		る	1	.1					1	.4		
	(他 の 漢 字)			2	.2					2	.8		
迷 い	a	漢字と仮名		143	14.4	73	17.9	34	15.7	18	7.6	18	13.7
	b	漢字と漢字		160	16.1	83	20.3	67	30.9	4	1.7	6	4.6

⑧	ト	コ	ロ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	と	こ	ろ	859	86.4	381	93.4	216	99.5	162	68.1	100	76.3
		所		114	11.5	17	4.2	1	.5	68	28.6	28	21.4
		処		15	1.5	8	2.0			4	1.7	3	2.3
	(他 の 漢 字)			2	.2					2	.8		
	(そ の 他)			4	.4	2	.5			2	.8		
迷 い	a	漢字と仮名		43	4.3	19	4.7	6	2.8	15	6.3	3	2.3
	b	漢字と漢字		3	.3					2	.8	1	.8

⑨	ア	ル	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	あ	る	893	89.8	400	98.0	206	94.9	175	73.5	112	85.5
	有	る	98	9.9	8	2.0	11	5.1	60	25.2	19	14.5
	(そ の 他)		3	.3					3	1.3		
迷 い	a	漢字と仮名	35	3.5	12	2.9	16	7.4	6	2.5	1	.8
	b	漢字と漢字	2	.2					2	.8		

⑩	オ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	お	897	90.2	391	95.8	185	85.3	208	87.4	113	86.3
	御	90	9.1	17	4.2	32	14.7	24	10.1	17	13.0
	(そ の 他)	7	.7					6	2.5	1	.8
迷 い	a 漢字と仮名	62	6.2	18	4.4	36	16.6	4	1.7	4	3.1
	b 漢字と漢字	2	.2	1	.2	1	.5				

⑪	サ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	さ	130	13.1	70	17.2	30	13.8	19	8.0	11	8.4
	様	854	85.9	336	82.4	187	86.2	213	89.5	118	90.1
	(そ の 他)	10	1.0	2	.5			6	2.5	2	1.5
迷 い	a 漢字と仮名	60	6.0	34	8.3	19	8.8	2	.8	5	3.8
	b 漢字と漢字	2	.2	2	.5						

⑫	ハ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	は	19	1.9	9	2.2	6	2.8	2	.8	2	1.5
	話	753	75.8	370	90.7	173	79.7	134	56.3	76	58.0
	話	218	21.9	29	7.1	37	17.1	100	42.0	52	39.7
	(他 の 漢 字)	1	.1			1	.5				
	(そ の 他)	3	.3					2	.8	1	.8
迷 い	a 漢字と仮名	19	1.9	5	1.2	13	6.0			1	.8
	b 漢字と漢字	1	.1			1	.5				

⑬	カ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	か	228	22.9	107	26.2	62	28.6	34	14.3	25	19.1
	カ	31	3.1	6	1.5	9	4.1	12	5.0	4	3.1
	風	685	68.9	293	71.8	142	65.4	166	69.7	84	64.1
	風	27	2.7			1	0.5	18	7.6	8	6.1
	風	13	1.3			2	.9	8	3.4	3	2.3
	(他 の 漢 字)	6	.6							6	4.6
	(そ の 他)	4	.4	2	.5	1	.5			1	.8
迷 い	a 漢字と仮名	196	19.7	105	25.7	55	25.3	24	10.1	12	9.2
	b 漢字と漢字	14	1.4	10	2.5	3	1.4	1	.4		

⑭	ジュウブン	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	じゅ う ぶん	46 4.6	19 4.7	3 1.4	17 7.1	7 5.3
	十 分	490 49.3	241 59.1	135 62.2	70 29.4	44 33.6
	充 分	435 43.8	146 35.8	79 36.4	138 58.0	72 55.0
	じゅ う 分	13 1.3	2 .5		6 2.5	5 3.8
	(他 の 漢 字)	5 .5			3 1.3	2 1.5
	(そ の 他)	5 .5			4 1.7	1 .8
迷 い	a 漢字と仮名	90 9.1	53 13.0	7 3.2	18 7.6	12 9.2
	b 漢字と漢字	263 26.5	112 27.5	101 46.5	32 13.4	18 13.7

⑮	ア タ エ ル	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	あ た え る	160 16.1	21 5.1	14 6.5	85 35.7	40 30.5
	与 え る	815 82.0	385 94.4	203 93.5	143 60.1	84 64.1
	(他 の 漢 字)	11 1.1			6 2.5	5 3.8
	(そ の 他)	7 .7	2 .5		3 1.3	2 1.5
迷 い	a 漢字と仮名	53 5.3	9 2.2	11 5.1	20 8.4	13 9.9
	b 漢字と漢字	4 .4	1 .2		2 .8	1 .8

⑯	ヤスマセル	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	やすませる	32 3.2	15 3.7	4 1.8	9 3.8	4 3.1
	休ませる	937 94.3	386 94.6	209 96.3	219 92.0	123 93.9
	寝ませる	7 .7	2 .5		4 1.7	1 .8
	安ませる	6 .6		4 1.8	1 .4	1 .8
	(他 の 漢 字)	3 .3			2 .8	1 .8
	(そ の 他)	8 .8	5 1.2		2 .8	1 .8
迷 い	a 漢字と仮名	26 2.6	11 2.7	8 3.7	7 2.9	
	b 漢字と漢字	35 3.5	15 3.7	11 5.1	8 3.4	1 .8

⑰	ス グ ニ	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	す ぐ に	913 91.9	372 91.2	210 96.8	213 89.5	118 90.1
	直 ぐ に	64 6.4	32 7.8	3 1.4	18 7.6	11 8.4
	即 ち に	5 .5	1 .2	4 1.8		
	(他 の 漢 字)	4 .4	1 .2		2 .8	1 .8
	(そ の 他)	8 .8	2 .5		5 2.1	1 .8
迷 い	a 漢字と仮名	101 10.2	40 9.8	28 12.9	21 8.8	12 9.2
	b 漢字と漢字	3 .3		1 .5	2 .8	

㊸	ナ	オ	ル	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	の	他
表 記 形 式	な	お	る	393	39.5	152	37.3	51	23.5	123	51.7	67	51.1	
	ナ	オ	ル	1	.1					1	.4			
	治		る	392	39.4	171	41.9	105	48.4	74	31.1	42	32.1	
	直		る	182	18.3	71	17.4	60	27.6	32	13.4	19	14.5	
	癒		る	17	1.7	13	3.2	1	.5	2	.8	1	.8	
	(そ	の	他)	9	.9	1	.2			6	2.5	2	1.5	
迷 い	a	漢字と仮名		167	16.8	82	20.1	35	16.1	30	12.6	20	15.3	
	b	漢字と漢字		102	10.3	52	12.7	35	16.1	9	3.8	6	4.6	

㊹	コ	ト	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	の	他
表 記 形 式	こ	と	667	67.1	337	82.6	180	82.9	86	36.1	64	48.9	
	事		320	32.2	71	17.4	37	17.1	147	61.8	65	49.6	
	(そ	の	他)	7	.7				5	2.1	2	1.5	
迷 い	a	漢字と仮名	69	6.9	25	6.1	32	14.7	7	2.9	5	3.8	
	b	漢字と漢字	3	.3	2	.5	1	.5					

㊺	ケ	サ	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	の	他
表 記 形 式	け	さ	127	12.8	67	16.4	18	8.3	27	11.3	15	11.5	
	今	朝	851	85.6	340	83.3	198	91.2	200	84.0	113	86.3	
	(他	の	漢	字)	1	.1			1	.4			
	(そ	の	他)	15	1.5	1	.2	1	.5	10	4.2	3	2.3
迷 い	a	漢字と仮名	169	17.0	90	22.1	53	24.4	13	5.5	13	9.9	
	b	漢字と漢字	8	.8	3	.7	3	1.4	2	.8			

㊻	ジ	ョ	ジ	ョ	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	の	他
表 記 形 式	じ	ょ	じ	ょ	204	20.5	61	15.0	9	4.1	85	35.7	49	37.4	
	ジ	ョ	ジ	ョ	4	.4					3	1.3	1	.8	
	徐		々		401	40.3	250	61.3	106	48.8	19	8.0	26	19.8	
	除		々		295	29.7	78	19.1	89	41.0	90	37.8	38	29.0	
	序		々		60	6.0	13	3.2	8	3.7	27	11.3	12	9.2	
	(他	の	漢	字)	16	1.6	4	1.0	4	1.8	6	2.5	2	1.5	
	(そ	の	他)		14	1.4	2	.5	1	.5	8	3.4	3	2.3	
迷 い	a	漢字と仮名			184	18.5	77	18.9	20	9.2	52	21.8	35	26.7	
	b	漢字と漢字			48	4.8	12	2.9	21	9.7	8	3.4	7	5.3	

②②	サ ガ ル	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	さ が る	103 10.4	50 12.3	10 4.6	25 10.5	18 13.7
	下 が る	879 88.4	355 87.0	206 94.9	208 87.4	110 84.0
	降 が る	7 .7	3 .7	1 .5	2 .8	1 .8
	(他 の 漢 字)	1 .1				1 .8
	(そ の 他)	4 .4			3 1.3	1 .8
迷 い	a 漢字と仮名	64 6.4	38 9.3	8 3.7	6 2.5	12 9.2
	b 漢字と漢字	28 2.8	18 4.4	4 1.8	4 1.7	2 1.5

②③	……テキマシタ	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	き ま し た	732 73.6	345 84.6	198 91.2	118 49.6	71 54.2
	来 ま し た	254 25.6	62 15.2	19 8.8	115 48.3	58 44.3
	(そ の 他)	8 .8	1 .2		5 2.1	2 1.5
迷 い	a 漢字と仮名	54 5.4	20 4.9	16 7.4	14 5.9	4 3.1
	b 漢字と漢字	1 .1	1 .2			

②④	イ チ オ ウ	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	い ち お う	107 10.8	33 8.1	10 4.6	41 17.2	23 17.6
	一 応	864 86.9	373 91.4	207 95.4	181 76.1	103 78.6
	一 お う	4 .4	1 .2		2 .8	1 .8
	い ち 応	3 .3			3 1.3	
	(他 の 漢 字)	4 .4			2 .8	2 1.5
	(そ の 他)	12 1.2	1 .2		9 3.8	2 1.5
迷 い	a 漢字と仮名	97 9.8	45 11.0	17 7.8	22 9.2	13 9.9
	b 漢字と漢字	10 1.0	2 .5	6 2.8	2 .8	

②⑤	キ ョ ウ	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
表 記 形 式	き ょ う	105 10.6	76 18.6	15 6.9	2 .8	12 9.2
	今 日	885 89.0	332 81.4	202 93.1	233 97.9	118 90.1
	(そ の 他)	4 .4			3 1.3	1 .8
迷 い	a 漢字と仮名	94 9.5	67 16.4	22 10.1	2 .8	3 2.3
	b 漢字と漢字	5 .5	3 .7	1 .5		1 .8

②⑥	トリイソギ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	とりいそぎ	63	6.3	19	4.7	19	8.8	15	6.3	10	7.6
	取 り 急 ぎ	496	49.9	238	58.3	94	43.3	105	44.1	59	45.0
	取 急 ぎ	176	17.7	56	13.7	11	5.1	73	30.7	36	27.5
	取 急	4	.4					2	.8	2	1.5
	と り 急 ぎ	207	20.8	90	22.1	82	37.8	22	9.2	13	9.9
	取 り い そ ぎ	26	2.6	5	1.2	3	1.4	12	5.0	6	4.6
	取 り 忙 ぎ	5	.5			2	.9	3	1.2		
	(他 の 漢 字)	9	.9			6	2.8	1	.4	2	1.5
迷 い	(そ の 他)	8	.8					5	2.1	3	2.3
	a 漢字と仮名	162	16.3	47	11.5	81	37.3	18	7.6	16	12.2
	b 漢字と漢字	12	1.2	6	1.5	6	2.8				

②⑦	ゴ	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	ご	312	31.4	209	51.2	27	12.4	49	20.6	27	20.6
	御	677	68.1	199	48.8	190	87.6	185	77.7	103	78.6
	(そ の 他)	5	.5					4	1.7	1	.8
迷 い	a 漢字と仮名	88	8.9	58	14.2	15	6.9	10	4.2	5	3.8
	b 漢字と漢字	5	.5	4	1.0			1	.4		

②⑧	モウシアゲル	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
表 記 形 式	もうしあげる	3	.3			1	.5			2	1.5
	申し上げる	863	86.8	335	82.1	204	94.0	214	89.9	110	84.0
	申 上 げ る	31	3.1	12	2.9	1	.5	13	5.5	5	3.8
	申しあげる	86	8.7	60	14.7	11	5.1	4	1.7	11	8.4
	もうし上げる	4	.4					2	.8	2	1.5
	(そ の 他)	7	.7	1	.2			5	2.1	1	.8
迷 い	a 漢字と仮名	45	4.5	30	7.4	8	3.7	3	1.3	4	3.1
	b 漢字と漢字	1	.1							1	.8

C 調査票の◎では、二通り以上の書き方が見られることば20語を示し、それぞれどういう書き方をしているかを質問した。その結果を以下に示す。

(注1) 提示したことばは次の20語である。以下の表では左上に示した。

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| (1) せいちょう (成長・生長)    | (2) ねんぱい (年配・年輩)        |
| (3) ふろく (附録・付録)      | (4) したく (仕度・支度)         |
| (5) じゅうぶん (十分・充分)    | (6) おおぜい (多勢・大勢)        |
| (7) ねんれい (年令・年齢)     | (8) おんこう (温厚・温好)        |
| (9) じゅんぽう (遵法・順法)    | (10) まち (街・町)           |
| (11) いうたい (応対・応待)    | (12) きじゅん (基準・規準)       |
| (13) なんこう (難航・難行)    | (14) ていねん (停年・定年)       |
| (15) いちおう (一応・一往)    | (16) いしょう (衣裳・衣装)       |
| (17) ろくおんき (録音機・録音器) | (18) かじょうがき (簡条書き・個条書き) |
| (19) あたたかい (温かい・暖かい) | (20) 男どうし (同志・同士)       |

(注2) 以下の表における選択肢の項目は、1・2はその具体的な表記形式を示したが、3・4・5は表現を簡略化したものを示した。もとの選択肢の表現は次の通り。

- 3：漢字で書かず、かなで書く。
- 4：意味の違いによって両方を書き分けている。
- 5：その時の気分で両方を書き分けている。

(1) せいちょう	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「生 長」	24 <sup>人</sup>	2.4%	3 <sup>人</sup>	.7%	2 <sup>人</sup>	.9%	15 <sup>人</sup>	6.3%	4 <sup>人</sup>	3.1%
2 「成 長」	373	37.5	124	30.4	102	47.0	99	41.6	48	36.6
3 かなで書く										
4 意味で書き分け	584	58.8	275	67.4	107	49.3	123	51.7	79	60.3
5 気分で書き分け	9	.9	3	.7	5	2.3	1	.4		
6 そ の 他	3	.3	2	.5	1	.5				

(2) ねんぱい	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「年 配」	504	50.7	226	55.4	95	43.8	123	51.7	60	45.8
2 「年 輩」	251	25.3	97	23.8	52	24.0	60	25.2	42	32.1
3 かなで書く	7	.7	3	.7	2	.9	2	.8		
4 意味で書き分け	166	16.7	56	13.7	37	17.1	50	21.0	23	17.6
5 気分で書き分け	54	5.4	23	5.6	27	12.4	2	.8	2	1.5
6 そ の 他	8	.8	2	.5	3	1.4	1	.4	2	1.5

(3) ふ ろ く	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他
1 「附 録」	109	11.0	32	7.8	12	5.5	46	19.3	19 14.5
2 「付 録」	777	78.2	342	83.8	185	85.3	157	66.0	93 71.0
3 かなで書く	6	.6			3	1.4	2	.8	1 .8
4 意味で書き分け	60	6.0	9	2.2	8	3.7	29	12.2	14 10.7
5 気分で書き分け	34	3.4	19	4.7	8	3.7	3	1.3	4 3.1
6 そ の 他	3	.3	2	.5	1	.5			

(4) し た く	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他
1 「仕 度」	350	35.2	131	32.1	85	39.2	96	40.3	38 29.0
2 「支 度」	318	32.0	160	39.2	52	24.0	60	25.2	46 35.1
3 かなで書く	75	7.5	36	8.8	26	12.0	4	1.7	9 6.9
4 意味で書き分け	156	15.7	39	9.6	12	5.5	71	29.8	34 26.0
5 気分で書き分け	85	8.6	35	8.6	40	18.4	6	2.5	4 3.1
6 そ の 他	8	.8	6	1.5	2	.9			

(5) じゅうぶん	全 体		教 員		学 生		生 婦		そ の 他
1 「十 分」	240	24.1	136	33.3	37	17.1	37	15.5	30 22.9
2 「充 分」	273	27.5	84	20.6	31	14.3	107	45.0	51 38.9
3 かなで書く	19	1.9	10	2.5			5	2.1	4 3.1
4 意味で書き分け	217	21.8	68	16.7	42	19.4	73	30.7	34 26.0
5 気分で書き分け	230	23.1	105	25.7	99	45.6	15	6.3	11 8.4
6 そ の 他	12	1.2	3	.7	8	3.7			1 .8

(6) おおぜい	全 体		教 員		学 生		生 婦		そ の 他
1 「多 勢」	272	27.4	104	25.5	66	30.4	62	26.1	40 30.5
2 「大 勢」	473	47.6	211	51.7	104	47.9	100	42.0	58 44.3
3 かなで書く	33	3.3	17	4.2	3	1.4	7	2.9	6 4.6
4 意味で書き分け	116	11.7	38	9.3	8	3.7	54	22.7	16 12.2
5 気分で書き分け	87	8.8	32	7.8	33	15.2	13	5.5	9 6.9
6 そ の 他	8	.8	5	1.2	2	.9			1 .8



(7) ねんれい	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「年 令」	556	55.9	231	56.6	40	18.4	196	82.4	89	67.9
2 「年 齢」	198	19.9	125	30.6	30	13.8	15	6.3	28	21.4
3 か な で 書 く										
4 意味で書き分け	20	2.0	3	.7	4	1.8	11	4.6	2	1.5
5 気分で書き分け	213	21.4	46	11.3	140	64.5	15	6.3	12	9.2
6 そ の 他	6	.6	2	.5	3	1.4	1	.4		

(8) おんこう	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「温 厚」	740	74.4	336	82.4	165	76.0	150	63.0	89	67.9
2 「温 好」	73	7.3	15	3.7	7	3.2	35	14.7	16	12.2
3 か な で 書 く	5	.5			2	.9	3	1.3		
4 意味で書き分け	139	14.0	47	11.5	27	12.4	43	18.1	22	16.8
5 気分で書き分け	28	2.8	7	1.7	14	6.5	5	2.1	2	1.5
6 そ の 他	7	.7	2	.5	2	.9	2	.8	1	.8

(9) じゅんぼう	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「逆 法」	305	30.7	180	44.1	64	29.5	30	12.6	31	23.7
2 「順 法」	396	39.8	129	31.6	49	22.6	150	63.0	68	51.9
3 か な で 書 く	19	1.9	1	.2	3	1.4	9	3.8	6	4.6
4 意味で書き分け	190	19.1	67	16.4	67	30.9	39	16.4	17	13.0
5 気分で書き分け	31	3.1	20	4.9	8	3.7	1	.4	2	1.5
6 そ の 他	42	4.2	8	2.0	26	12.0	7	2.9	1	.8

(10) ま ち	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「 街 」	22	2.2	4	1.0	1	.5	12	5.0	5	3.8
2 「 町 」	171	17.2	62	15.2	21	9.7	54	22.7	34	26.0
3 か な で 書 く										
4 意味で書き分け	610	61.4	287	70.3	94	43.3	149	62.6	80	61.1
5 気分で書き分け	182	18.3	52	12.7	99	45.6	19	8.0	12	9.2
6 そ の 他	6	.6	2	.5	2	.9	2	.8		

(11) おうたい	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「応 対」	289	29.1	137	33.6	33	15.2	72	30.3	47	35.9
2 「応 待」	324	32.6	131	32.1	80	36.9	73	30.7	40	30.5
3 かなで書く										
4 意味で書き分け	335	33.7	116	28.4	87	40.1	90	37.8	42	32.1
5 気分で書き分け	36	3.6	19	4.7	14	6.5	2	.8	1	.8
6 そ の 他	8	.8	4	1.0	3	1.4			1	.8

(12) きじゅん	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「基 準」	562	56.5	223	54.7	114	52.5	146	61.3	79	60.3
2 「規 準」	28	2.8	6	1.5	9	4.1	7	2.9	6	4.6
3 かなで書く										
4 意味で書き分け	372	37.4	162	39.7	84	38.7	83	34.9	43	32.8
5 気分で書き分け	24	2.4	12	2.9	8	3.7	1	.4	3	2.3
6 そ の 他	5	.5	3	.7	2	.9				

(13) なんこう	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「難 航」	285	28.7	162	39.7	26	12.0	47	19.7	50	38.2
2 「難 行」	151	15.2	60	14.7	30	13.8	43	18.1	18	13.7
3 かなで書く	7	.7	1	.2	1	.5	3	1.3	2	1.5
4 意味で書き分け	524	52.7	176	43.1	147	67.7	141	59.2	60	45.8
5 気分で書き分け	17	1.7	4	1.0	10	4.6	2	.8	1	.8
6 そ の 他	8	.8	4	1.0	3	1.4	1	.4		

(14) ていねん	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「停 年」	126	12.7	65	15.9	15	6.9	29	12.2	17	13.0
2 「定 年」	641	64.5	236	57.8	147	67.7	172	72.3	86	65.6
3 かなで書く	1	.1			1	.5				
4 意味で書き分け	167	16.8	78	19.1	36	16.6	30	12.6	23	17.6
5 気分で書き分け	44	4.4	23	5.6	12	5.5	5	2.1	4	3.1
6 そ の 他	11	1.1	4	1.0	6	2.8	1	.4		

(15) いちおう	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他
1 「一 応」	853	85.8	370	90.7	178	82.0	194	81.5	111 84.7
2 「一 往」	10	1.0	1	.2	3	1.4	3	1.3	3 2.3
3 か な で 書 く	24	2.4	16	3.9	2	.9	2	.8	4 3.1
4 意味で書き分け	96	9.7	18	4.4	29	13.4	36	15.1	13 9.9
5 気分で書き分け	5	.5	2	.5	2	.9	1	.4	
6 そ の 他	2	.2			2	.9			

(16) いしよう	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他
1 「衣 裳」	360	36.2	123	30.1	15	6.9	151	63.4	71 54.2
2 「衣 装」	369	37.1	178	43.6	128	59.0	36	15.1	27 20.6
3 か な で 書 く	3	.3					1	.4	2 1.5
4 意味で書き分け	152	15.3	61	15.0	25	11.5	40	16.8	26 19.8
5 気分で書き分け	98	9.9	41	10.0	45	20.7	9	3.8	3 2.3
6 そ の 他	10	1.0	4	1.0	4	1.8			2 1.5

(17) ろくおんき	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他
1 「録 音 機」	653	65.7	274	67.2	164	75.6	142	59.7	73 55.7
2 「録 音 器」	224	22.5	80	19.6	34	15.7	70	29.4	40 30.5
3 か な で 書 く	2	.2	1	.2			1	.4	
4 意味で書き分け	68	6.8	36	8.8	4	1.8	20	8.4	8 6.1
5 気分で書き分け	35	3.5	13	3.2	14	6.5	5	2.1	3 2.3
6 そ の 他	7	.7	2	.5	1	.5			4 3.1

(18) かじょうがき	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他
1 「箇 条 書 き」	813	81.8	340	83.3	196	90.3	176	73.9	101 77.1
2 「個 条 書 き」	124	12.5	45	11.0	11	5.1	47	19.7	21 16.0
3 か な で 書 く	8	.8	1	.2	2	.9	4	1.7	1 .8
4 意味で書き分け	16	1.6	4	1.0			8	3.4	4 3.1
5 気分で書き分け	25	2.5	15	3.7	8	3.7	1	.4	1 .8
6 そ の 他	4	.4	2	.5			1	.4	1 .8

(19) あたたかい	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「温 か い」	15	1.5	4	1.0			6	2.5	5	3.8
2 「暖 か い」	226	22.7	71	17.4	55	25.3	65	27.3	35	26.7
3 か な で 書 く	4	.4	3	.7					1	.8
4 意味で書き分け	692	69.6	303	74.3	148	68.2	157	66.0	84	64.1
5 気分で書き分け	55	5.5	26	6.4	14	6.5	10	4.2	5	3.8
6 そ の 他										

(20) 男 どう し	全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
1 「同 志」	395	39.7	145	35.5	81	37.3	107	45.0	62	47.3
2 「同 士」	242	24.3	79	19.4	61	28.1	65	27.3	37	28.2
3 か な で 書 く	20	2.0	13	3.2	2	.9	2	.8	3	2.3
4 意味で書き分け	269	27.1	147	36.0	39	18.0	61	25.6	22	16.8
5 気分で書き分け	60	6.0	21	5.1	31	14.3	3	1.3	5	3.8
6 そ の 他	4	.4	1	.2	3	1.4				

Ｄ 調査票の②の文章中の①～④の語表記について、

- (1) あなたの考えでは、①～④はそれぞれ次の１～４のどれにあてはまりますか。
- １ 正しいから、このままでよい。
  - ２ ほかに適切な書き方もあるが、このままでよい。
  - ３ 誤りとはいえないが、訂正した方がよい。
  - ４ 誤りだから訂正した方がよい。
- (2) あなたが(1)で２・３・４を記入したことばについて、訂正すべき書き方、またはほかの適切な書き方を記入してください。
- (3) また、(1)で２・３・４を選んだのはどういう理由によりますか。次のＡ～Ｇから選んでください。
- Ａ 別の漢字を使っているから      Ｂ 一般的でないから  
 Ｃ 自分の書き方と違うから      Ｄ 読みにくいから  
 Ｅ 当用漢字にないから      Ｆ 送り仮名の規則に反しているから  
 Ｇ そ の 他

以上の質問についての回答の集計を以下に示す。

(注) 問題となった①～④(①・①⑦・①⑨を除く)の語表記は、表の左上に示す。また、「その他」には誤った表記(誤った表記でも注目されるものは項目を立てて集計している)と無答が含まれている。

② 行なわれた		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	１	499 <sup>人</sup>	50.2 <sup>%</sup>	142 <sup>人</sup>	34.8 <sup>%</sup>	111 <sup>人</sup>	51.2 <sup>%</sup>	165 <sup>人</sup>	69.3 <sup>%</sup>	81 <sup>人</sup>	61.8 <sup>%</sup>
	２	75	7.5	43	10.5	20	9.2	4	1.7	8	6.1
	３	157	15.8	106	26.0	26	12.0	9	3.8	16	12.2
	４	246	24.7	113	27.7	60	27.6	56	23.5	17	13.0
	無 答	17	1.7	4	1.0			4	1.7	9	6.9
D   (2)	行 わ れ た	451	45.4	251	61.5	97	44.7	62	26.1	41	31.3
	おこなわれた	10	1.0	4	1.0	4	1.8	1	.4	1	.8
	行 なはれた	1	.1	2	.5	1	.5			1	.8
	(そ の 他)	33	3.3	9	2.2	4	1.8	10	4.2	7	5.3
D   (3)	A	1	.1			1	.5				
	B	36	3.6	24	5.9	7	3.2	1	.4	4	3.1
	C	23	2.3	9	2.2	8	3.7	3	1.3	3	2.3
	D	9	.9	7	1.7			1	.4	1	.8
	E	1	.1	1	.2						
	F	358	36.0	189	46.3	82	37.8	58	24.4	29	22.1
	G	30	3.0	20	4.9	8	3.7			2	1.5
	無 答	37	3.7	16	3.9			10	4.2	11	8.4

③ 我 が		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1	487	49.0	128	31.4	109	50.2	160	67.2	90	68.7
	2	95	9.6	49	12.0	27	12.4	12	5.0	7	5.3
	3	264	26.6	155	38.0	50	23.0	37	15.5	22	16.8
	4	122	12.3	62	15.2	31	14.3	22	9.2	7	5.3
	無 答	26	2.6	14	3.4			7	2.9	5	3.8
D   (2)	わ が	288	29.0	199	48.8	38	17.5	30	12.6	21	16.0
	我	143	14.4	43	10.5	66	30.4	27	11.3	7	5.3
	吾 が	8	.8	5	1.2	1	.5	1	.4	1	.8
	(そ の 他)	68	6.8	33	8.1	3	1.4	20	8.4	12	9.2
D   (3)	A	9	.9	5	1.2	1	.5	2	.8	1	.8
	B	104	10.5	69	16.9	13	6.0	14	5.9	8	6.1
	C	54	5.4	16	3.9	23	10.6	6	2.5	9	6.9
	D	82	8.2	47	11.5	23	10.6	11	4.6	1	.8
	E	40	4.0	35	8.6	2	.9	1	.4	2	1.5
	F	105	10.6	40	9.8	34	15.7	26	10.9	5	3.8
	G	51	5.1	31	7.6	11	5.1	5	2.1	4	3.1
	無 答	62	6.2	37	9.1	1	.5	13	5.5	11	8.4

④ 引 卒 者		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1	267	26.9	37	9.1	18	8.3	150	63.0	62	47.3
	2	51	5.1	19	4.7	18	8.3	14	5.9		
	3	233	23.4	82	20.1	99	45.6	31	13.0	21	16.0
	4	415	41.8	268	65.7	82	37.8	31	13.0	34	26.0
	無 答	28	2.8	2	.5			12	5.0	14	10.7
D   (2)	引 率 者	427	43.0	272	66.7	103	47.5	23	9.7	29	22.1
	引 そ つ 者	1	.1	1	.2						
	引 卒 者	224	22.5	89	21.8	89	41.0	27	11.3	19	14.5
	(そ の 他)	75	7.5	9	2.2	7	3.2	38	16.0	21	16.0
D   (3)	A	295	29.7	203	49.8	52	24.0	23	9.7	17	13.0
	B	58	5.8	18	4.4	22	10.1	8	3.4	10	7.6
	C	35	3.5	10	2.5	11	5.1	11	4.6	3	2.3
	D	7	.7	2	.5	2	.9	3	1.3		
	E	241	24.2	103	25.2	105	48.4	18	7.6	15	11.5
	F	5	.5	2	.5	2	.9	1	.4		
	G	27	2.7	18	4.4	4	1.8	2	.8	3	2.3
	無 答	59	5.9	15	3.7	1	.5	22	9.2	21	16.0

⑤ 一 諸 に		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1	443	44.6	94	23.0	91	41.9	177	74.4	81	61.8
	2	54	5.4	30	7.4	18	8.3	3	1.3	3	2.3
	3	143	14.4	93	22.8	29	13.4	10	4.2	11	8.4
	4	335	33.7	184	45.1	79	36.4	44	18.5	28	21.4
	無 答	19	1.9	7	1.7			4	1.7	8	6.1
D   (2)	一 緒 に	312	31.4	166	40.7	78	35.9	42	17.6	26	19.8
	いっしょに	182	18.3	122	29.9	44	20.3	4	1.7	12	9.2
	一しょに	13	1.3	10	2.5			2	.8	1	.8
	(そ の 他)	44	4.4	16	3.9	4	1.8	13	5.5	11	8.4
D   (3)	A	271	27.3	148	36.3	71	32.7	34	14.3	18	13.7
	B	80	8.0	53	13.0	16	7.4	3	1.3	8	6.1
	C	35	3.5	8	2.0	16	7.4	7	2.9	4	3.1
	D	34	3.4	17	4.2	13	6.0	2	.8	2	1.5
	E	33	3.3	26	6.4	3	1.4	2	.8	2	1.5
	F	5	.5	4	1.0					1	.8
	G	37	3.7	30	7.4	5	2.3			2	1.5
	無 答	56	5.6	28	6.9	2	.9	13	5.5	13	9.9

⑥ 驚 ろ い た		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1	327	32.9	63	15.4	28	12.9	151	63.4	85	64.9
	2	11	1.1	1	.2	4	1.8	4	1.7	2	1.5
	3	62	6.2	37	9.1	7	3.2	12	5.0	6	4.6
	4	566	56.9	302	74.0	177	81.6	59	24.8	28	21.4
	無 答	28	2.8	5	1.2	1	.5	12	5.0	10	7.6
D   (2)	驚 い た	623	62.7	332	81.4	188	86.6	70	29.4	33	25.2
	おどろいた	11	1.1	7	1.7			2	.8	2	1.5
	(そ の 他)	33	3.3	6	1.5	1	.5	15	6.3	11	8.4
D   (3)	A	1	.1	1	.2					2	1.5
	B	6	.6	4	1.0						
	C	10	1.0	5	1.2	2	.9	3	1.3		
	D	11	1.1	7	1.7	1	.5	3	1.3		
	E	4	.4	3	.7	1	.5				
	F	598	60.2	317	77.7	184	84.8	65	27.3	32	24.4
	G	2	.2							2	1.5
	無 答	35	3.5	8	2.0	1	.5	16	6.7	10	7.6

⑦	高 令 者	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
D   (1)	1	466 46.9	165 40.4	24 11.1	190 79.8	87 66.4
	2	143 14.4	61 15.0	70 32.3	6 2.5	6 4.6
	3	247 24.8	89 21.8	112 51.6	25 10.5	21 16.0
	4	120 12.1	87 21.3	11 5.1	8 3.4	14 10.7
	無 答	18 1.8	6 1.5		9 3.8	3 2.3
D   (2)	高 齢 者	465 46.8	213 52.2	189 87.1	30 12.6	33 25.2
	(そ の 他)	63 6.3	30 7.3	4 1.8	18 7.6	11 8.4
D   (3)	A	174 17.5	110 27.0	42 19.4	6 2.5	16 12.2
	B	132 13.3	44 10.8	72 33.2	12 5.0	4 3.1
	C	54 5.4	11 2.7	33 15.2	7 2.9	3 2.3
	D	5 .5		2 .9	2 .8	1 .8
	E	45 4.5	26 6.4	10 4.6	3 1.3	6 4.6
	F	1 .1				1 .8
	G	55 5.5	23 5.6	29 13.4	1 .4	2 1.5
	無 答	62 6.2	29 7.1	5 2.3	17 7.1	11 8.4

⑧	以 外 に	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
D   (1)	1	385 38.7	91 22.3	29 13.4	178 74.8	87 66.4
	2	11 1.1	4 1.0		6 2.5	1 .8
	3	27 2.7	11 2.7	3 1.4	8 3.4	5 3.8
	4	551 55.4	293 71.8	184 84.8	42 17.6	32 24.4
	無 答	20 2.0	9 2.2	1 .5	4 1.7	6 4.6
D   (2)	意 外 に	536 53.9	289 70.8	175 80.6	42 17.6	30 22.9
	い が い に	20 2.0	10 2.5	2 .9	4 1.7	4 3.1
	異 外 に	10 1.0	3 .7	7 3.2		
	(そ の 他)	43 4.3	15 3.7	4 1.8	14 5.9	10 7.6
D   (3)	A	500 50.3	265 65.0	170 78.3	40 16.8	25 19.1
	B	25 2.5	13 3.2	7 3.2	2 .8	3 2.3
	C	21 2.1	3 .7	7 3.2	7 2.9	4 3.1
	D	2 .2	1 .2	1 .5		
	E	7 .7	3 .7	1 .5		3 2.3
	F	3 .3	2 .5	1 .5		
	G	11 1.1	8 2.0		3 1.3	
	無 答	40 4.0	22 5.4	1 .5	8 3.4	9 6.9



⑨ 事		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D ↓ (1)	1	394	39.6	80	19.6	72	33.2	169	71.0	73	55.7
	2	125	12.6	55	13.5	50	23.0	13	5.5	7	5.3
	3	384	38.6	211	51.7	92	42.4	45	18.9	36	27.5
	4	73	7.3	57	14.0	3	1.4	4	1.7	9	6.9
	無 答	18	1.8	5	1.2			7	2.9	6	4.6
D ↓ (2)	こ と	559	56.2	314	77.0	142	65.4	55	23.1	48	36.6
	(そ の 他)	41	4.1	14	3.4	3	1.4	14	5.9	10	7.6
D ↓ (3)	A	9	.9	6	1.5			2	.8	1	.8
	B	230	23.1	135	33.1	59	27.2	19	8.0	17	13.0
	C	79	7.9	27	6.6	34	15.7	9	3.8	9	6.9
	D	67	6.7	25	6.1	27	12.4	13	5.5	2	1.5
	E	13	1.3	9	2.2			3	1.3	1	.8
	F	12	1.2	12	2.9						
	G	133	13.4	86	21.1	23	10.6	10	4.2	14	10.7
	無 答	57	5.7	28	6.9	2	.9	13	5.5	14	10.7

⑩ 六 十 才		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D ↓ (1)	1	692	69.6	236	57.8	128	59.0	228	95.8	100	76.3
	2	139	14.0	59	14.5	68	31.3	3	1.3	9	6.9
	3	88	8.9	54	13.2	21	9.7	2	.8	11	8.4
	4	58	5.8	52	12.7					6	4.6
	無 答	17	1.7	7	1.7			5	2.1	5	3.8
D ↓ (2)	六 十 歳	248	24.9	143	35.0	81	37.3	3	1.3	21	16.0
	六 〇 才	2	.2			1	.5			1	.8
	(そ の 他)	52	5.2	29	7.1	7	3.2	7	2.9	9	6.9
D ↓ (3)	A	104	10.5	81	19.9	15	6.9			8	6.1
	B	38	3.8	15	3.7	18	8.3	2	.8	3	2.3
	C	23	2.3	6	1.5	14	6.5	1	.4	2	1.5
	D	2	.2	1	.2	1	.5				
	E	30	3.0	19	4.7	6	2.8	1	.4	4	3.1
	F										
	G	51	5.1	17	4.2	29	13.4			5	3.8
	無 答	54	5.4	33	8.1	6	2.8	6	2.5	9	6.9

⑪	越え		る		全		体		教		員		学		生		主		婦		そ		の		他		
D   (1)		1			795	80.0	310	76.0	197	90.8	195	81.9	93	71.0													
		2			40	4.0	20	4.9	9	4.1	6	2.5	5	3.8													
		3			75	7.5	44	10.8	7	3.2	13	5.5	11	8.4													
		4			57	5.7	27	6.6	4	1.8	12	5.0	14	10.7													
		無		答	27	2.7	7	1.7			12	5.0	8	6.1													
D   (2)	超	え	る		66	6.6	45	11.0	4	1.8	2	.8	15	11.5													
	こ	え	る		62	6.2	31	7.6	13	6.0	10	4.2	8	6.1													
	越		る		17	1.7	6	1.5			7	2.9	4	3.1													
	(そ	の	他)		54	5.4	16	3.9	3	1.4	24	10.1	11	8.4													
D   (3)		A			51	5.1	31	7.6	3	1.4	5	2.1	12	9.2													
		B			32	3.2	25	6.1	4	1.8	2	.8	1	.8													
		C			22	2.2	8	2.0	6	2.8	3	1.3	5	3.8													
		D			16	1.6	6	1.5	5	2.3	3	1.3	2	1.5													
		E			5	.5	1	.2			3	1.3	1	.8													
		F			15	1.5	3	.7			8	3.4	4	3.1													
		G			17	1.7	10	2.5	1	.5	4	1.7	2	1.5													
		無		答	41	4.1	14	3.4	1	.5	15	6.3	11	8.4													

⑫	話 し		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1		320	32.2	66	16.2	48	22.1	134	56.3	72	55.0
	2		43	4.3	23	5.6	13	6.0	1	.4	6	4.6
	3		167	16.8	89	21.8	39	18.0	21	8.8	18	13.7
	4		444	44.7	228	55.9	117	53.9	72	30.3	27	20.6
	無	答	20	2.0	2	.5			10	4.2	8	6.1
D   (2)	話		626	63.0	333	81.6	165	76.0	80	33.6	48	36.6
	は	な	5	.5	2	.5					3	2.3
	(そ	の 他)	43	4.3	7	1.7	4	1.8	24	10.1	8	6.1
D   (3)	A		3	.3	2	.5					1	.8
	B		52	5.2	27	6.6	14	6.5	6	2.5	5	3.8
	C		40	4.0	17	4.2	16	7.4	5	2.1	2	1.5
	D		21	2.1	9	2.2	10	4.6	1	.4	1	.8
	E		2	.2	1	.2	1	.5				
	F		486	48.9	259	63.5	118	54.4	74	31.1	35	26.7
	G		25	2.5	13	3.2	8	3.7	1	.4	3	2.3
	無	答	45	4.5	14	3.4	2	.9	17	7.1	12	9.2

⑬	今 日		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1		764	76.9	266	65.2	172	79.3	219	92.0	107	81.7
	2		95	9.6	60	14.7	29	13.4	5	2.1	1	.8
	3		92	9.3	58	14.2	13	6.0	9	3.8	12	9.2
	4		24	2.4	18	4.4	3	1.4			3	2.3
	無	答	19	1.9	6	1.5			5	2.1	8	6.1
D   (2)	き	ょ	う		179	18.0	113	27.7	42	19.4	10	4.2
	(そ	の	他)		51	5.1	29	7.1	3	1.4	9	3.8
D   (3)	A		1	.1	1	.2						
	B		41	4.1	29	7.1	8	3.7	2	.8	2	1.5
	C		19	1.9	10	2.5	4	1.8	3	1.3	2	1.5
	D		28	2.8	15	3.7	8	3.7	3	1.3	2	1.5
	E		38	3.8	26	6.4	6	2.8	2	.8	4	3.1
	F		9	.9	5	1.2			1	.4	3	2.3
	G		40	4.0	20	4.9	16	7.4	3	1.3	1	.8
	無	答	54	5.4	36	8.8	3	1.4	5	2.1	10	7.6

⑭	始　　め		全　　体		教　　員		学　　生		主　　婦		そ　　の　　他	
D   (1)	1		375	37.7	99	24.3	64	29.5	136	57.1	76	58.0
	2		27	2.7	13	3.2	3	1.4	7	2.9	4	3.1
	3		112	11.3	53	13.0	14	6.5	27	11.3	18	13.7
	4		459	46.2	239	58.6	136	62.7	62	26.1	22	16.8
	無	答	21	2.1	4	1.0			6	2.5	11	8.4
D   (2)	初	め	532	53.5	288	70.6	143	65.9	68	28.6	33	25.2
	は	じ　め	32	3.2	12	2.9	6	2.8	6	2.5	8	6.1
	(そ　の　他)		55	5.5	16	3.9	9	4.1	53	22.3	28	21.4
D   (3)	A		432	43.5	231	56.6	124	57.1	50	21.0	27	20.6
	B		59	5.9	30	7.4	14	6.5	10	4.2	5	3.8
	C		30	3.0	11	2.7	6	2.8	12	5.0	1	.8
	D		8	.8	1	.2	4	1.8	1	.4	2	1.5
	E		5	.5	1	.2			4	1.7		
	F		12	1.2	2	.5	1	.5	9	3.8		
	G		24	2.4	16	3.9	3	1.4	2	.8	3	2.3
	無	答	49	4.9	17	4.2	1	.5	14	5.9	17	13.0

⑮	破	れ	た	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	の	他
(1)	D	1		575	57.8	206	50.5	88	40.6	190	79.8	91	69.5	
		2		25	2.5	10	2.5	6	2.8	7	2.9	2	1.5	
		3		57	5.7	24	5.9	14	6.5	10	4.2	9	6.9	
		4		313	31.5	162	39.7	108	49.8	20	8.4	23	17.6	
	無	答		24	2.4	6	1.5	1	.5	11	4.6	6	4.6	
(2)	D	敗	れ	335	33.7	173	42.4	119	54.8	17	7.1	26	19.8	
		や	ぶ	19	1.9	13	3.2	2	.9	3	1.3	1	.8	
		破	た	10	1.0	1	.2	1	.5	7	2.9	1	.8	
		負	れ	6	.6	2	.5	3	1.4	1	.4			
	(そ	の	他)	49	4.9	13	3.2	4	1.8	20	8.4	12	9.2	
(3)	D	A		297	29.9	159	39.0	102	47.0	15	6.3	21	16.0	
		B		30	3.0	11	2.7	11	5.1	5	2.1	3	2.3	
		C		18	1.8	6	1.5	8	3.7	2	.8	2	1.5	
		D		3	.3			1	.5	2	.8			
		E		2	.2	2	.5							
		F		13	1.3	1	.2	1	.5	9	3.8	2	1.5	
		G		6	.6	4	1.0	1	.5			1	.8	
	無	答		50	5.0	19	4.7	5	2.3	15	6.3	11	8.4	

⑬	除	々	に	全	体	教	員	学	生	主	婦	そ	の	他
(1)	D 	1		480	48.3	110	27.0	102	47.0	185	77.7	83	63.4	
		2		34	3.4	18	4.4	5	2.3	6	2.5	5	3.8	
		3		39	3.9	20	4.9	2	.9	11	4.6	6	4.6	
		4		414	41.6	253	62.0	107	49.3	26	10.9	28	21.4	
	無	答		27	2.7	7	1.7	1	.5	10	4.2	9	6.9	
(2)	D 	徐	々	383	38.5	246	60.3	99	45.6	17	7.1	21	16.0	
		じょ	じょ	44	4.4	31	7.6	5	2.3	3	1.3	5	3.8	
		序	々	26	2.6	5	1.2	3	1.4	11	4.6	7	5.3	
		(そ	の	61	6.1	16	3.9	8	3.7	22	9.2	15	11.5	
(3)	D 	A		369	37.1	231	56.6	98	45.2	19	8.0	21	16.0	
		B		25	2.5	14	3.4	4	1.8	5	2.1	2	1.5	
		C		19	1.9	7	1.7	3	1.4	5	2.1	4	3.1	
		D		11	1.1	5	1.2	2	.9	2	.8	2	1.5	
		E		10	1.0	6	1.5	1	.5	2	.8	1	.8	
		F		1	.1			1	.5					
		G		16	1.6	10	2.5	3	1.4	1	.4	2	1.5	
	無	答		63	6.3	25	6.1	3	1.4	19	8.0	16	12.2	

⑱	大 変 な	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
D   (1)	1	725 72.9	252 61.8	149 68.7	217 91.2	107 81.7
	2	87 8.8	51 12.5	27 12.4	4 1.7	5 3.8
	3	134 13.5	86 21.1	35 16.1	6 2.5	7 5.3
	4	22 2.2	13 3.2	6 2.8	1 .4	2 1.5
	無 答	26 2.6	6 1.5		10 4.2	10 7.6
D   (2)	たいへんな	214 21.5	130 31.9	65 30.0	7 2.9	12 9.2
	大 へ ん な	7 .7	3 .7	2 .9	1 .4	1 .8
	(そ の 他)	48 4.8	23 5.6	1 .5	13 5.5	11 8.4
D   (3)	A	8 .8	4 1.0	3 1.4	1 .4	
	B	85 8.6	61 15.0	16 7.4	1 .4	7 5.3
	C	35 3.5	13 3.2	20 9.2	1 .4	1 .8
	D	33 3.3	13 3.2	15 6.9	2 .8	3 2.3
	E	9 .9	7 1.7	1 .5	1 .4	
	F	3 .3	3 .7			
	G	49 4.9	34 8.3	11 5.1	3 1.3	1 .8
	無 答	47 4.7	21 5.1	2 .9	12 5.0	12 9.2

⑳	聴 い て	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
D   (1)	1	158 15.9	40 9.8	13 6.0	73 30.7	32 24.4
	2	99 10.0	41 10.0	36 16.6	12 5.0	10 7.6
	3	433 43.6	203 49.8	115 53.0	74 31.1	41 31.3
	4	277 27.9	120 29.4	52 24.0	69 29.0	36 27.5
	無 答	27 2.7	4 1.0	1 .5	10 4.2	12 9.2
D   (2)	聞 い て	778 78.3	349 85.5	199 91.7	145 60.9	85 64.9
	き い て	14 1.4	7 1.7		3 1.3	4 3.1
	(そ の 他)	44 4.4	12 2.9	5 2.3	17 7.1	10 7.6
D   (3)	A	312 31.4	141 34.6	64 29.5	67 28.2	40 30.5
	B	266 26.8	130 31.9	81 37.3	33 13.9	22 16.8
	C	85 8.6	12 2.9	38 17.5	28 11.8	7 5.3
	D	26 2.6	10 2.5	6 2.8	8 3.4	2 1.5
	E	38 3.8	28 6.9	1 .5	6 2.5	3 2.3
	F	9 .9	4 1.0		3 1.3	2 1.5
	G	29 2.9	16 3.9	10 4.6	2 .8	1 .8
	無 答	71 7.1	27 6.6	4 1.8	18 7.6	22 16.8

②	忙 が し く	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
D   (1)	1	407 40.9	117 28.7	37 17.1	161 67.6	92 70.2
	2	22 2.2	12 2.9	5 2.3	2 .8	3 2.3
	3	62 6.2	36 8.8	9 4.1	10 4.2	7 5.3
	4	477 48.0	239 58.6	166 76.5	53 22.3	19 14.5
	無 答	26 2.6	4 1.0		12 5.0	10 7.6
D   (2)	忙 し く	529 53.2	267 65.4	180 82.9	58 24.4	24 18.3
	い そ が し く	15 1.5	12 2.9		1 .4	2 1.5
	(そ の 他)	43 4.3	12 2.9		18 7.6	13 9.9
D   (3)	A	4 .4	3 .7			1 .8
	B	11 1.1	7 1.7	3 1.4		1 .8
	C	10 1.0	4 1.0	1 .5	4 1.7	1 .8
	D	7 .7	3 .7		1 .4	3 2.3
	E	7 .7	6 1.5			1 .8
	F	498 50.1	248 60.8	174 80.2	57 23.9	19 14.5
	G	5 .5	2 .5	2 .9		1 .8
	無 答	45 4.5	18 4.4		15 6.3	12 9.2

②	短 か い	全 体	教 員	学 生	主 婦	そ の 他
D   (1)	1	441 44.4	123 30.1	54 24.9	175 73.5	89 67.9
	2	15 1.5	8 2.0	3 1.4	2 .8	2 1.5
	3	65 6.5	34 8.3	15 6.9	11 4.6	5 3.8
	4	449 45.2	239 58.6	145 66.8	42 17.6	23 17.6
	無 答	24 2.4	4 1.0		8 3.4	12 9.2
D   (2)	短 か い	510 51.3	276 67.6	162 74.7	44 18.5	28 21.4
	み じ か い	5 .5	3 .7		2 .8	
	短 じ か い	1 .1			1 .4	
	(そ の 他)	37 3.7	6 1.5	8 3.7	37 15.5	28 21.4
D   (3)	A	3 .3	2 .5			1 .8
	B	14 1.4	7 1.7	3 1.4	2 .8	2 1.5
	C	11 1.1	4 1.0	4 1.8	2 .8	1 .8
	D	5 .5	3 .7		2 .8	
	E	1 .1	1 .2			
	F	477 48.0	252 61.8	156 71.9	45 18.9	24 18.3
	G	5 .5	3 .7		1 .4	1 .8
	無 答	37 3.7	13 3.2		11 4.6	13 9.9

②③ 贈 る		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1	138	13.9	46	11.3	8	3.7	51	21.4	33	25.2
	2	9	.9	4	1.0	1	.5	2	.8	2	1.5
	3	22	2.2	3	.7			15	6.3	4	3.1
	4	803	80.8	352	86.3	208	95.9	161	67.6	82	62.6
	無 答	22	2.2	3	.7			9	3.8	10	7.6
D   (2)	送 る	764	76.9	333	81.6	190	87.6	157	66.0	84	64.1
	お く る	45	4.5	24	5.9	12	5.5	4	1.7	5	3.8
	(そ の 他)	47	4.7	5	1.2	7	3.2	26	10.9	9	6.9
D   (3)	A	686	69.0	314	77.0	181	83.4	123	51.7	68	51.9
	B	31	3.1	6	1.5	10	4.6	12	5.0	3	2.3
	C	26	2.6	3	.7	6	2.8	13	5.5	4	3.1
	D	1	.1					1	.4		
	E	12	1.2	5	1.2			6	2.5	1	.8
	F	13	1.3	6	1.5	2	.9	5	2.1		
	G	18	1.8	9	2.2	7	3.2	1	.4	1	.8
	無 答	69	6.9	19	4.7	3	1.4	26	10.9	21	16.0

②④ 最 少 限		全 体		教 員		学 生		主 婦		そ の 他	
D   (1)	1	659	66.3	232	56.9	125	57.6	203	85.3	99	75.6
	2	26	2.6	13	3.2	8	3.7	1	.4	4	3.1
	3	48	4.8	22	5.4	11	5.1	6	2.5	9	6.9
	4	236	23.7	133	32.6	73	33.6	21	8.8	9	6.9
	無 答	25	2.5	8	2.0			7	2.9	10	7.6
D   (2)	最 小 限	291	29.3	157	38.5	91	41.9	22	9.2	21	16.0
	(そ の 他)	44	4.4	19	4.7	1	.5	13	5.5	11	8.4
D   (3)	A	233	23.4	130	31.9	73	33.6	17	7.1	13	9.9
	B	25	2.5	14	3.4	6	2.8	4	1.7	1	.8
	C	17	1.7	5	1.2	7	3.2	2	.8	3	2.3
	D	1	.1					1	.4		
	E										
	F	2	.2	2	.5						
	G	17	1.7	8	2.0	6	2.8	2	.8	1	.8
	無 答	40	4.0	17	4.2			9	3.8	14	10.7

# 索

# 引

## 【ア 行】

あて字	24
意識調査の方法	71～72
意識的なゆれ	114, 116
意識内におけるゆれ	80, 126
異字同訓(cf 同訓異字)	54
「異字同訓の漢字の用法」	3
異体字	15, 25
意味の差(違い)	18, 27, 32, 80, 99, 102, 119
送り仮名	109, 126
送り仮名の誤用	50, 58～64
送り仮名の対立	36, 39
「送りがなのつけ方」	3, 34
「送り仮名の付け方」	4, 34, 57, 85
送り仮名のゆれ	27～28, 84, 92, 104, 120
音節数	62
音訓制限	81, 119

## 【カ 行】

「外来語の表記について」	3
外来語の表記の対立	28, 36, 39
書きぐせ	81, 119
書き分け	80, 98, 99, 102, 103, 118
学習漢字	82
仮名遣いの誤用	50, 64～68
仮名遣いの対立	28, 36, 39
仮名表記の効果	46
漢語の仮名表記	42
漢語の表記のゆれ	40
慣用的な表記	22～24

漢字含有率	80
漢字字典	90
漢字使用度	118
漢字制限(cf 国語施策)	81, 119
漢字と片仮名の対立	30, 36
漢字政策(cf 国語施策)	81, 102, 126
漢字と仮名の間のゆれ	84, 93, 104, 120
漢字と仮名の対立	29, 79, 126
漢字と漢字の間のゆれ	84, 93, 104, 120
漢字と漢字の対立(cf 異なる漢字の 対立)	26, 80, 85, 92, 126
漢字と平仮名の対立	36, 39
漢字の誤用	51～57
擬声語, 擬態語	45, 68
規範的な形式	1, 28
許容, 許容的な表記	20, 105, 107
均質性	96, 98
敬称	90
「現代かなづかい」	3, 50, 64
「現代の漢字使用の実態と意識に 関する計量言語的研究」	10, 70
広報紙の性格	47
公用文	85, 107
国語施策(cf 漢字政策)	3, 34, 46
国語辞書, 国語辞典	7, 19～26, 51, 82, 90
語形強調	33, 42
語形のゆれ	1, 16, 17
「語形の「ゆれ」について」	3



語形表示	27～30, 33
語源俗解	24, 56
誤字、誤表記	84, 102, 105, 119, 120
語種と表記のゆれ	40
個人間におけるゆれ	117, 126
個人内におけるゆれ	113, 117, 126
個人内部の表記のゆれ	118
個人によるゆれ	97
異なる漢字の対立(cf 漢字と漢字の 対立)	26, 36, 39, 42
異なる文字体系間の対立	29, 36, 39
語のレベルのゆれ	14, 24
語表記のゆれ	14, 15, 25, 26
誤用と慣用	1, 24
誤用とゆれ	23

## 【サ 行】

字音による誤字	54
字義	53
字訓による誤字	52
字形	15, 55, 110
字体	15, 110
熟字訓	80
「常用漢字表」	4, 22, 25, 30, 34, 82
職業別	87, 90, 93, 96, 99, 107, 110, 113, 124
新聞	85, 107
『新聞用語集』	7, 19～26, 41, 44～45, 82
生活環境	128
正誤意識	107
正誤の判定基準	51, 57, 64
正書法的な表記	4
「正書法について」	64

接頭辞	79
俗語	46

## 【タ 行】

代用字、同音の漢字による書き かえ・誤用	25, 56
多義語	18, 30
縦書きと横書き	78
調査票	72～77
訂正の度合い	118
訂正表記	107
手紙と電話	78
手紙やはがき	79, 88
統一的な表記	22
同一文字体系内での対立	26
同一文字体系内でのゆれ	92
統一用語	22
同音異義語	56
「同音の漢字による書きかえ」	3, 22
同音類義、同音類義語	18, 27, 41, 56
同音類形	57
同訓異字(cf 異字同訓)	21, 43, 44, 85, 98, 126
「当用漢字音訓表」	7, 34
動植物	45
「当用漢字表」	3, 20, 23, 25, 30, 34, 82
「当用漢字補正案」	25, 34, 82

## 【ハ 行】

発音やアクセントのゆれ	1
被調査者の属性	86
表外訓	44
表外漢字、表外字	40, 44
表記意識	70, 71, 123, 125, 127
表記形式	80, 84, 91

表記形式の選択	71, 96, 103
表記効果	109, 121, 125
表記辞典	83
表記者、表記主体	5, 46, 69, 116, 125
表記習慣	90, 91, 127
表記条件	70
表記態度	46, 71
表記の安定度	126
表記の傾向	117~125, 127
表記のゆれのレベル	14
標準的な表記	2, 19~20
標準表記	44, 109, 121, 125
二通り以上の表記形式	69, 110, 126
二通りの表記形式	80
平仮名と片仮名の対立	31, 36, 39
法令用語・公用文の表記例	8
<b>【マ 行】</b>	
交ぜ書き	95

迷い	96, 97, 103, 118
見出し語	9, 16, 18, 22, 35
無意識的なゆれ	114
無意図的なゆれ	27, 32
文字体系間でのゆれ	93
文字と記号の対立	36, 39
文字と数字の対立	36, 39
文字のレベルのゆれ	14, 24

### 【ヤ 行】

ゆれの大きさ	91~96, 99
ゆれの要因	32~33, 126~128
ゆれの類型(パターン)	26~32, 35~39, 126

### 【ラ, ワ 行】

歴史的仮名遣い	29, 66
ローマ字表記の対立	28
和語の表記のゆれ	43

昭和 58 年 3 月

国 立 国 語 研 究 所

〒115 東京都北区西が丘 3 丁目 9 番14号  
電 話 東 京 (900) 3 1 1 1 (代表)

UDC 801.1 : 809.56

ND.C 811

# 国立国語研究所刊行書一覽

## 国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版刊	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 ——白河市および付近の農村における——	"	"
3	現 代 語 の 助 詞 ・ 助 動 詞 ——用法と実例——	"	2,000円
4	婦 人 雑 誌 の 用 語 ——現代語の語彙調査——	"	品切れ
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における実態調査——	"	"
6	少 年 と 新 聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	"	"
7	入 門 期 の 言 語 能 力	"	"
8	談 話 語 の 実 態	"	"
9	読 み の 実 験 的 研 究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	"	"
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	"	"
11	敬 語 と 敬 語 意 識	"	"
12	総 合 雑 誌 の 用 語 (前編) ——現代語の語彙調査——	"	"
13	総 合 雑 誌 の 用 語 (後編) ——現代語の語彙調査——	"	"
14	中 学 年 の 読 み 書 き 能 力	"	"
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	"	"
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	"
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	"
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) ——対話資料による研究——	"	"
19	総 合 雑 誌 の 用 字	"	"
20	同 音 語 の 研 究	"	"
21	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) ——総記および語彙表——	"	"
22	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) ——漢 字 表——	"	"

23	話 し こ と ば の 文 型 (2) ——独話資料による研究——	秀英出版刊	品切れ
24	横 組 み の 字 形 に 関 す る 研 究	"	"
25	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (3) ——分 析——	"	"
26	小 学 生 の 言 語 能 力 の 発 達	明治図書刊	2,100円
27	共 通 語 化 の 過 程 ——北海道における親子三代のことは——	秀英出版刊	品切れ
28	類 義 語 の 研 究	"	"
29	戦 後 の 国 民 各 層 の 文 字 生 活	"	400円
30-1	日 本 言 語 地 図 (1) 日 本 言 語 地 図 (1) <縮刷版>	大蔵省印刷局刊	品切れ 17,000円
30-2	日 本 言 語 地 図 (2) 日 本 言 語 地 図 (2) <縮刷版>	"	品切れ 17,000円
30-3	日 本 言 語 地 図 (3)	"	品切れ
30-4	日 本 言 語 地 図 (4)	"	"
30-5	日 本 言 語 地 図 (5)	"	"
30-6	日 本 言 語 地 図 (6)	"	"
31	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究	秀英出版刊	"
32	社会構造と言語の関係についての基本的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	"	"
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	"	350円
34	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (II) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	"	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	"	450円
36	中 学 生 の 漢 字 習 得 に 関 す る 研 究	"	品切れ
37	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査	"	"
38	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査 (II)	"	2,800円
39	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (III)	"	品切れ
40	送 り が な 意 識 の 調 査	"	1,500円
41	待 遇 表 現 の 実 態 ——松江24時間調査資料から——	"	900円

42	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)	秀英出版刊	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	"	6,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	"	4,000円
45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(Ⅳ)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) ——性向語彙と価値観——	"	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅳ)	"	3,000円
49	電子計算機による国語研究(Ⅴ)	"	900円
50	幼児の文構造の発達 ——3歳～6歳児の場合——	"	品切れ
51	電子計算機による国語研究(Ⅵ)	"	1,000円
52	地域社会の言語生活 ——鶴岡における20年前との比較——	"	1,800円
53	言語使用の変遷(1) ——福島県北部地域の面接調査——	"	2,500円
54	電子計算機による国語研究(Ⅶ)	"	1,000円
55	幼児語の形態論的な分析 ——動詞・形容詞・述語名詞——	"	品切れ
56	現代新聞の漢字	"	予価5,000円
57	比喩表現の理論と分類	"	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(Ⅷ)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 ——フォネーム研究序説——	"	2,500円
61	電子計算機による国語研究(Ⅸ)	"	1,300円
62	研究報告集(1)	"	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研究報告集(2)	"	3,000円
66	幼児の語彙能力	東京書籍刊	8,000円
67	電子計算機による国語研究(X)	秀英出版刊	1,500円
68	専門語の諸問題	"	4,000円

69	幼 児 ・ 児 童 の 連 想 語 彙 表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大 都 市 の 言 語 生 活 ——分析編——	三省堂刊	7,800円
70-2	大 都 市 の 言 語 生 活 ——資料編——	〃	12,000円
71	研 究 報 告 集 (3)	秀英出版刊	4,800円
72	幼 児 ・ 児 童 の 概 念 形 成 と 言 語	東京書籍刊	6,800円
73	企 業 の 中 の 敬 語	三省堂刊	9,500円
74	研 究 報 告 集 (4)	秀英出版刊	4,200円
75	現 代 表 記 の ゆ れ		
76	高 校 教 科 書 の 語 彙 調 査	秀英出版刊	

#### 国立国語研究所資料集

1	国 語 関 係 刊 行 書 目 (昭和17～24年)	秀英出版刊	品切れ
2	語 彙 調 査 ——現代新聞用語の一例——	〃	〃
3	送 り 仮 名 法 資 料 集	〃	〃
4	明 治 以 降 国 語 学 関 係 刊 行 書 目	〃	〃
5	沖 縄 語 辞 典	大蔵省印刷局刊	3,500円
6	分 類 語 彙 表	秀英出版刊	1,800円
7	動 詞 ・ 形 容 詞 問 題 語 用 例 集	〃	1,700円
8	現 代 新 聞 の 漢 字 調 査 (中間報告)	〃	500円
9	牛店 安 愚 楽 鍋 用 語 索 引 雑談	〃	1,500円
10-1	方 言 談 話 資 料 (1) ——山形・群馬・長野——	〃	6,000円
10-2	方 言 談 話 資 料 (2) ——奈良・高知・長崎——	〃	6,000円
10-3	方 言 談 話 資 料 (3) ——青森・新潟・愛知——	〃	6,000円
10-4	方 言 談 話 資 料 (4) ——福井・京都・島根——	〃	6,000円
10-5	方 言 談 話 資 料 (5) ——岩手・宮城・千葉・静岡——	〃	6,000円
10-6	方 言 談 話 資 料 (6) ——鳥取・愛媛・宮崎・沖縄——	〃	6,000円
11	日 本 言 語 地 図 語 形 索 引	大蔵省印刷局刊	1,500円

#### 国立国語研究所研究部資料

1	幼児のことは資料(1) - 2歳・3歳誕生日のことはの記録 -	秀英出版刊	3,800円
1-2	幼児のことは資料(2) - 4歳誕生日のことはの記録 -	〃	3,800円
1-3	幼児のことは資料(3) - 1歳児のことはの記録 -	〃	6,000円

1-4	幼児のことば資料(4)－2歳児のことばの記録－	秀英出版刊	6,000円
1-5	幼児のことば資料(5)－3歳前半のことばの記録－	"	6,000円
1-6	幼児のことば資料(6)－3歳後半のことばの記録－	"	6,000円

#### 国立国語研究所論集

1	こ と ば の 研 究	秀英出版刊	品切れ
2	こ と ば の 研 究 第2集	"	"
3	こ と ば の 研 究 第3集	"	"
4	こ と ば の 研 究 第4集	"	1,300円
5	こ と ば の 研 究 第5集	"	1,300円

#### 国立国語研究所年報 秀英出版刊

1 昭和24年度	品切れ	12 昭和35年度	品切れ	23 昭和46年度	450円
2 昭和25年度	"	13 昭和36年度	160円	24 昭和47年度	品切れ
3 昭和26年度	160円	14 昭和37年度	220円	25 昭和48年度	"
4 昭和27年度	160円	15 昭和38年度	250円	26 昭和49年度	600円
5 昭和28年度	品切れ	16 昭和39年度	品切れ	27 昭和50年度	700円
6 昭和29年度	200円	17 昭和40年度	"	28 昭和51年度	非売品
7 昭和30年度	品切れ	18 昭和41年度	300円	29 昭和52年度	"
8 昭和31年度	"	19 昭和42年度	300円	30 昭和53年度	800円
9 昭和32年度	"	20 昭和43年度	品切れ	31 昭和54年度	1,200円
10 昭和33年度	"	21 昭和44年度	"	32 昭和55年度	1,300円
11 昭和34年度	"	22 昭和45年度	"		

#### 国 語 年 鑑 秀英出版刊

昭和29年版	品切れ	昭和37年版	品切れ	昭和45年版	1,500円
昭和30年版	"	昭和38年版	"	昭和46年版	2,000円
昭和31年版	"	昭和39年版	"	昭和47年版	2,200円
昭和32年版	"	昭和40年版	"	昭和48年版	2,700円
昭和33年版	"	昭和41年版	"	昭和49年版	3,800円
昭和34年版	"	昭和42年版	"	昭和50年版	3,800円
昭和35年版	"	昭和43年版	"	昭和51年版	4,000円
昭和36年版	"	昭和44年版	"	昭和52年版	品切れ



昭和53年版 品切れ	昭和55年版 品切れ	昭和57年版 5,500円
昭和54年版 //	昭和56年版 6,500円	

---

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 共編 日本新聞協会	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 共編 国立国語研究所	金沢書店刊	品切れ
国立国語研究所三十年のあゆみ	——研究業績の紹介——	秀英出版刊	1,500円

---

#### 日本語教育教材

1	日本語と日本語教育 ——発音・表現編——	国立国語研究所 共編 文化庁	大蔵省印刷局刊	650円
2	日本語と日本語教育	——文字・表現編——	〃	850円
3	日本語の文法（上）	——日本語教育指導参考書4——	〃	450円
4	日本語の文法（下）	〃	5	〃 550円
5	日本語教育の評価法	〃	6	〃 700円
6	中・上級の教授法	〃	7	〃 500円
7	日本語の指示詞	〃	8	〃 500円
8	日本語教育基本語彙比較対照表	〃	9	〃 1,000円
9	日本語教育参考文献一覧	〃	10	〃
10	談話の研究と教育 I	〃	11	〃

## 日本語教育教材映画一覧

(各巻16ミリカラー, 5分, 日本シネセル社販売)

巻	題 名	プリント価格
第1巻*	これはかえるです——「こそあど」+「は～です」——	30,000円
第2巻*	さいふはどこにありますか——「こそあど」+「～がある」——	〃
第3巻*	やすすくないです, たかいです——形容詞とその活用導入——	〃
第4巻*	なにをしましたか——動 詞——	〃
第5巻*	しずかなこうえんで——形容動詞——	〃
第6巻*	さあ, かぞえましょう——助 数 詞——	〃
第7巻	うつくしいさらになりました——「なる」「する」——	〃
第8巻*	きりんはどこにいますか——「いる」「ある」——	〃
第9巻*	かまくらをあるきます——移動の表現——	〃
第10巻	おかねをとられました——受身の表現1——	〃
第11巻*	どちらがすきですか——比較・程度の表現——	〃
第12巻*	もじがとてもきれいでした——「です」「でした」「でしょう」——	〃
第13巻*	きょうはあめがふっています——「して」「している」「していた」——	〃
第14巻*	そうじはしてありますか——「してある」「しておく」「してしまう」——	〃
第15巻*	おみまいにいきませんか——依頼・勧誘の表現——	〃
第16巻*	なみのおとがきこえてきます——「いく」「くる」——	〃
第17巻	みずうみのえをかいたことがありますか——経験・予定の表現——	〃
第18巻*	あのいわまでおよげますか——可能の表現——	〃
第19巻	よみせをみにいきたいです——意志・希望の表現——	〃
第20巻	てんきがいいからさんぽをしましょう——原因・理由の表現——	〃
第21巻	さくらがきれいだそうです——伝聞・様態の表現——	〃
第22巻	あめにふられてこまりました——受身の表現2——	〃
第23巻	おけいこを みにいっても いいですか——許可・禁止の表現——	〃
第24巻	あそこに のぼれば うみが みえます——条件の表現1——	〃
第25巻	いえが たくさんあるのに とてもしずかです——条件の表現2——	〃

第1巻～第3巻は, 文化庁との共同企画

VTR価格1/2インチオープンリール21,000円, 3/4インチカセット20,000円

\*印については日本語教材映画解説の冊子がある。

# WRITING-FORM VARIATION OF WORDS IN CONTEMPORARY JAPANESE

## CONTENTS

### FORWORD

#### 1. OUTLINE OF STUDY

- 1.1 Purpose of the Study
- 1.2 Process of the Study
- 1.3 Reference

#### 2. ANALYSIS OF VARIATION AND MISUSE OF WRITING-FORM

- 2.1 Writing-form Variation of Words
- 2.2 Analysys of Writing-form Variation of Words in Modern Newspapers
- 2.3 Analysys of Misuse of Writing-form of Words in Municipal Gazette

#### 3. ANALYSIS OF WRITING CONSIIOUSNESS

- 3.1 Outline of the Survey
- 3.2 Result and Analysis

### APPENDIX

### INDEX

THE NATIONAL LANGUAGE RESERCH INSTITUTE  
TOKYO JAPAN

1983